

正校  
步操袖珍  
完

洋学文庫  
文庫 8  
C 484





歩操袖珍前編附言

曩ニ小隊ヲ畧解之次テ大隊ヲ畧解之共  
ニ刻シテ以世ニ公ニス者大ニ此ヲ便トス  
頃日友人来曰歩兵訓練ハ生兵ヲ先トス  
然ルニ今世解十キハ大ニ關典タリ嗣出セ  
ヨト徳澤通シテ已マラス余ハ予ヲ此舉ニ起  
スヤ世間既ニ銃技ニ熟スルガ故小隊ヲ以



予創業ス今友人懇情如此ナレヲ以テ強  
テ舊稿ヲ整頓シ今此篇ヲ初帙トシ以テ  
剞劂ニ付シ世ノ同志ニ頒ツ誤謬脱漏  
少キヲ得ズ幸ニ諸君ノ裁正ヲ乞フ

安政五年戊午仲夏元岡合圭入述

凡例

- 此書ハ生兵教習ノ最要ヲ抄録シ且ツ  
圖ヲ寫シテ以テ初學ノ便覽ニ備フ
- 今詞ハ草字ヲ用井注解ハ真字ヲ用テ  
凡ニ區別ス
- ハヨ子ツトレヲ銃鎗及ヒ劍トシヨケウニ  
ヲ銃或ハ筒トスルノ類都テ通俗ノ稱呼ニ  
從フカ故時トシテ一定セス看者之ヲ  
責ルコ勿レ

吉符





步操袖珍前編

目主兵略解教節目次

第一部

一教 直立の姿勢及正頭首運轉

二、 左右轉向及正右轉背面向

三、 常歩直行

四、 斜向行進

第二部

一教 執銃

二、 技藝



- 古 教師 オンドルウニール
- □ 兵卒 ツルダート
- ⊖ 第一舉動 圓中ニノ字ヲ託スルハ第一舉動
- 歩 バス 西尺六十八拇我曲尺二尺二寸八分弱
- 分時ミニユート 我春分半時ノ六十分一
- 秒 ヒコレト 分時ノ六十分一
- 臂 エル 我三尺三寸弱
- 掌 ハルム 我三寸三分弱
- 拇 ドイム 我三分三厘弱
- 九例終



- 三、四節裝填及ヒ急速裝填
- 四、諸種ノ點火

第三部

- 一、教 左右整頓
- 二、正面行及ヒ急歩
- 三、側面行進及ヒ轉背面向
- 四、弧圓旋轉及ヒ直線變易轉

目次終 續補 續目次



生兵略解 卷之十五 終

第一部

第一教

○生兵ノ姿勢

○兩足

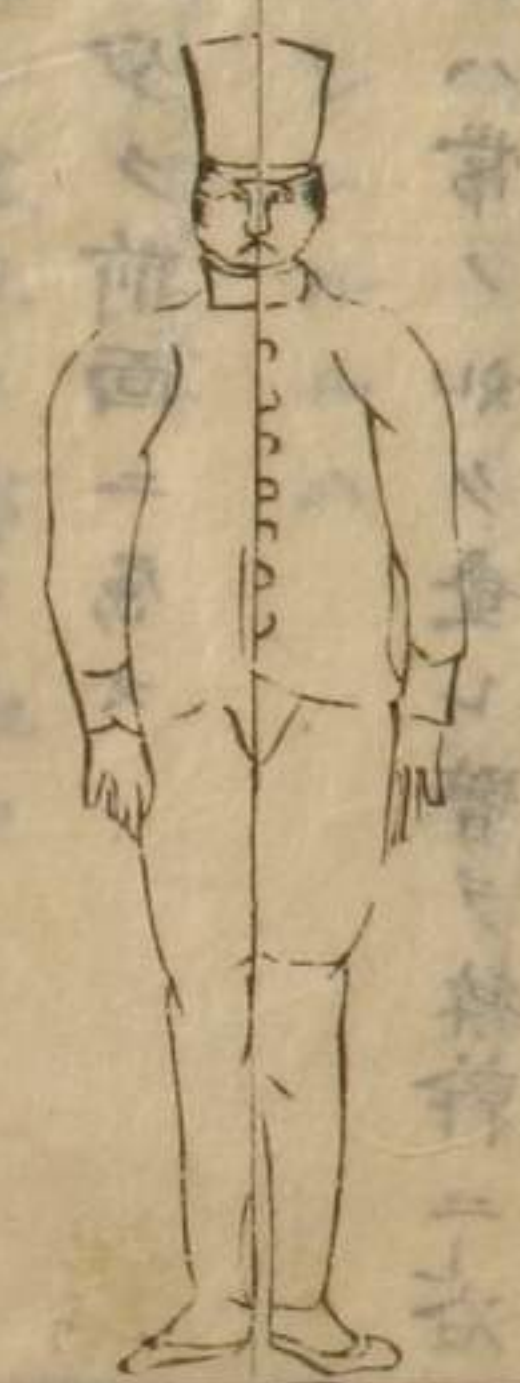
兩踵ヲ密附ス但性質ニ從フ兩跗ハ正角ヨリ少

ク狭ク兩膝ヲ

正立ス但木樞

ナラサルヲ要

○良ハ



一四



○身体

正夕體上ニ置テ少ク前面ニ屈ス

○兩手

肩ヲ後曳シ兩腕ハ常ノ如ク垂レ臂ヲ肘幹ニシ浴  
ヘ掌ヲ少外面ニ向ケ小指ヲ衣服縫界ノ後面ニ  
致ス

○頭首

正直ニシテ少傾ヲ曳クト雖正候ヲ覆フ勿シ

○眼目

其身前距ルル九十五歩ノ地ニ注ス

○頭首ノ運轉

改ト止(右)方 ホ フドリレク  
ツ(リ)ク

第二句ヲ聴テ頭ヲ徐々

ニ右ニス圓ヲ考フヘシ

左れスマト

速ニ正復ス

此姿勢ヲ解テ休マシムルニハ

其俤ル休メ イッテフデフラーツリノスト

右足ヲ前ニ出シ直立ノ姿ヲ弛ム





- 一 〇再々原勢ニ復フルニハ
- 二 免セズキケトアクト
- 三 中隊ペロト

第二令ニ因テ兵士再々直立ノ姿勢ヲ執ル



第二教

〇左右轉向及ヒ右轉背面向

小隊右方ニ向けヘルトレックツ

第二令ニ聽テ左ノ足尖ヲ起シ踵ニテ右轉シ右踵ヲ近接ス

小隊

二 右向ニ此レ

右向ノ令ヲ聽キ右向ヲナレトテ圖ノ如クス

此目時ニ銃包盒ニ手ヲ掛

キ若シ銃ヲ執ルニナルハ左

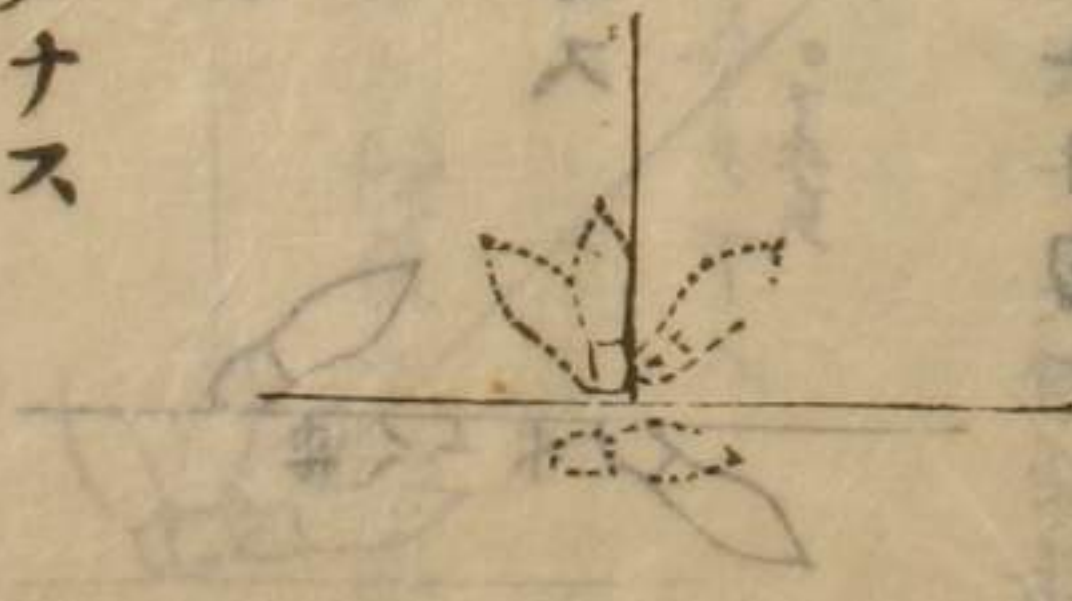
手ニ銃ヲ轉回シ機板ヲ

前向ニナシ接ス

初廻シテ令ヲ聽テ

背面向ヲナシ右

踵ヲ引整ヘ兩手ヲ帶ノ如クナス





第三教

○常歩直行

一分時間七十六歩ヲ常トス

古一二歩兵士一先立願ミナカラ教授ス

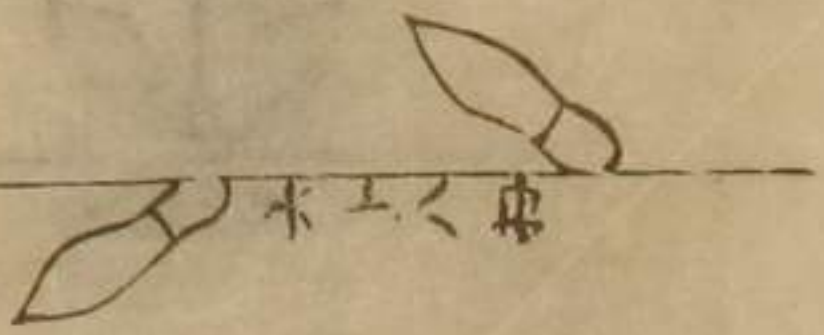
一 小後方(ホルウツルツ)

二 左ヨマス

○足先ヲ稍下ニ垂ニ膝ヲ屈スルヲ勿レ

○足ヲ舉ハ一寸ト令レ下ニ着クニキ寸ニト令

小後方止れ(ホルツルツ)



二

○兵士速ニ後足ヲ前足ノ傍ニ引寄ス

兵士規則ヲ領會スルハ其後師自ラトニ歩或ハ十五

歩ノ地ニ立定シ兵士其後方ヲ見ハテヤ身体動揺ス

ルヤヲ檢ス

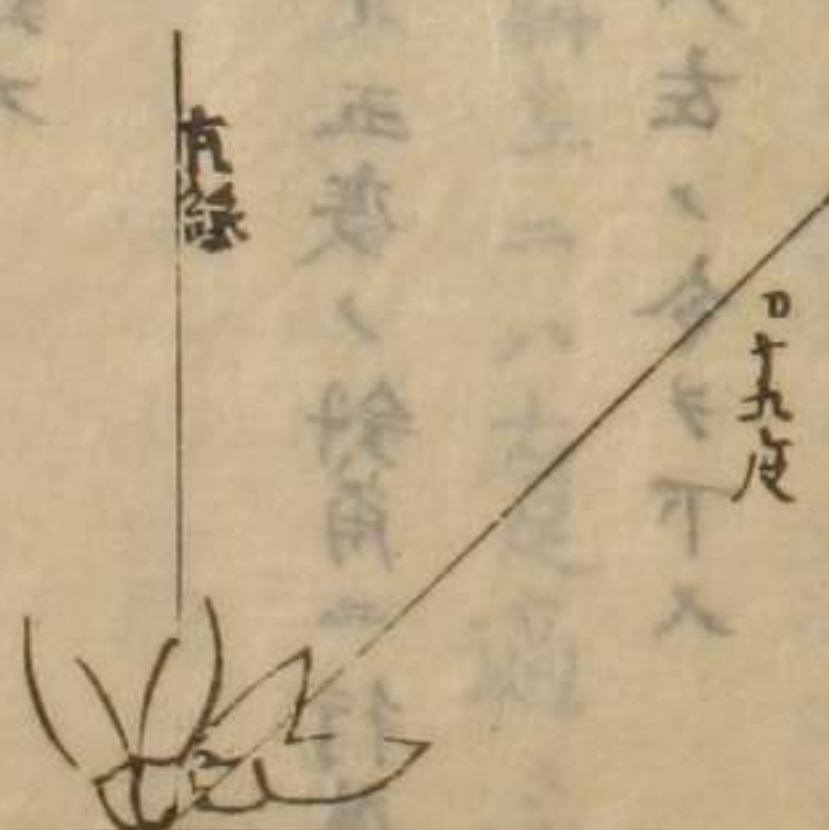
古五第四教(ニ)始スハ廿八方ノ歩トス

○斜行進

○左ヨマス(ホルツルツ)ニ歩定メテハハテ是レ歩

一 神に非カヘスコレ多

○兵士半右向ヲオシテ





右肩ヲ隣兵ノ左肩ニ對ス

二 左めマルス

○左足ヨリ歩ヲ起シ四十五度ノ斜角ニ行進ス

○斜左行進ハ之ニ反ス

古正面ニ復サント欲スル寸ハ左ノ令ヲ下ス

一 小隊ハ止セ ハルトニハルト

二 正面 フロント ハルトニハルト

生兵既ニ習熟スル寸ハ前面行進中左ノ令ヲ下ス

一 斜左 右左 ハルトニハルト

二 左めマルス

○一令ハ示動ニ令ニ放テ斜轉ス

○内注音ノ斜右ニハ左足斜左ニハ右足ハ

カレトスル寸發令ス

再上正面行ニ轉スル寸ハ

ホリハマルス

直ニハルトニハルト

○此令ハ斜右ニハ右足斜左ニハ左足適ニ地

下着ヒル寸ハ

ハルトニハルト

ハルトニハルト



第二部

生兵上一部ノ兵成ニ習熟スルノ后ハ此教亦ニ授シ  
二名成 四名ヲ連結シ各肘相接シ一列トナス

第一教

○執銃

適宜ノ姿勢ヲ保護シ且立シタル兵士ニ教師銃ヲ授  
ク兵士左腕ヲ伸シ肘ヲ後ニ守セ手心ヲ銃底端ノ下  
面ニ致ス



尔后再ヒ上第一部一教及ヒ二教ノ運動ヲナシシ  
此時銃ヲ臂内ニ執ルニ可ナリ

第二教



◎技藝

兵士ノ配列ハ二名ヲ一列トシ或ハ組トシ或ハ多クノ組ヲ列ス

○銃ヲ使用スルノ舉動ノ一移時間ニ行フ\*印ヲ符ス者ハ一二ヲ稍短縮ス

一 ナニ攸區方 フーゲレシイノトアル  
ウイカス 三舉動

二 以ハ ラト  
ケ  
ケ

(一) 半右向ヲナレ  
右手ヲ以テ銃把

握ル



(二) 右手ヲ將テ銃ヲ右臂下ニ段ス左手ハ中帯ノ如ク握リ銃口ヲ眼目

高サニナス

(三) 右手ノ母ヲ離脱ノ上ニシテ他ノ四指ハ撥軌板ニ安ス

拳ハ

(一) 概指ヲ將テ拳頭ヲ滿起ス

(二) 右手ヲ快テ銃口盒中ノ管ノ握ム

ハ  
レ  
ス

ア  
ッ



管ハ附ヘセトシ

ニ舉動



(一) 火門ニ注目シ管ヲ点シ以テ座ハ  
 (二) 把持ラ雞頭ニ効シ食指ヲ 指短者ハ中指角ニ 擬ルリ前他ト後日ニ安ス  
 トセニ舉全ラトテテニキマレ  
 四舉動

(一) 雞頭ヲ少シク後日起シ擬機ヲ擬テ後ニ站上ニ安ス  
 (二) 右換ヲ裝束白ノ如クニ把持フ上面ニ雞頭ノ背後ニ當ル

(三) 把持ノ以テ雞頭ヲ感ス  
 (四) 右腕ヲ以テ把持ヲ握リ一齊ニ頭ヲ常ノ如クス  
 二舉動

(一) 右手ヲ以テ床尾ヲ推下ケ雞頭ヲ右把持上ニシ左股ニ浴ヘ左手  
 後日滑下シ中常ノ下一掌ノ如クニ至ラレテ下一齊ニ右足ヲ前ニ

出シ左足心ニ持子  
 (二) 右腕ヲ放シ左腕ニテ  
 銃ヲ降下シ銃口ヲ



正中ニ向ケテト 左ニ右  
 銃ヲ銃包盒ニ送り銃包ヲ握ム  
 一舉動

○ 肘ノ低下シ爪ヲ劍 對シ銃包ヲ黃間ニ送ル  
 撒ケル早合オバトニ(七)ハトシ  
 二舉動

(一) 爪ヲ以テ轉シ火藥ノ際ニ至ル迄皆開ス  
 (二) 銃包ヲ銃口相距ル一柵ノ下ニ安ス



早合リ地ハトコニハ一ニシル

一舉動



○銃口ニ注目シ右肘ヲ肩ノ高クニテシテ手ノ表面ヲ体ノ方ニテ  
包ヲ震出し銃服ニ挿入シ其手ヲ袖ニテ銃一ヲテ拳屈ス  
抽リニ是矢<sup>テレキトクイト</sup> <sup>テニラトストク</sup>

六舉動



①古肘ヲ降下シ食指ヲ屈シ指ヲ添加シ柳杖ヲ取ル

②其腕ヲ伸テ杖ニ準ハ抽出シ其爪公前向ニ向フ

③其手ヲ袖ニテ掌ヲ前而ニ向ケ指ヲ高クシ肘ヲ身前ニ致シ柳杖

ノ上ニテ杖ノ二指ヲ以テ復ニ柳杖ノ正中ヲ取ル

④其腕ヲ伸シ柳杖ヲ畫ク抽放ツ

⑤指ヲ屈シ柳杖ヲ剣ト頭而ノ間ニ頭面スニ列ノ兵士ハ色レが常

⑥前兵士ノ上ノ肩ニ浴ヲ頓回シ直角ニ柳杖ノ厚端ヲ銃口ニ向ハ

シム

⑦端掌ニ柳杖ヲ握リ拳ニ至ル迄銃服ニ降入ス

突テニ若クセテハニシル

三舉動





- ① 右手ヲ伸シテ滑ニ上ケ其細端ヲ拵指ト食指ヲ撮ル
- ② 手ヲ轉向スルナク銃頭ヲ淫シ突キ再口腔ヲ高ク伸ス
- ③ 丹ヒ銃腹ヲ突キ肘ヲ身体ニ安貼ス

收、

||

矢

スナイフトガツク  
テニフトストク

六舉動

- ① 棚杖ノ細端ヲ指ミ半身ヲ抽出シ其手ヲ齧シ其中身ヲ把
- ② 此指リ込矢ノ目ニ同シ
- ③ 此指リ込矢ノ目ニ同シ惟細端ヲ上帶ノ孔ニ致ス

③ 扱ハ込矢ノ目ニ同シ

④ 四指ヲ以テ棚杖ヲ強ク送りト帶ニ五ハ迄降下

⑤ 右手ヲ舉テ小指ヲ棚杖ノ厚端上ニ置キ肘ヲ下ス

⑥ 概扱ヲト 到ルマテ揃入ス

高

ハリ

ハコトク

ハコトク

\*三舉動

① 左手ヲ以テ身体ニ沿テ肩ノ高サニ致シ速ニ右手ヲ以テ銃把ヲ握ル

② 右手ヲ以テ銃ヲ舉ケ左手ヲ故シ床尾ニ安貼ス之ト一齊ニ右

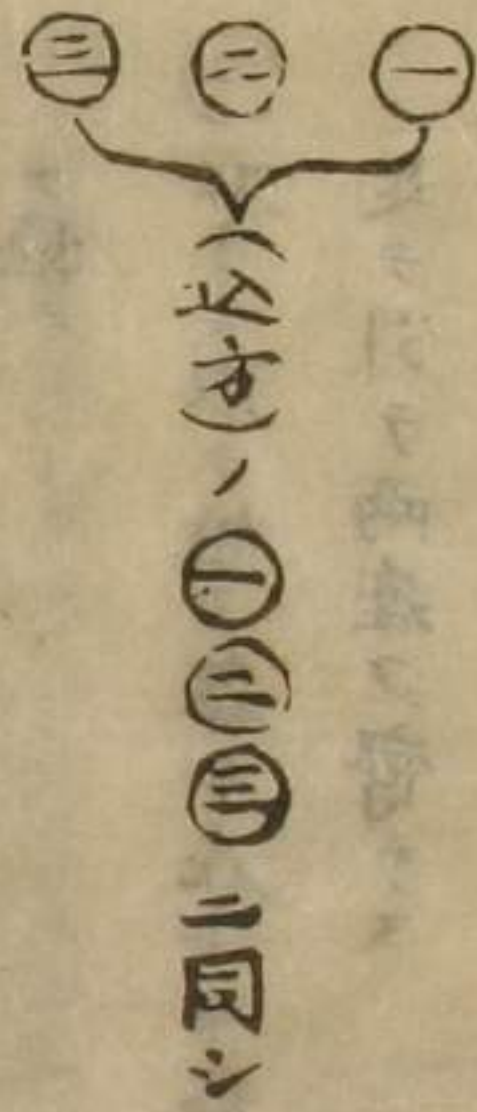
③ 足ヲ引テ兩踵ヲ齊サス

④ 右手ヲ放備ス



(二) 姿勢へ

四 膝動



紐へ

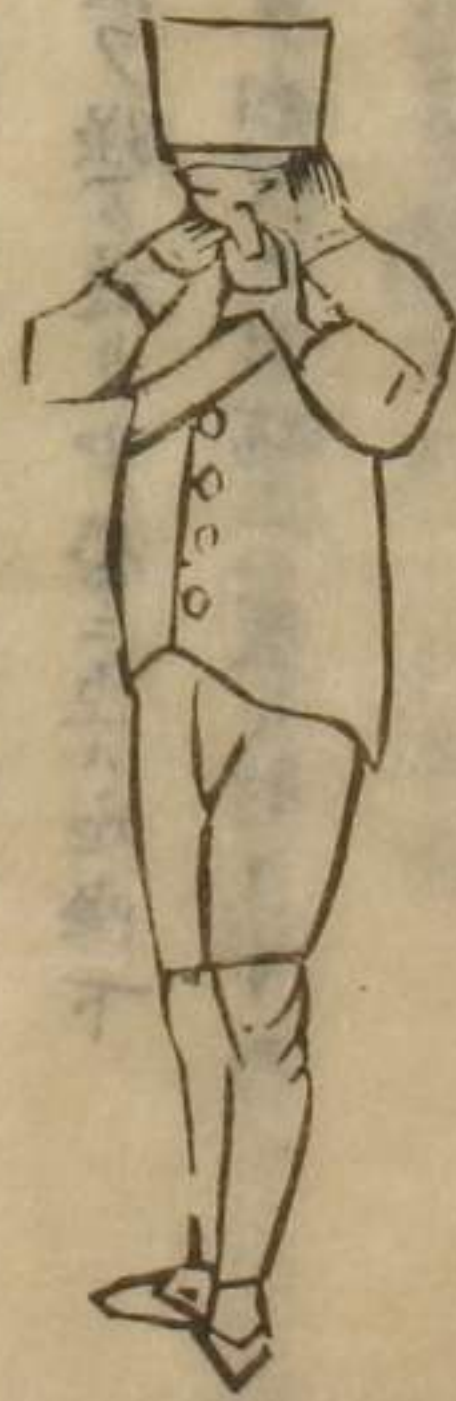
④ 拳金ヲ把シ此把ヲ握リ以方ヲ②ノ姿勢クカス

③ 双手ヲ以テ銃ヲ

高クアゲ左手ノ袖

指又ニ其他ノ四指

ヲ向テ銃架ニ接ス



一 前ノ姿勢

② 銃架ニ付テ

① 銃架ニ付テ

④ 銃架ニ付テ

③ 銃架ニ付テ



② 銃架ニ付テ

① 食指ヲ以テ撥軌ヲ撥ク但 強ク撥テ頭首ヲ動揺スルヲ勿ク

古時トシテ「打テ」ノ令ニ先テ左令ヲ下ス

紐ヲ接テ

第一句ニテ食指ヲ撥軌ヨリ欲ク第二句ニテ「構」ヘノ四ノ姿



勢ヲツフ

放火ノ旨装填ヲ命スルハ左ノ如シ

廻イラトト

二舉動

(一) 上装填(二)ノ如クス

(三) 同第(三)ノ姿ヲス

上ニ反シ銃ヲ肩ニ此フニハ

肩ハリ筒ノスノトレリツトケニル

○ 肩ハニ令ニテ銃把ヲ握リ筒ノ令ニテ肩ニ取リ正面ヲ

○ 準備 后此令有レハ初句ニテ雜頭ヲ下シ銃把ヲ握

ニ句ニテ正句ヲレ右強フ左及ニ近接シ銃ヲ左肩ニス

持ルリ筒ノスノトレリツトケニル 一舉動

(一) 装填 (二) 同シ持正面ノ一行ノ

(三) 右ナニテ銃ヲ換回シ正直ニ左肩ノ前ニ致シ速ニ左肩ヲ以

テ機板ノ上ノ握リ筒ヲ身体ニ附ス

(一) 持銃ノ人ノ姿

(二) 持銃ノ人ノ姿

(三) 持銃ノ人ノ姿



者ハリ筒

二舉動

(一) 右手ニテ銃ヲ換回シ左肩ニスルノ常ノ如シ

(二) 右手ニテ銃ヲ







接ニ柄杓ヲ抽キ餘腹ニ挿入ス

○古来テ之ヲ改メハ右手ニテ銃ヲ舉ケ左手ヲ以テ

帶ト機板ノ間ヲ握リ起シ高サニ致ス

○古筒ヲ検査スリ之ヲ返スガハ右手ヲ以テ受取リ

故ノ如ク右轉レ柄杓ヲ故孔ニ收メ原向ニ復ス

古上ニ至リ佳銃鑿ヲ付テ使トト致ス

列ニ以テサハヨクナリナク

一舉動

○古上改メ筒ノオノ姿ニテ倒ラケテ原向ス

或ハ剣ヲ付テ火筒發射後検査スルニ

一舉動

○上ト同法ヲ以テ矢ヲ筒へ入レ正面ノトシ銃檢ヲ受ク三列ノ

兵改テルヲ待テ故ノ孔ニ納ム

○放發後ニ検査ハ銃ヲ高舉スルナシ古唯七次ノ最端ヲ以テ

一舉動ニ放發ノ有無ヲ檢ス

二舉動

○右手ニテ進ニ銃ノ左肩へナシ左手ニテ床尾ヲ握ル

○右手ヲ東レテ常ノ如クス

○左ニテ肩ヲ握ル

○右手ニテ銃頭ノ下一掌ノ處ヲ握リ少ク高舉ス

○左手ニテ床尾ヲ握リ臂ヲ横ニテ銃頭ノ支ヘキ心ヲ右乳





上ニ安ス  
 ③ 右キヲ垂ノ、



五舉動

後ヘリ尚ダイラフルリヘツト

① 右手ニテ銃把ヲ握ル

② 左キヲ床尾ニ致ス

③ 双手ニテ右肩ニ致シ機板ヲ上面ニ向ケ肩ハ高サニ致ス

④ 創突ヲ頭ヨリ三掌ノ高ヨリ

⑤ 左手ノ少間ニ床尾ニ浴テ右手ニ接ス右手ハ遠ニ左手ノ上

ヲ越ヘ下方ニ向ケ床尾上ニ置ク即チ槍ヲ前ニ甲ヲ上

ルニ時ヲ會テマ

⑥ 左手ヲ常ノ如ク安下ス



有ヘリ尚ダイラフルリヘツト

⑦ 左手ニテ床尾 取ル之ト一齊ニ右手ヲ放チ銃把ヲ握







掩へり竹ヲ端キトコト

\*三舉動

- ① 右手・以テ銃ヲ握リ 相指ハ剛板ニ當テ 食指ハ縦頭ヲ  
支ハ床毛ノ位地ヲ 変ヒルヨウニ銃ヲ肩ヨリ 離スル
- ② 左手ニテ下帯ヲ押ハ 相指ヲ 切杖・上ニテス
- ③ 銃ヲ前ニ俯セ 左脇内ニ 致ス之ト 二齊ニ 右手ヲ常ノ  
如クス



肩ハル角 米三舉動

- ① 左手ニテ 米三舉動ヲ 肩前ニ 寄テ 右手ヲ以テ 銃把ヲ  
握ル

- ② 左手ヲ 放シ 速ニ 床尾ニ 致ス

- ③ 右手ヲ 常ノ 如ク

劍ノ 名ヘハヨクシテ 五

\*五舉動

- ① 劍腕ヒノ
- ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ③ 同ク ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ④ 劍ヲ 鞘ヨリ 抜キ 銃口ニ 持テ 劍腕セノ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



ヲ備ム

⑤ 腰塚ヲ旋轉シ右季指ヲ換杖トニ安ス

肩へハ肩

\*三舉動

①

② 共ニ裝束終リノ首ニ同シ

③

杖へハ肩が斜にトクニ入ルニ舉動

① 裝束ノ首ニ同シ

② 右手ヲ以テ速ニ右股内ニ杖ト左手ヲ以テ下帯ノ前ヲ

抱ヘハ銃身ヲ上ニス細ヲ考フハ正

○ 杖ノ内ニ右季指ヲ入ルニ同シ

○ 杖ノ内ニ右季指ヲ入ルニ同シ

肩へハ肩

①

②

③

ニ舉動



① 左頬ニ身ヲ付シ正而ヲナシ右銃ヲ左邊ニ扱ヘハ右手ヲ

銃ヲ左肩下ニ左手ヲ尻尾ニ攸ス

杖へハ肩が斜にトクニ入ルニ同シ

\*三舉動

廿一





① ② ③ 建銃ノ者ニ

③ 銃ヲ前ニ頭ノ右ニテ膝ニ寄リ床毛地ヲ距ルニ三柵  
 亦ヘリ同

○ 第一ヨテ右至ヲステ銃ヲ止直ニナラ

○ 第二ヨテ右ヘ執ルニ建銃ヨリ右ニ執ルト同五柵リ

① 第三教

① 四節 著換

一 口 喉 迄 肩 不 ホ ス

二 他 以 ラ ト ト リ

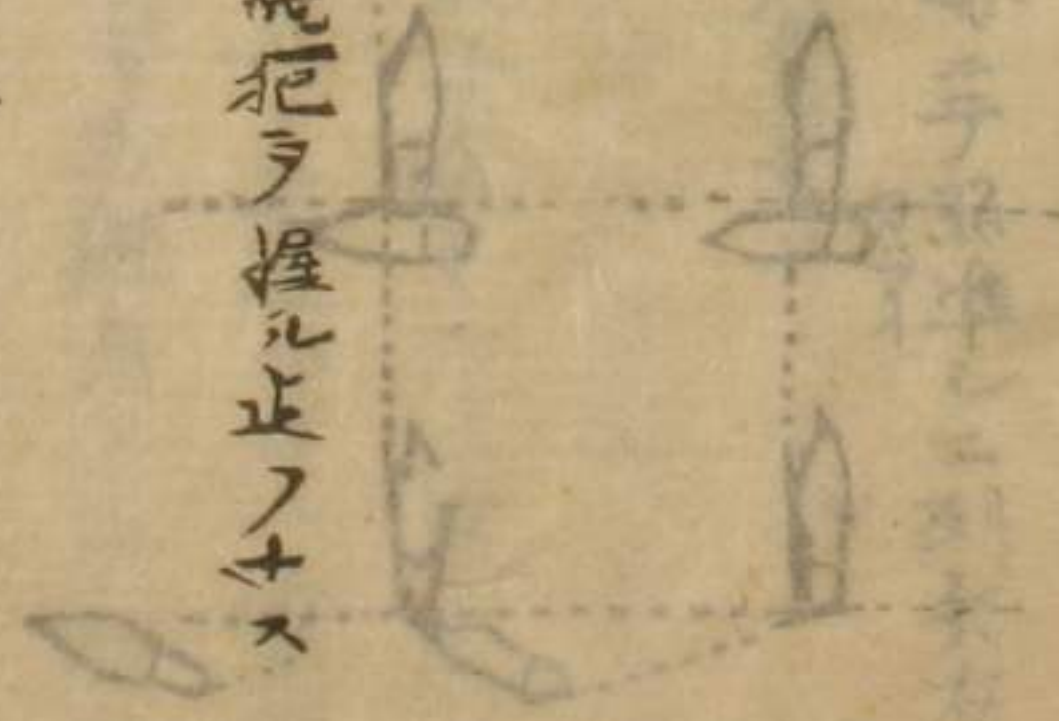
○ 著換ノ要全並ヨリ 難頭ヲ下ニ銃犯ヲ握ル止ノナス

二 爪 ヲ フ ニ

○ 銃ヲ左轉スルヨリ 銃包ヲ著換スル止ノナス

エ ス リ

○ 柄取ノ取ヨケ陣茶ヲ突着ル止ノナス





ロキル...

○棚柱ノ收ノ鏡ヲ看ヌ

キキ四ノラ...

二 色レ...

○良四抄

○小承有致

一 巾居...

二 巾居...

三 色レ...

四 色レ...

五 色レ...

○二今ヲ...

○踏出ス...

古時ト...

色レ...

○各列...

色列...

二 巾居...

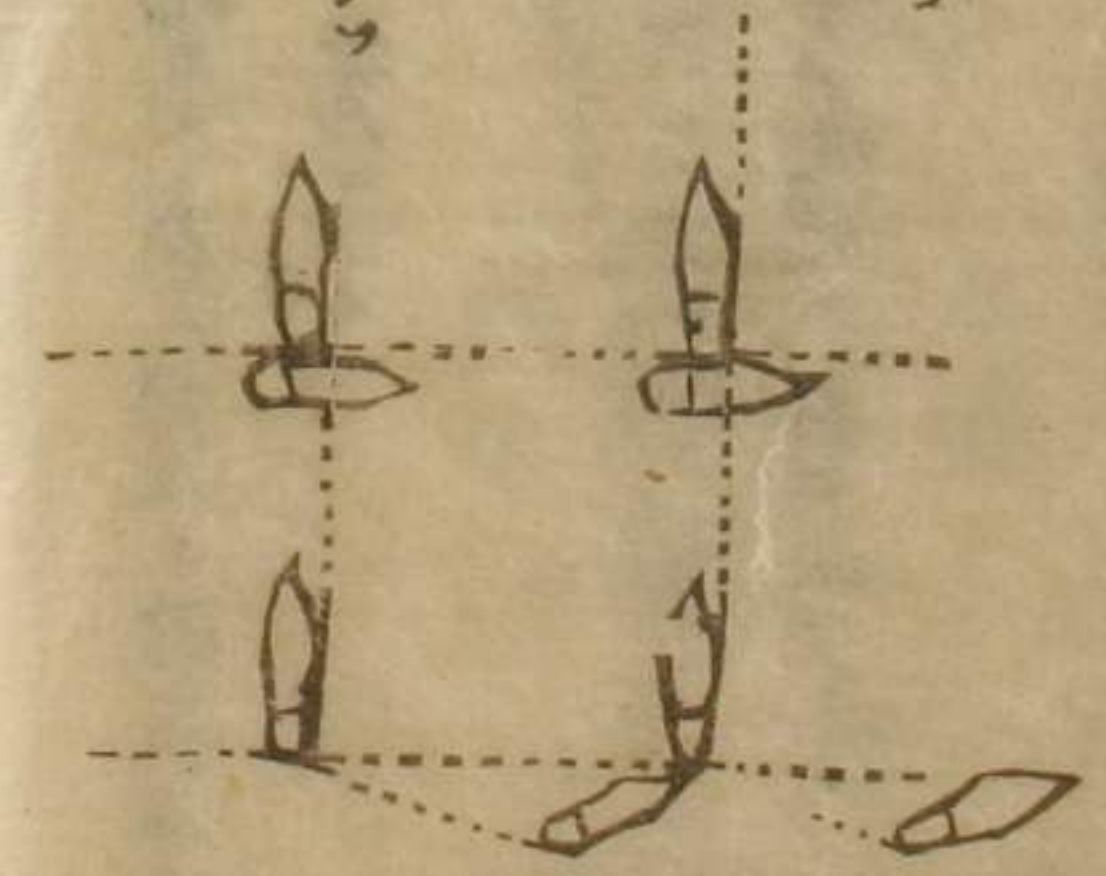
三 巾居...

四 巾居...

三列端部  
△取ノ作  
△左内  
△右内



- 一 巾居...
- 二 巾居...
- 三 色レ...
- 四 色レ...
- 五 色レ...





○都テ小隊齊放ノ如シ但シ「打テ」ノ令後此令ヲ發ス「傾  
銃ノ姿ヲナス

色ハライトト

○此令ニテ裝填ヲナシ次ノ四動作ニテ準備ス

①銃ヲ高舉シ下帯ノ傍ヲ把リ右乳ノ高サニ致シ右手ニ  
銃把ヲ右腕ニ寄セ○進ニテ半右向ヲナシ右足心ヲ左  
踵ニ接ス

②双手ニテ銃ヲ執リ姿ヲ變テ○ノ姿ヲナス

③同②ノ如シ雞頭ニ姆指ヲ安スニテ

④雞頭ヲ起張シ銃把ヲ握ル

○ニ列點放

乙列打テテウキゲンレレニール

ニ 中場ト抜テハ口對射ノ如ク進ミ裝填ヲナス

①第二句ニテ準備スルカニ裝填スルニ至リ右乳ノ高サ

三 打テテカケルト

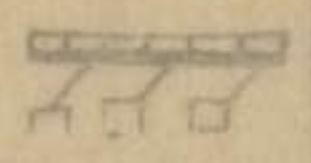
○此令ニテ第一伍點放シ且裝填シ了テ準備ス如斯伍

伍ノ連放ス但ニ伍以下ハ右隣伍放發シ雞頭ヲ再起スル

由共點放ヲ始メシ再度ノ點放ヨリ次ニ

シ方止めハ

○此令ニテ放發シタル兵ハ裝填ノ肩ニ執ル照準セ







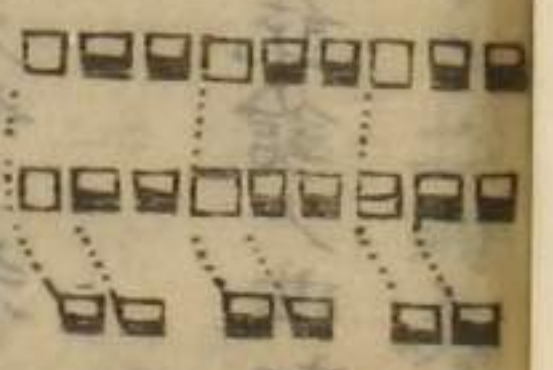


○ 此行進八十二歩或八十五歩ヲ限リトス  
 一 小隊ペントン  
 二 止レハルトス

○ 前脚へ後脚ヲ引寄セ停止ス  
 銃ヲ脚側ニ執ル者各個ニ銃ヲ組マシムルニハ左ノ  
 今ヲ下ス

一 巡リアローロツテ  
 二 ○ 第三第六第九伍ハ右方伍ノ後面ニ轉移ス其次  
 新叙圖ニ示ス

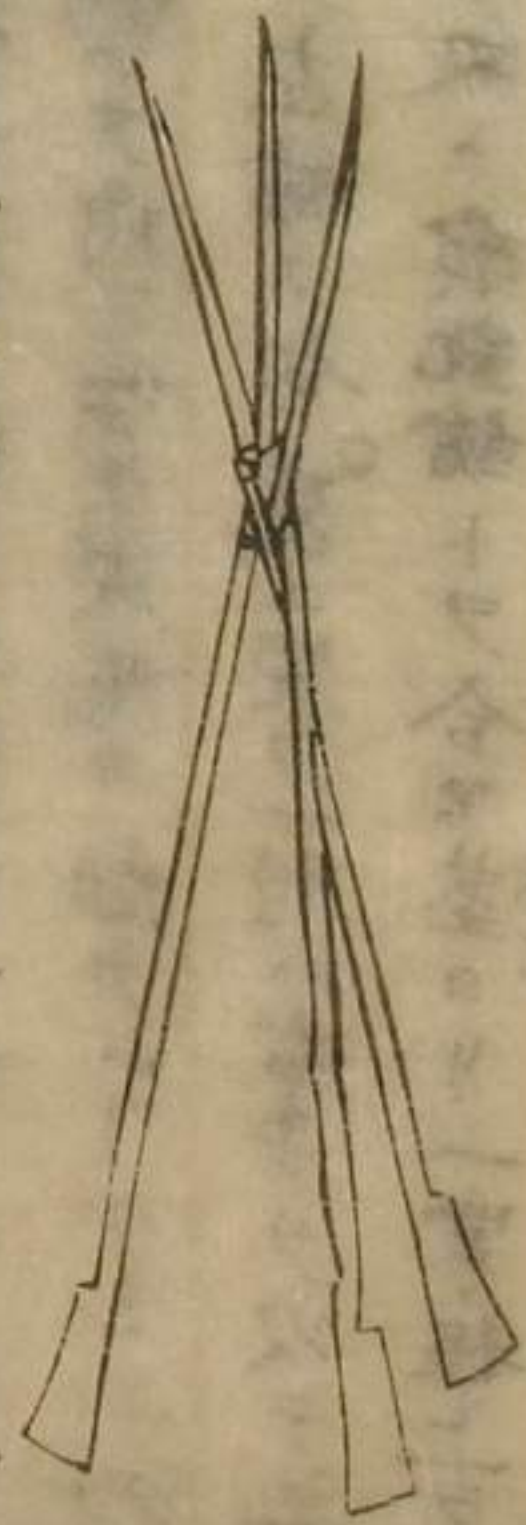
○ 一隊兵六十三  
 ○ 二列ノ銃ヲ前面ニス  
 ○ 三列ノ銃ヲ前面ニス  
 ○ 四列ノ銃ヲ前面ニス  
 ○ 五舉動ノ時ニ



二 筒ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 二十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 三十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 四十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 五十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 六十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 七十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 八十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十一列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十二列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十三列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十四列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十五列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十六列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十七列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十八列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 九十九列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス  
 ○ 一百列ノ銃ヲ右方ニ傾ケ床尾ヲ動カス



三列ハ銃ヲ一列ニ授ケタル后速ニ六歩退ク



③ 一列ハ左手ヲ以テ二列ヨリ受ケタル銃ノ中帶少シ上ヲ握リ自ラ一歩右側ニ避ケ后正面ヲナシ而其銃ノ床尾ヲ左側ニ殺ス一列ニ列ノ銃尾ノ隔リト同シカルヘシ

④ 一列兵右手ニテ銃鎗ノ曲部ヲ保持シ三銃接合ノ

録合ニ注意ス

⑤ 右手ヲ放シ退歩シ二列兵ノ前ニ在ル后列兵ヲ執

クヘン

再ニ銃ヲ執ラシユルニハ

○ 三列ハ立前面ニ進ム一列兵ハ速ニ次カ銃ノ中帶少シ

○ 上ヲ左手ニ持テ右手ニテ二列ノ銃ノ中帶上ヲ握ル

○ 二列ハ右キヲ以テ三列ノ銃ノ中帶上ヲ握ル

二列ハ左キヲ以テ

○ 二列ハ銃ヲ二列ニ授ケ一列ハ二列ニ授ケ面ノ三列兵

ニ銃ヲ右手ニ持テ復位ス



○第三部

上ニ教部ニ熟練ヒル兵五名ヨリ九名迄ヲ一列一連  
結ビ右翼ヲリ一ニノ品第ヲ定メ此教部ニ於テ次ノ  
方法ヲ訓練セシム

○第一教

①整列ノ規則

是初、兵士一名宛教練入其法異兵二名ニ命シ二歩  
進マシメ整頓ノ基礎トニ示テ令ヲ下ス

○此時率繩ニ標兵ヲ除ク外上一部一教ノ後ニテ頭首

ヲ右ニシテ起テ列線ニ後ル下十五歩ノ進メ此列

細歩地ヲ引 四歩ヲ伸シ

前進ノ時兵ノ肩ニ附接ス

、扱スルニ左ノ方ヲ下スヘド

以テ右ニシテ引リテ左ニシテ伸ス

既ニ此規則ヲ會得スル寸ハ

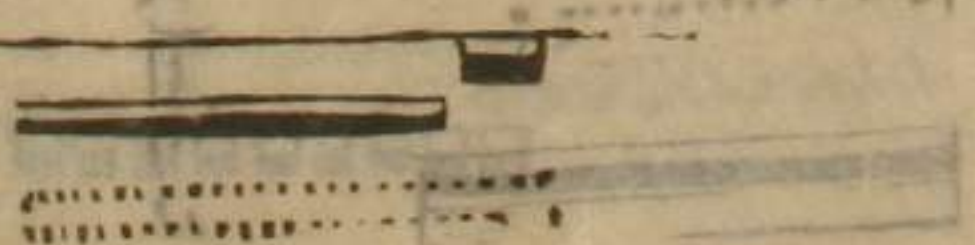
全列齊ニ整頓セシム即チ

左ノ如シ

右方ニヘリ半ハ此方ニシテ

直前百五六歩ノ地ニテ檢檢シ已ニ宜キヲ得ル寸ハ

止ルニ付





○兵士原向ニ復ス

○若シ不整兵アルハ「名上ハハシ」或ハ後方ニシテハ「シトウニシテハ」令ス

眞兵ヲ一二歩後方ニ退カシム

右方迄トヘリ準ヘテ左方ニシテハ「シトウニシテハ」ハリハリトシ

○衆兵ニ標兵ニ注意シ

加テ列線ヲ少許

退縮シ又少シク前進

ノ整山ス

二



○第二教

○正面行進

習熟メ兵ヲ眞ニ置テ指揮セシム

一 小隊毎ヘハ「トレ」ル兵一列トシ

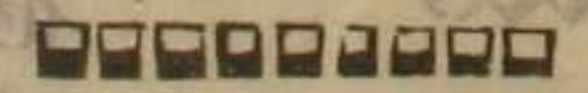
二 各隊左方ニシテハ「トレ」ル兵一列トシ

三 各隊右方ニシテハ「トレ」ル兵一列トシ

三 左足ヨリ速ニ歩ヲ起ス

各兵隊導ノ方ヘ接スル時兵ニ肘ヲ附接ス

間有ノ方ヨリ起ル際追ハ之ヲ肘ヘテ方ヨリ起ルハ之





ヲ抗拒

○若レ隊兵疎開スル寸ハ餘々ニ迫迫メ次第ニ稽母ヲ方  
ハ迫接スル如クスヘレ

若レ斜向行進ヲ命スレ寸ハ階尊ノ賜視ニ個々好放  
卒ヲ立タレム

一 斜に右左ヲコレスレテ介マシ

二 止めマリス

○停止ノ令下ル寸ハ速ニ

○上ラ止高ヲナス

○急歩

此歩ハ一分時間ニ一百八歩トス

常歩行進中左ノ右ヲハス

一 早足デスリシバハ

二 止めマリス

○左右ニ相ラス一階地ニ下リ着ク寸令ス

○再々常歩ニ移ルニ

○直足ヲオキハス

一 止めマリス

急歩行進中「階替或ハ」足踏又ハ「斜行等ヲ施行ス

急歩ヲ始ニハ左足ヲ地ニ着ル寸「ト令レ右之ヲ











○三令ニテ嚮導ハ命ヒラレタノ方位ニ轉ス

側面行進中ニハ左ノ如ク令ス

○中場右向ニ止ルベトレレツツオム

○左めツルヌ

○進メノ令ニテ前条ト同規ニ施行ス練熟兵速ニ

○今ノ前場ニ教ル

○常歩側行ニ熟ス寸ハ急歩ヲ施行ス

四教

○信地旋轉

旋轉翼ニ熟兵ヲ置キ嚮導ヒレハ

一 小隊右旋リケツクツスエシ

二 左旋リケツクツス

○衆兵左側ニ注目スハニ

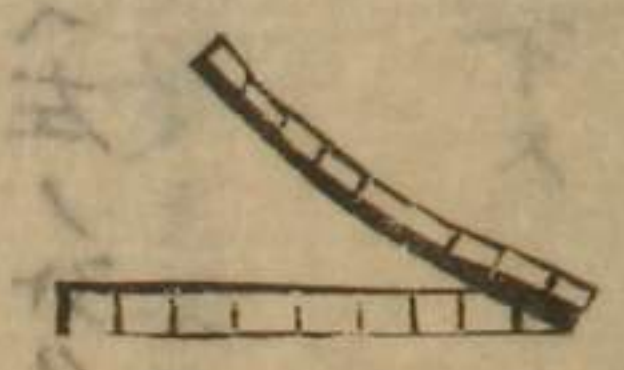
○軸兵ハ歩ヲ擊筋シ旋

○翼ニ從フ

○翼兵ハ二跨ハ十八段

○左旋リハ之ニ反ス

○此旋轉ニ圍圓ヲ畫シ數回歩セシメ參差出ヘナカ





○ラジム  
一 小居ペリトン

二 止きハル

○古翼端ノ二名ヲ拔擢ノ新線ニ整へ左ノ如ク令ス  
左へ(右)ハ中へハリケス(ラウ)リ

○全列整頓了テ

変色ス

都テ此施田ハ兵士翼端ニ注目シ身体ヲ旋軸ノ方ハ  
近迫スヘシ

○已ニ習熟スニハ行進間ニ此運動ヲ行ハ

都テ習熟ヲ對ノ方ヘ旋ルニハ左ノ如ク令ス

二 右ノ旋リ

一 止きマル

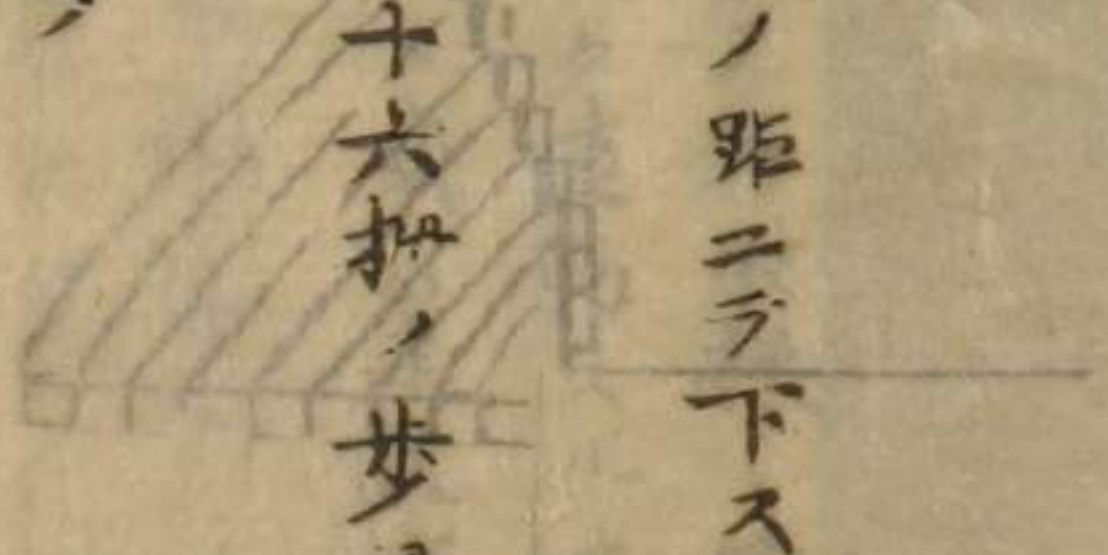
○一令ハ轉廻標ニ進クニ二歩ノ距ニテ下ス  
○二令ハ已ニ列リ着ク寸下ス

○旋軸ノ兵ハ信地ニ轉回セス十六歩ノ步ヲ以テ小  
半圓ヲ畫ス

○旋回了ラントスルニ歩前ニテ

一 前へホルル

二 止めマル





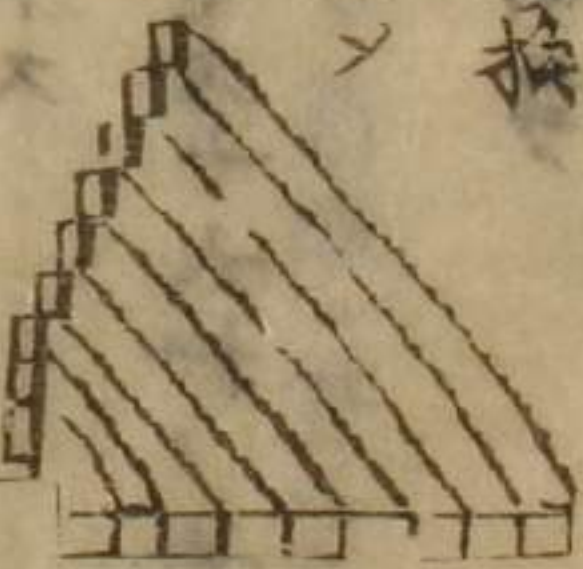
○二令八奎ヲ挽回了テ聲唱ス爰ニ於テ軸兵ト即チ六  
十、抑ノ歩ニ復スヘシ

○習導ノ方ヘ直線交換

全列折旋標ニ近ク一ニ歩ニシ

一 此れ左(右)ヘシレドトコレク

二 此のヨリス



○此令ニテ習導ハ歩ヲ一ニ歩ノ聲ニシテ

伸縮スルヲナク定歩

ニ行進ス他ノ兵ハ馳

散スルヲナク急歩

此直線ニ進入シ即チ習導ノ方ニ注目シ右正後ノ

行進スヘシ

都テ生兵教練ニハ銃ヲ執ラシメテ技操レ味ヲスル  
ニ及テ銃ヲ執ラシム然レ兵亦ク連動スル寸ハ痕キ  
スルル故ニ銃ヲ臂肉ニ執ラシメ或ハ走銃信地休憩  
等ヲ數々施為スヘシ

生兵略解



○教習を終左ノ事件ヲ施行スヘシ

警ルル所

釋ルル所

・撤収ヲ加ニシ銃ヲ舉ルテ左掌側ヲ對ス

小隊右側ニ向ケ

・右側面ヲノス

故ニリキヤメイテツツルルニス

・左掌ヲ現露ヲ撰テ各亦ニ渡ス

一 隊ノ定則

夫レ百羅屯隊ハ二列ノ兵ヲ以テ之ヲ編  
制シ百羅屯司令官設幾室司令官借職下  
長及七押伍官等各一名之ニ添加シ此諸  
官一二戰隊ノ班次ニ從ヒ排開スル定則  
ヲ照シ以テ之ヲ布置スヘキナリ  
夫レ百羅屯探練ノ時ニ方リ長官或ハ下  
長ヲ撰舉シ以テ指揮ノ任ニ充ツ乃チ之  
ヲ教師ト稱スル身ヲ依ニテ各員ノ  
教師。各位ヲ稱舉スルヤ須ク符号ヲ以



右翼ヨリ左翼ニ移テ次叙スヘシ其冬  
 共ニ在テハ乃チ其本列ニ於テ各自ノ符  
 号ヲ了會セシムヘシ  
 教師操練ノ際ニ於テ講示スルヤ務テ簡  
 明ナルヲ要ス而シテ若シ兵士ノ失誤有ル  
 フ見バ寸ハ乃チ一二ノ言ヲ以テ之ヲ補  
 正シ或ハ百羅屯司今官ニ命シ之ヲ整復  
 セシムルヲ要ス  
 定則終

此令符  
ハ告諭  
ノ令

歩操袖珍第二編

小隊略解

第一教

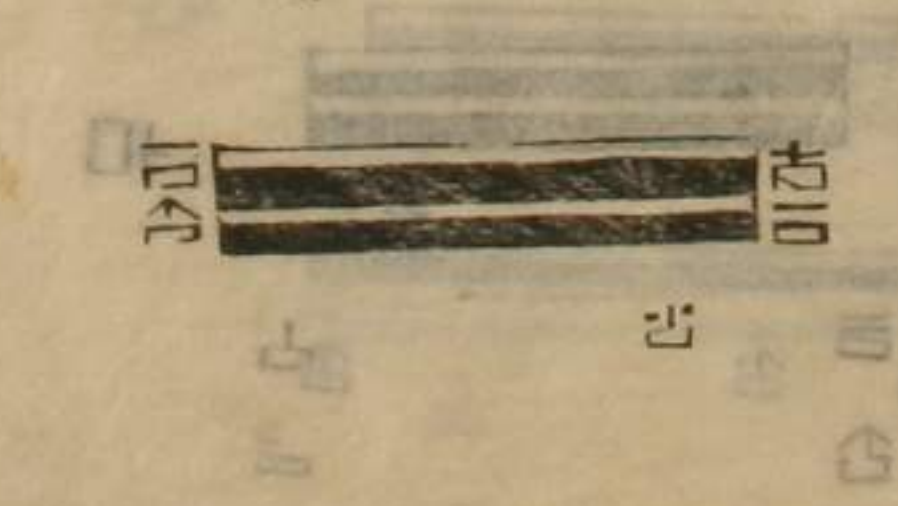
第一套

開列ノ前一名ノ押伍ヲ

左翼ニ配置ス

一 氣ヲ普ケル小隊 ゲイフトアクト

二 肩ノ筒 オッフスコイ下シ  
ルダウエール



△押伍

其二



其二

三

後列後トヘ

ケレトシテ  
ワルツオトキ

一ノ今ニ因テ  
ヨリ四歩  
リニ歩ノ地ニ退クヘン



ト

古

言  
古

古  
古

其三

四

開ケマルス

上人令ニ因テ  
近接メ整頓ス



ト



古

古

古

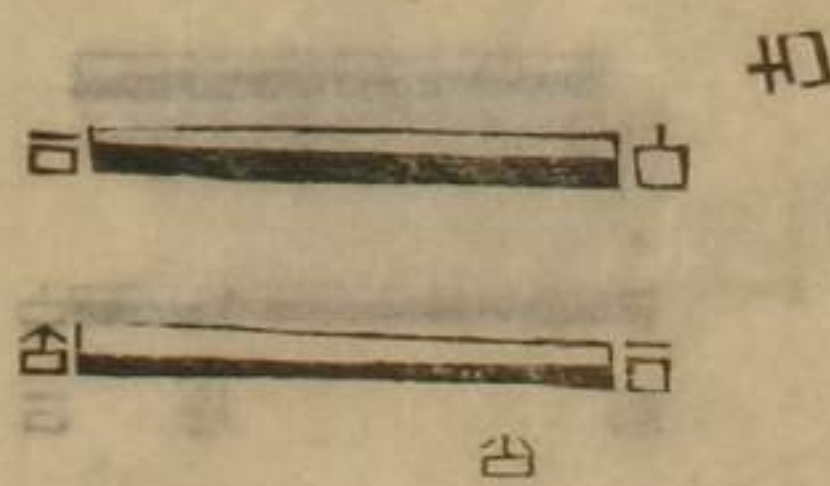


其四

直レスタート

諸官原位ニ復ス

古ハ一列ハ二列ノ姿勢  
ヲ検査スヘシ



其三

第二套

左翼二位ノ押伍古ノ命

ニ因テ押伍列ニ入整ス

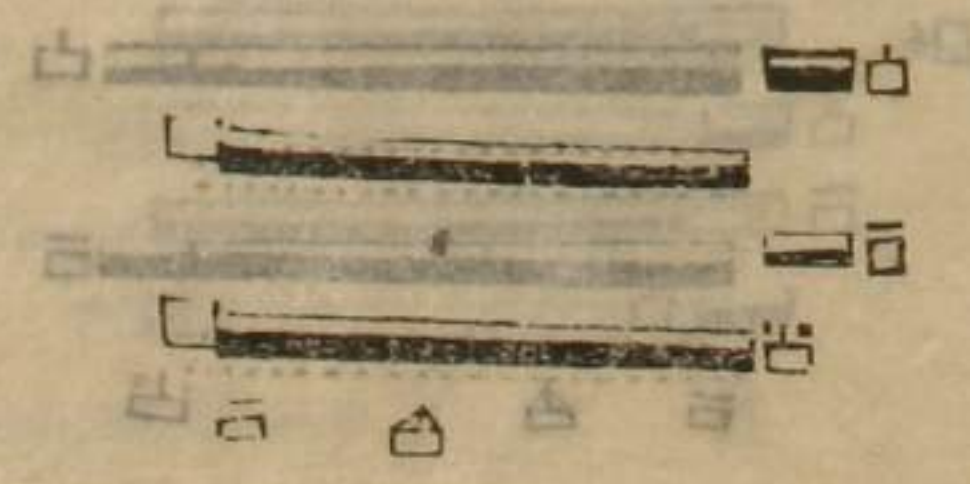
○右翼或ハ左翼ニ伍ヲ

ニ三歩進マシメ整頓ス

基礎タラメ尤ノ令下ス

右(左)ル準ヘ  
レクツヘリニクニ  
||リストエー

古ハ一列ハ二列ヲ検査ス



古  
△押伍  
△整頓

△右三細前  
△此六五尚  
△右三細前



碎口首

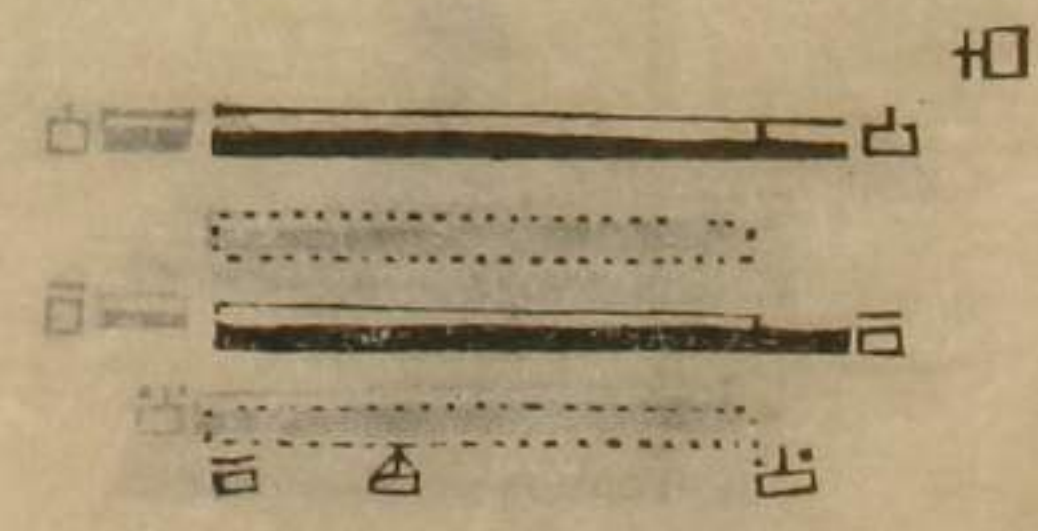
左方整頓  
合司令差  
左翼  
押伍二  
列二出ル  
整頓手二后  
合司令差故  
押伍退

紀律圖一

其二 隊首二 隊尾二

直レ スタート

左翼整頓ノ法モ唯之ニ  
反スルノミ以下推テ知  
ルヘシ 隊首二 隊尾二  
命



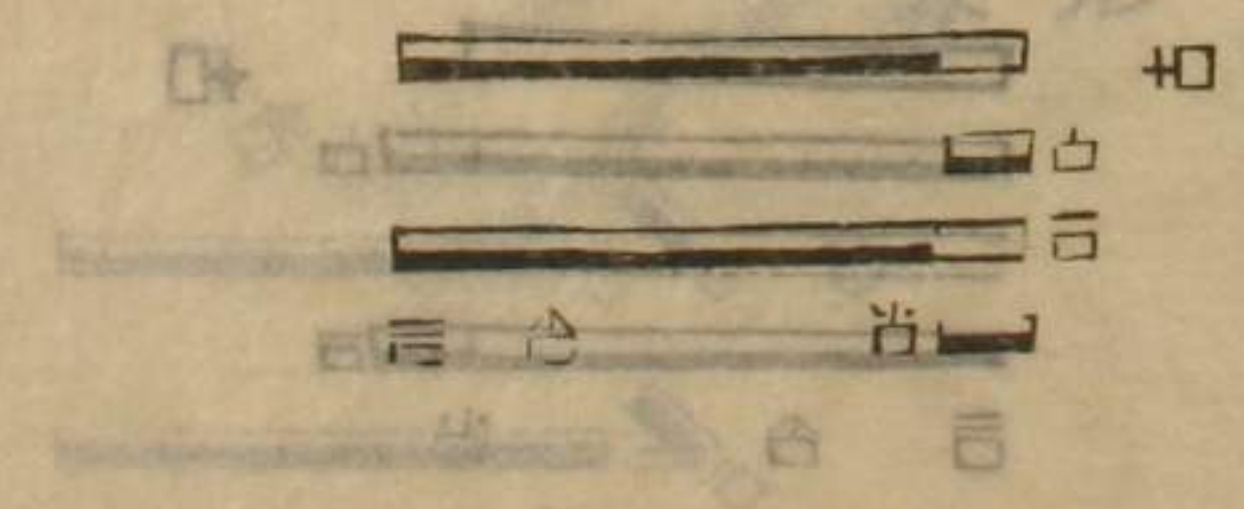
其三

翼兵三伍ヲイ後方ニ用ル  
退歩セシム律上

後右(左)ヘ || 準ヘテア  
ル

右方一ルズレクツ(リシク)ス  
リフト、ユー

其四

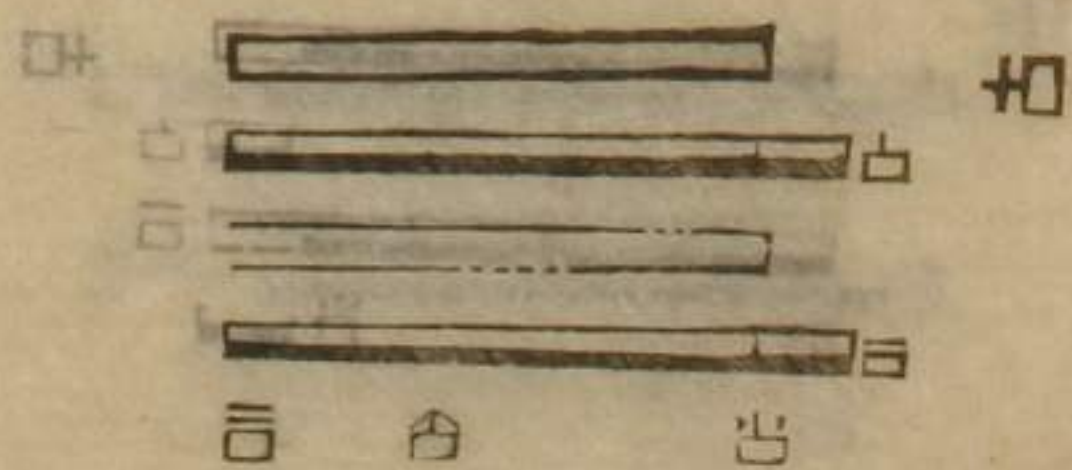




其四

直レスタート

直レスタート  
其四



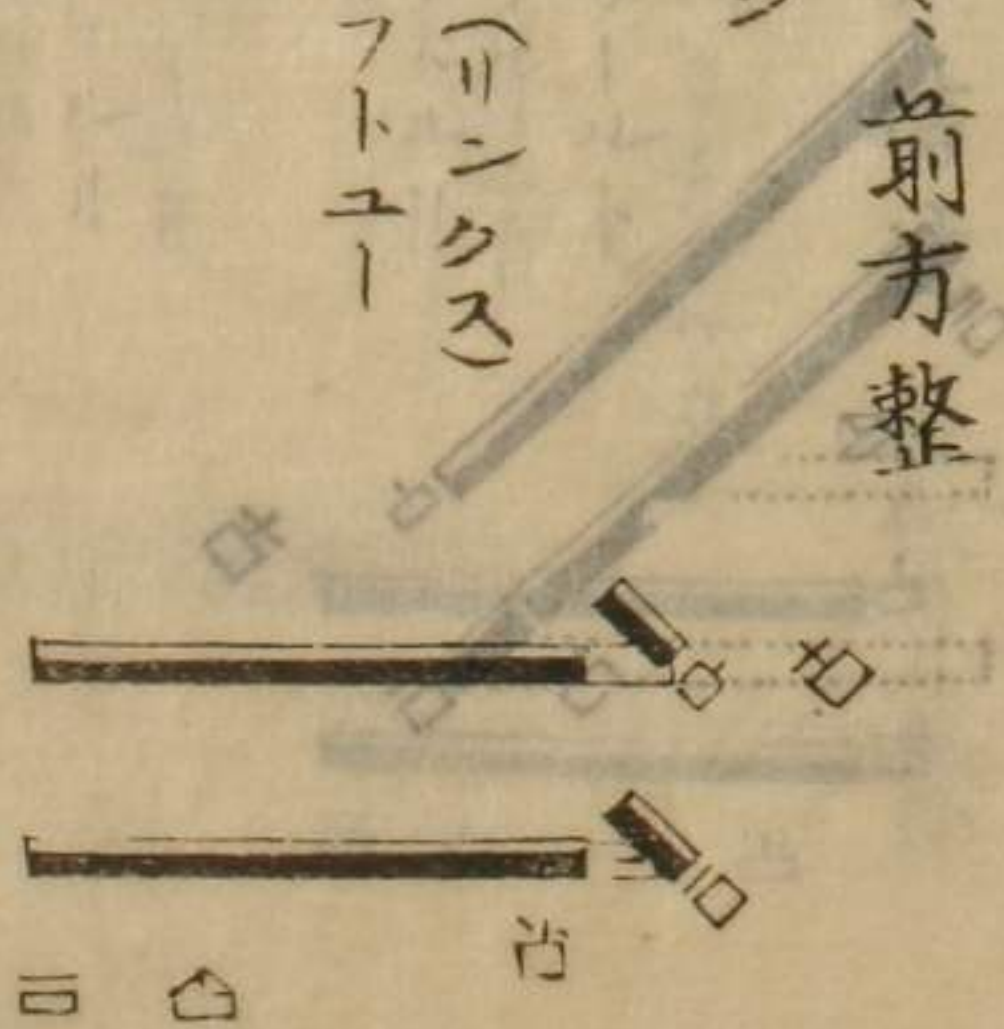
其三

其五

占二向  
左(右)有  
前へ  
全右左三組  
同合三三  
準へ  
全有二尚

斜線整頓ハ古時トノ用ル  
アリ此紀律上ニ前方整  
頓ノ法ニ依ルベシ

右(左)へリ準へ  
レクツ(リニクス)  
リフトユ一



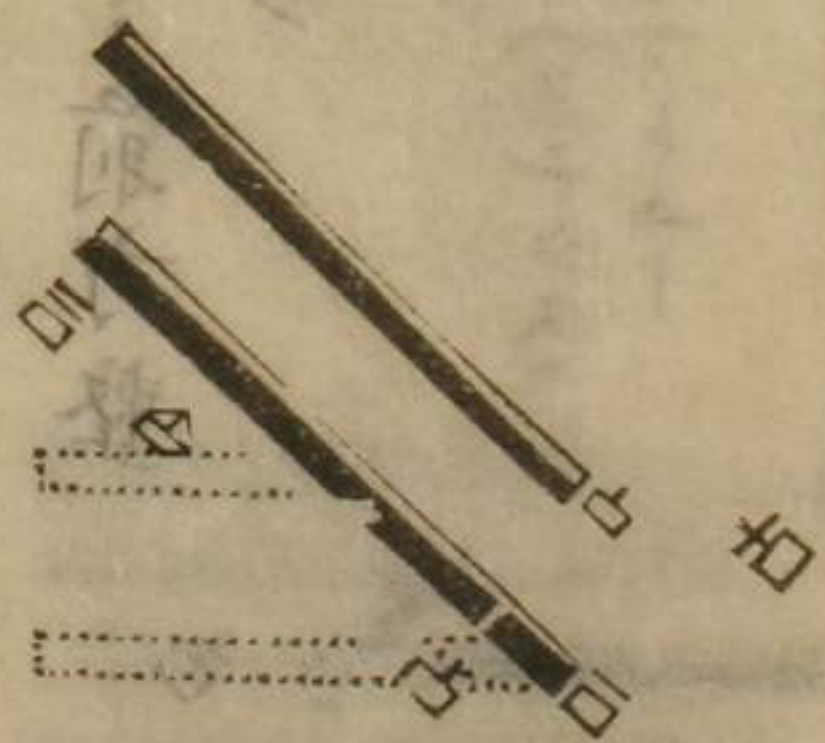
其六



其六

直ノスタート

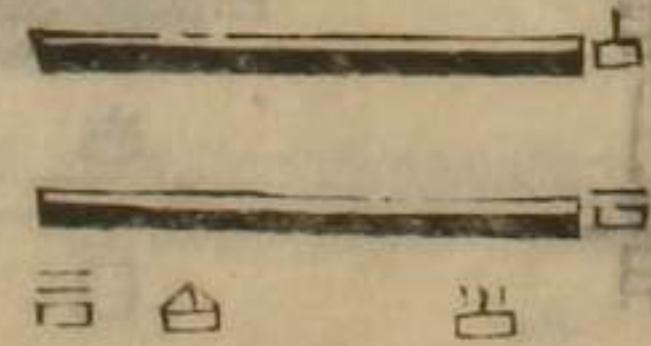
此のホニ新ハシ  
マレハ地盤土  
陰影壁障ハ古板イハ用ハ



第三套

此技藝ノ教操中古ハニ  
列通覽ス可地區古及ヒ  
押伍ハ銃ヲ降着メ信地  
ニ苗在ス  
棒ノ筒  
肩ノ筒  
立ノ筒  
肩ノ筒  
臂ノ筒

スレセニテールト  
ハダケトル  
オツブスコールドル  
ゲウエール  
セツトアラ  
ケウエール  
オツブスコールドル  
ケウエール  
イニテール  
ゲウエール



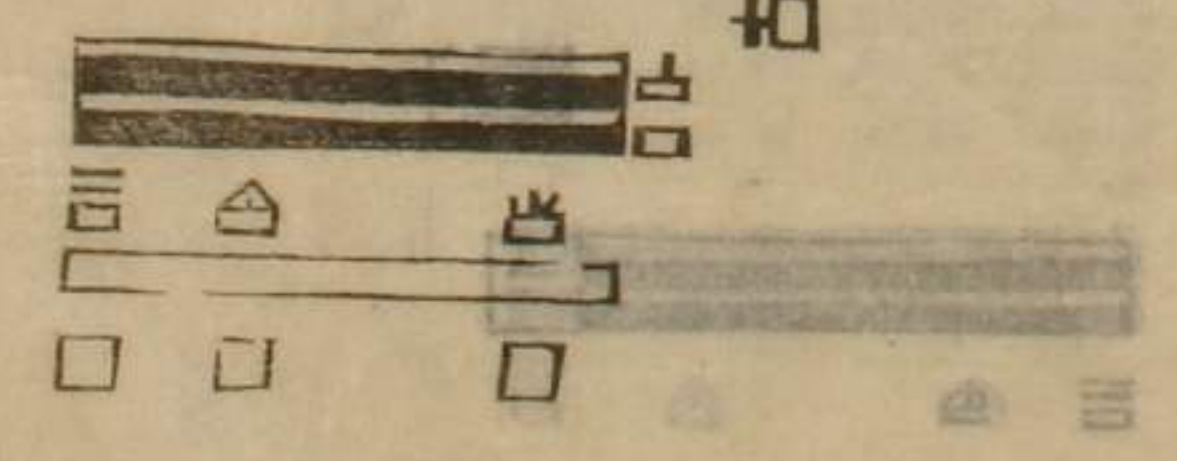


搭 || 筒  
 臂 || 筒  
 肩 || 筒  
 構 || 筒  
 有 || 筒  
 十二段 込方  
 一 込イ  
 四下セ || 打金  
 七 開 || 早合  
 十 突 || 着  
 オトフル  
 ガウニール  
 トニテニアルムリ  
 ゲウトル  
 オツブスコールドル  
 ダウニール  
 ヘルドリ  
 ゲウニール  
 オツブスコールドル  
 ゲウニール  
 ラーツニグーニートワル  
 テレホス  
 二 拳 || 赤金  
 五 筒左  
 八 早合 込イ  
 十 納 || 込矢  
 三 管 || 着  
 六 取 || 早合  
 九 抜 || 込矢  
 十 肩 || 筒

古時トメ(提へ || 筒  
 節ヲ施行ス  
 オムラーグ  
 ノ一

第四套

一 後列 闕  
 二 進メ マルス





第五套

閱列整頓モ上ニ同ク  
翼兵ヲ前進ス

右ヘハ準ヘレクツ  
リフトリ

10



言 合

其二

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

此教操ハ上ニ開列整頓ト

異ナルヲナシ「後方」及「斜

線」共ニ上章ノ紀律ニ從テ

教操セシムヘシ

其三



言 合 合



其三

兵士ヲ休懃セシムルニハ「臂へ」筒

或ハ「立」筒

令ヲ下シル右左ノ令ヲ下ス

其後「休」メ

信地ヲ退テ休

立「筒」

二「筒」

三「筒」

其二

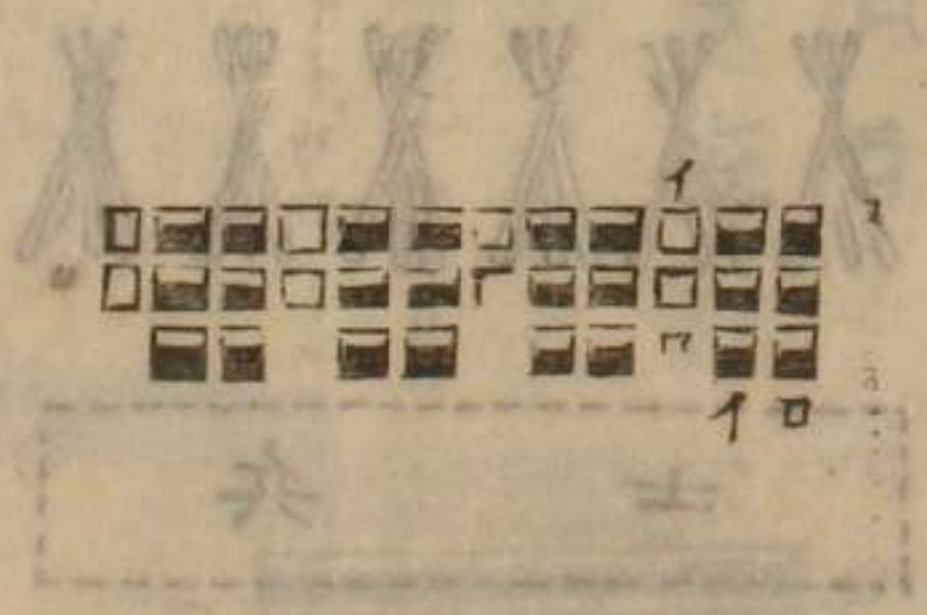
第一圖

ア「筒」

二「筒」

第一伍第二伍ノ脊

後ニ轉位使ル圖





第二圖

列左一ルノ令ニ  
因テ銃ヲ組テ退  
歩シタル圖



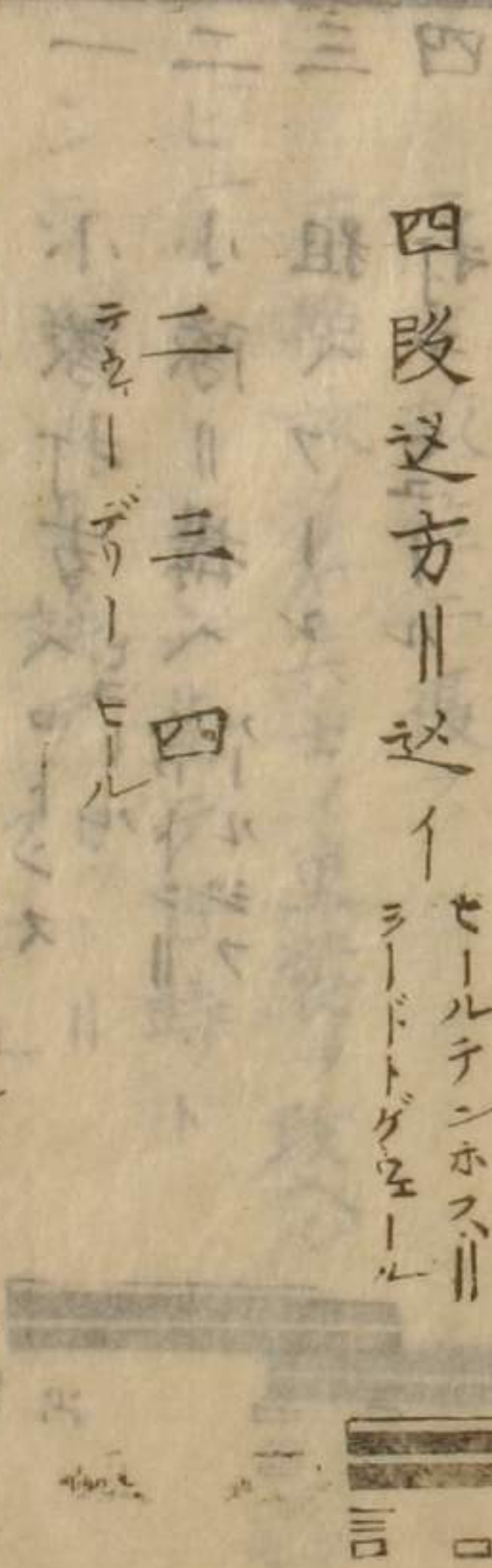
士 兵

第二教

第一套 第一節ニ於テ右ヨリ  
以方ノ第一節ニ於テ右ヨリ  
半右向ヲ為ス兵士銃ヲ左  
轉スル寸正面ニ復ス

四段送方州込イ

急キ込方州込イ





古發放  
右兵士  
可ニテ重  
装ヲ改ム  
全列ニ豆  
前ニ進  
建ハ尚  
全列ニ前

第二套  
一 小隊打方ヘロトンス  
二 小隊ハ構ヘハロトシハ  
三 狙ヘフリン  
四 打テヒユール  
五 込イラトト  
第一令ニ因テ占百退歩諸種ノ點放皆  
然リ○占百及ヒ押伍トトル  
ニ因テ銃ヲ降着ス○第五令ノ後兵士  
銃ヲ肩ニ執ル

其ニ  
一 古打止イロツフェル  
二 兵故トヘストロツテ  
第三令ニ因テ占百銃ヲ肩  
ニシ故位ニ復ス  
古點放ノ后兵士ノ重装ヲ改シ  
ヒユール令ニ先テ古時ト  
シテ狙イハ換テアツトリ  
令ヲ下ス



今第三套

- 一 各列打方ヒゲレテレン
  - 二 小隊ハ構ヘハペロトジレ
  - 三 或一番ハ担ヘテケレテ守エールステ
  - 四 打テヒュール
- ヒュールノ右古間歇ナク速ニ左ノ令ヲ下ス  
 込イラドト
- 兵士装填ノ速ニハ「ルシ」ノ姿勢ヲ為ス  
 古「ロ」フエ「ロ」令ヲ下ス寸ハ兵士速ニ  
 装填ノ銃ヲ有ニス

第四套

- 一 二列打方テケレレデレンヒュール
  - 二 小隊ハ構ヘ「ロ」トシ「ル」ル
  - 三 打懸「カ」ルゲ「ル」ト
- 第一伍點放シ畢テ撃金ヲ起張スル寸  
 第二伍照準ヲナス其次叙遠テ左翼ニ  
 到ルヘシ



第五套

後口打方

ニールアクテルタールツ

小隊右向ニル廻レ

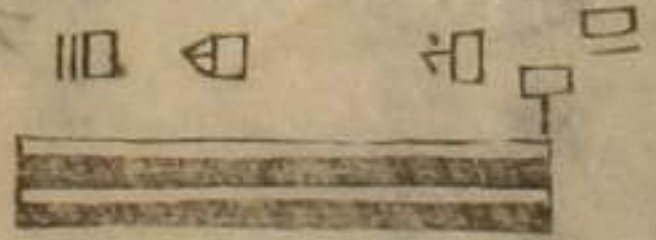
バロトシレクツ  
オムリケールト

クツ才凶ノ令ニ因テ

押伍ハ占口ノ空位ヲ通

過ノ列ニ向テ正面向ヲ

為ス



其二

諸種ノ點火正面向ニ異ナ

ル一ナシニ列點放ニ於テ

ハ左翼即今ノ右翼ヨリ

始ム





其三

一 向キ復レ インフラロント  
ヘルステルレン

二 小隊右向ニ || 廻レ ポトシレクツ  
オトクールト

上章ニ相反スルノミ



第三教

第一套

一 右隊前面二十或八十五

二 歩隊地ニ立ツ

三 一小隊前へ

四 進マハス

五 出第一令ニ因テ直線六歩地ニ立ツ

六 歩法乱ル、寸ハ

列整

此令ニ於テ兵士古メ歩法ヲ照テ行進ス

三 台



第二套

一 小隊

二 止レハルト

古於古命スルニ非レハ信地

ニ入整スヘカラス

列乱ル、寸ハ翼兵三伍ヲソ

前進、整頓セシムヘシ若シ

之ヲ要ヤス、修正セ使ルニ

列正セ

古何番後トヘ

古何番前ヘ

第三套

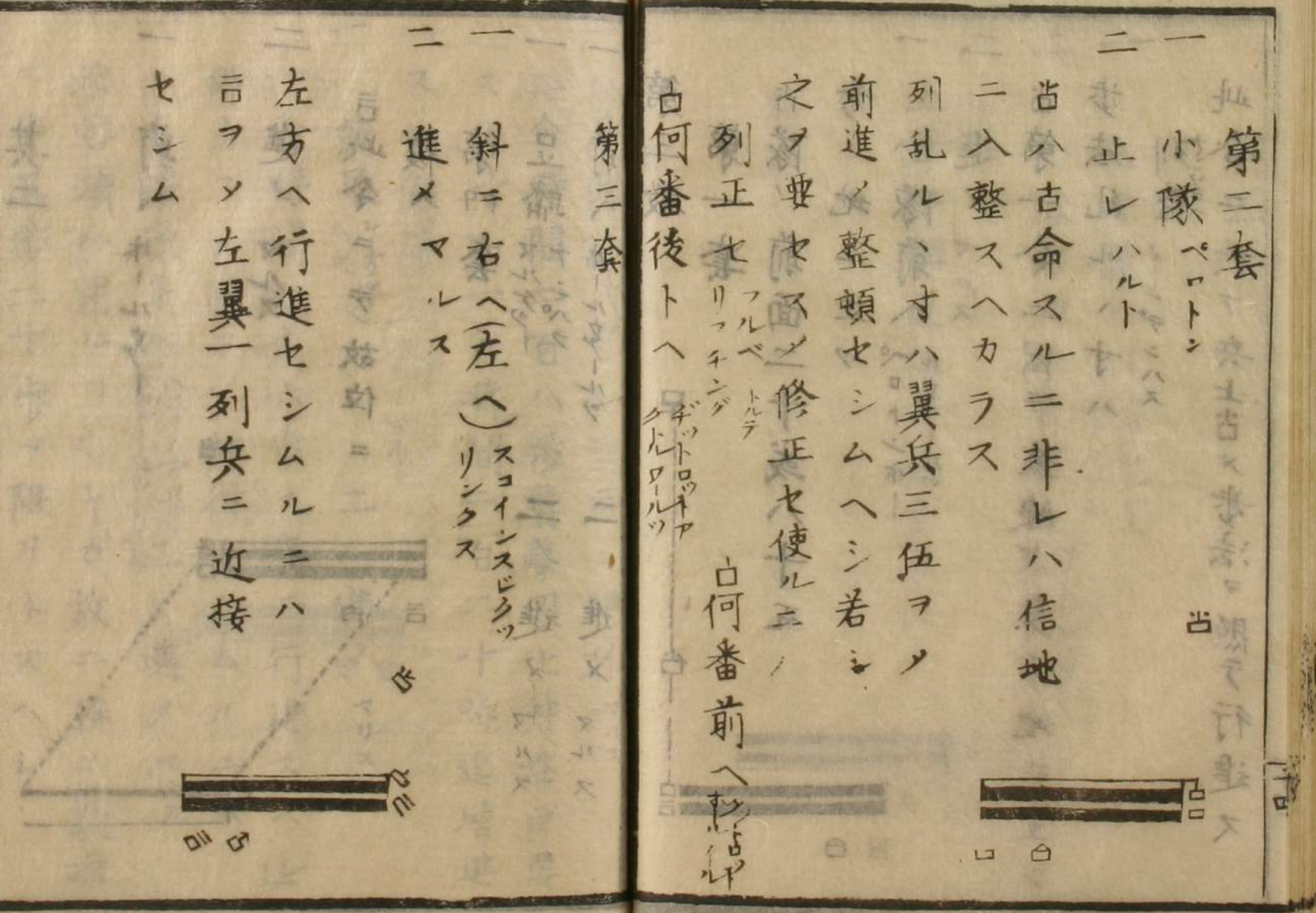
一 斜ニ右ヘ左ヘ

進メマラス

左方へ行進セシムルニハ

言ヲソ左翼一列兵ニ近接

セシム









若此行進  
中列ニ右  
進ノ  
今ヲスル  
言速ニ今  
一列右ヨリ  
到ル前へ  
進ニテ  
後位ス

第五套二十歩  
一 小隊ベロトシ  
二 右向ニレ廻レケルツオム  
兵士既ニ背面向ヲ爲ス  
寸ハ  
一 小隊前へベロトシホー  
二 進メマルス  
第一令出テ出ハ押伍列ヨリ六歩ヨリ  
押伍列占ハヨノ空位ニ轉位ス



其二

上章ノ法ヲ行進間ニ於テ行フ寸ハ  
一 小隊右向キ廻レベトニレクツオム  
二 進メマルス  
諸官ノ施行上ニ前面及ヒ背面行進ノ  
法ニ従フヘシ就中出ハ速ニ位地ヲ交  
易スヘシ

其三



其三

開列ヲ以テ背面行進

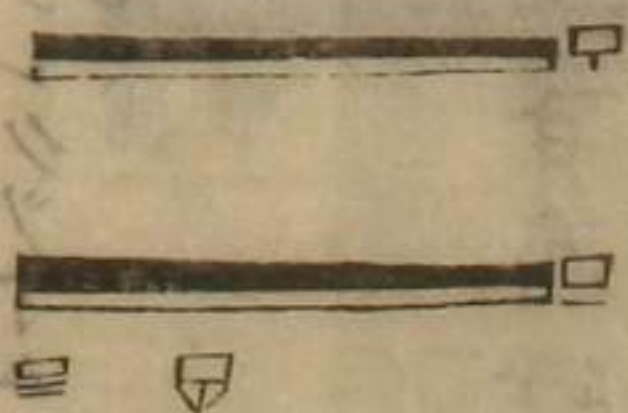
ト及ヒヨハ戦隊ノ本

位ニ安住ス

停止ノ後整頓セシム

ルニハ正面ニ回復メ

前条記載ノ法ヲ用ユ



第四教

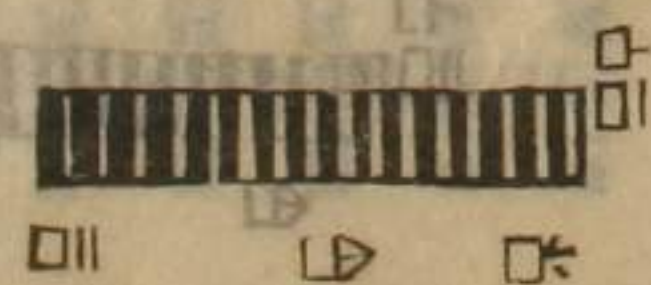
第一套

一 小隊右ニ向 ベロトシレ多

二 小隊前へ ベロトシホル

三 進メ ホルツ

第二令ニ於テ諸官及ヒ兵  
七動作ヲ為スヘシ





其二  
左側先頭ノ片  
令詞前ニ反ス

第一令ニテ 直ニ一  
列ノ左側ニ移ル 占連ニ  
左翼ニ到テ言ニ併立  
口ハ占ノ空位ニ位ス



其三

一 音組々合セ  
二 小隊右ヲリ向  
三 小隊前へ  
四 進メマケ

第一令ニテ二列ノ兵士  
二步退ク

第二令ニテ偶数伍右隣兵士ノ背後ニ進整ス  
左側面ノ寸ハ偶数伍右隣ノ背後ニ退整ス





其四

一 組々合セロツトフルシツル

二 進メマラス

第一令ニテ第二列ハ

右ニ倚ルヲ一步

第二令ニテ偶數伍ハ

右方ニ斜行シ伸歩メ

奇數前伍ノ右ニ連綴スヘシ



其五

左翼先頭ト為ル寸ハ

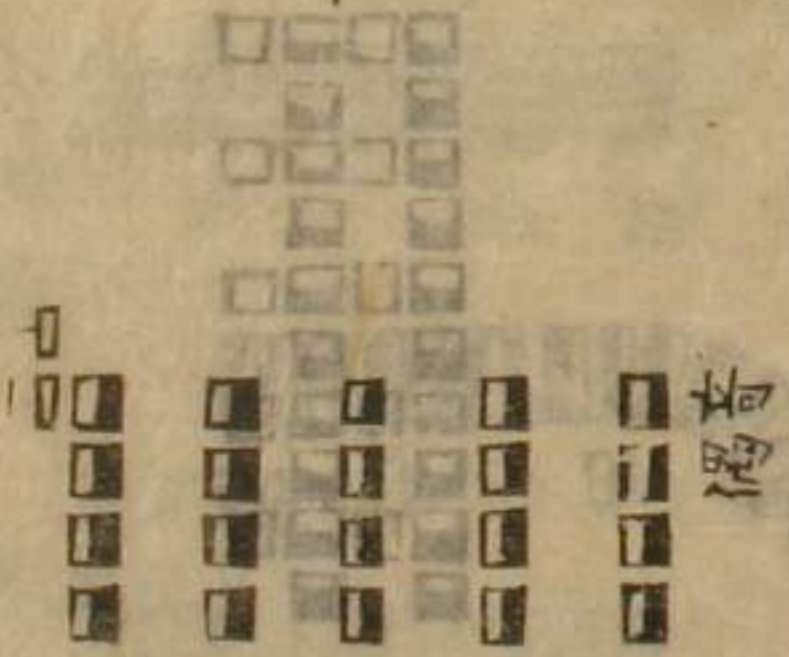
第一令ニテ第二列左

ニ開クヲ一步第二令

ニテ偶數伍左方ニ斜

行シ縮歩メ奇數伍ノ

左側ニ列ス



左翼兵

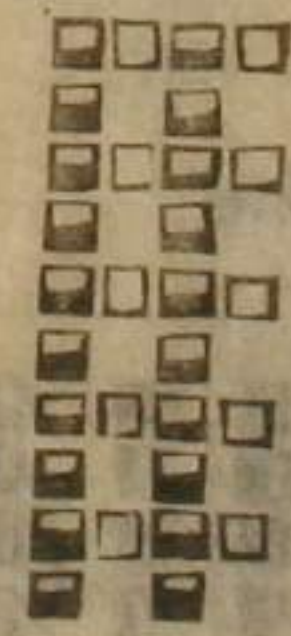


其六

一 組々分ケ  
ヘルステルト  
ゲレデレン

二 進ノマルス

右先頭ノ寸ハ偶數伍  
縮步シ左先頭ノ寸ハ  
伸歩ノ本位ニ復スヘ



其五

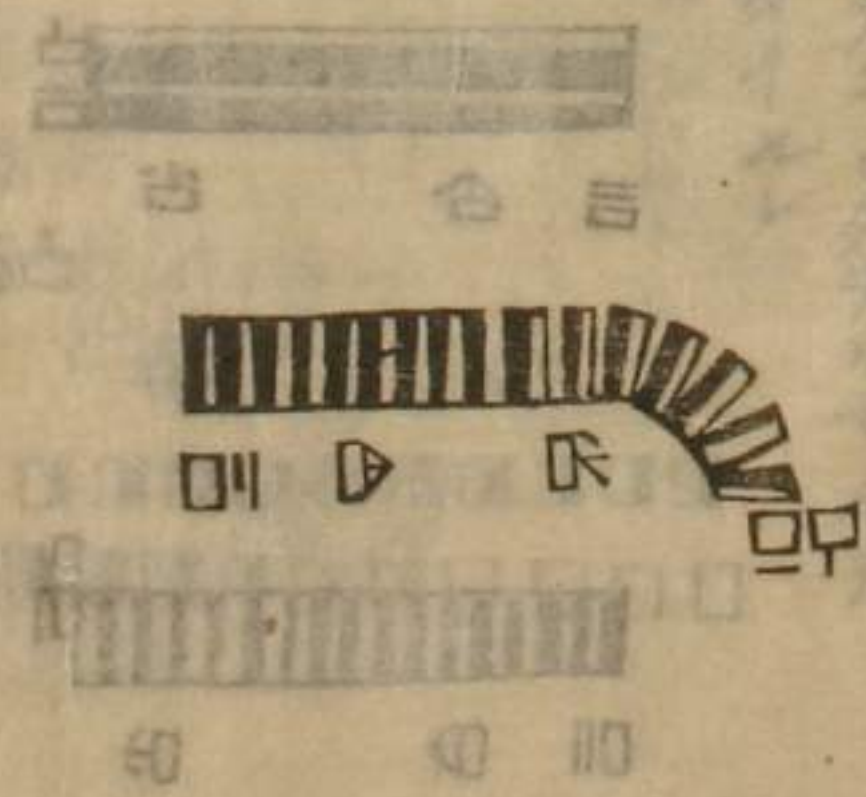
八 第二套

一 組々古左ヘ  
クストロテンリ

二 進メマルス

第一 今ニテ  
式決ルヘ

二 五面  
第一圖  
第二圖  
第三圖





第三套

一 小隊ハ止レ

ハルト

第二圖

第一圖

二 正面フロント

左先頭ノ寸ハ白

第二令ニテ故位ニ復ス

復伍ヲ以テ行進スル

寸ハ第二令ニ於テ偶

數伍故位ニ復シニ列

ハ其空隙ヲ收縮ス

第四套

組々右側戦隊

右トロツテシ、レクテルセイデ  
インバタイル

進メマルス

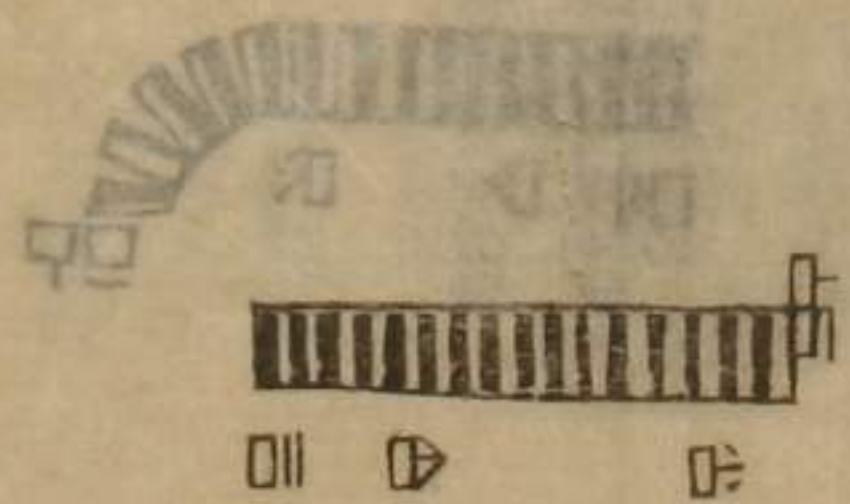
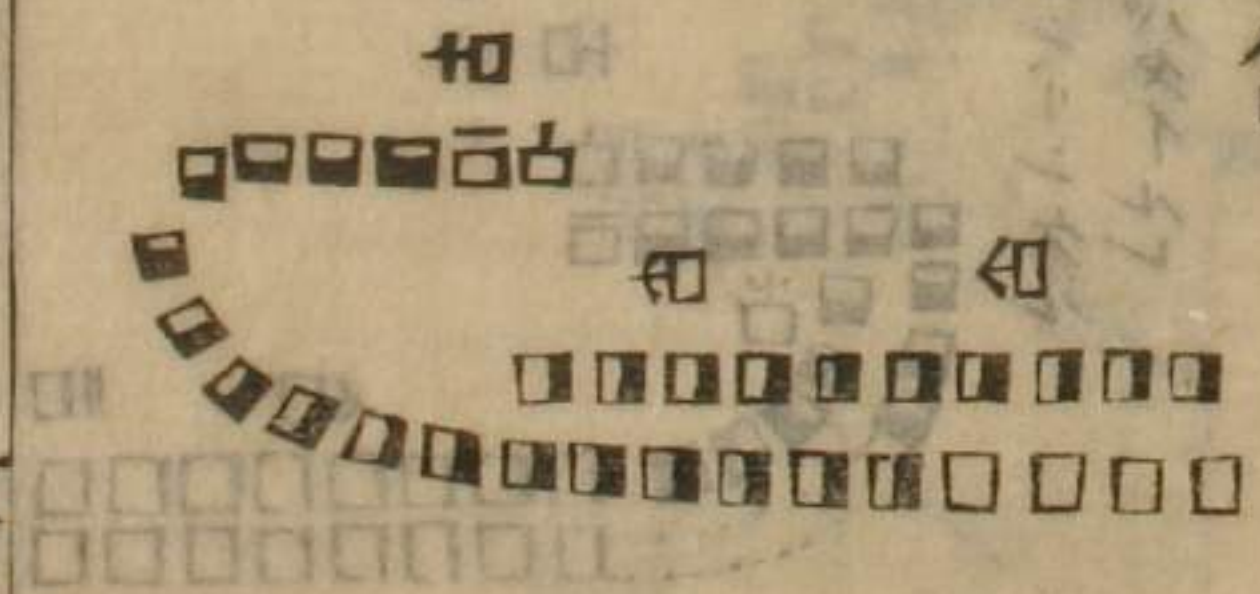
大間ニ於テハ

盛メ

一

其ニ

其ニ





其二

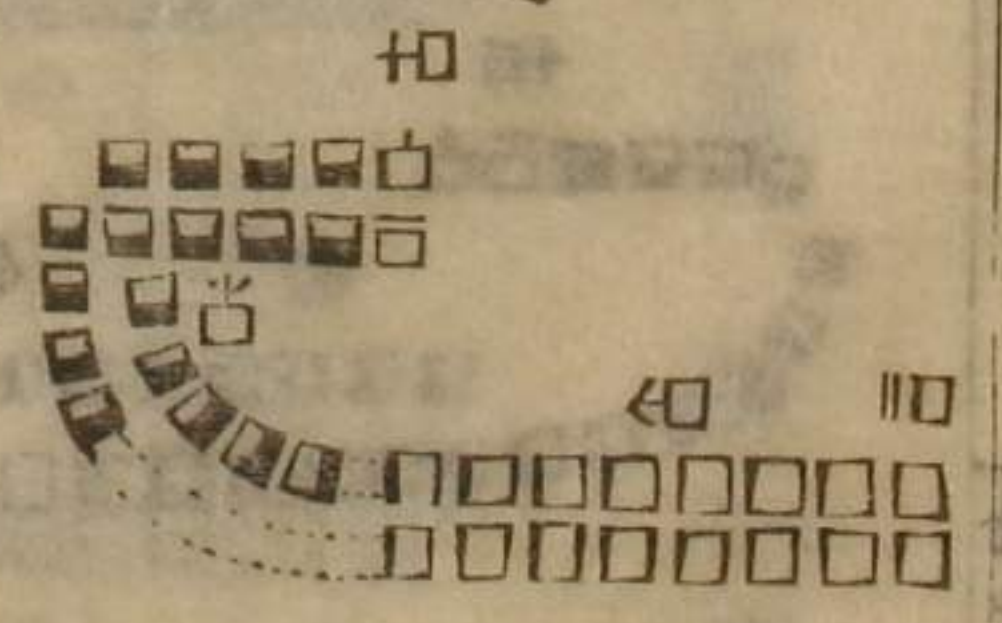
一 列兵四五名整列スル  
ヲ待テ二列兵戦隊ニ進  
整ス

左側ニ於テ為ス寸ハ

組々左側戦隊

メット、ロツテ、リンケル  
セイテ、イン、バトル

進メマラス



第五卷

一 小隊向ヒ  
マイル、ヘ、ロ、ト、ク、ラ、ブ

二 占進メマラス

嚮導左

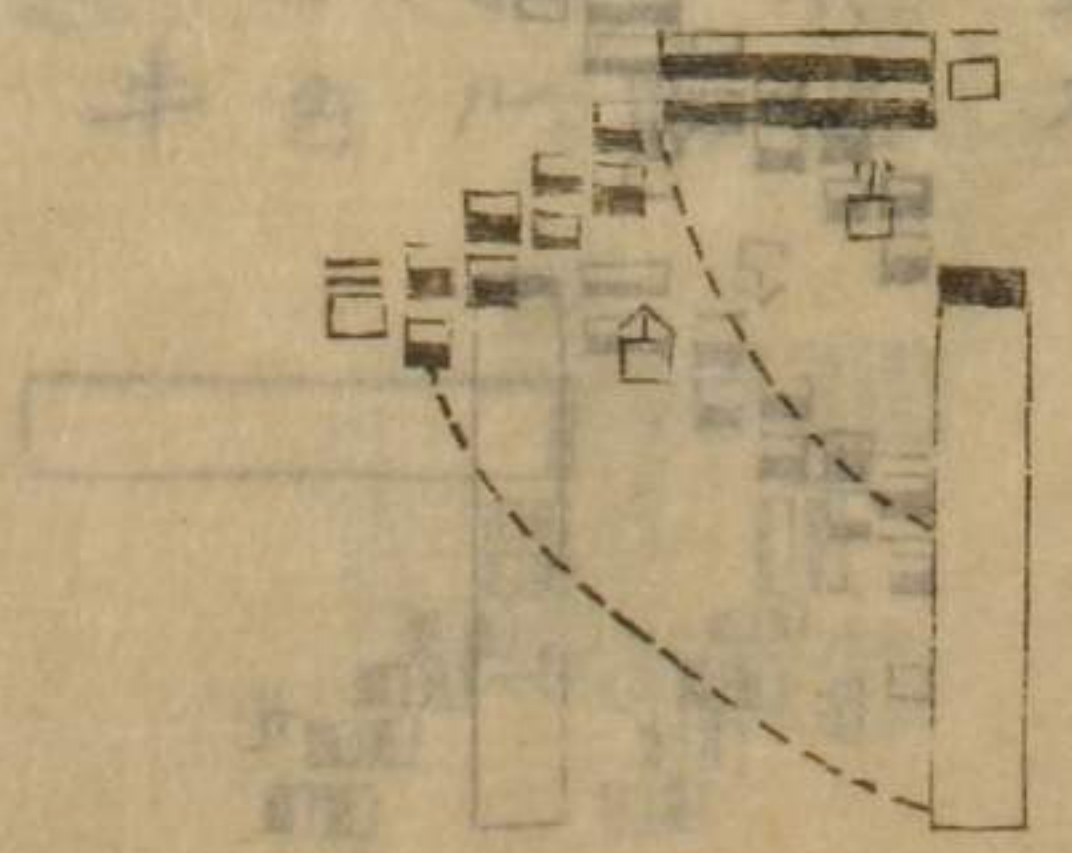
コイテ、リ  
シ、ク、ス

左翼第一列ニ移ル

左先頭ノ寸モ相反ス

ル令ヲ以テスヘシ

嚮導右  
ゴイ、デ、シ  
ク、ツ



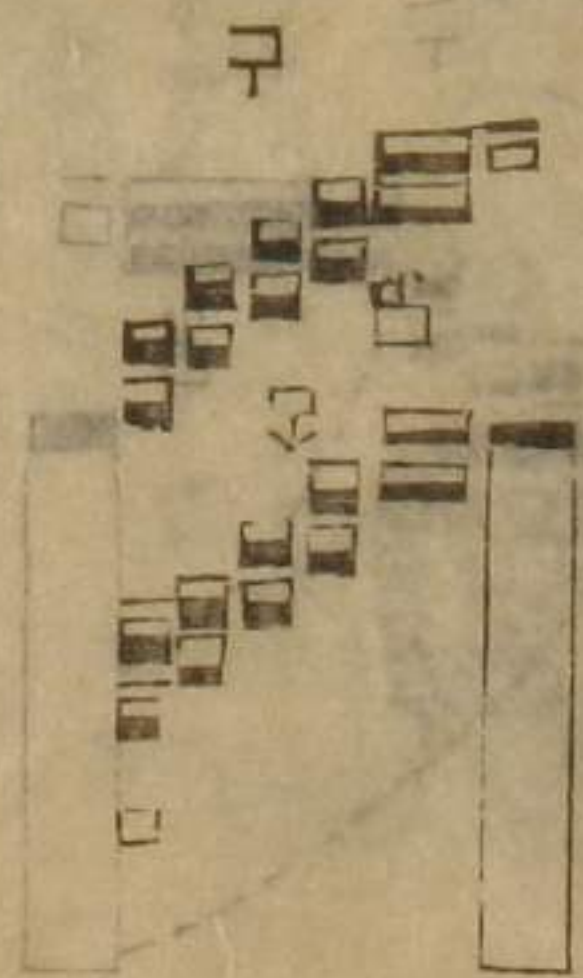


其二

一 〇 半隊向ヒイニセキムレン  
オツタルセレン

二 〇 進メ マルス

〇 嚮導左ノイデリ  
クヌ



其三

此運動令詞共ニ相反ス

一 〇 第一令ヲ下シ其地

ニ停止シ第一令第二半隊

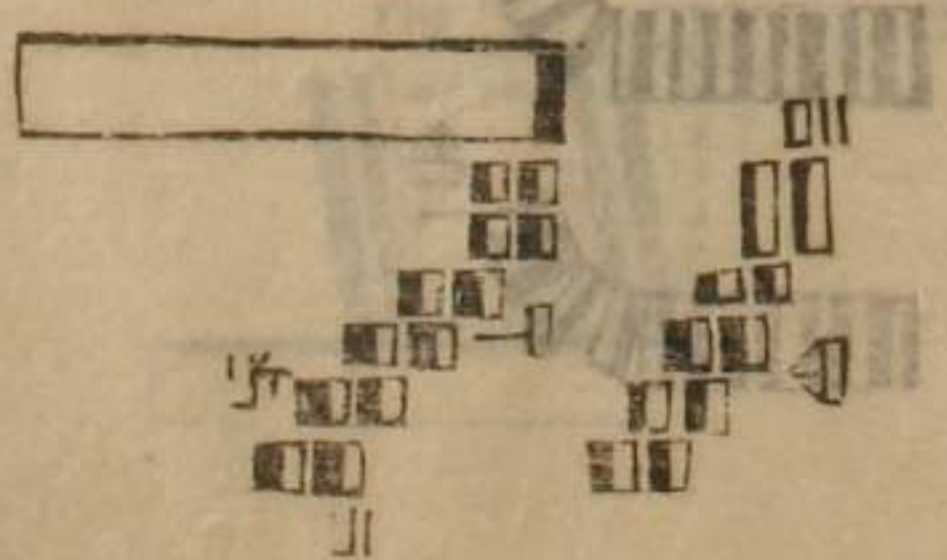
ノ左翼之カ地位ニ求ル

寸第二令ヲ下スヘシ

ハ左翼ニ浴テ其部下

隊ノ中央ニ立ツ

其四





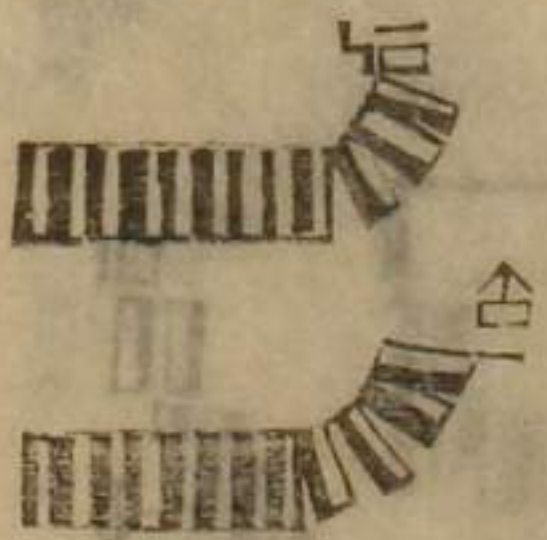
其四

一 小隊右側面(左側面)

組々左へ(右へ)ハレト  
スリシクオイトニラシク  
ムロクノリシクハレクク

二 進メールス

此處は命令隨共ニ跡及ス



第五教

第一套

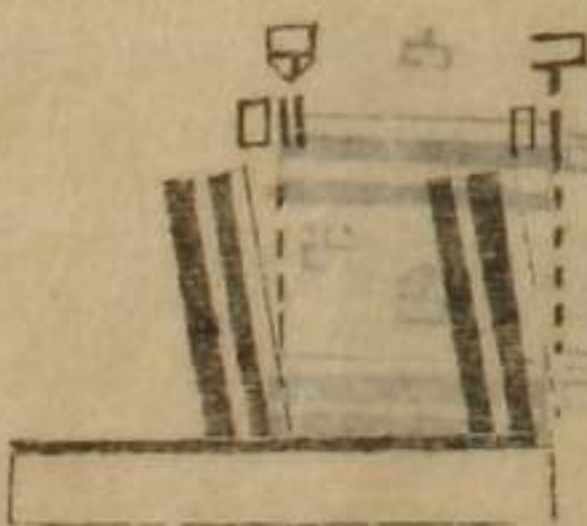
一 半隊右縱隊ニ  
ソツセキチン  
インコロン子

進メ マルス

二 半隊止  
セキチン  
ハレト

三 左へハレ準へ  
ソツセキチン  
ハレト

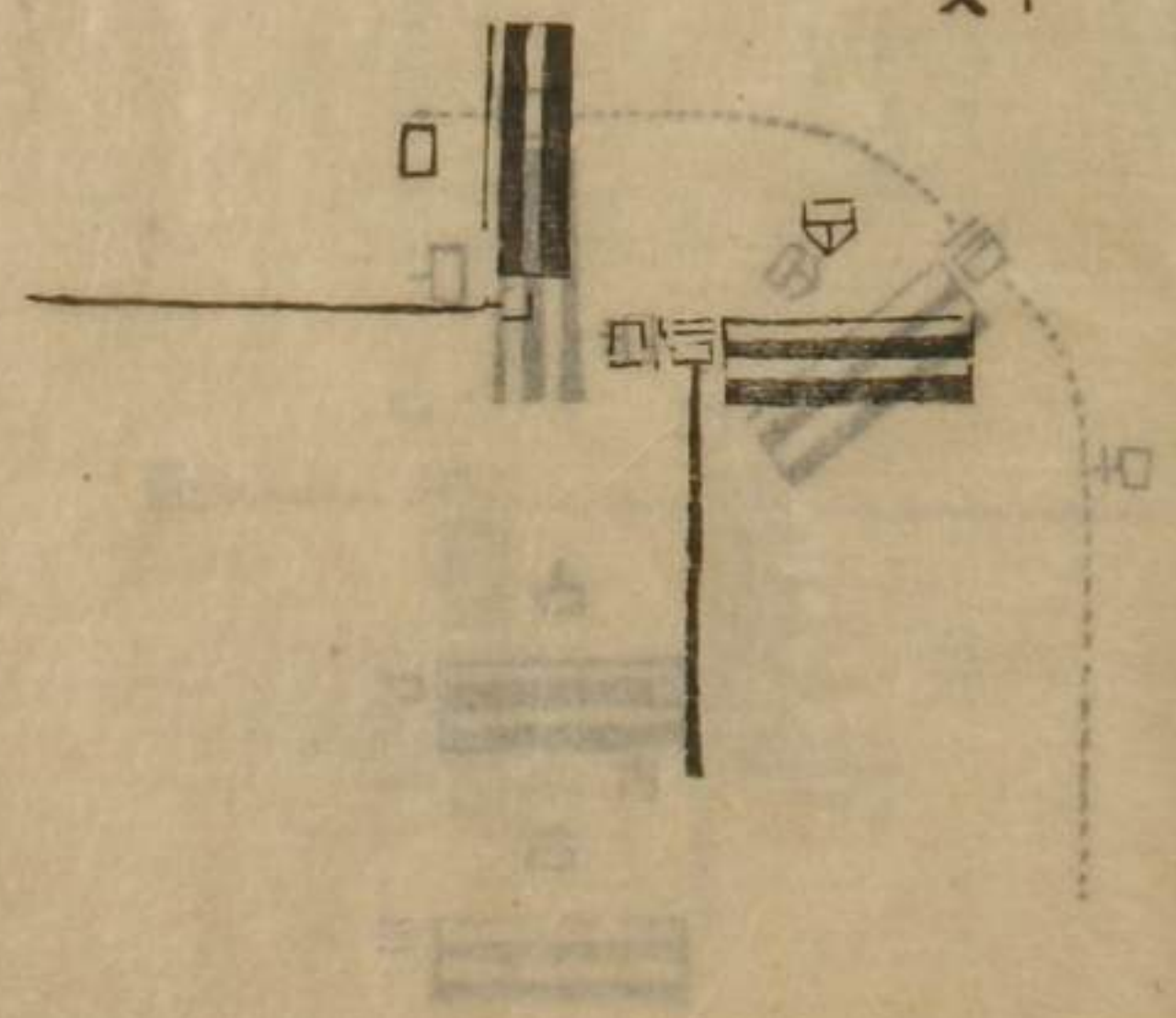
三 直ン スタート





△左(右)向  
ヲ換ヘ

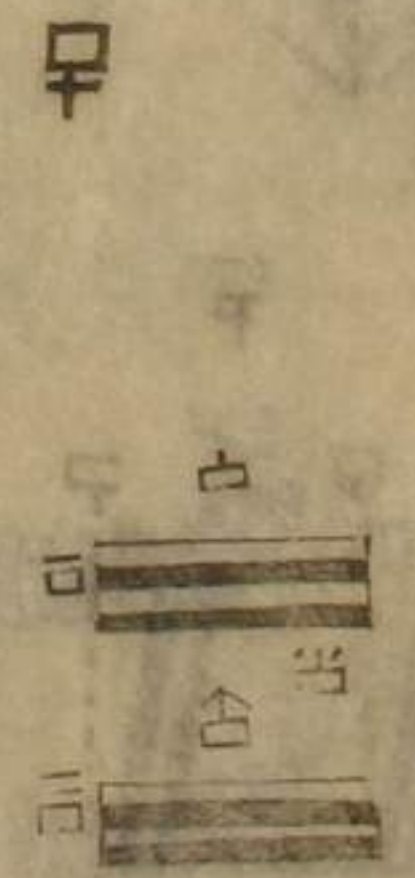
△占  
一 廻レ左ヘリ  
△占  
二 進メマルス  
△占  
三 前ヘ  
△占  
四 進メ  
△占  
一 古路



第三套

一 小队前ヘ  
二 嚮導左(右)  
三 進メマルス

半湖本端湖ニ  
第一套



第二套

△トニホ  
ル多  
ルツ

ゴイ  
デ  
リン  
ス



二勢

占占

一 右旋  
レクツクスウエ  
ミキスリ

二 進メ マルス

三 前へ  
ホルツ  
ルツ

四 進メ マルマ

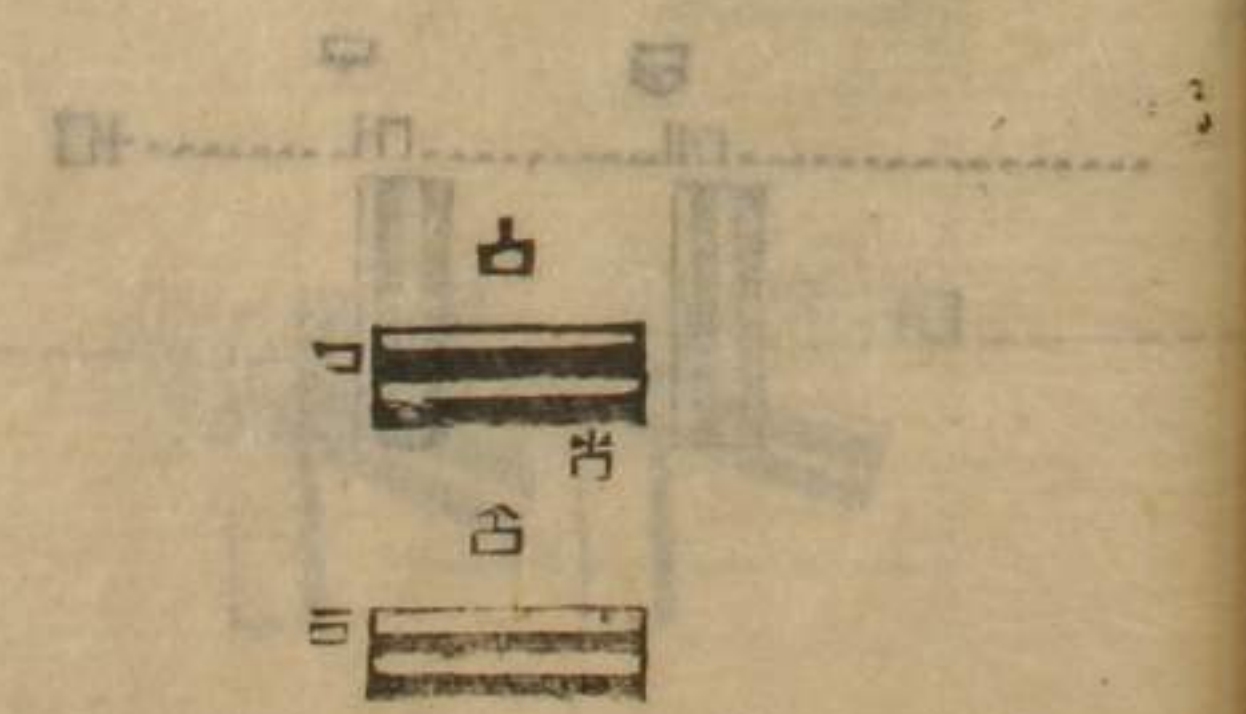
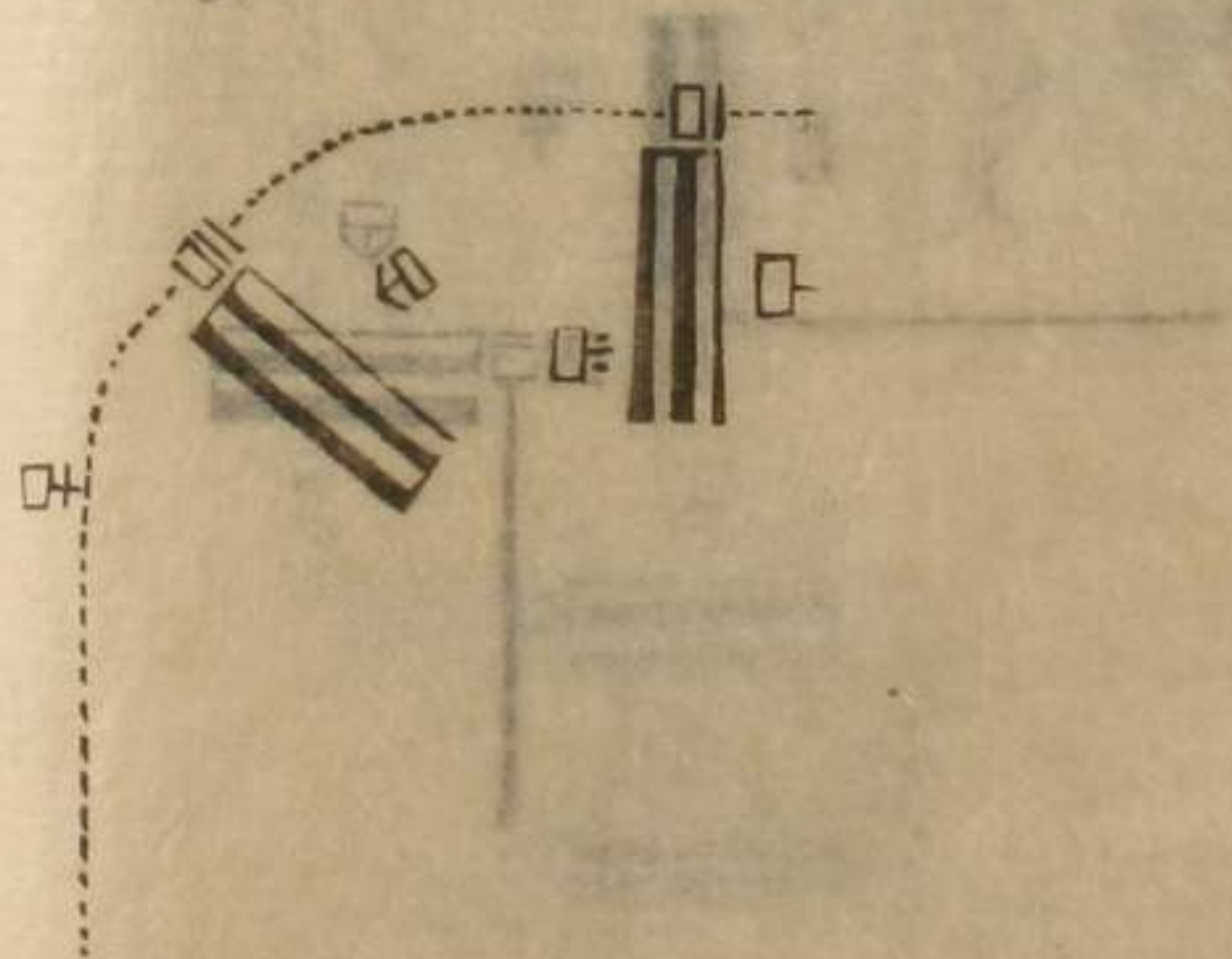
二 進メ マルマ

占占  
一 進メ マルマ

第四套

一 小隊  
ヘロトシ

二 止レ  
ハルト

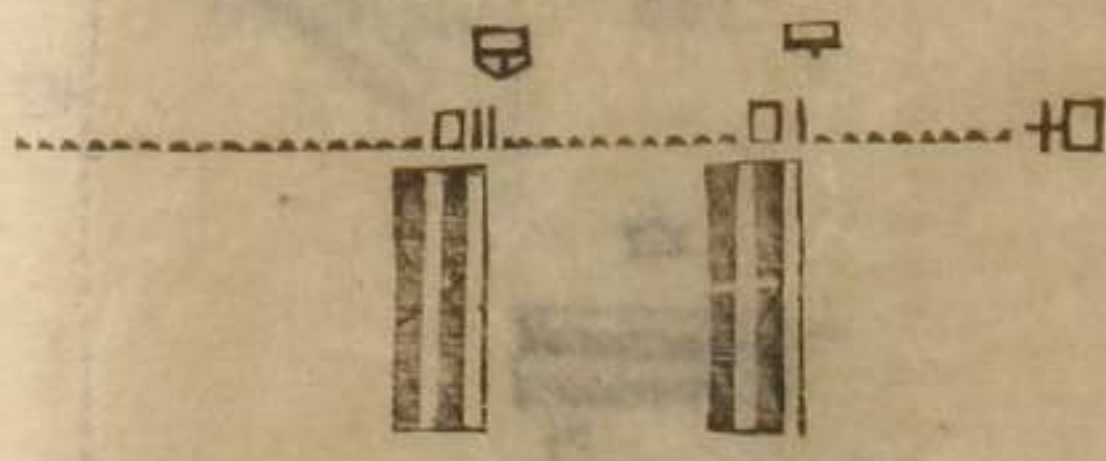




第五套

左ニ準ヘリンクスリ  
クト、ネー

直レ スタート



一 左戦隊ニ  
リンクスイン  
バタイル

二 進メ マルス

直半隊ニ止  
セキチー  
ハル

右翼ニ位シ

右ニ準ヘ  
レタリク  
トネー

直レ スタート

嚮導故トヘ  
ゴイデスイ  
ゲリユクト





其二

古翼ニ進メ

古半新ニ進メ

古進メ

古時トメ自ラ令ヲ下シテ之ヲ施行セ



第六教

第一套

行進中

古小隊分ケ

ホルメルト分ケ  
パトニ

古足踏

マルケルト  
ラシグス

古進メ

マルス

古斜ニ右ヘ進メ

スヨインス  
マルス

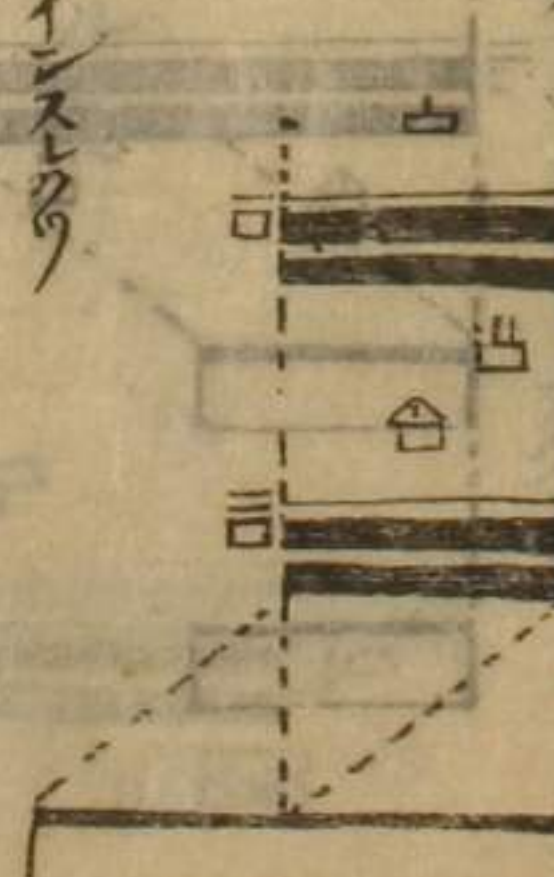
古前ヘ進メ

ホルメルト  
マルス

古左翼先頭ニ唯右ニ相反スルノミ

古時トメ自ラ令ヲ下シテ之ヲ施行セ

古半新ニ進メ







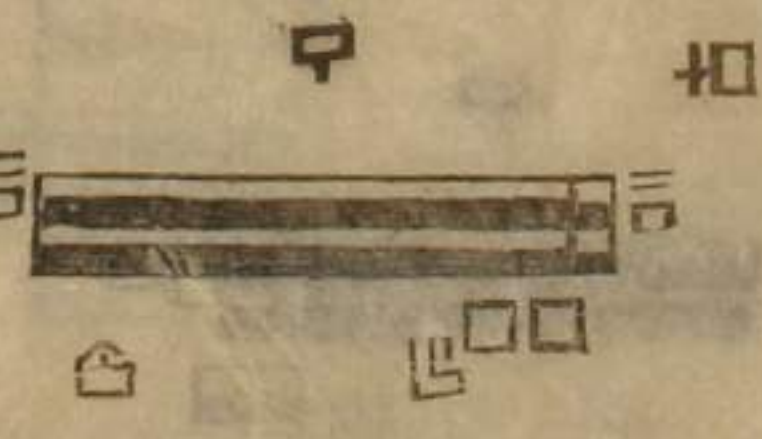


其二

一 左(右)一組向ヒ

エーシホルスアロット  
マルセールトフダ

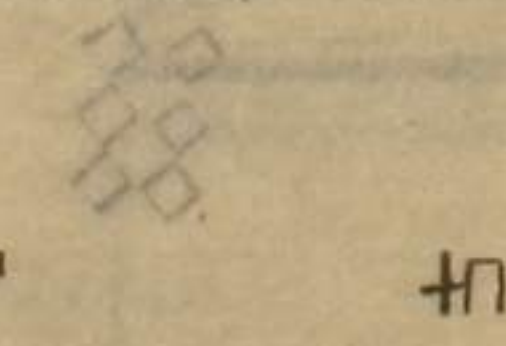
二 進メマルス



其三

一 左(右)三組後へ  
テリールニクル  
クテビロテン  
アタテルタールツ

二 進メマルス



三 伍ヲノ一齊ニ減殺  
セシムル寸ハ石ノ令  
ヲ下ス





其四

一 左(右)三組向ヒ

テリールホルステロツアレ  
マルセールトオツア

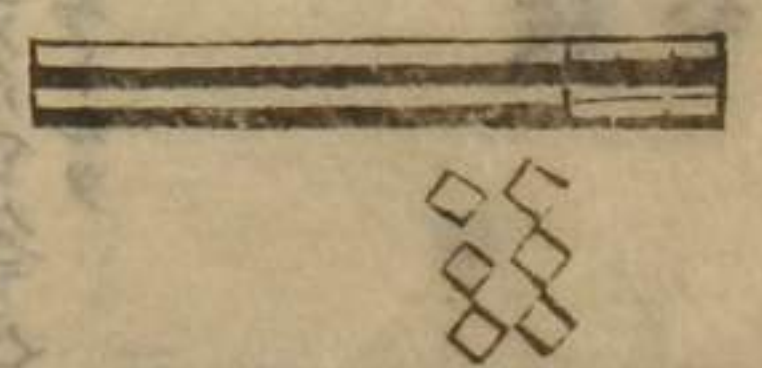
二 進メ マルス

一 組々向ヒ

アフヘブ  
ローケン

コツチンマルセールト  
オツア

二 進メ マルス



第三套

一 小隊前へ

ヘロトンホル  
クイールツ

二 嚮導左(右)

クスイデリン  
クスマツ

三 路足

ハステ  
ソステ

四 搭へ

筒  
オーフル  
ダール

若シ整步行進中之ヲ施行セント欲ス守ハ

一 路足

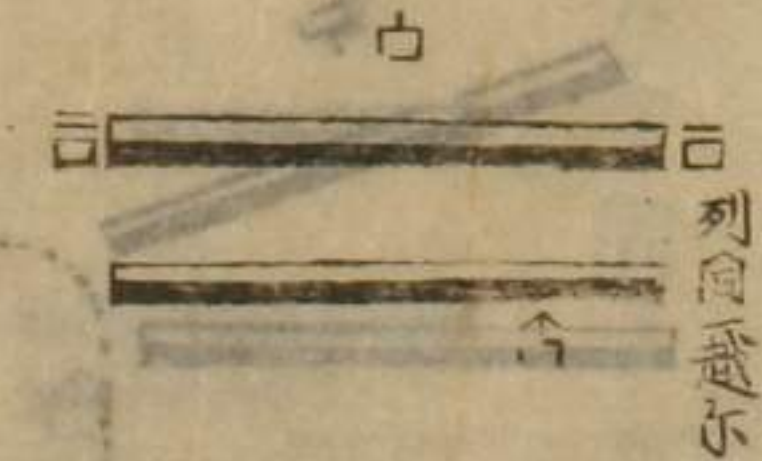
ハステ  
ロステ

二 進メ

マルス  
オール  
ダール

三 搭へ

筒  
オール  
ダール

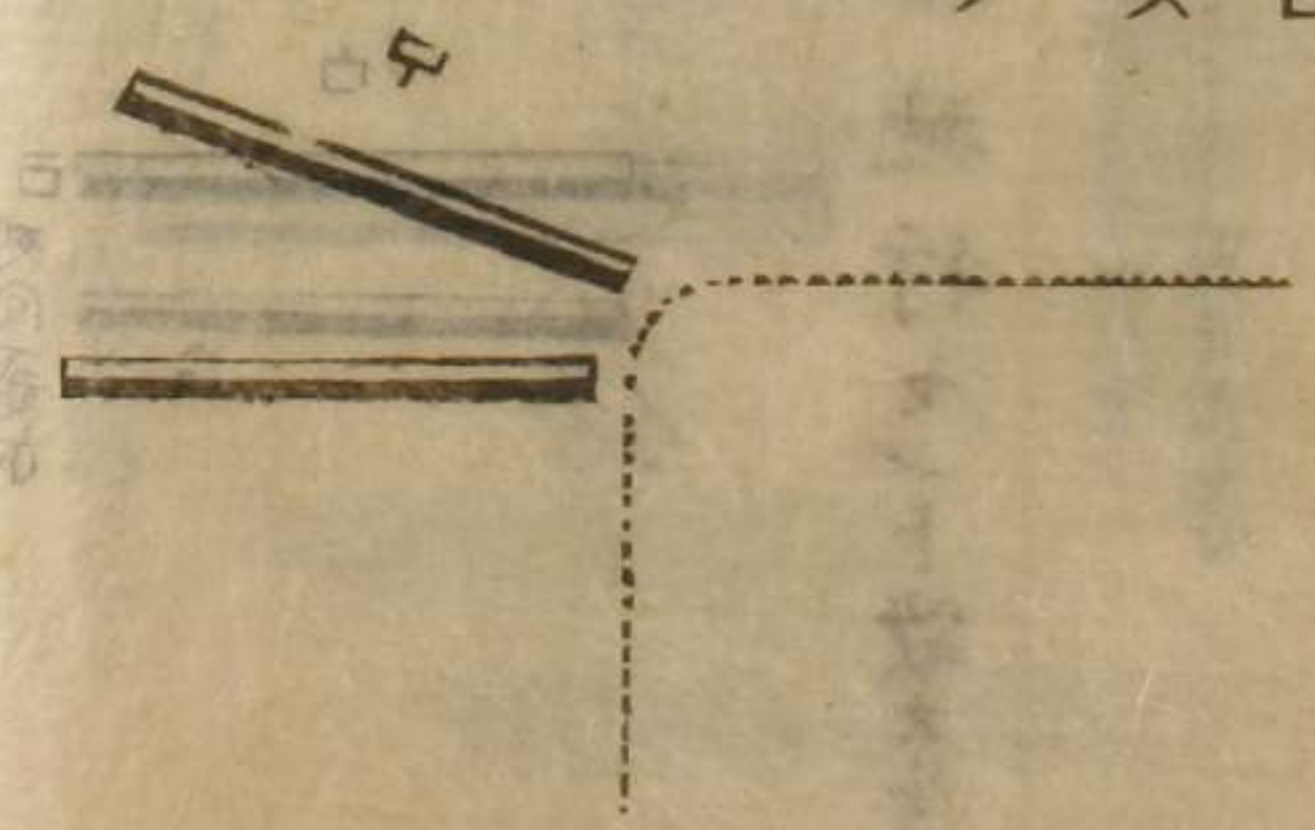




直線变换ニ在テハ古  
 今ヲ下サス占ニ命ス  
 ヘシ占預令ヲ下シテ  
 变换ス

言ノ在不在  
 ニ関セス旋回

軸ノ兵員十六  
 拇ヲ延三掌或四  
 掌ノ歩度ヲ用ユヘシ



占一小隊分ヘ ホトメノルトハルケキ

占足踏 足踏ハルト

占二進メマルス

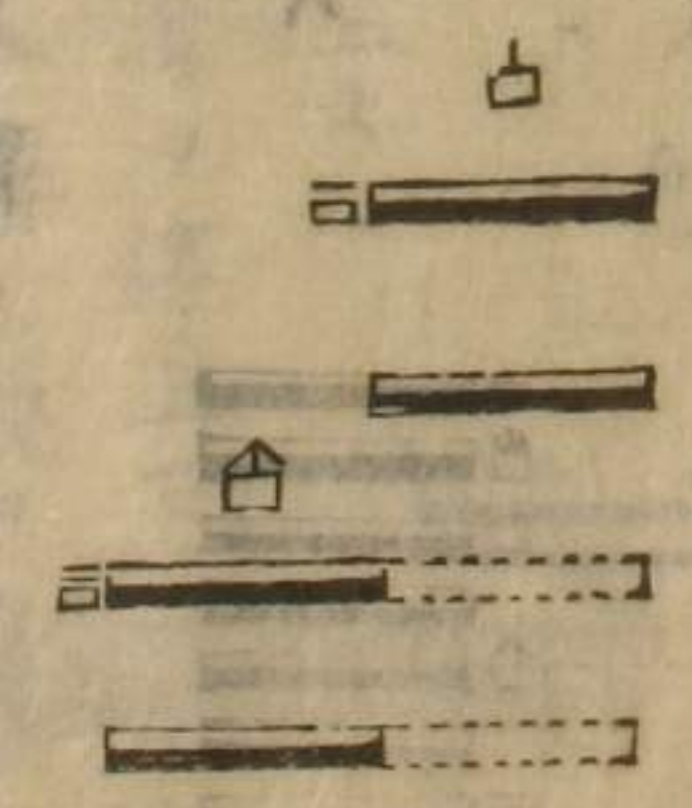
占斜ニ右ヘ進メ

占前ヘ進メ ホルター  
ルツマルス

占時トメ自ラ此令ヲ

下スヘシ

左翼先頭ノ寸ハ之ニ相及ス





丙 一半隊分へ

ホルネールト六分  
セキチー

ニ進メマルス

時トメ令スルアリ

○此運動ハ八伍ニ更ラサル半隊

ニ在テハ行フヘカラス

○再ヒ半隊ニ編制スルニハ

古 一分隊合ヒ

ホルネールト  
セキチー

ニ進メマルス

此間列ヲ以テ諸伍ヲ減殺スルハ上ト同令ヲ以テスヘシ

○此運動ハ唯「路上歩」ニノミ之ヲ施行スヘシ

古 一 後列間

イ アクセルステ  
オツラ デリユット

ニ進メマルス

此令ニ因テ破開任ノ列

間ヲ密接スヘシ

此令ニテ兵士銃ヲ臂ニス

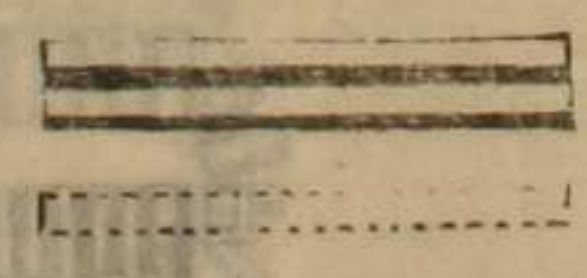
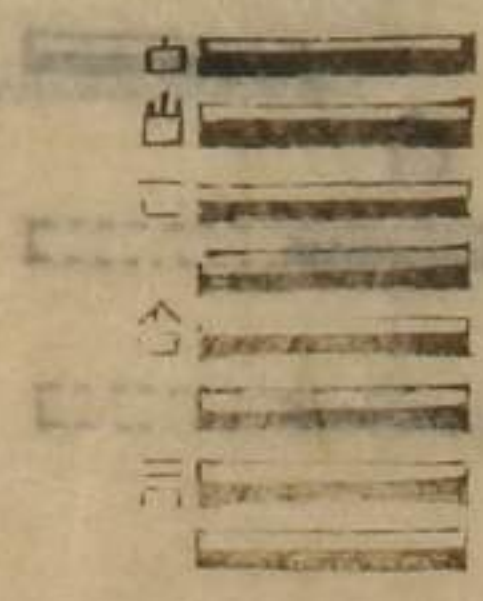
路上歩ヲ以テ行進スル者ヲ停止セシムル寸ハ

第二列ノ兵速ニ一列ニ接シ銃ヲ肩ニスヘシ

○銃ヲ臂ニスノ行進スルモ停止ノ令ヲ聽ク寸ハ

速ニ肩ニスルヲ要ス路上歩ノ教練ニ在テ

ハ一分時間ニ百八歩トス

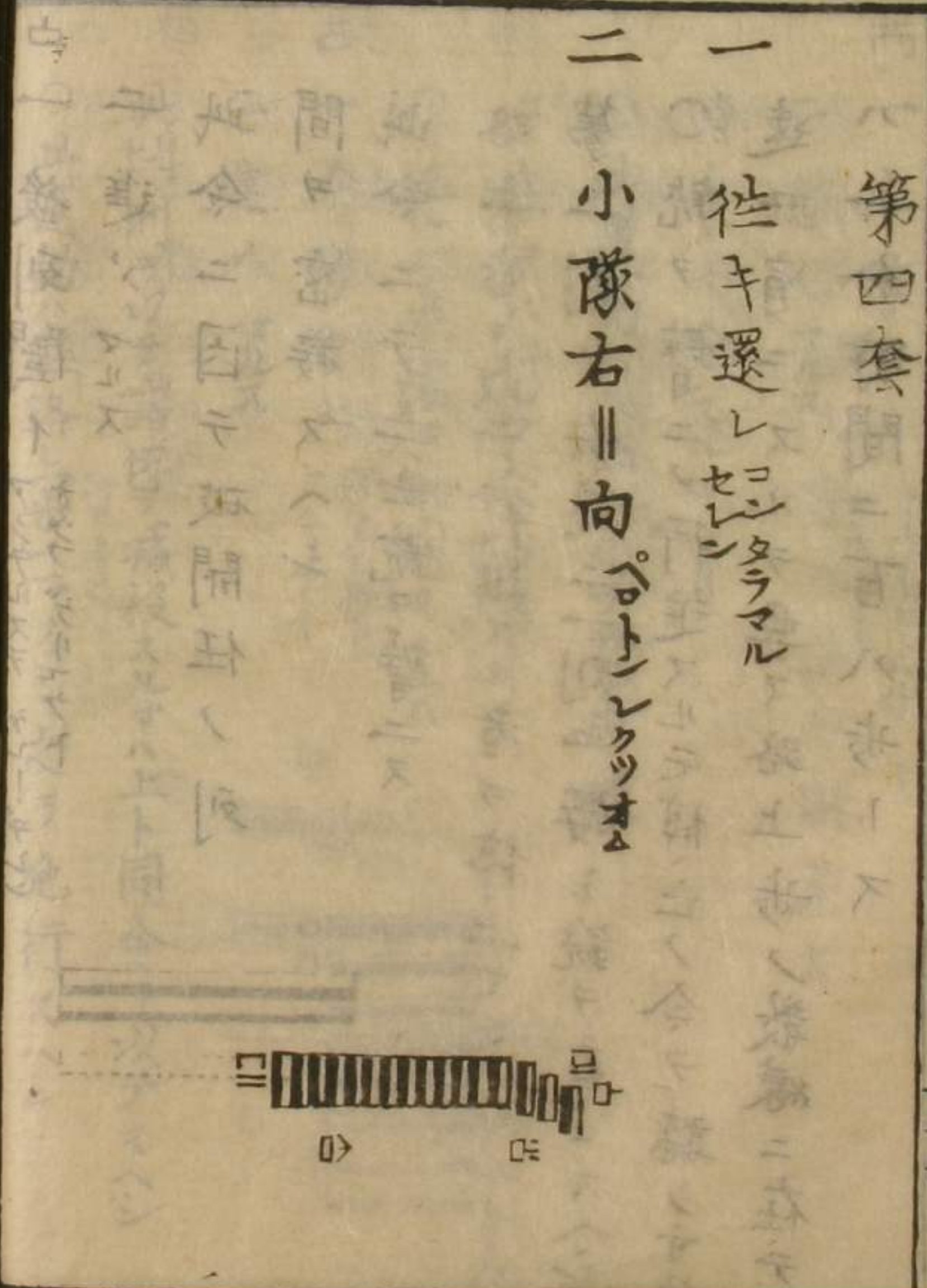




第四套

一 往キ還レセラル

二 小隊右ニ向



其二

三

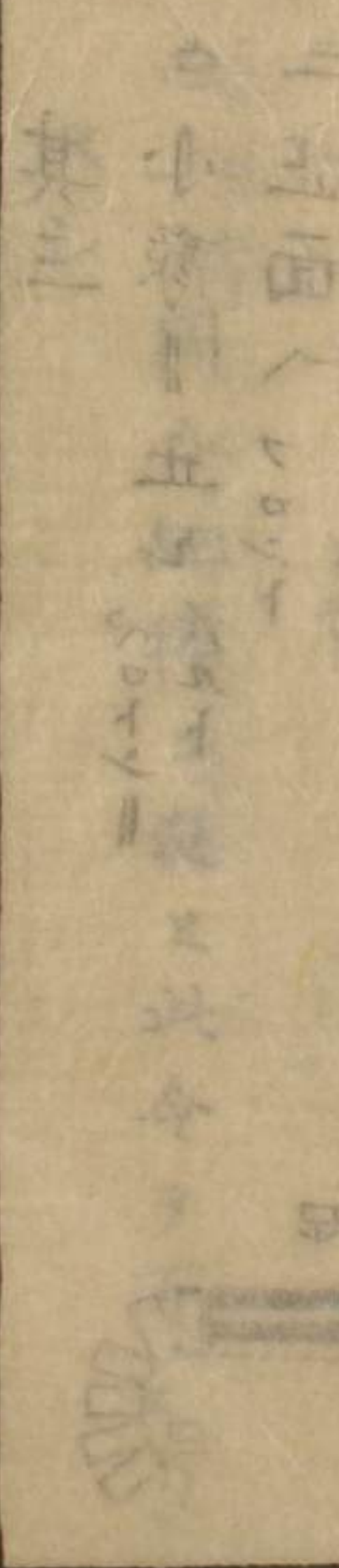
組々左ヘ

四

進

左ニノ近傍ニ歩ノ距

ルノ時間左ノ令ヲ下





其三

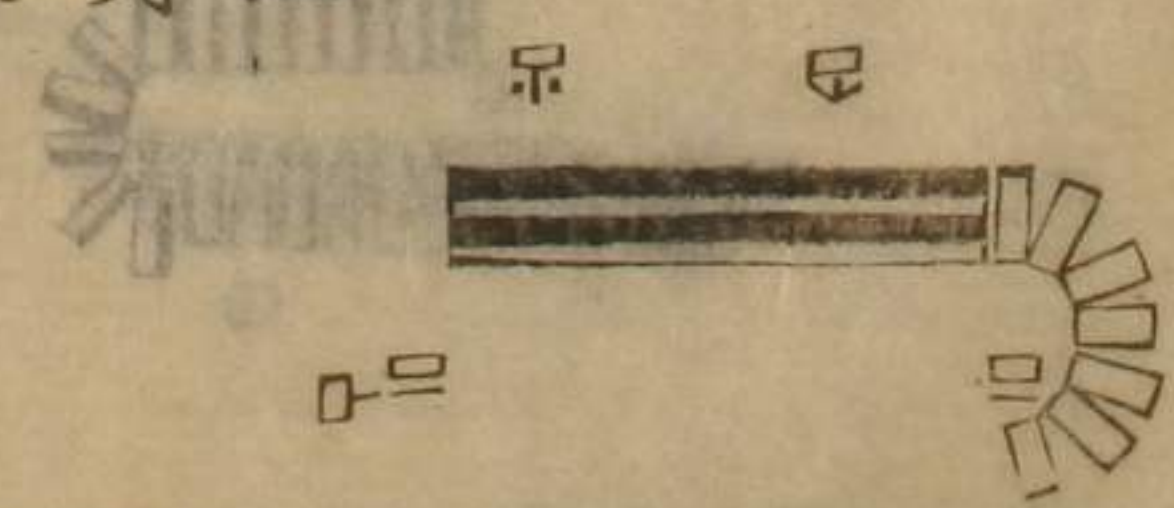
○ 小隊 || 止レ ハルト

二 正面ヘ フロント

三 右ヘ || 準ヘ レタニ

四 直レ スタート

左翼先頭ノ 綴隊ヲ以テ此法  
ヲ行ハシムル寸ハ上ニ反對  
ノ法ヲ以テ施行スヘシ○設  
幾室ヲ以テ為スモ亦然リ



第五套

一 右側戦隊

テルレクテルセイデ  
インバタイル

二 嚮導右 コイテ

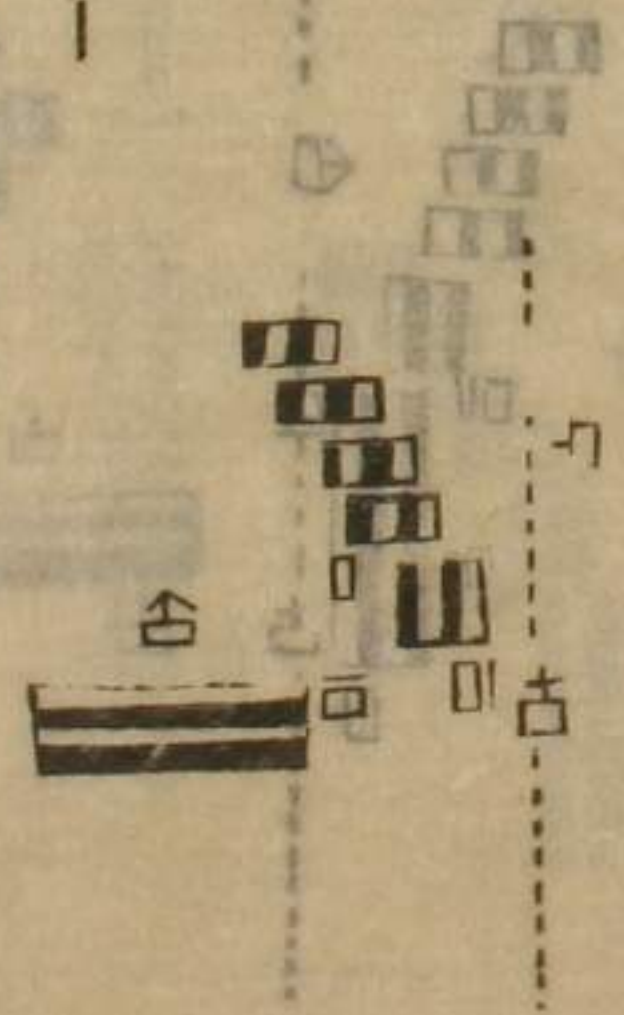
○ 廻ン 右ヘ ウエント

二 進メ マルス

○ 半隊 || 止 セキチ

二 右 || 準ヘ ハル

○ 上ト同シ 紀律ニ従ヒ此令ヲ下ス  
ベシ





合ノ由  
令テ三  
速ニ列線  
出ル

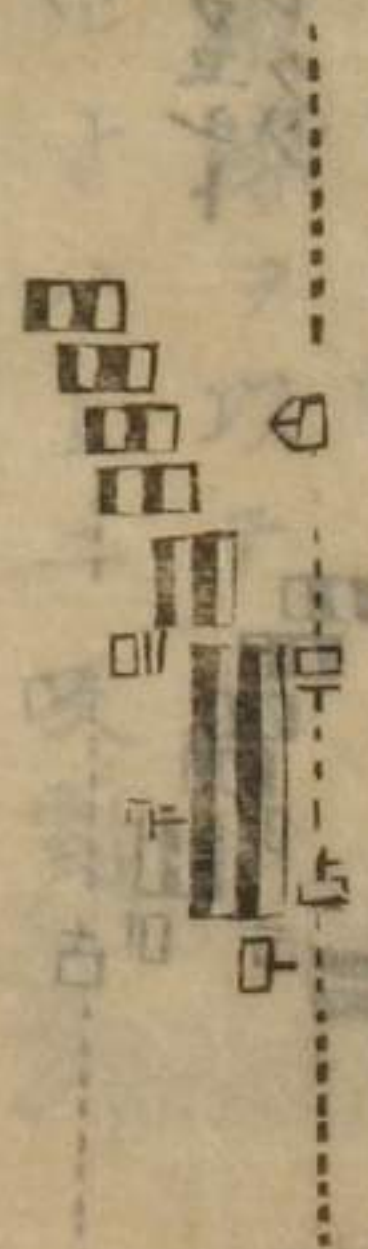
其二

右ニ準ヘレクツリフトテ

此令ヲ下シ速ニ左翼ヨリ  
押伍列ニ入整ス

直レズト

嚮導ニ故トヘゴイデスニイン  
ケツユカト

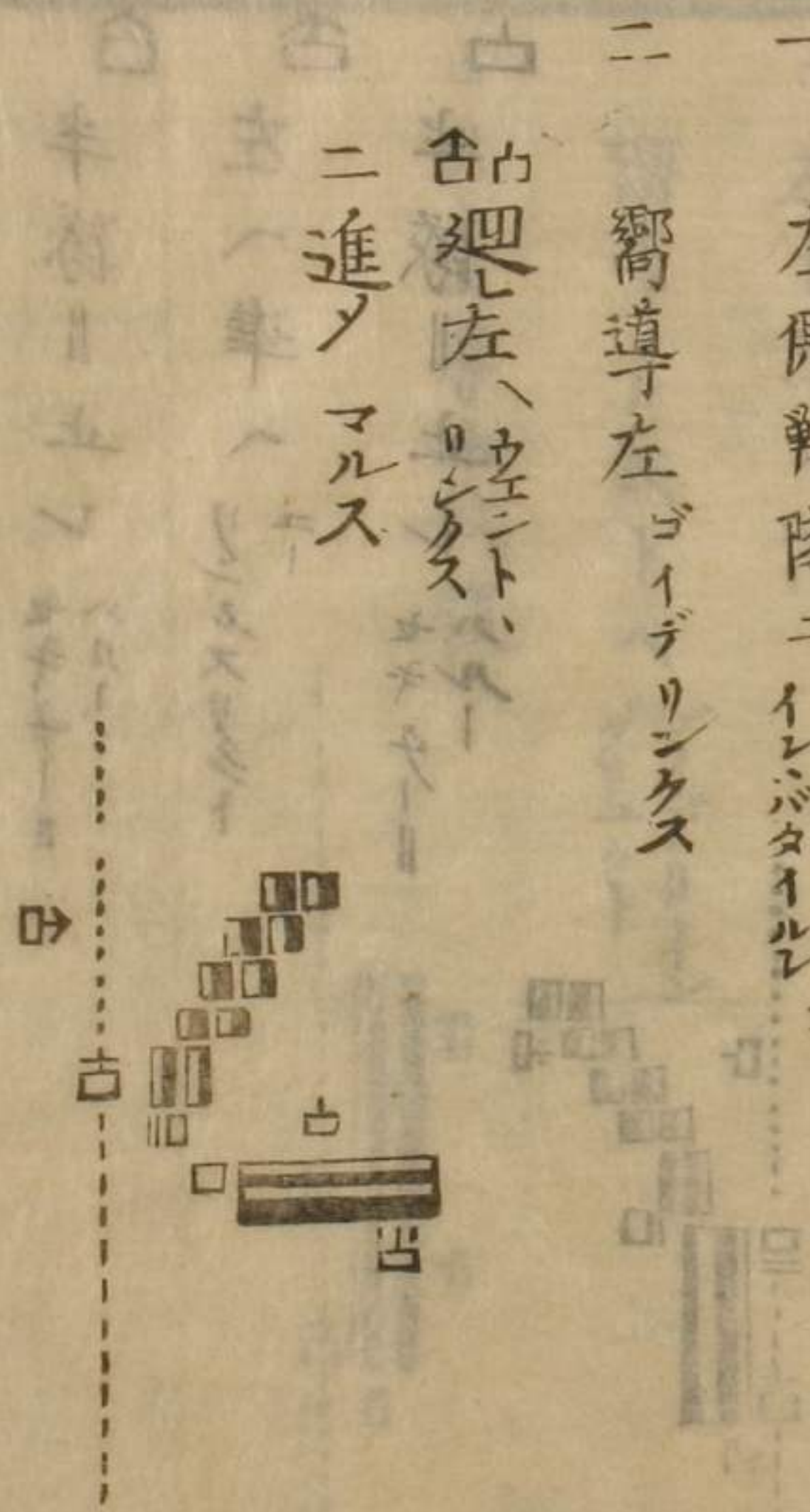


又一

一 左側戦隊ニテルケルセフデ  
イレバタイル

二 嚮導左ゴイデリンクス

合ニ進ノマルス





其二

合 半隊 || 止レ セキチー ||  
ハル

合 左へ準へ リムスリクト  
ニ

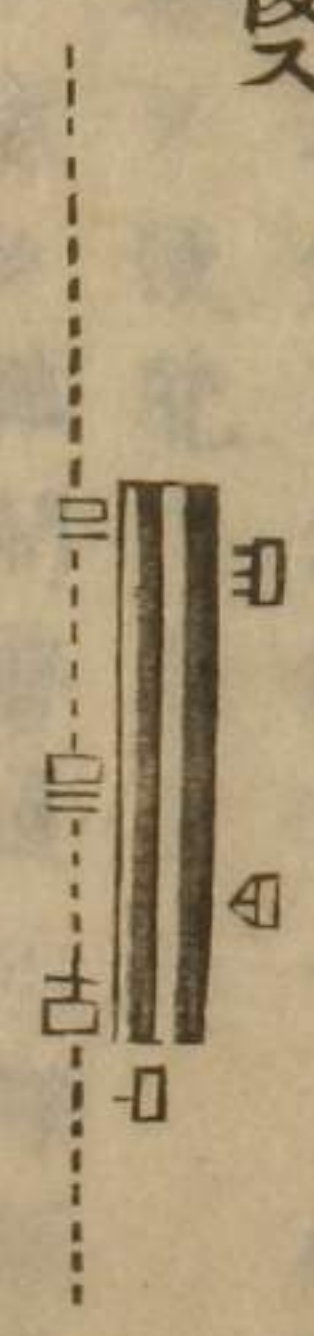
合 半隊 || 止レ セキチー ||  
ハル

其二

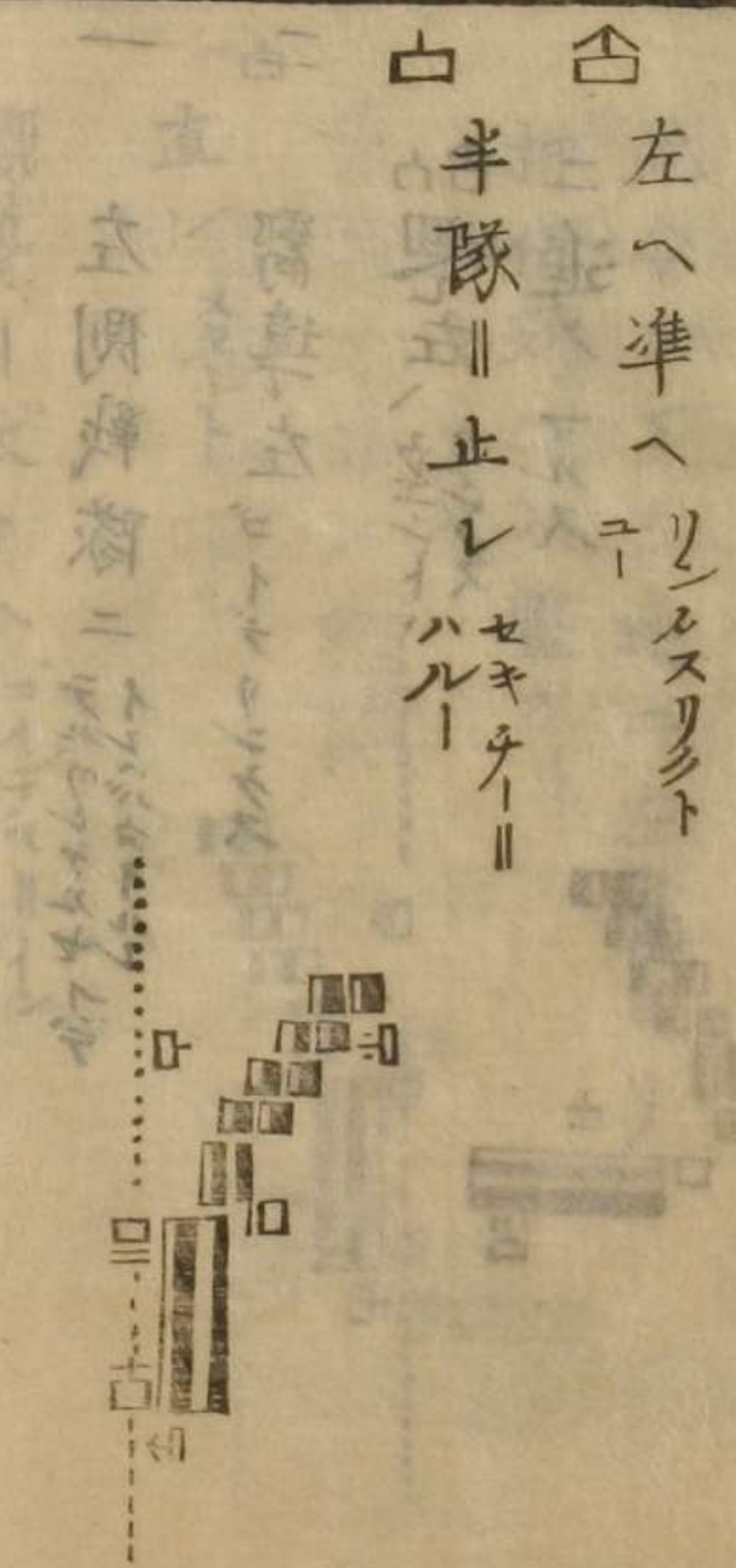
合 左 || 準へ リムスリクト  
ニ

嚮導 || 故トへ ガイデーイン  
ゲリムクト

合 及ヒ嚮導本位復ス



小隊畧解終





小部是種也

此書實事本對野

醫書ト云イヘ

五ノ筆ヘ

歩操油珍第三編

○此書ハ大隊諸般ノ運動ヲ描寫シ且ツ

○最要ノ事件ヲ抄録シ註解トナシ郊野

○演習ノ際必携シ便覽ヲ主トス

○令詞ニ於テハ悉ク世間普通ノ譯語ヲ

用ニ然ルニ意譯對譯ノ差有ル者ハ是

○唱呼聲ニ便ナルヲ要スルヲ以テナ

○リ故ニ此書傍ラ原語ヲ附シ其意ヲ明



○ 綴隊（略）此書重隊トス部隊疊重ス  
 ルノ義トス幸ニ綴重音込シ命令ヲ發  
 唱スルニ妨ナキカ故ニ用ニ他ハ普通  
 二役ヲ新譯ヲ下升ス  
 ○ 令詞註解ト混同セシコヲ恐カ、力故  
 二悉ク草字ヲ用テ之ヲ區別ス且四小  
 隊司令官ノ令詞ハ一級ヲ下シテ記ス  
 ○ 篇中疊見ノ語ハ符号ヲ用テ文字ヲ省  
 略ス且ツ八個小隊ノ圖ヲ減却ノ四個

或ハ六個ヲ画ク是全ク紙田方寸ニソ  
 詳ニ記載スルノ餘畦ヲ得サルヲ以テ  
 ナリ

符号

古 バダイロシコンマンダヤ  
 大隊司令官

古 アソクダト  
 教頭

古 オホハシロクダト  
 助教



古 中隊司令官 即チ奇數小隊司令官  
 古 小隊司令官 即チ偶數小隊司令官  
 古 半隊司令官  
 古 總嚮導  
 古 右嚮導 即チ副司令官  
 古 左嚮導  
 古 押伍  
 古 旗手

標兵  
 左翼押伍  
 守旗伍 即チ旗隊前列ノ者  
 西 小隊司令官 奇偶ニ拘ラザル寸ハ此符ヲ用ユ  
 西 第一小隊 頭首ニシテ字ヲ自ルモノハ第三小隊餘ハ推テ知ルヘシ  
 西 第一中隊 同上  
 西 第一令 圓中ニノ字ヲ用ルモノハ第二令ト解スヘシ  
 ○此編脱稿ノ後尚再三校讐セント欲セ



○り然レ乍起手ノ際ヨリ同志輩類ニ懇  
請ノ措カス故ニ竟ニ實藝ニ驗スルニ  
違有ラス倉卒剗刷ニ付ノ一小冊子ト  
ナシ以テ世ノ後進ニ頒ツ鹵莽ノ責自  
ラ免レサルヲ知ル世ノ高明輩ニ裁  
正セラレヨ

安政五年戊午春 元圀舎主人述

九例了

大隊一般ノ定則

大隊ハ四個ノ中隊ヲ以テ編制シ第五中  
隊之ヲ散兵隊ニ用ユ  
若シ中隊ノ兵士多少有ル寸ハ諸隊混同  
ノ之ヲ平均ニスヘシ  
大隊司令官ニ定位ヲ示サル者ハ指揮  
使用ノ地ニ在テ其所爲ヲ檢査ス  
大隊司令官ハ兵士ヲメ心神沈密ニ法則  
ヲ守ラシメ誤謬ヲ防止シ失誤有ル寸ハ  
速ニ補正ヲ加ルヲ要フ



重隊行進ニ在テ教頭助教ハ直線ノ首尾  
 嚮導ニ歩外方ニ位ス  
 小隊司令官位地ヲ去ルニ於テハ副司ヲ  
 ヲ之ニ代ラシム  
 旗手ハ旌旗ヲ腰部ニ攜ヘ戰列線ヲ標ス  
 ルニ當テハ正直ニ双眼ノ間ニ保ツ  
 總嚮導モ此時ニ在テハ銃ヲ双眼ノ間ニ  
 保ツ  
 重隊行進ニ在テ鼓手ハ嚮導ト及ル地ニ  
 於テ隊三小隊ト齊頭面ニ位ス  
 行路重隊及此路通過ニ在テハ鼓手ハ  
 隊首ニ進ム總擊重隊ニ在テハ隊後ニ退  
 ク  
 大隊重隊ノ行進ニ在テハ各隊司令  
 官宿速之ヲ反覆ス  
 行進中ハ常ニ銃ヲ膺内ニ執ル  
 追次戰隊編制ノ寸ハ比隣小隊整列スル  
 ヤ速ニ銃ヲ膺内ニ執ラシム  
 急速運動ハ練熟ハ大隊ニ非レハ之ヲ用  
 ニル



第一教

第一套 後列展開

二 枝藝及四節裝填

三 開列密收

四 急速裝填及點放

第二教

第一套 小隊左右重隊

二 重隊行進直線變易及半隊區分

三 小隊整後

四 行路重隊

五 小隊停止左右戰隊

第三教

第一套 小隊左右後面重隊

二 前方及後面戰隊

三 重隊左右側戰隊

四 側面行進及直線變易小隊或半隊

五 半隊編制

六 同夕各伍ヲ以テ左右側戰隊編

制



六 正百變章

第四教

第一套 戰隊ヨリ重隊編制

二 閉合重隊行進及停止或ハ直線

變易

三 同往還双行

四 同重隊前或後、全距離展開半距

離或閉合收縮直線變易及中隊

五 編制新舊及古牌新

同重隊排開

六 合計掩擊重隊編制及行進或方陣編

第五教

第一套 戰隊前面及後面行進

二 障礙通過

三 戰隊斜行

四 行進、戰隊停止整頓

五 退軍中凹路通過

六 大隊離散及復集

定則了



西ノ方  
告諭令

第一教

第一套

一 ○後列展開  
二 後列後とへ

大隊左方  
ノ言四番  
然キ事  
而子ス

○ニテ大隊左方ノ言

一 一 押伍列  
二 二 歩退キ銃ヲ双眼  
ノ間一保ツ重荷ニ始開

各位古ハ言ノ線古ハ言

百左方三  
列ヲ二列  
及口列ヲ  
檢ス

百ハ位地整頓ヲ檢

○ニテ後列ハ古押伍

列ハ口ノ線ニ退キ整

○並

諸官信地ニ入整ス圖  
次ニ出ス





第二套

○技藝及ヒ四節装填

古銃銃ノ枝藝ヲ行ハ使ル

左ノ次叙

棒銃 ハットビセンテレン

肩銃 ハットイブレン

建銃 ハットアセツレン

肩銃 ハットイブレン

臂銃 ハットイブレン

橋銃 ハットイブレン

肩銃

傾銃

肩銃

四節装填

□及ヒ口或ハ口共ニ上ノ業ヲ為ス

但口及ヒ口ハ銃ヲ預側スルノ技ヲ

為サス ハットイブレン

装填ニ至テハ此官員口共ニ銃ヲ右臂

内ニ挟ム

内ニ挟ム



古  
下  
三  
本  
位  
三  
復  
ス

第三套

○開列密收

一 後列

二 進め

諸官兵士ト共ニ密收ス

第四套

○急速装填

二 急き

一 方

諸官員上四郎装填ノ

時半同

諸官員上四郎装填ノ  
時半同  
諸官員上四郎装填ノ  
時半同





○諸種點火

○打方ノ○ニテ諸官及ヒ○退位

○口及ヒ○共銃ヲ臂内ニ取り一声

鼓ニテ看前ニ執ル

○半大隊點火

一 半大隊打方

二 右(左)大隊ニ接ヘ

三 起シ又

四 打テ急鼓ヲ奏ス

五 退ル

○大隊點火

一 大隊打方

二 大隊ニ接ヘ

三 狙ハシ四射ヲ點火特旨

四 打

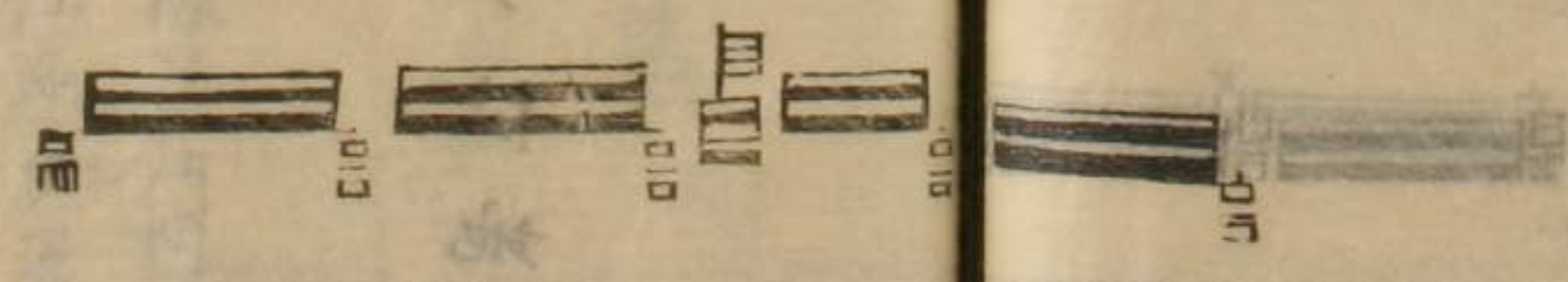
五 退ル

○隔列點火

一 各列打方

二 大隊ニ接ヘ

三 一番(一番)ニ狙ヘ





四打て

○二列點火

一 二列打て

二 大隊||接へ

三 敵軍

以上四種ノ點火諸官ノ位地共一同

○反面點火

一 後面打て

二 大隊方内||迎て

① 二三百六歩前進ス鼓手此空際ヨリ三ノ五七ノ

口ハ其部ノ三ノ口ノ空位ヨリ位地ヲ反ス

② 日ハ其二列ノ伍長ト位地ヲ変換シ反面ノ第

一列ニ入整ス凶次ニ出ス

點火ノ令上ニ同シ



同  
ス

○半大隊點火ハ依然トノ故稱ヲ用ユ  
○二列點火ハ反面ノ右翼隊故左伍ヨ  
リ始ム

○正面回復

一 向背復れ  
二 大隊右向ニ廻る

○諸紀律上ニ異ナルナシ

○休憩

○此隊ハ休め  
○再ヒ整列セ使ハニ令詞ニ換テ播鼓ヲ打タシメ后

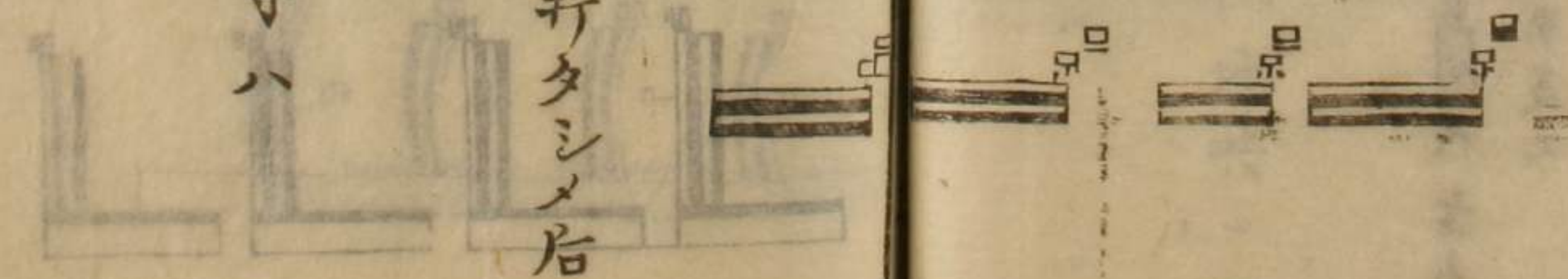
○大隊

○位地ヲ退テ休マ使ル寸ハ

○組めニ簡

○整復ハ播鼓ヲ打テ兵士ヲ集會セシメ

○身ヲ定ムルニ大隊





隊ヲ  
言ハ  
シテ  
速ニ  
行ク

第二教

第一套

○時 ○小隊右(左)重隊

一 小隊右(左)重隊

二 早足ニ進め

○右ノ令小隊畧解ニ出ス

中隊ヲ以テ編制スル寸ハ

小隊ノ令ニ代ルニ(中隊ト

唱フヘシ

○同行進間

一 小隊右(左)重隊

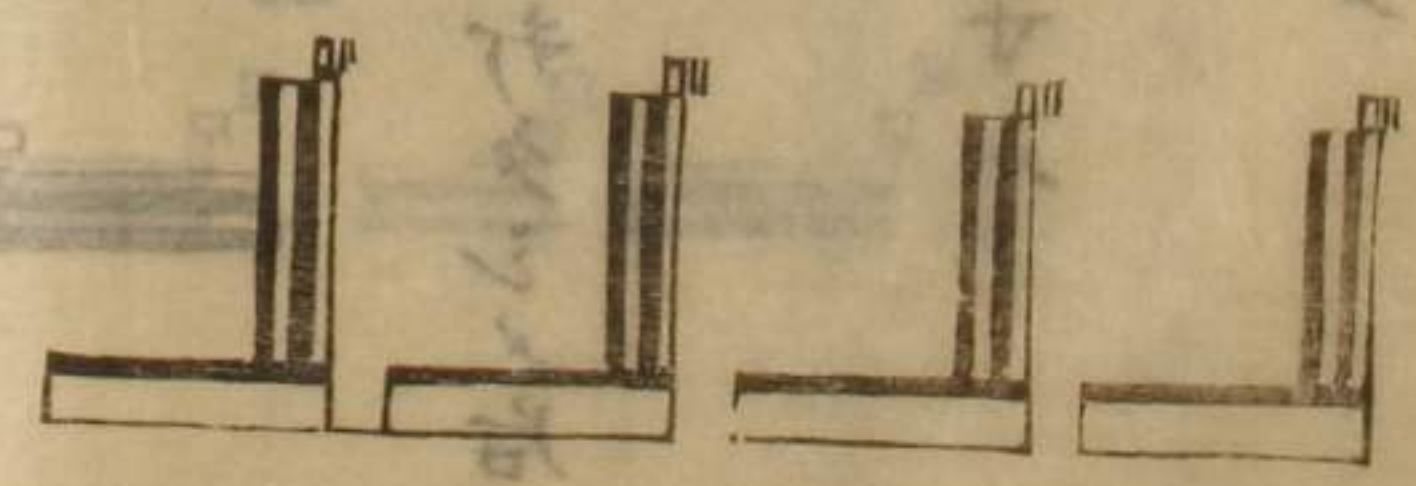
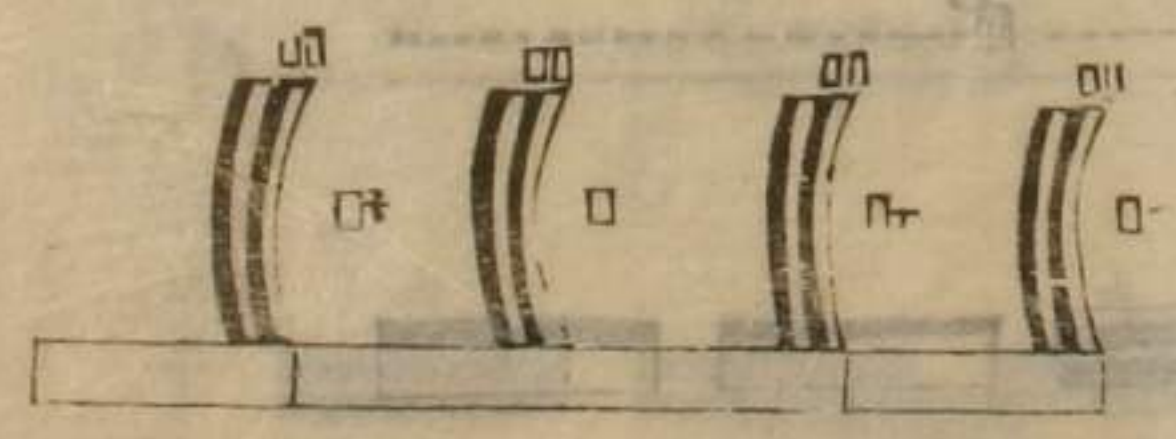
二 早足ニ進め

三 大隊ヲ入

四 進め

五 御導左(右)

○右ハ先進 言ニ直線ノ標點ヲ示ス





右首重隊  
左首重隊

○左方行進ヲ為ス右首重隊

首及七口圖ノ如ク位ス

一 小隊前へ

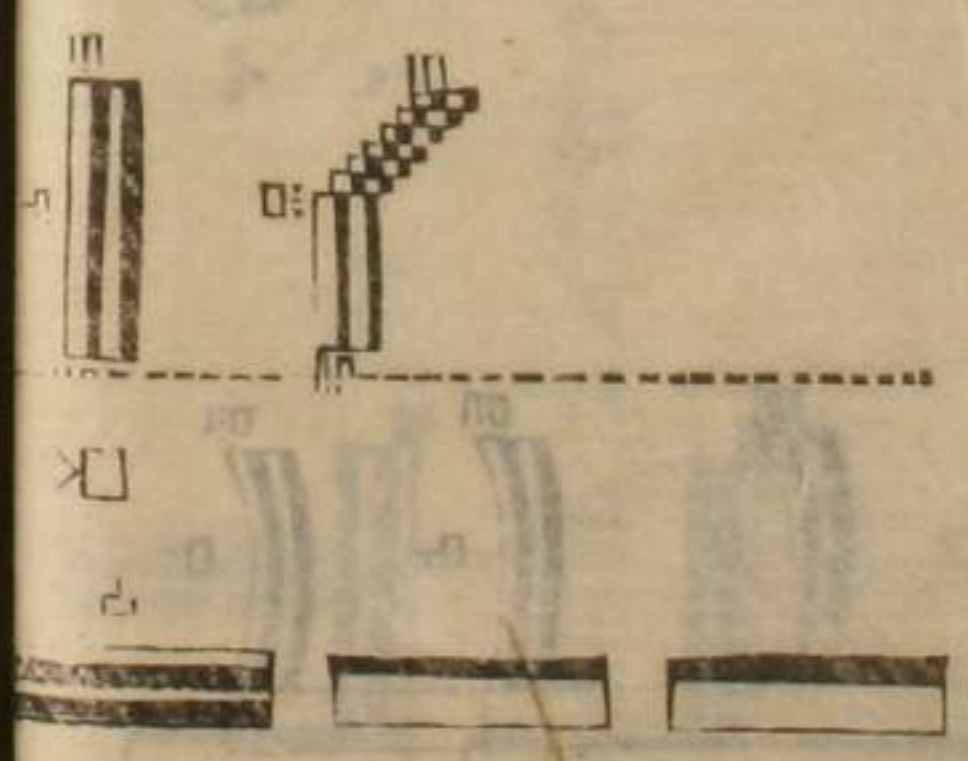
二 々々導左

三 早且ハ進め

○小隊間隔ニシテ

一 廻り左へ

二 進め



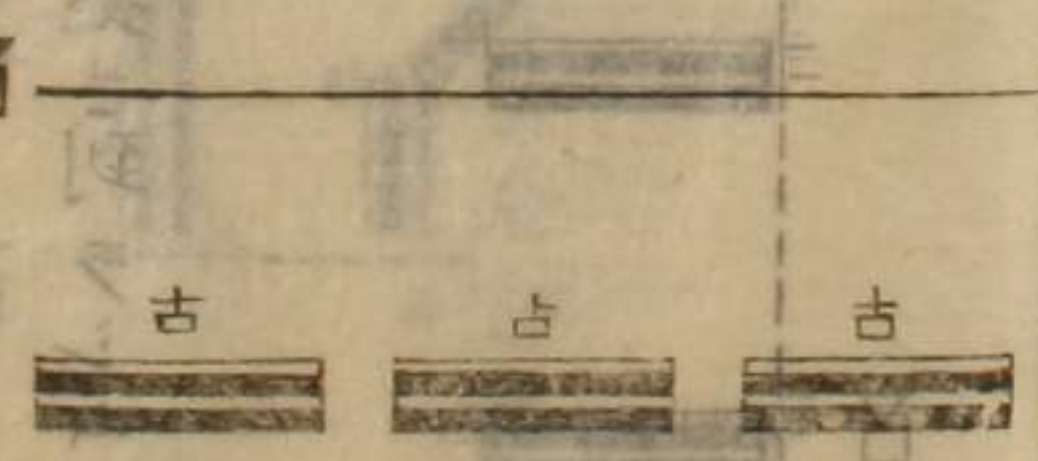
○首八重隊行進ノ本位ニ附屬ス

右方行進ヲ為ス左首重隊ヲ  
要スルモ唯之ニ及ス

三 早且ハ進め

二 々々導左

一 大進め



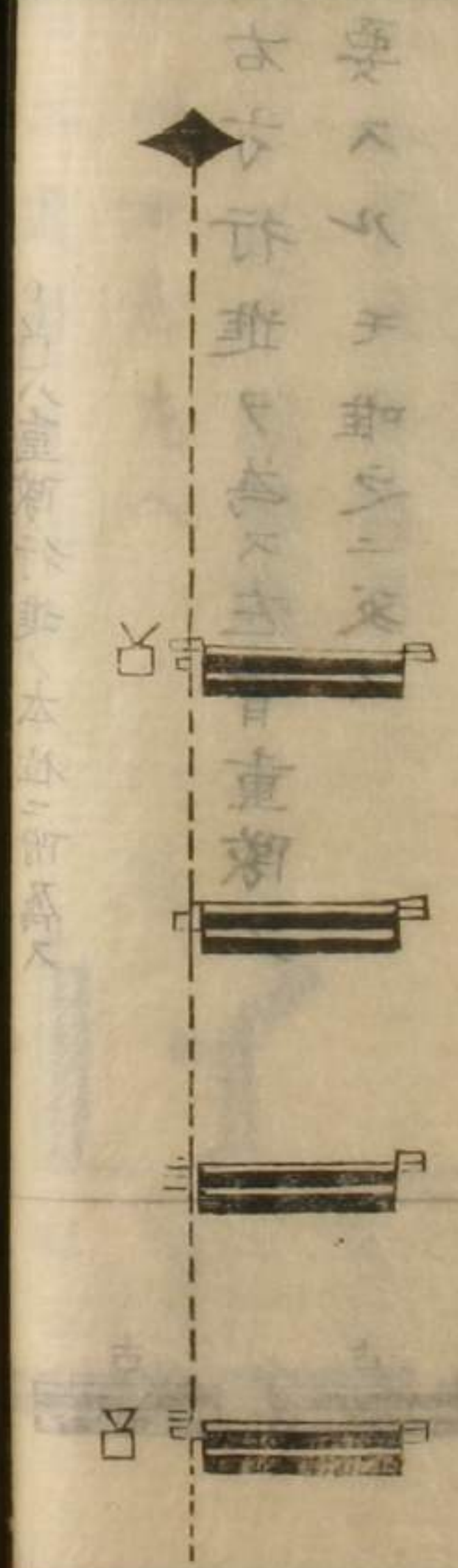
○重隊行進



全卷  
在括

第二套  
○重隊行進

- 一大隊右へ ○古先進三日直線ノ標点ヲ示ス各ハ
- 二右隊方(右) 右ヲノ前面三四十歩ノ地ニ到ラシム
- 三早足ニ進め

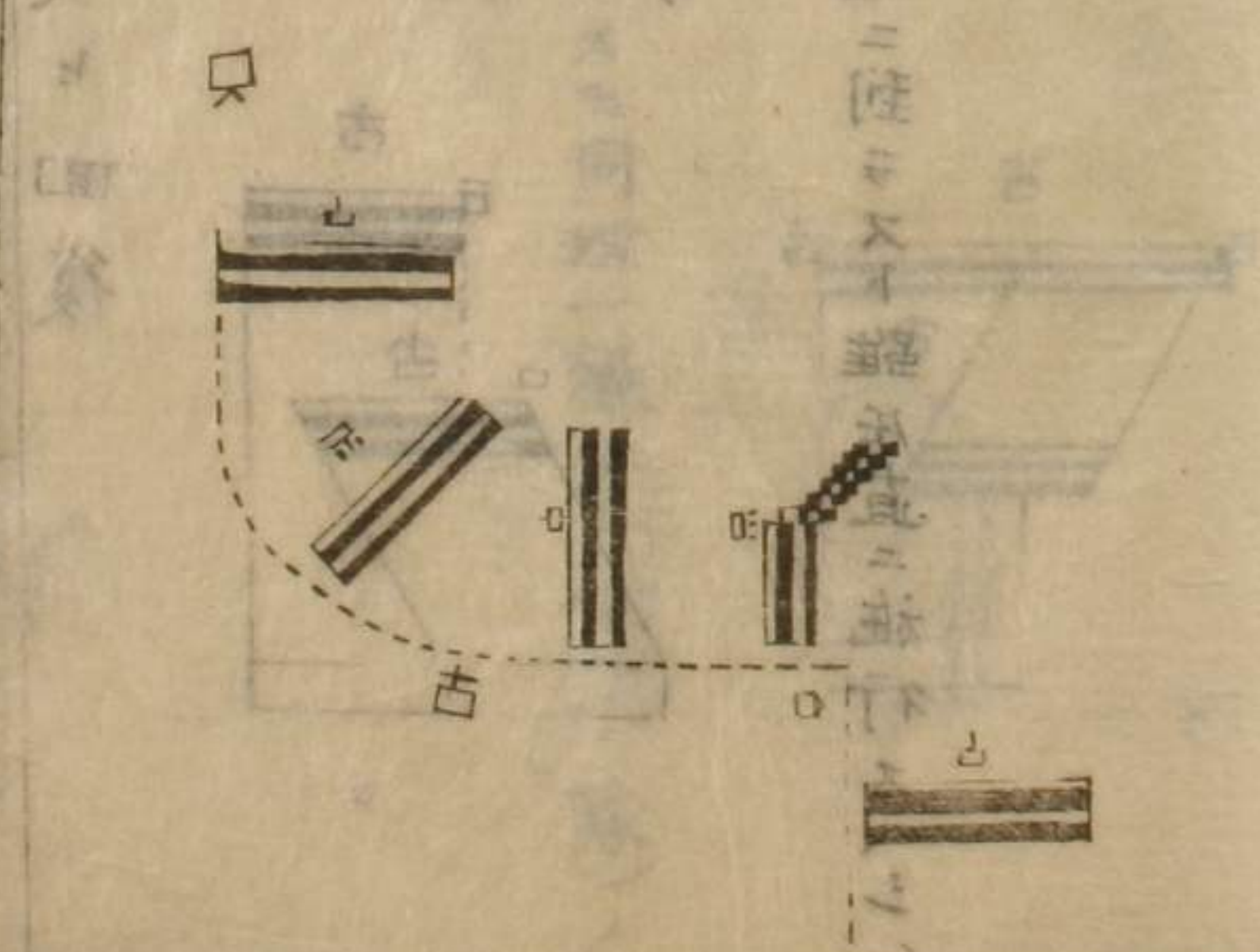


○直線変換

古先頭命シ

- 一廻左へ
- 二進め

- 一右旋り
- 二進め
- 古ノ乗ル馬ノ首ニ繩ル、許ニ行進ス





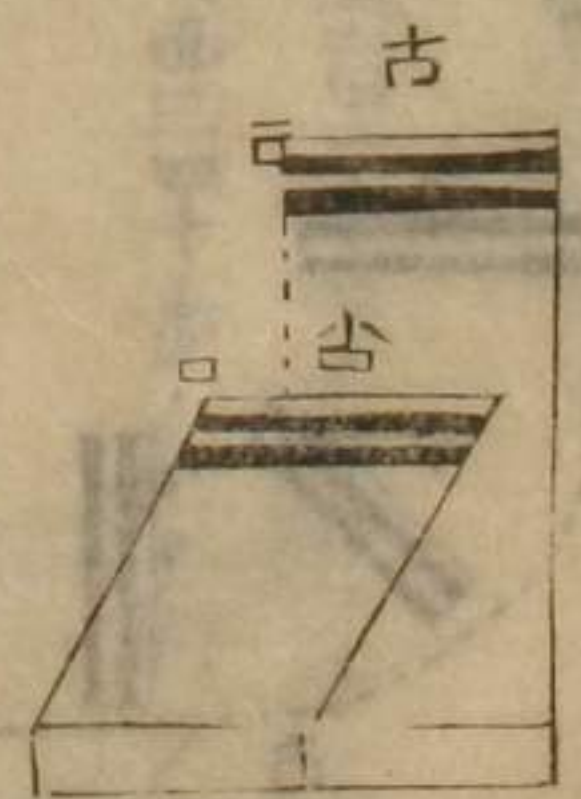
○半隊區分及ヒ回復

古或ハ百先頭古ニ命シ

一 小隊分事

二 進出

古ノ令小隊略解ニ出ツ



古自ラ令ヲ下ス寸ハ其地ニ到ラスト雖任直ニ施行スヘシ

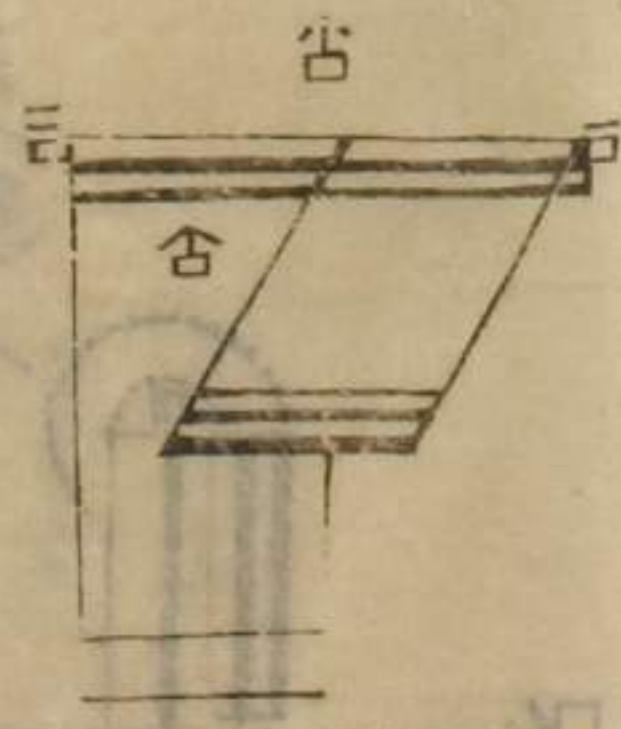
古

必詳(全隊)

一 半隊令セ

二 進め

一 合ノ令同上



中隊ヲ以テ此運動ヲナスモ同理一轍タリ唯(小隊)ノ語ヲ(中隊)ニ代ルノミ



第三套

(一) 往還双行

一 往き(左) 止む

二 大隊(右) 向

中 隊。各位(右) 反面ス

三 往く(左) へ

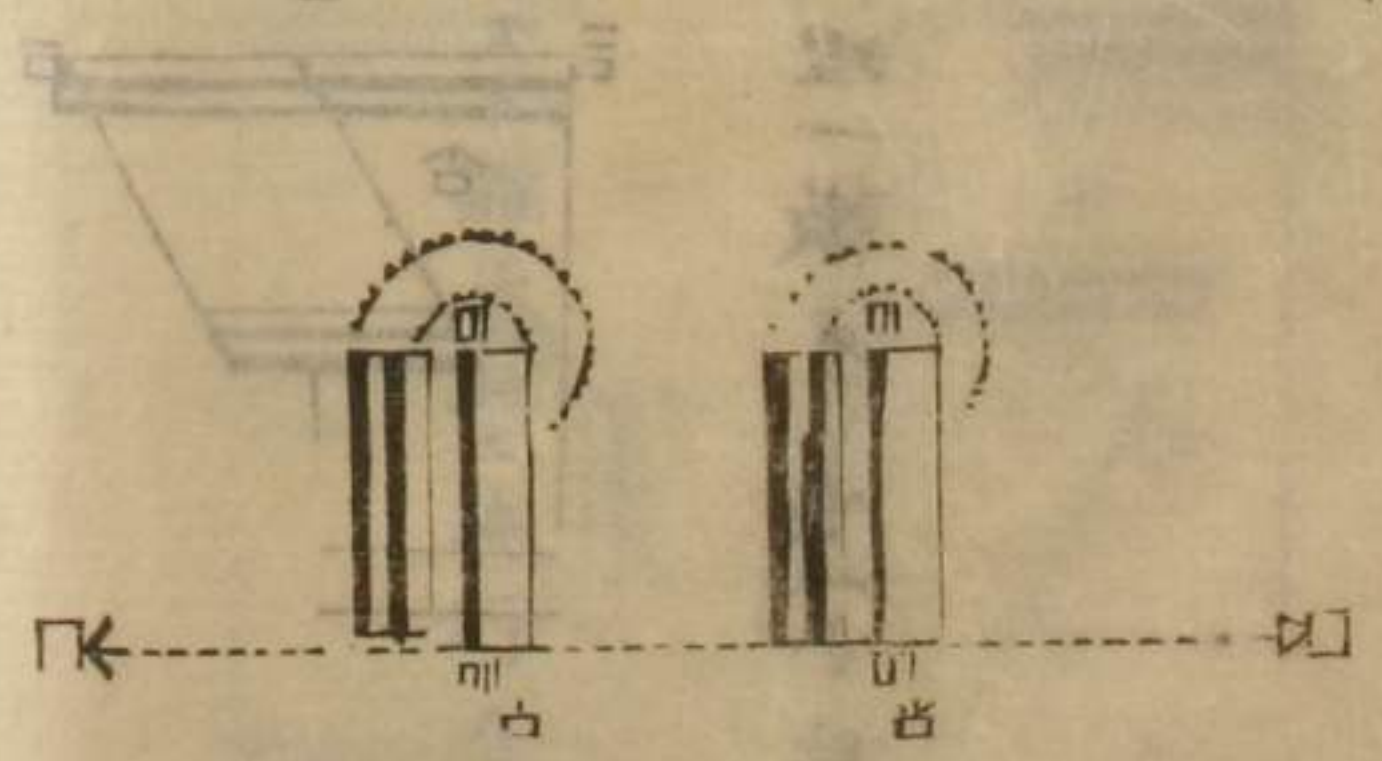
四 早且(右) 進め

一 小隊(右) 止む

二 西面へ

三 右へ準へ

四 北也



○ 整頓ノ後(右) 位置ヲ変更ス

一 往き(左) 止む

二 大隊(右) 側面(左) へ

三 進め

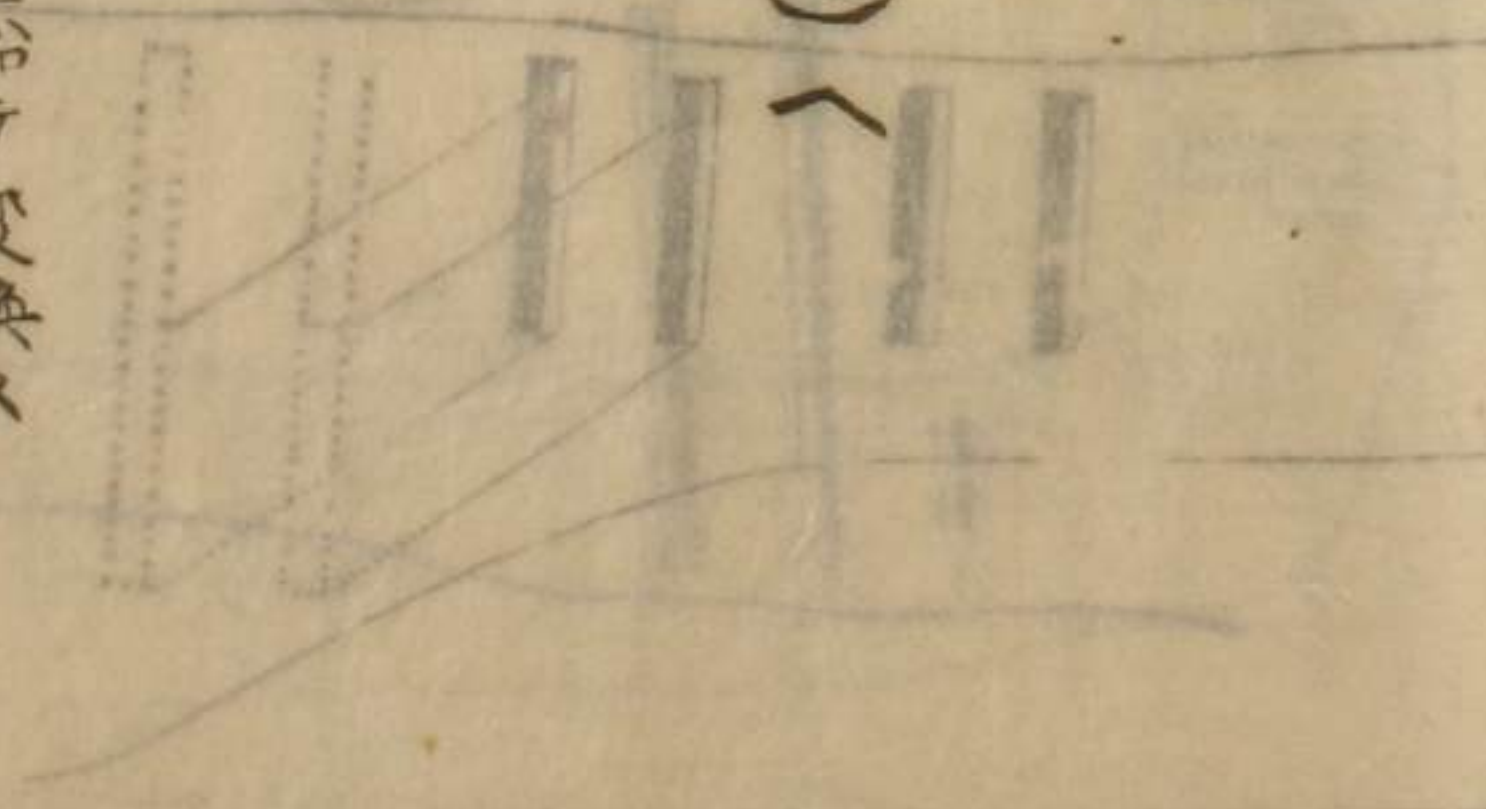
四 西面へ

○ 共ニ反面シテ撃歩ス

一 大隊(右) 側面(左) へ

二 進め

三 右導(左) ○ 嚮導隊ノ後ニ沿テ変換ス





第四套

○行路重隊

重隊行進ハ小隊ヲ以テスルヲ  
常トス

行路狭小ナルニ及テハ半隊ヲ編

制ス

此運動同地位ニ到テ為スモ一

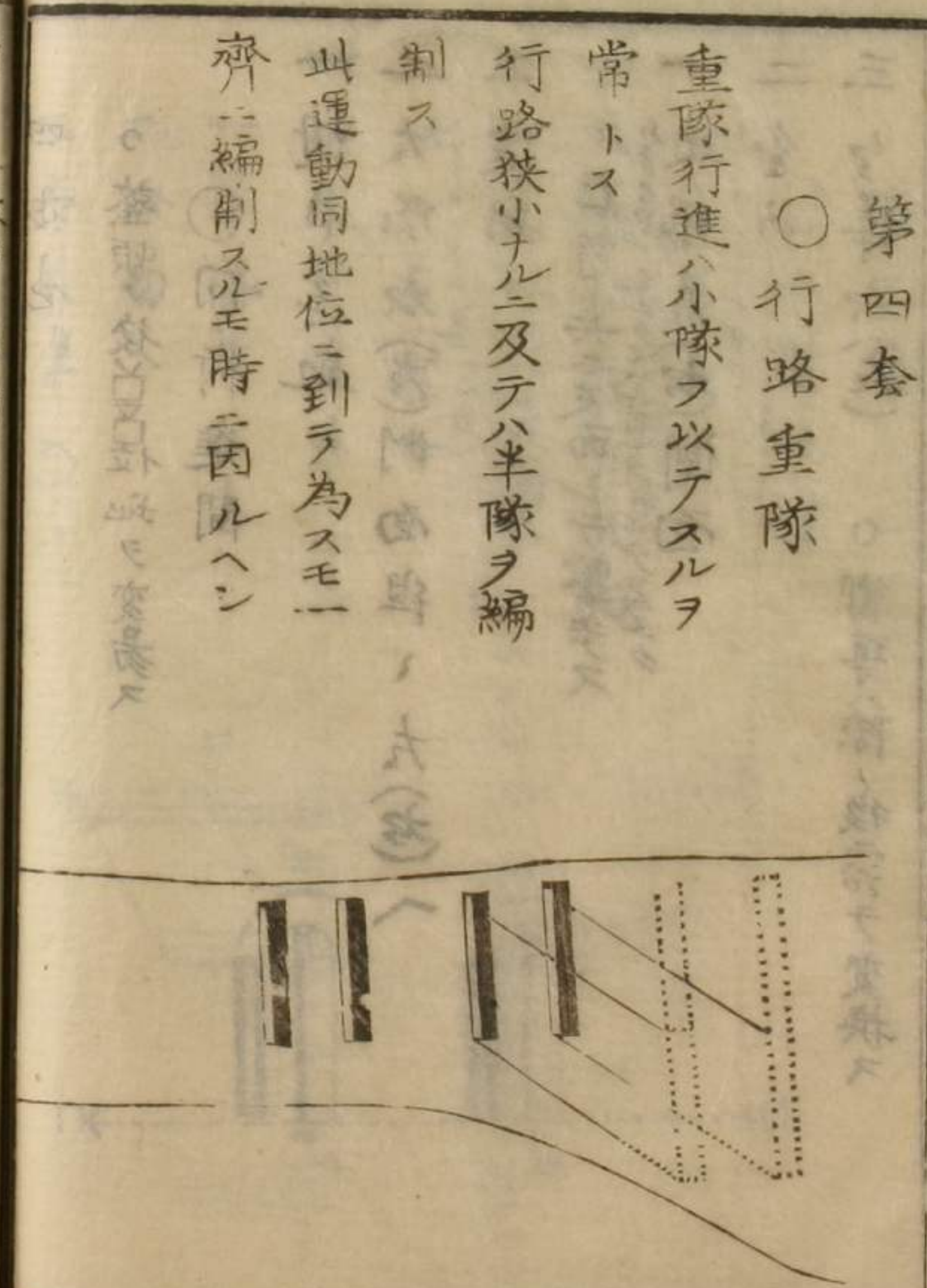
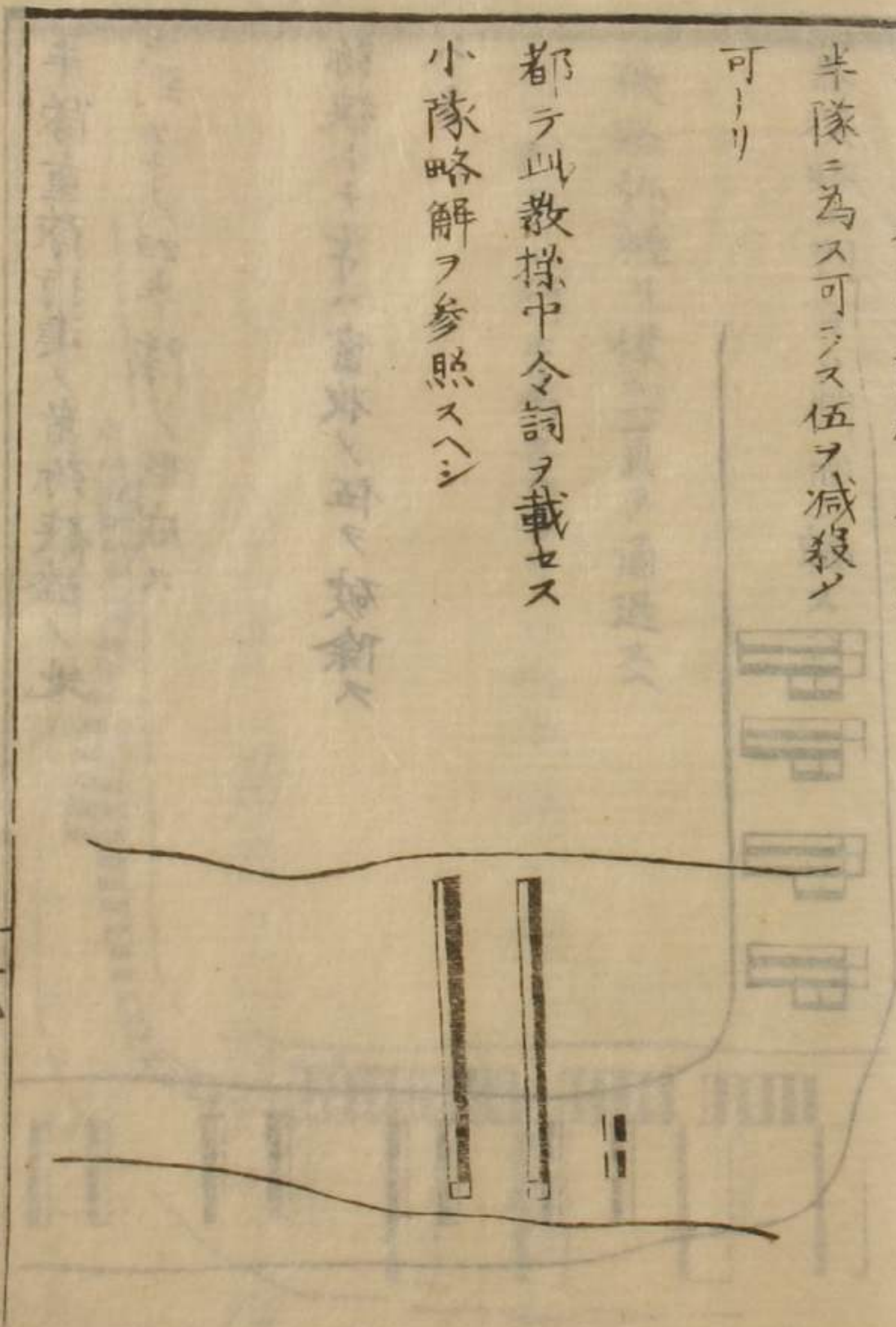
齊ニ編制スルモ時ニ因ルヘシ

暗カシル微細ノ障礙ニ在テハ

半隊ニ為ス可ラス伍ヲ減殺シ

可リ

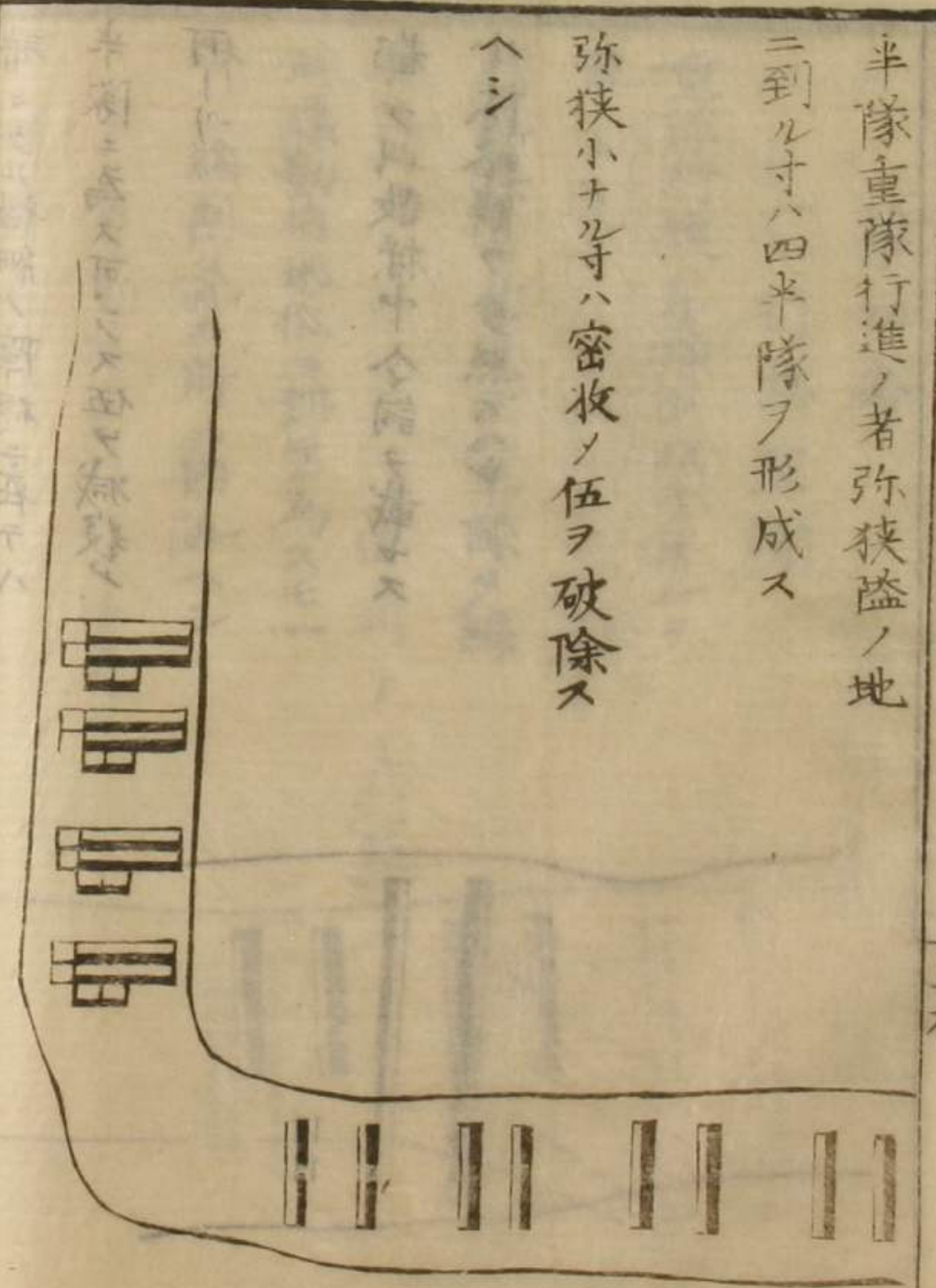
都テ此教採中令詞ヲ載セス  
小隊略解ヲ参照スヘシ





半隊重隊行進ノ者弥狭隘ノ地  
ニ到ル寸ハ四半隊ヲ形成ス

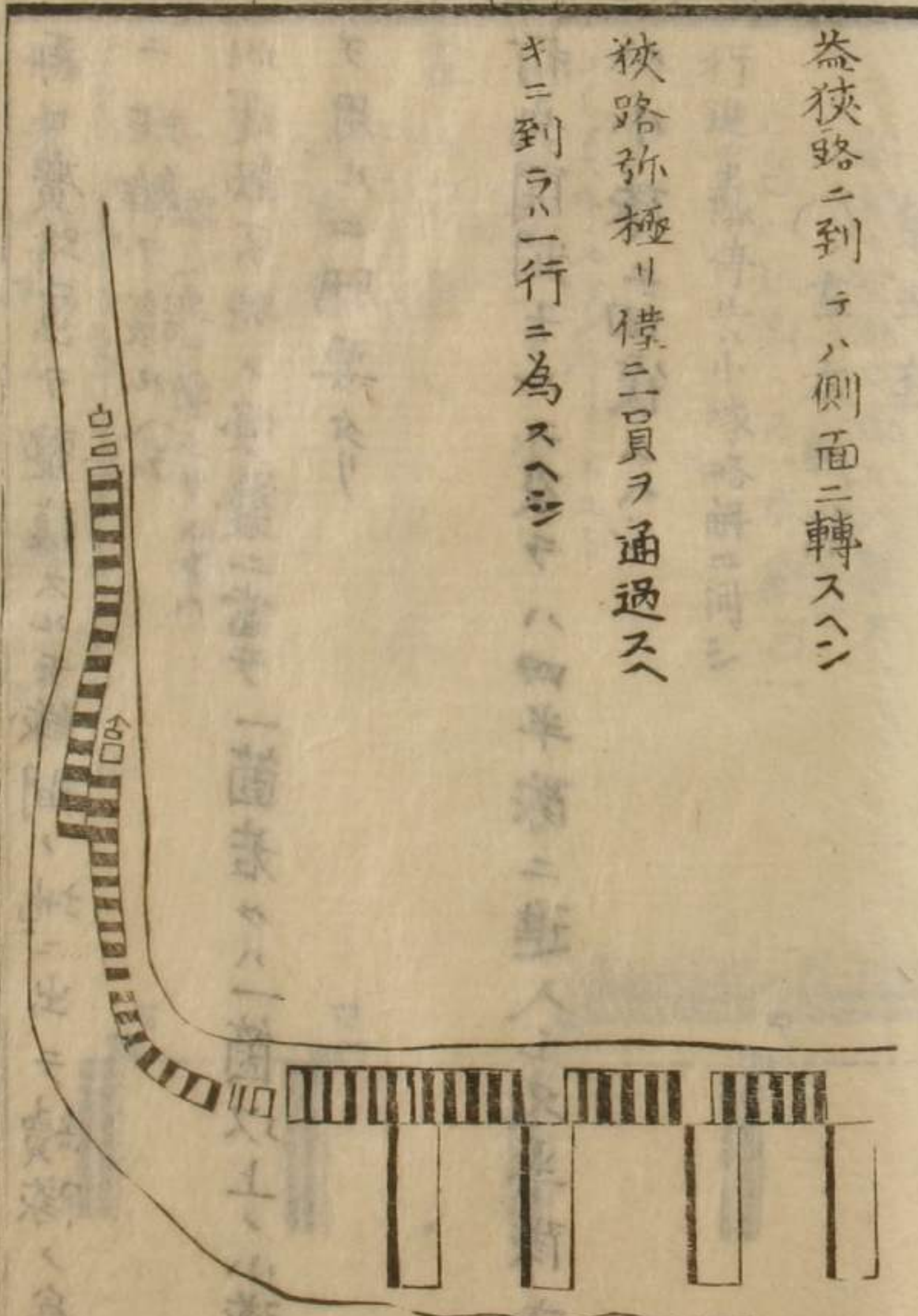
弥狭小ナル寸ハ密收ノ伍ヲ破除ス  
ヘシ



益狭路ニ到ラハ側面ニ轉スヘシ

狭路弥極リ僅ニ員ヲ通過ス

ギニ到ラハ一行ニ為スヘシ



△列に作  
見二列  
呈治  
茶の香



三列は作  
二列は  
小み  
左へ

再七廣路ニ出テ整復スルモ隊間ノ地ニ出テ續隊ノ爲  
ニ距離ヲ讓ルヘシ  
此運動不時ノ侵襲ニ當テ一箇若クハ二箇以上ノ小隊  
ヲ用ルニ肝要タリ

行先開濶ナルニ及ラハ四半隊ニ進入シ又半隊ニ  
ハ小隊ニ回復スヘシ



第五套

○左右戦隊

行進中隊停止ハ小隊略解ニ同シ

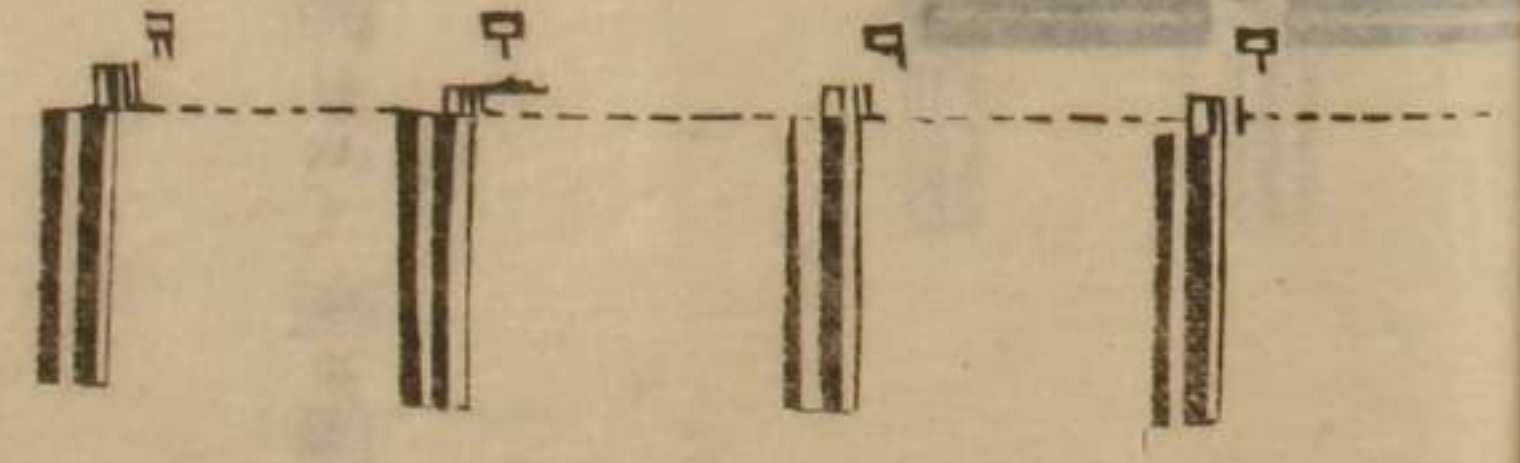
コイマスホルルマンリノトエー  
郷守長へ

左へ

古壘也

○若シ之ヲ要セサルナ

コイマシトコイマシトコイマシトコイマシト  
行進中隊略解ニ同シ



布列此様  
中九兵  
一以下  
諭方  
三伍  
右三列  
手ス



一 左隊隊リニラスイニハタイル  
二 早退リ進め

古令小隊略解ニ出ツ

○左首重隊右戦隊ヲ為ス  
モ同シ

御導リ故へ

○言ハ攻傍ノ占一步進  
○一歩退ク空位ヲ通り入整ス

○同行進問

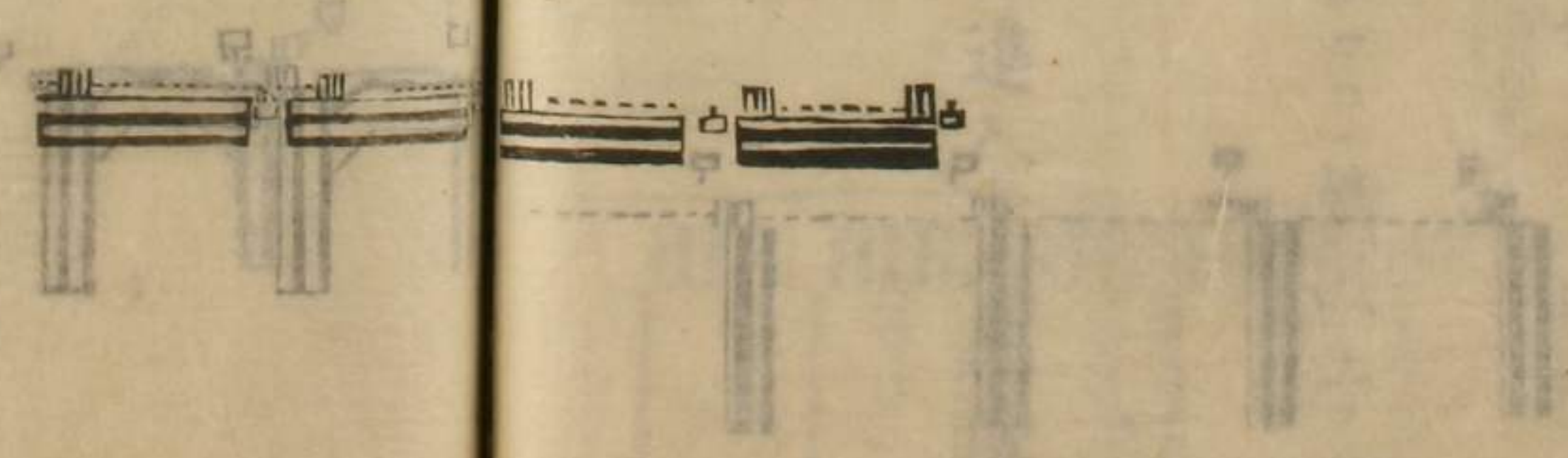
古元進ニ御導ヲ直線ニ相モシ

御導方へハ準へ

一 左残隊

二 進め

○此令ニテ言直ニ停止ス困ノ口ハ言ニ對向スルノ地ニ到ル  
○其他言令上ニ同シ





第三教

第一套

○後面重隊

一 小隊云後面重隊

二 大隊

右 || 向中

三 早呈 || 進め

○ 台空圖ノ如ク出

○ 右翼ニ終ル

一 小隊 || 止む

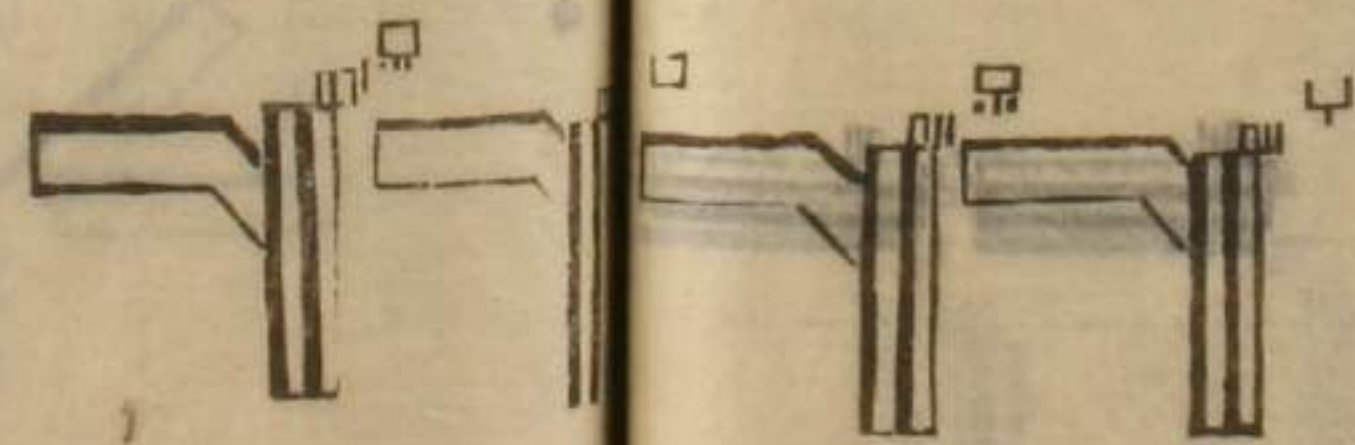
二 正面へ

三 左へ準へ

四 直進

○ 古隊ノ正中ニ到

左方後面ニ編制スルモ唯之ニ  
及スルノミ





○同行進間

戰隊停止スルモノ、直上ノ令ヲ下シ既ニ重隊線ニ進入シ  
タル時

一 左平面

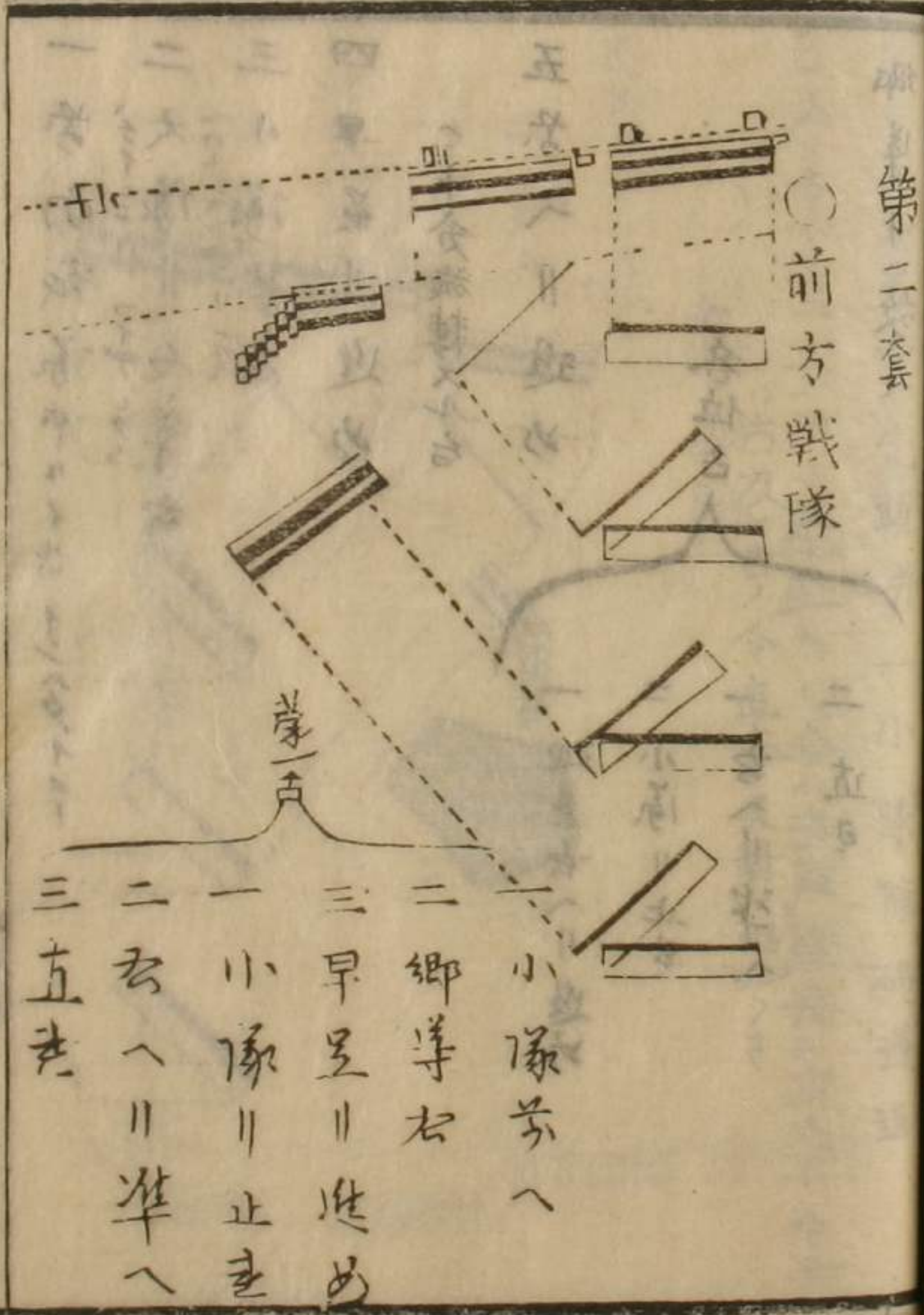
二 進め

○白本位ニ到ル

三 御導左

第二套

○前方戦隊









障碍進着ノ

- 一 小隊右(左)側而進(左)右へ
- 二 進め

の既ニ通過シテ

- 一 小隊右(左)側
- 二 進め

○同行進間

古及古令共三上二同シ唯進メノ令ハ先頭標兵ニ近ク中隊  
間隔ニノ突撃ヲ出陣并一ノ新新隊

○後面戦隊

運動九上二同シ

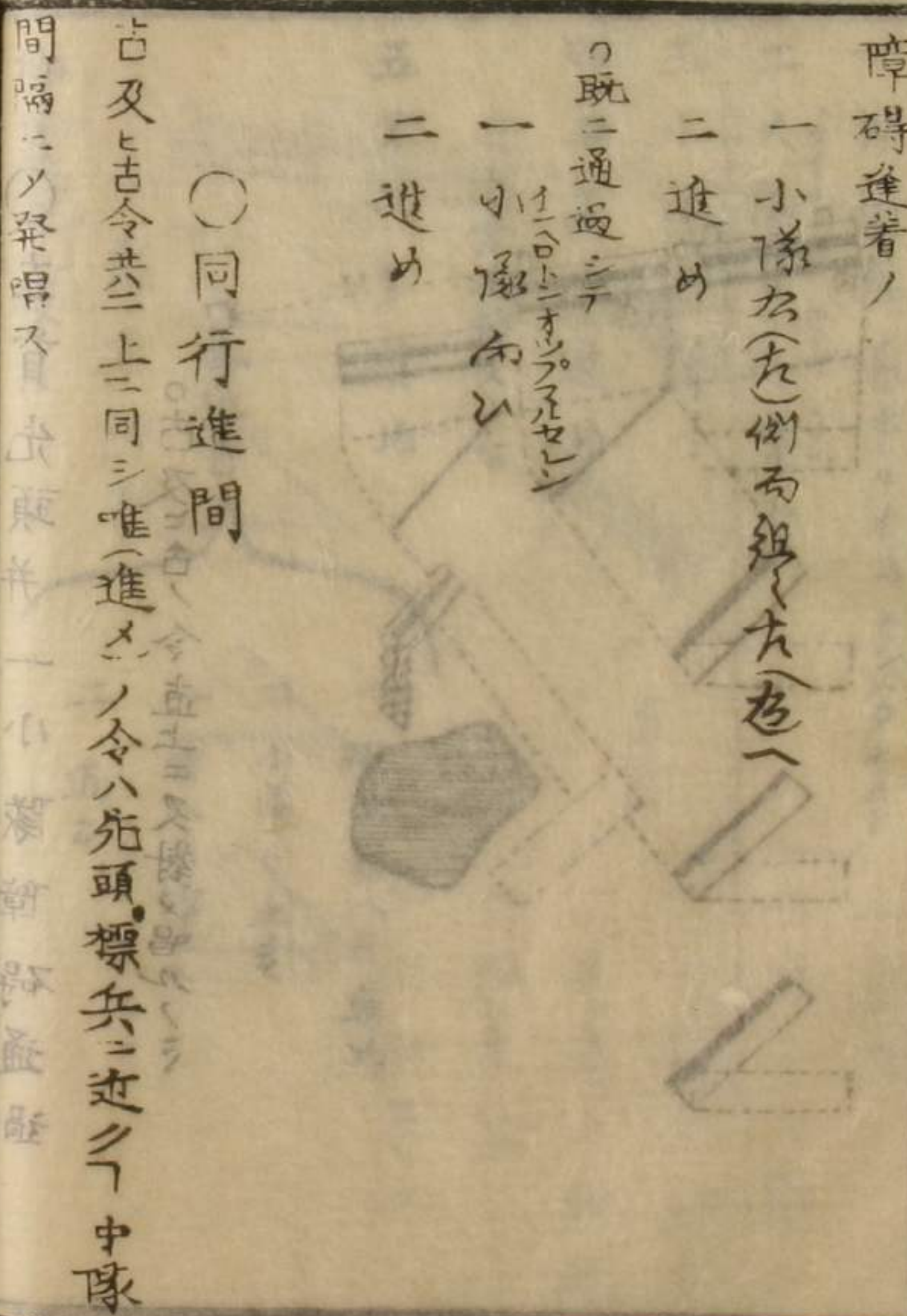
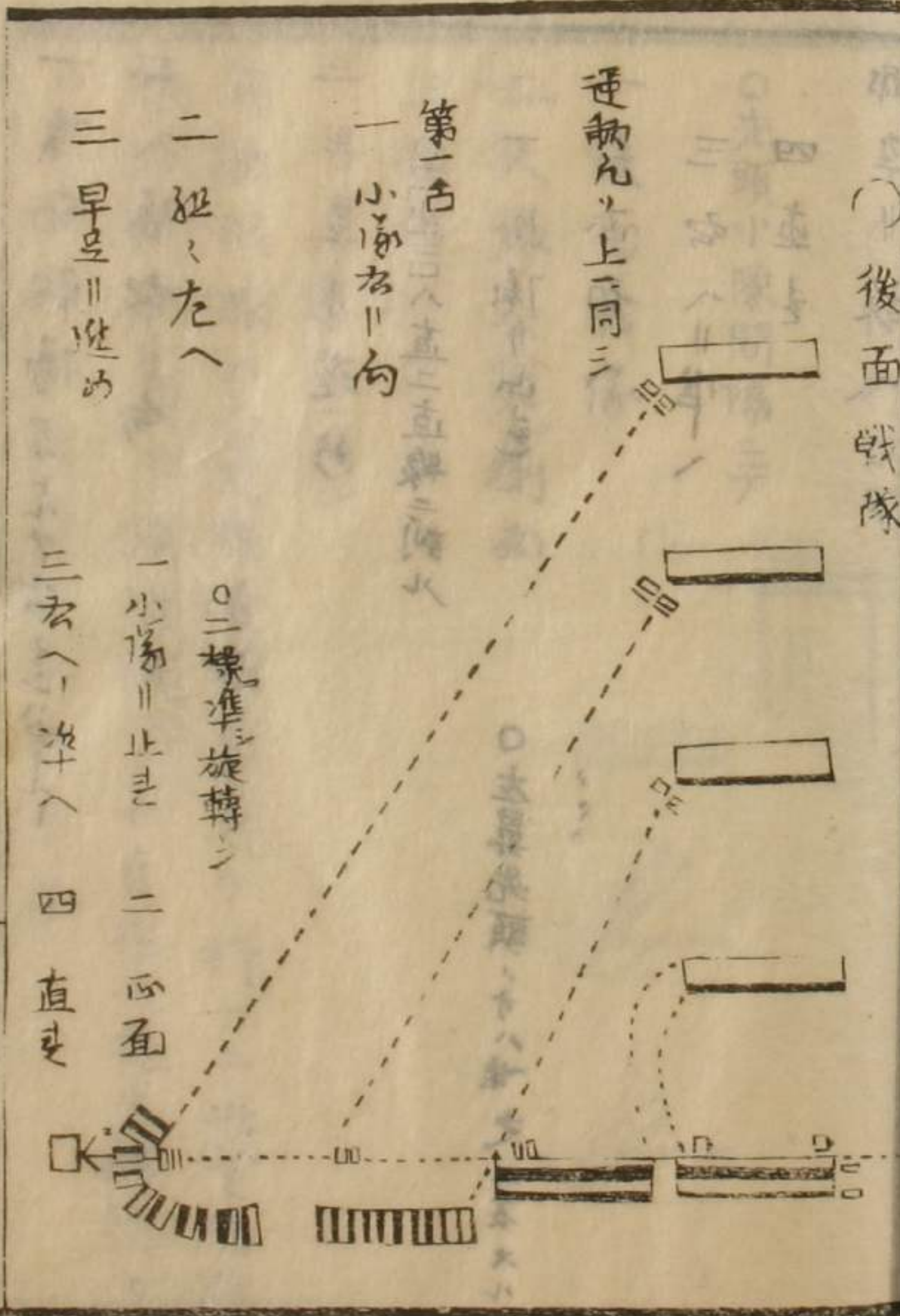
第一古

- 一 小隊右(左)側

- 二 進め
- 三 早進ニ進め

○二標準旋轉シ

- 一 小隊止ま
- 二 正面
- 三 右へ(左)へ
- 四 直進





一 後面戰隊ヲ上ルルコトニカイル  
 二 大隊云々

三 早立ニ進め

○ 二三ハ直ニ直線ニ到ル

一 小隊ハ山迄

二 正面へ

三 右へ準備

四 進ま

郷卒ニ故へ

○ 左翼先頭ノ寸ハ准之一五スル

○ 同行進間

○ 先頭小隊間隔ニテ

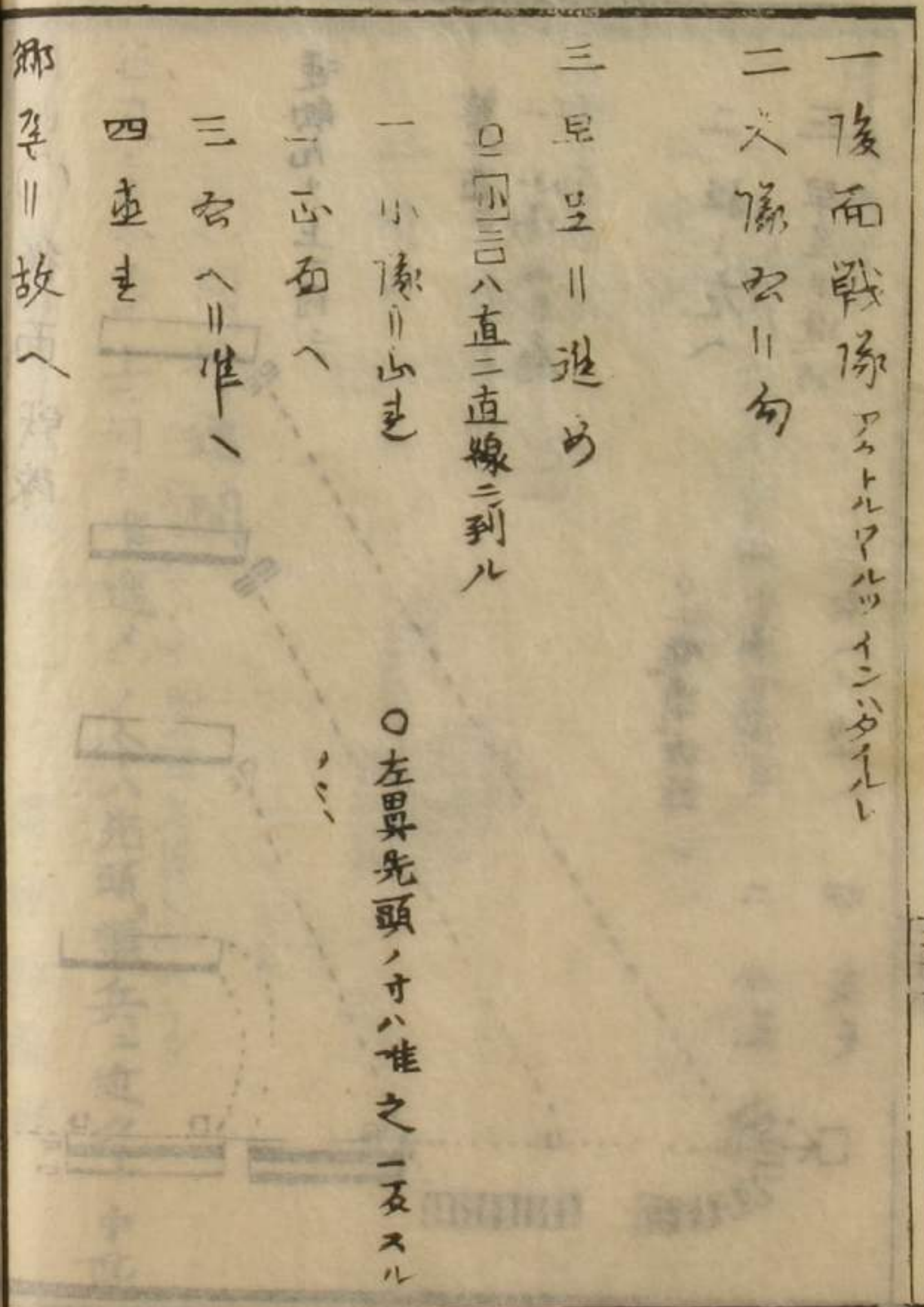
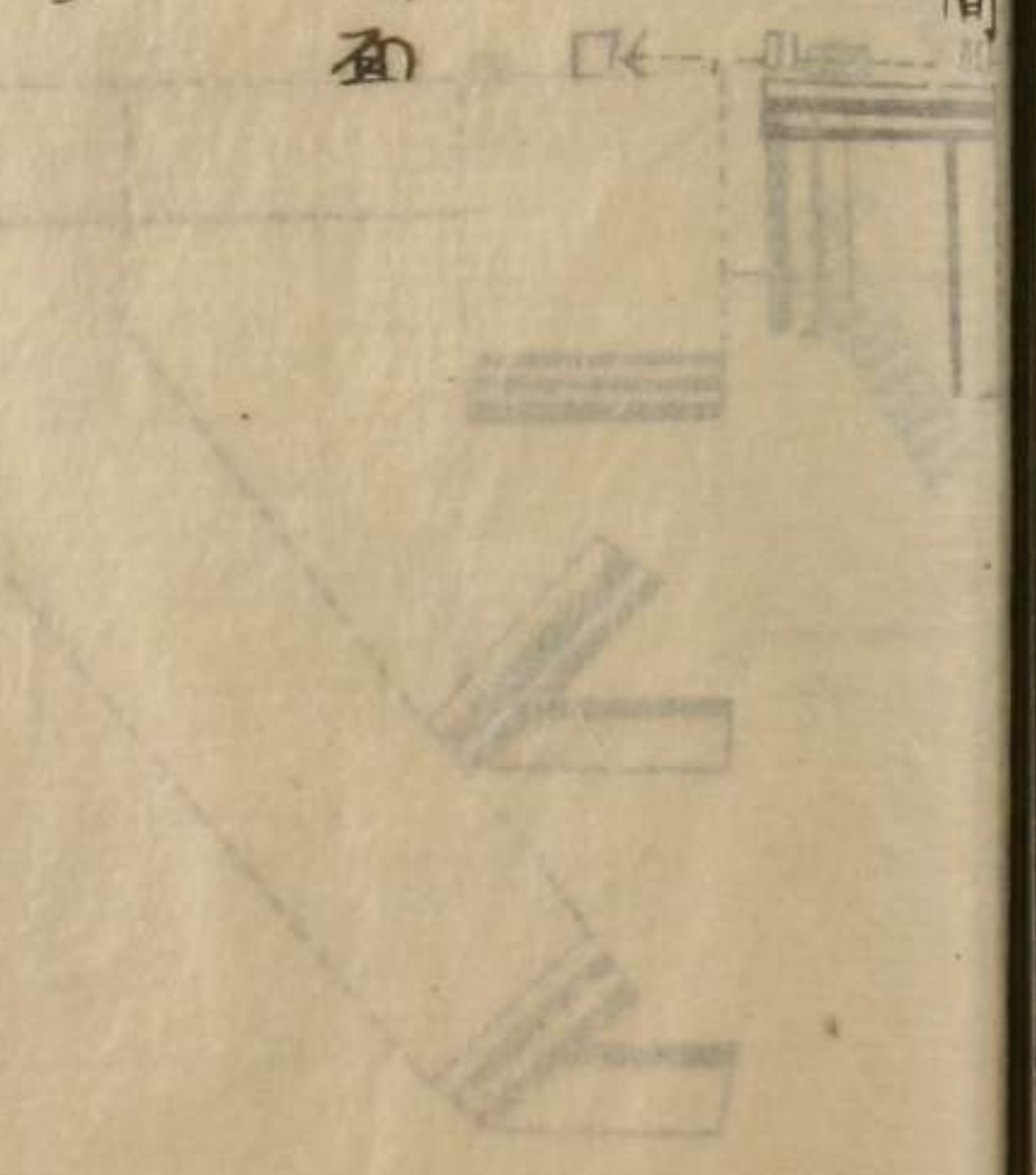
一 後面戰隊

二 又隊云々(右)側面

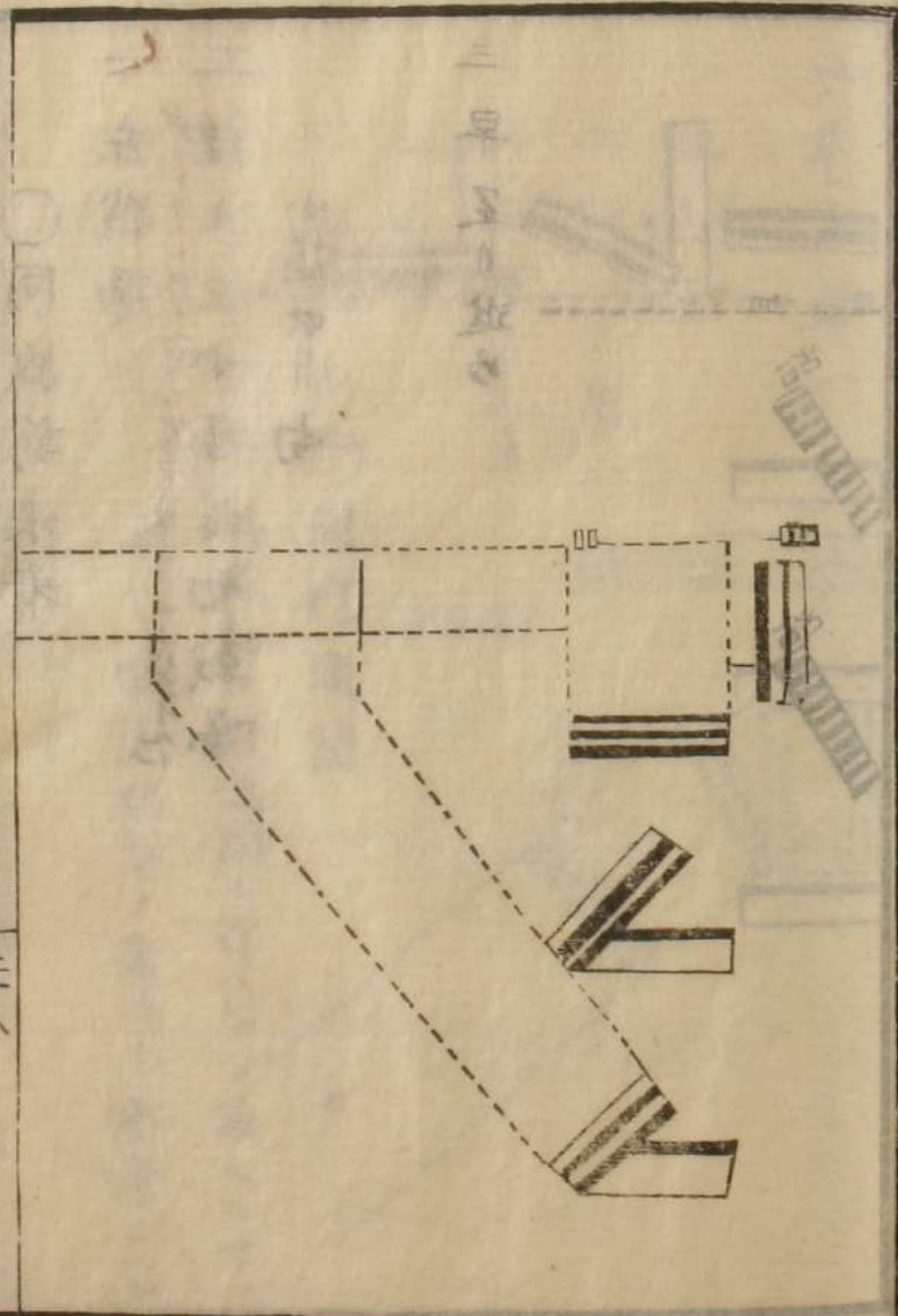
三 進め

○ 奇ノ令上ニ同シ

前面戰隊ハ全間隔重隊ノミ之ヲ行フニ此背面戰  
 隊ハ閉合或ハ半隊間隔ニテモ自在ニ之ヲ施行ス  
 ルナリ







天

○二運動戰隊線後未着

一右戰隊  
 二後三小隊前面戰隊  
 一右隊右  
 二小隊半左  
 三早足進出  
 一前隊陣前  
 ○決取小間新三



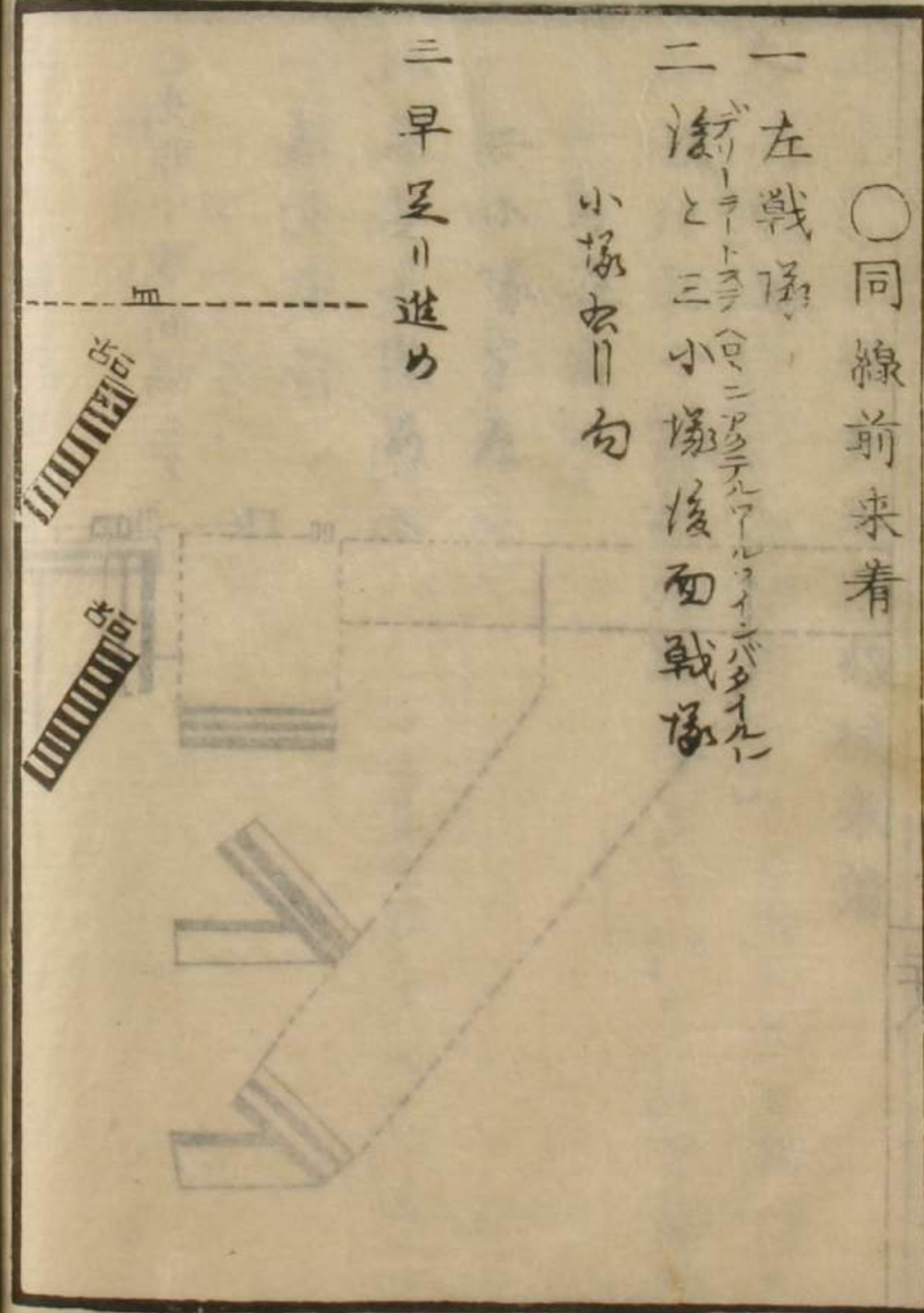
○同線前到着

一 左戦隊

二 濠と三小隊後面戦隊

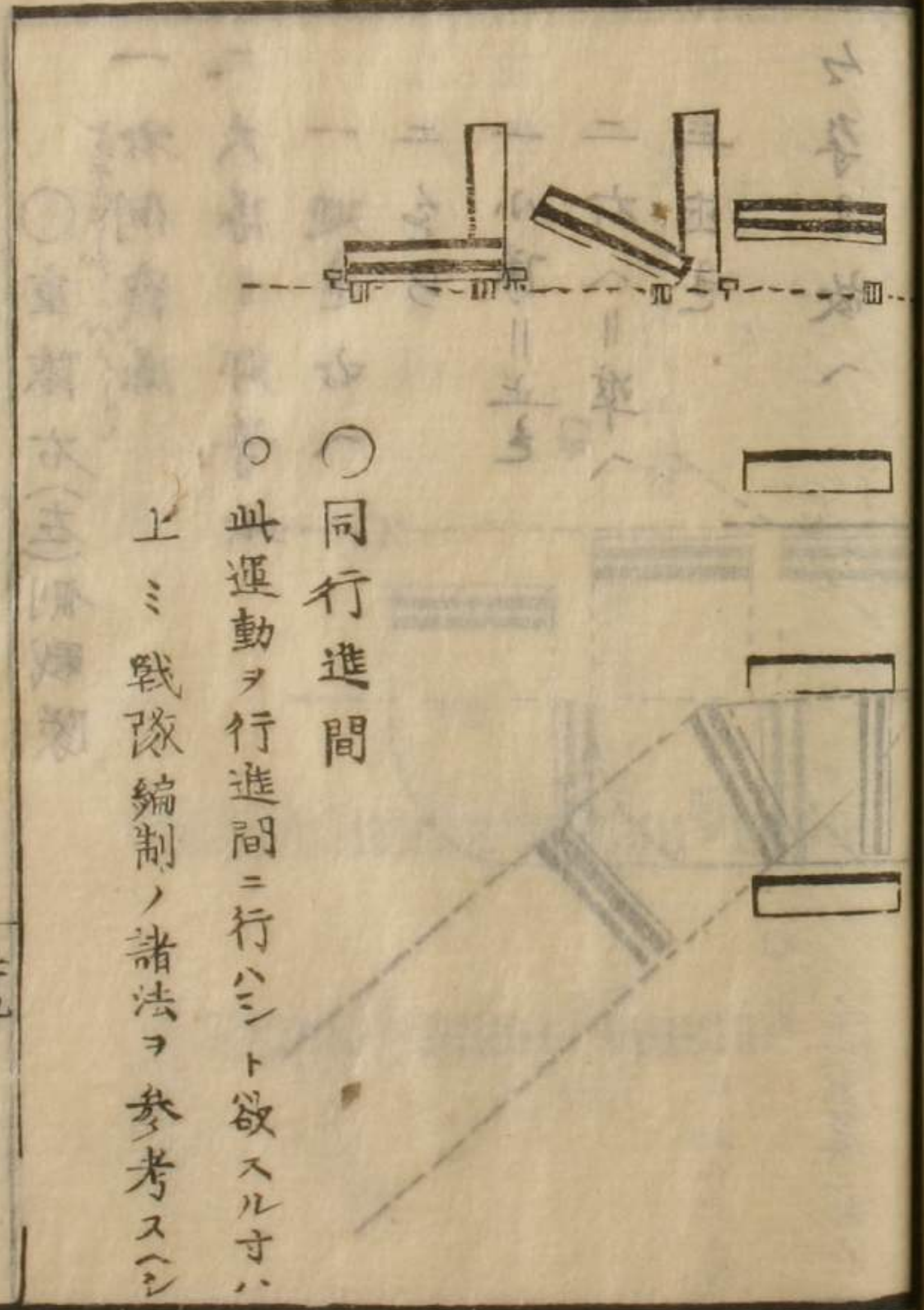
小隊中口句

三 早足り進り



○同行進間

○此運動ヲ行進間ニ行ハント欲スル寸ハ  
上ニ戦隊編制ノ諸法ヲ参考スヘシ





○重隊右(左)側戰隊

一 右側戰隊

二 大隊 〓 郷導 去

一 廻走 右へ 同 行 曲 間

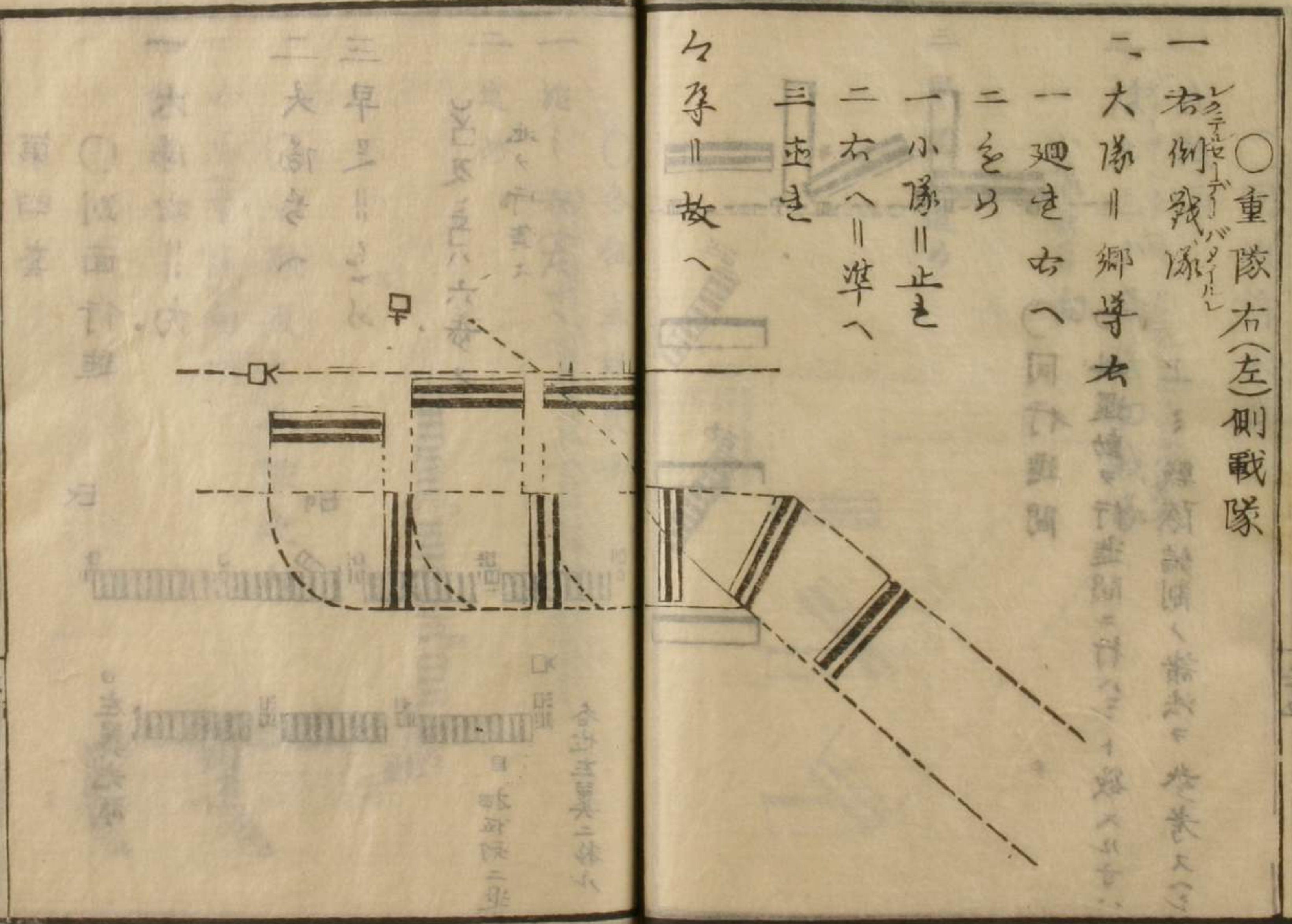
二 色 以

一 小隊 〓 止 色

二 右へ 〓 準 へ

三 直 色

々 隊 〓 故 へ



合山 五里 二 林 火

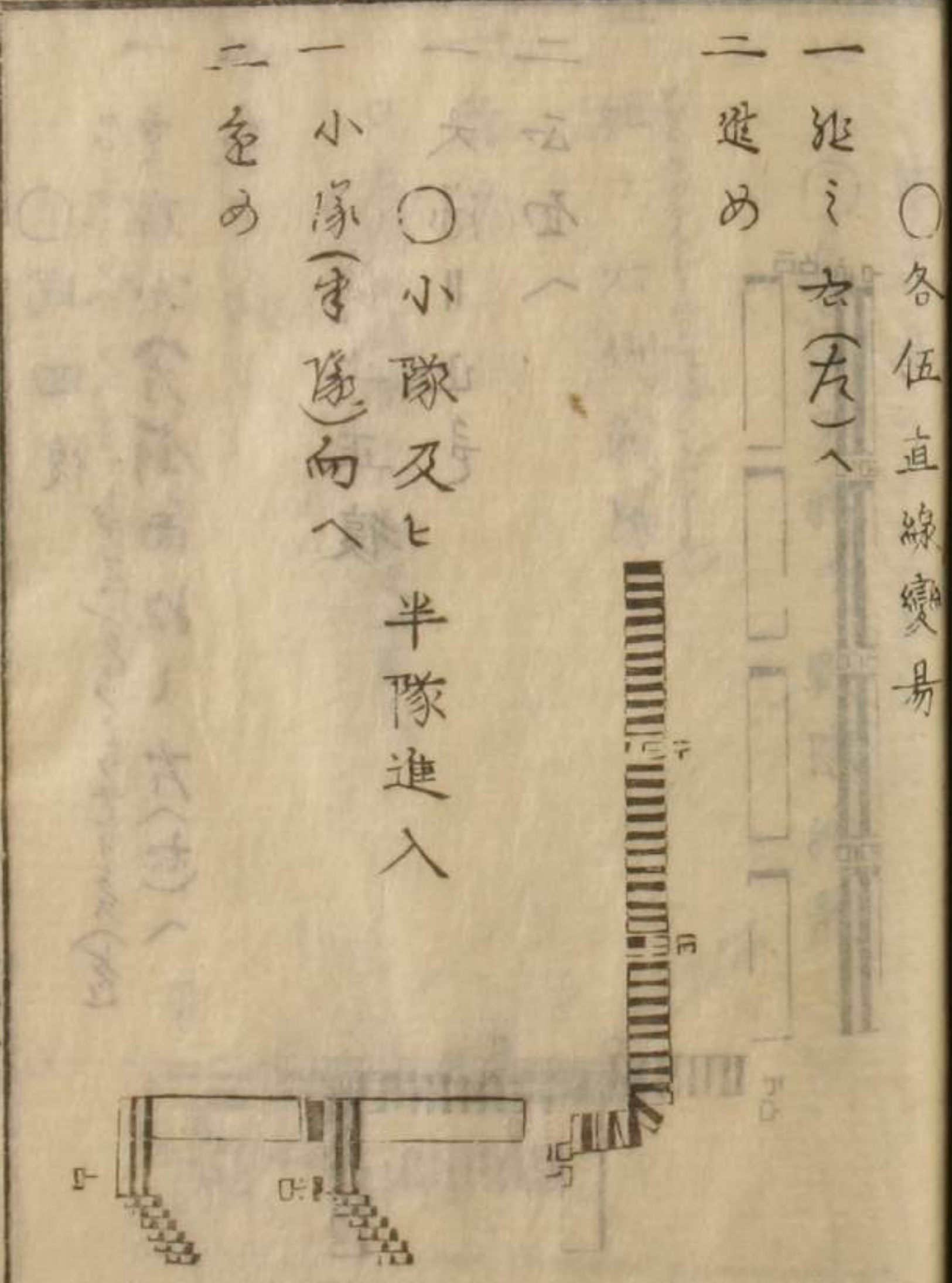
目 味 隊 二 班

去 裏 六 本

三 千



一法  
側面行進中  
△三ノ隊に  
作  
△何カの小隊  
大ニ側面



- 一 進め
- 二 進め
- 小隊及ヒ半隊進入

○ 各伍直線變易

第四套  
○ 側面行進



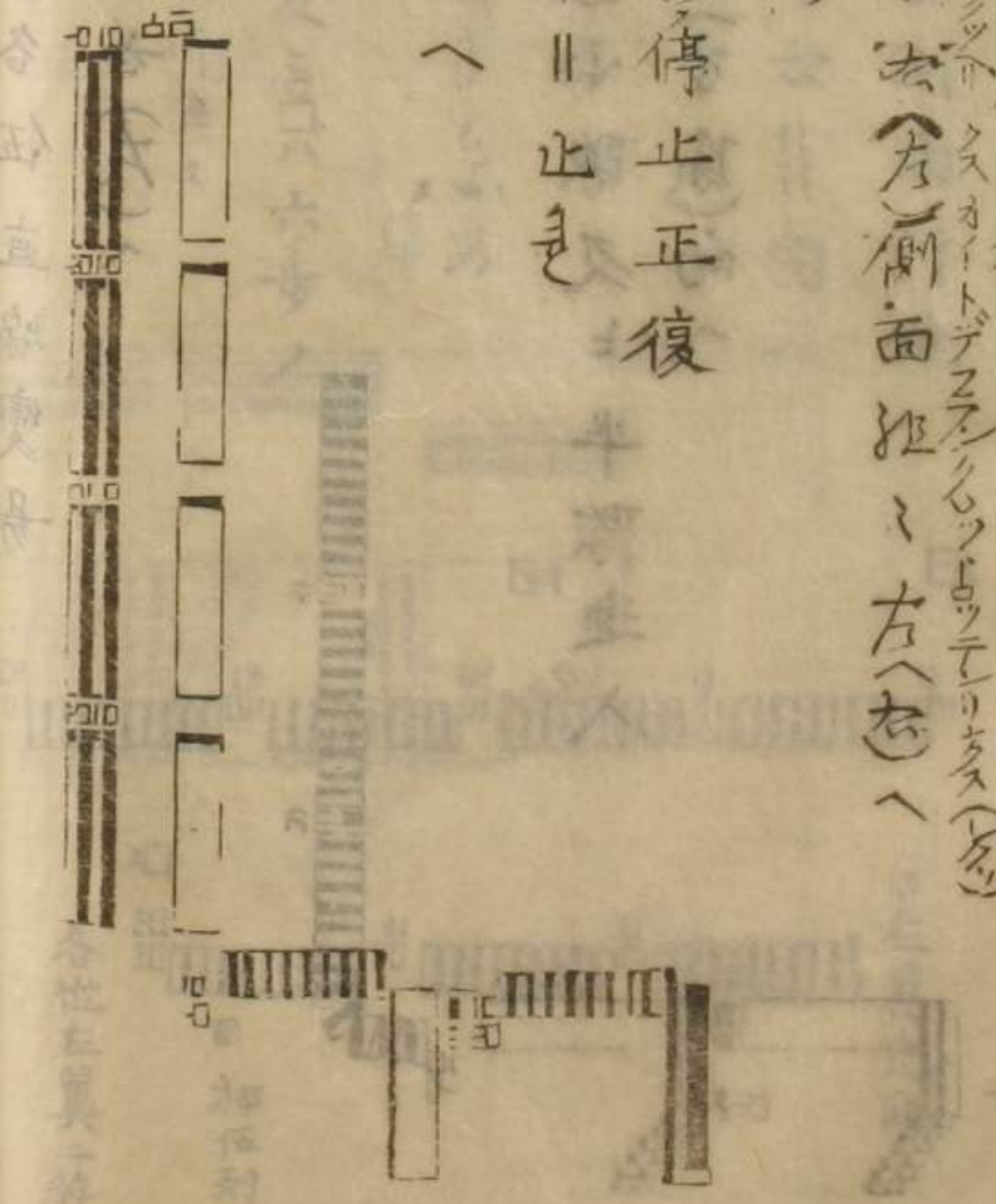
- 一 大隊右ニ向
- 二 大隊歩へ
- 三 早ニ進め

○ 左翼先頭  
目押伍列ニ進め  
各位左翼ニ移ル

ヨロ及ヒヨロハ六歩ノ  
地ノ行進ス



- 同回復
- 一 重隊 右側面進、左へ志へ
- 二 急め
- 停止正復
- 一 大隊 止ま
- 二 正面へ



第五套 各任ヲ將テ戦隊編制

- 一 組、右側戦隊
- 二 急め
- 左側ニ編制スル令之ニ反テ、
- 々身ニ故へ





第六卷

○先頭ニ準シ正面變章

○二

命ニ新方向ニ整頓セシメ

一 番小隊ハ正面改め

二 小隊右

三 早足ニ歩め

四 突へニ歩め

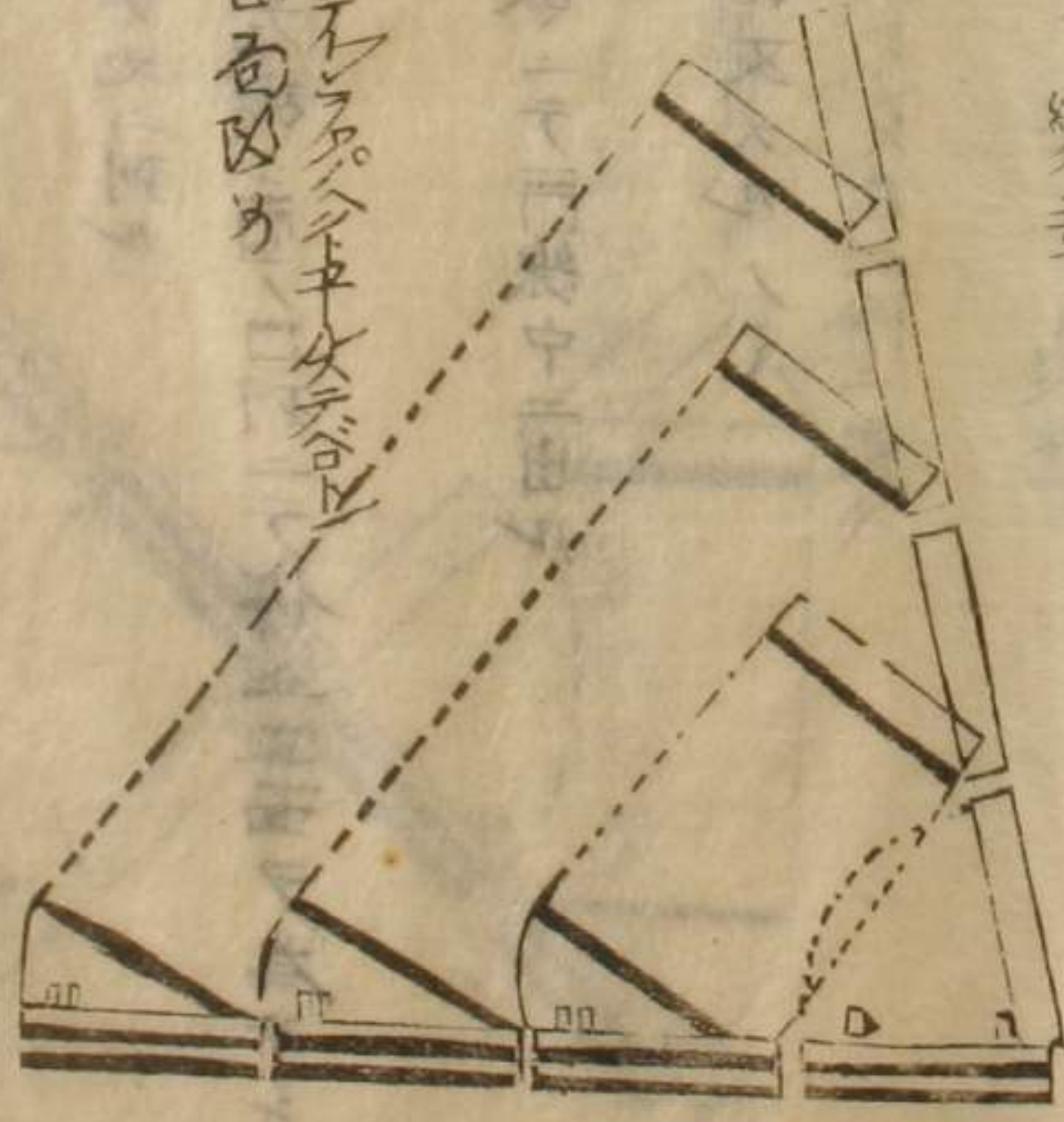
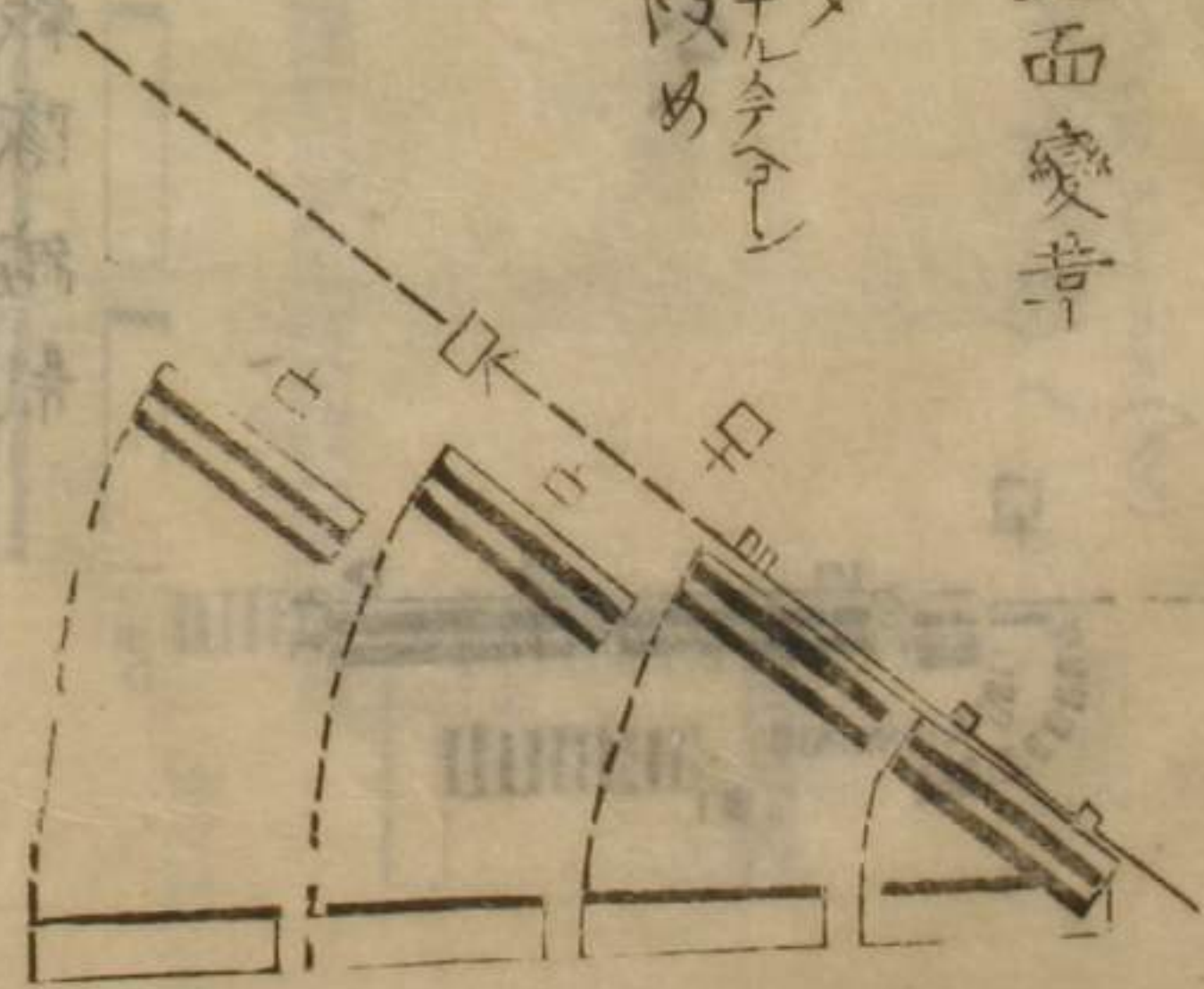
五 突へニ歩め

六 突へニ歩め

○最後ニ準スルモ令詞上ニ及スル

○同後面ニ變章

準繩隊上ノ如ク命ス



一 小隊ハ右ニ歩ム

二 大隊右向ニ歩ム

三 小隊左方

四 早足ニ歩ム



五号ハII遊め  
六々奪方

○白旗ノ後面ニ歩ク也ニ到ル

○四以下新線ニ到ル 左旗ノ四ノ口列ニテ停止正面ヲ為サシ  
位置ヲ整頓スヘシ

○此時古ノ(止レ)ノ令ニテ口線中ニ出ル

最後ニ準スルモ上ニ相及スルノ

○同列ノ面ニ

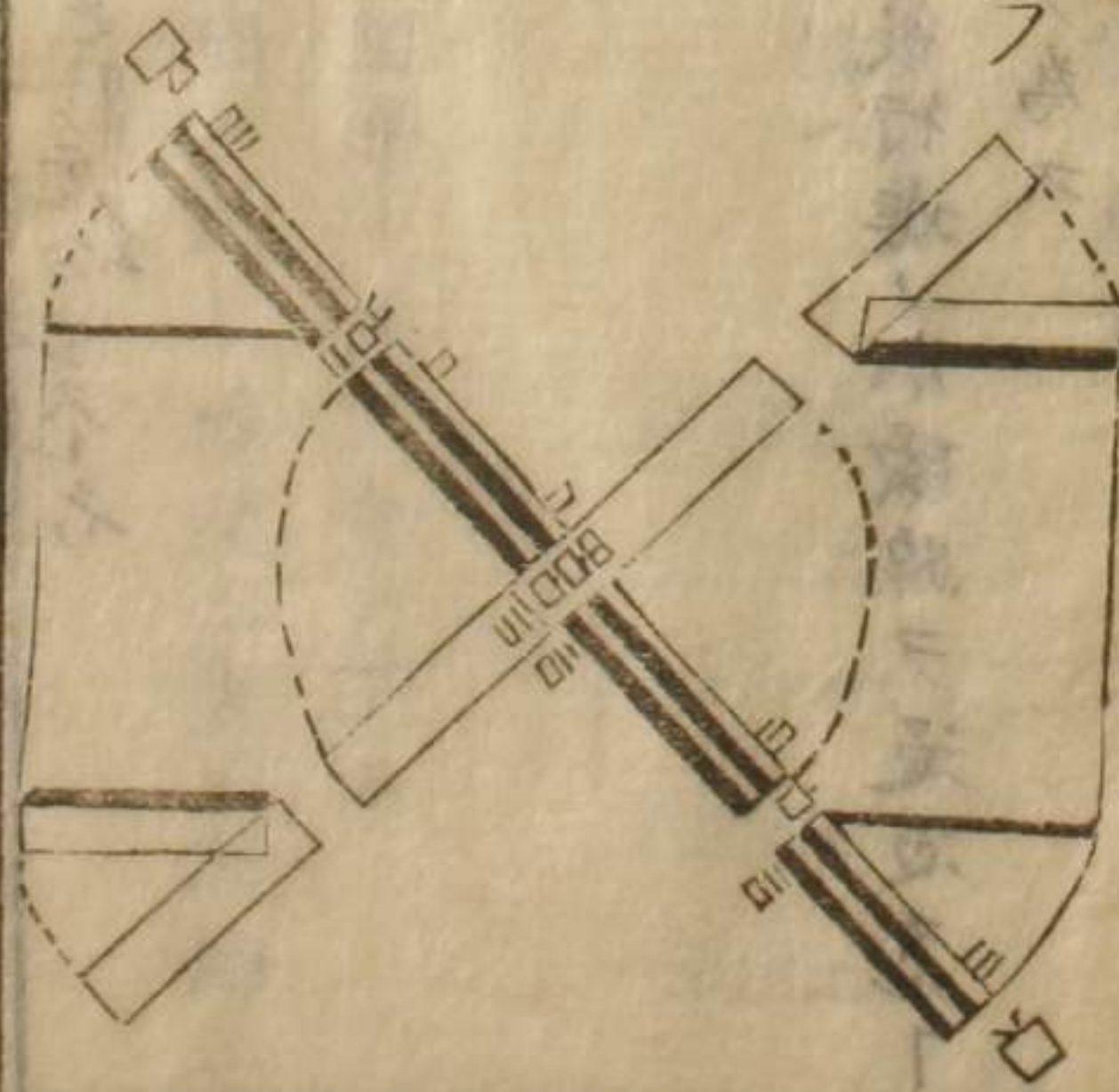
○同正中ニ準シ

五ノヲ準下繩トシ整列セシ古ニ列ニ退ク

四ノ古此空位ニ到テ其部下ノ

整頓ス

一 ハンコトシテズンズン人々下下今  
左翼と前に不後  
小隊に四面隊め





二 右小隊右向きに廻進し給ふ

三 小隊一歩ハ右

四 早足に歩め

五 歩へに歩め

六 々々等右

急速運動ク要スルハ皆後行進ノ小隊線ヲ通過スルノ  
二歩ニ行進間ニ右轉回ヲ為ス

第四套

第一套

○ 小隊或、中隊中央ニ疊重

一 小隊閉合重隊

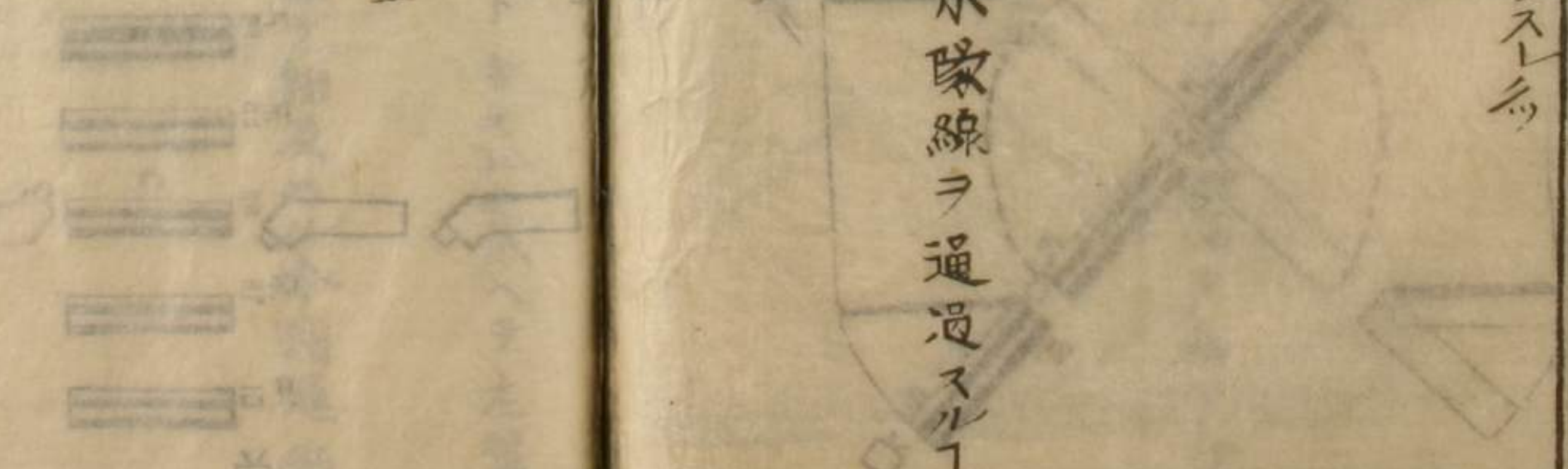
二 翼先頭ハ後小隊歩後へ

三 大隊右左に両歩

四 早足に歩め

○ 此令ニ因テ第四套ヲ習得し其ノ令ヲ下ス

○ 右方三位ノ重隊線ニ到リ隊間三步ノ距離ニ





一 何處小隊止む

二 言ハ及面ヲナシ準繩言ハ  
前百四歩ノ地ニ位ス

三 正面

四 左方ヘリ進ム

五 右方ヘリ進ム

○ 古重隊ノ本位ニ復ス

○ 左方四位ノ小隊ヲ及スル運

動ヲナス令詞モ上ニ準ス唯古重

隊線 兵士ヲ通過之使ヲ異ナリトスルノ

○ 若シ左翼ヲ先頭トナスハ「右翼ヲ前ト令スルニ代ヘテ左翼

ヲ前ト令スヘシ

○ 準繩古ハ獨導古ト令ス以下共ニ都テ相及スル令詞運動

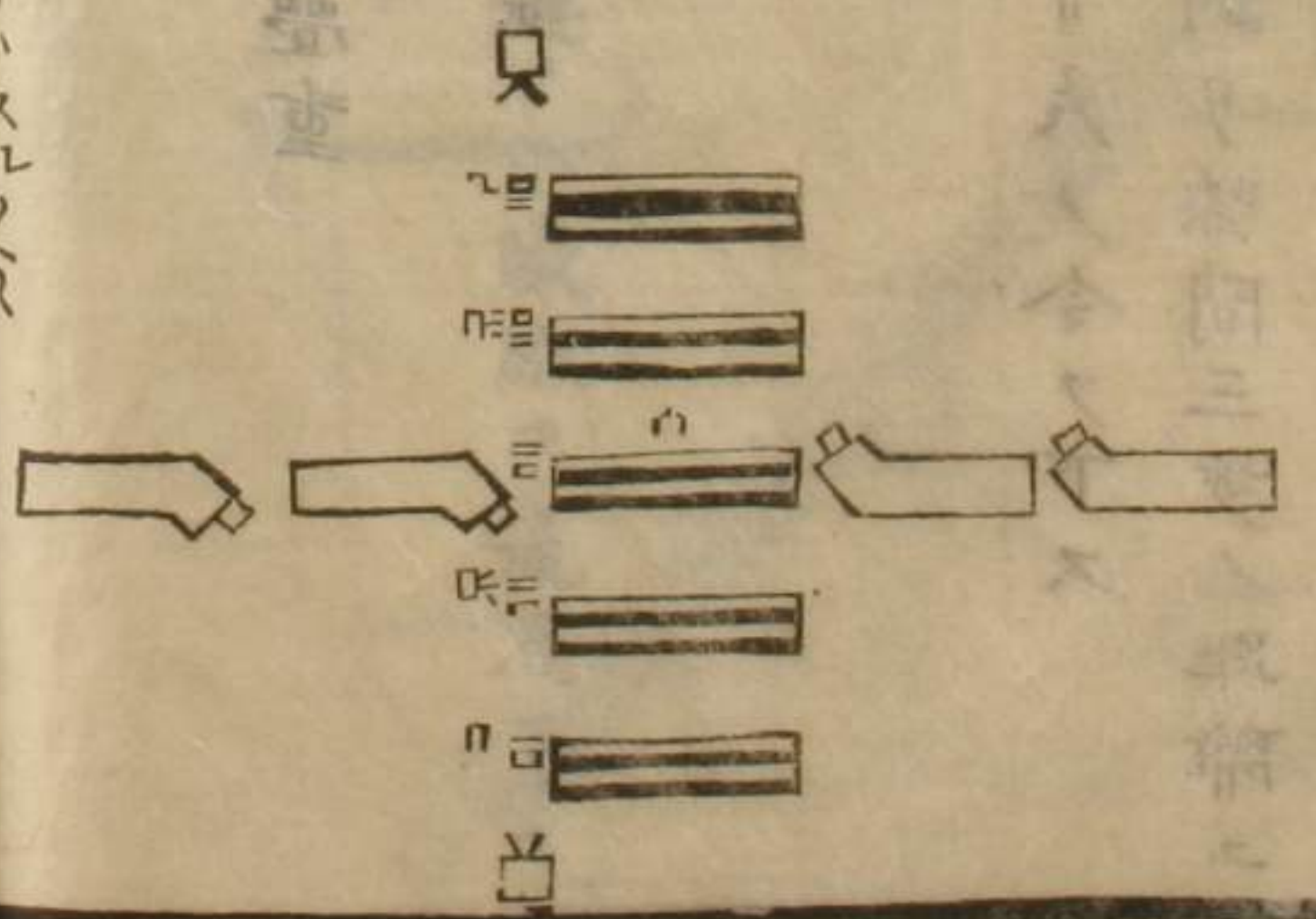
ヲ施行スヘシ

○ 第一小隊ニ疊重

一 小隊閉合ヲ隊

二 第一小隊ノ後ト歩ム

三 大隊右ヘリ向キ

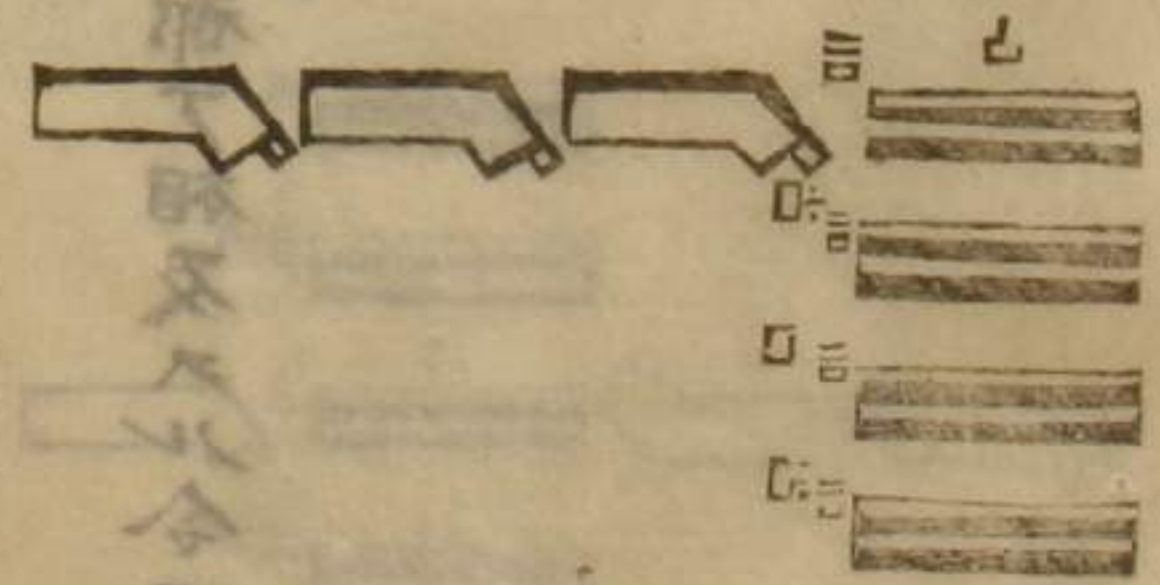




四 早退しをめ

○第一古嚮導左

令下し立定ス



○第八小队ニ疊重

一小隊守全宇隊

二八番小队の右(後)

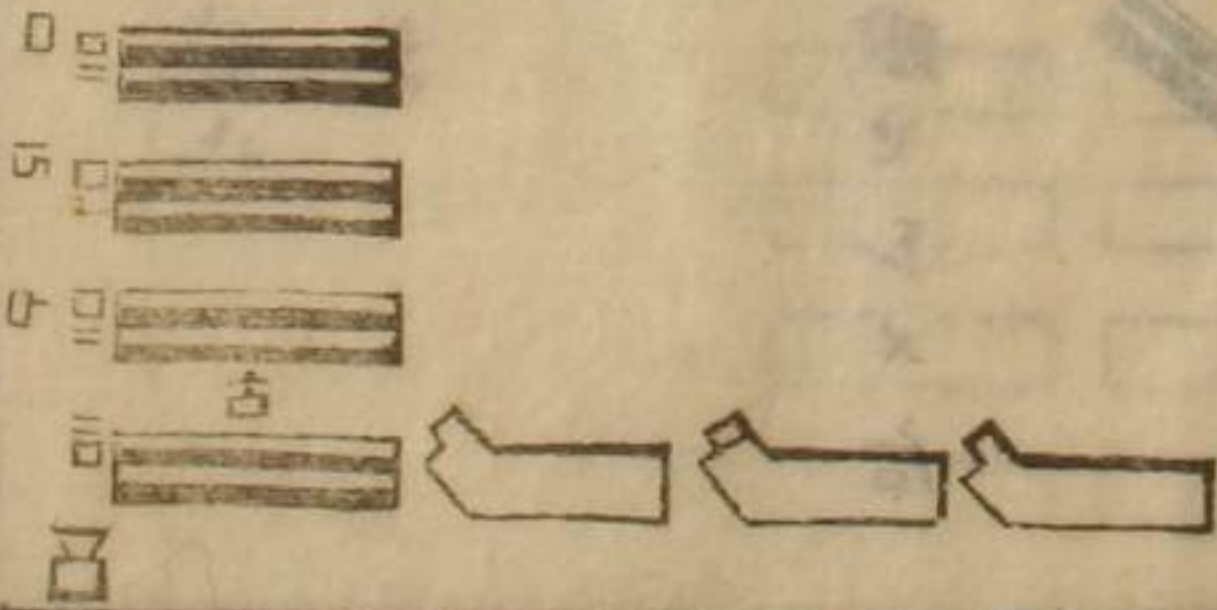
三大隊右ニ向付

四早退し進め

○第八古嚮導左ノ令

下し立定ス

只





第二卷

○閉合及ヒ半距離重隊行進及ヒ停止  
令詞全距離重隊ノモノト異ナルナシ

○停止閉合重隊直線變号

○令シ先ツ二位ノ標兵ヲ適宜ニ配賦セシメ右

一右側面子むきを廢へ

二大隊右へハリ匂ケ

三早足ハリ匂ケ

○一ノテハ八ノ二進拂

シ(三)ニテ重隊線ニ停止

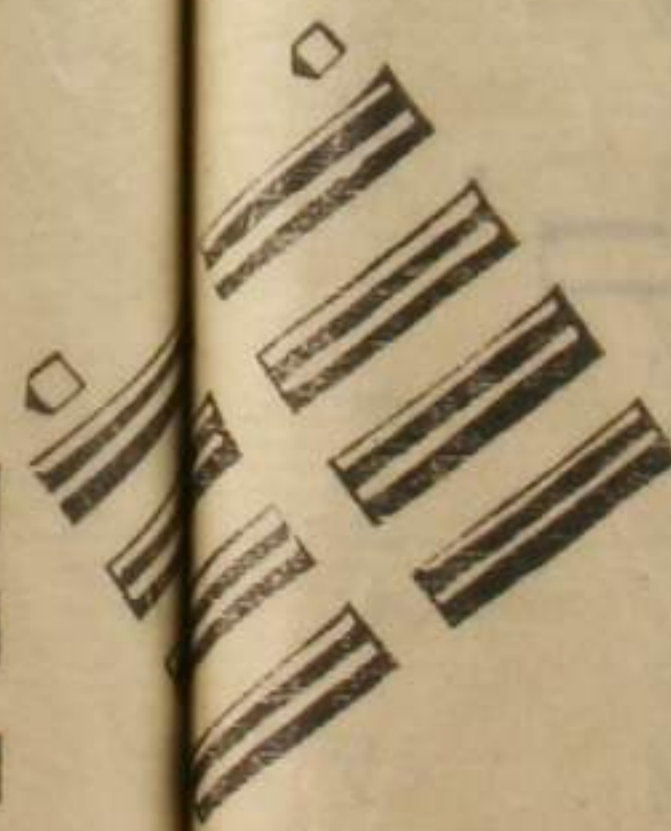
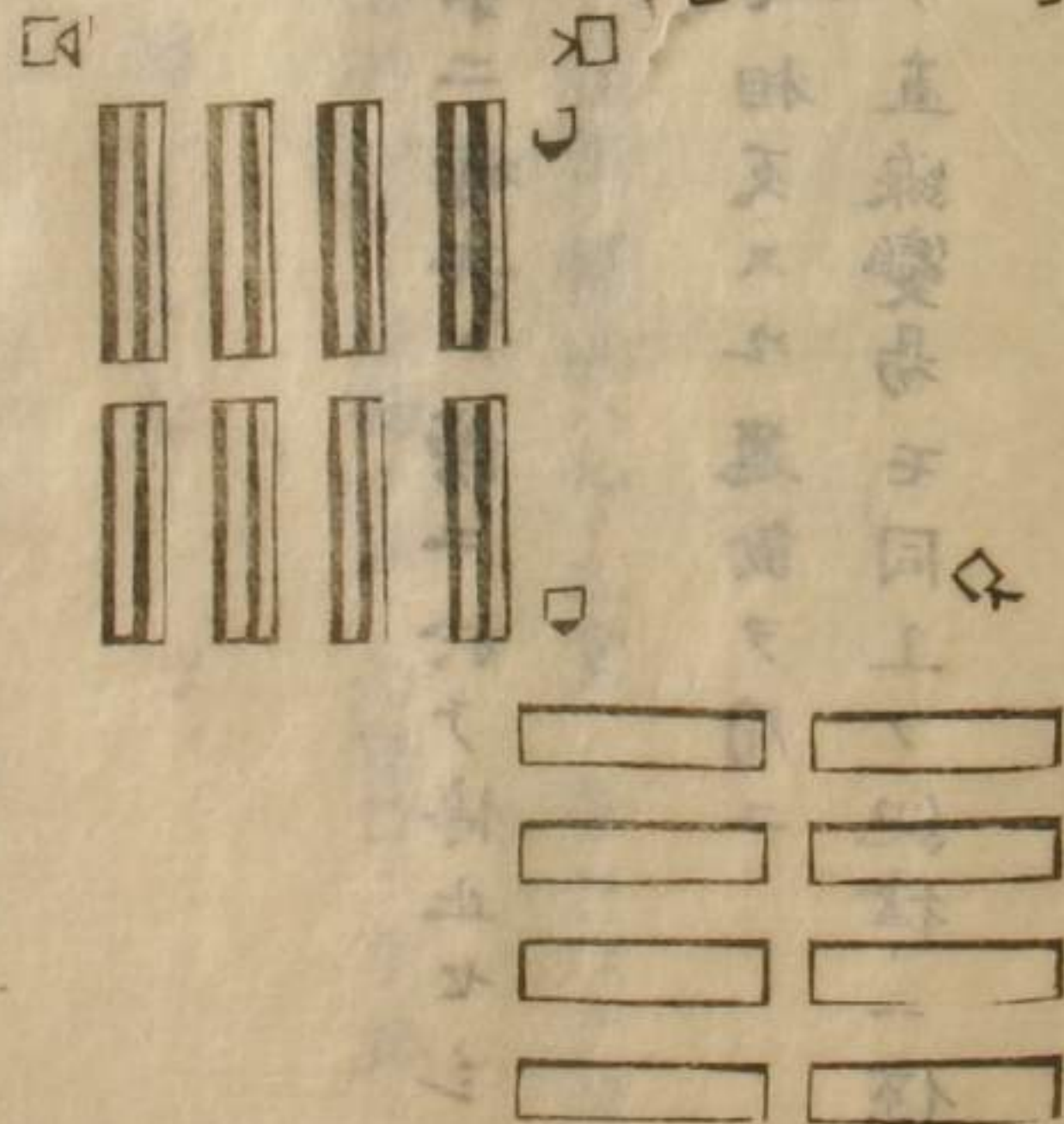
○シ兵士ヲ通過セシメ右

一右番中隊ハ止ま

二西面へ

三左へハリ準へ

四直進





○左側面ニ直線變易ニハ左ノ如シ

一左側面ヲ向變へ

二大隊左へ〓而け

三早退〓を

△左翼ニ誘引シ第二標兵ノ傍ニ於テ停止セシム

此令ニ準ス

○左翼先頭ノ者モ相互スル運動ヲ用ユ

○小隊閉合重隊ノ直線變易モ同上ノ紀律ニ係ル

○同行進間

一左へ方向變へ

二々々々々

三進め

此令テ諸隊旋轉スヘシ相軸ノ嚮導八九ノ三歩ノ歩ヲ以テ同

規ヲ畫ス  
○百八常歩ヲ以テシ後続員四歩ノ距離ヲ取り先進口ノ歩跡ヲ

眼蹤スヘシ  
○先頭既ニ能ク旋轉シ了テ右

一左へ〓進め



一々守左

○後続隊ノ嚮導次ヲ逐テ此ニ到ルヘシ

第三套

○閉合重隊往還双行

一 進シテ退ル

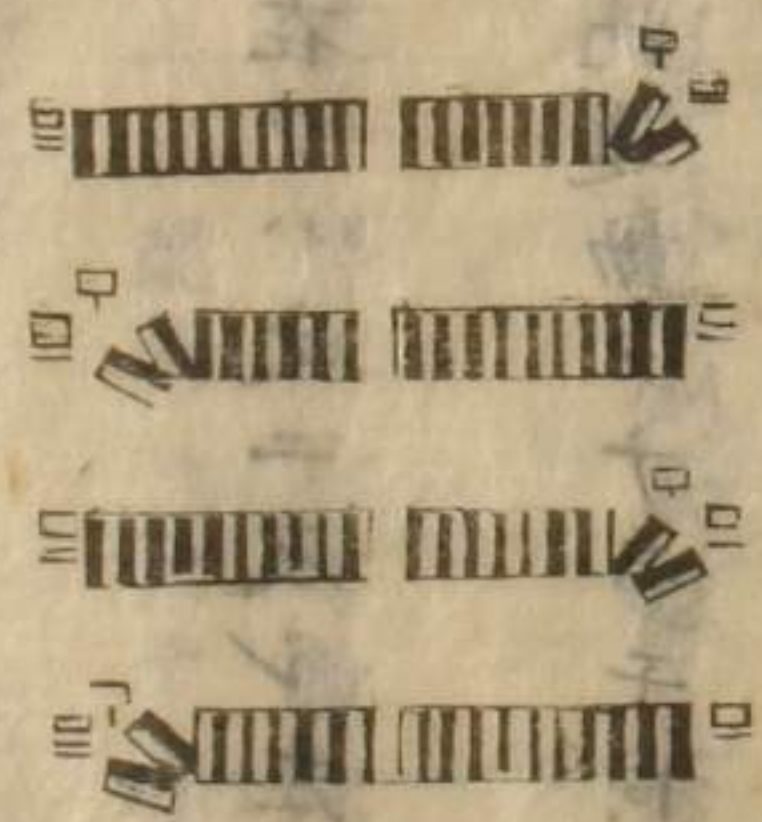
二 去リ來ル中隊右側方ニ向テ

三 退ル方々へ

四 早退ルをめ

○合ニテ右言ハ及回ス

白ハ先頭伍ニ接シ嚮導ス



○合ニテ諸嚮導停止シ諸隊ハ歩ヲ起シ左右ニ旋轉ス



- 一 行番中隊止れ
- 二 正面へ
- 三 方へリ準へ
- 四 直色

○左翼先頭ニ在テハ之ニ及シ左方へ整頓セシム  
 ○小隊ヲ以テ此運動ヲナスモ同規則ナリ

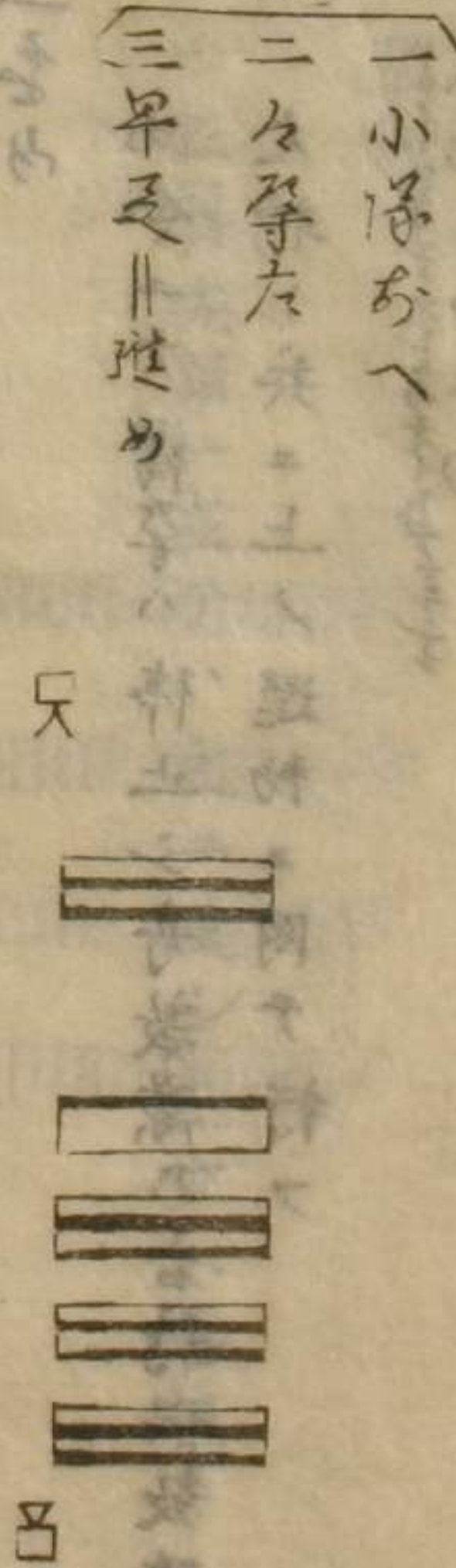
同行進開

- 一 進行中
  - 二 奇数方隊右側方隊左側方隊左方
  - 三 進行
- 此令ニテ響字ハ停止シ奇数隊ハ右側偶数隊ハ左側方隊ニ上ノ運動ニ因テ行フ
- 一 大隊左右平面
  - 二 進め
  - 三 々々右(左)



第四套

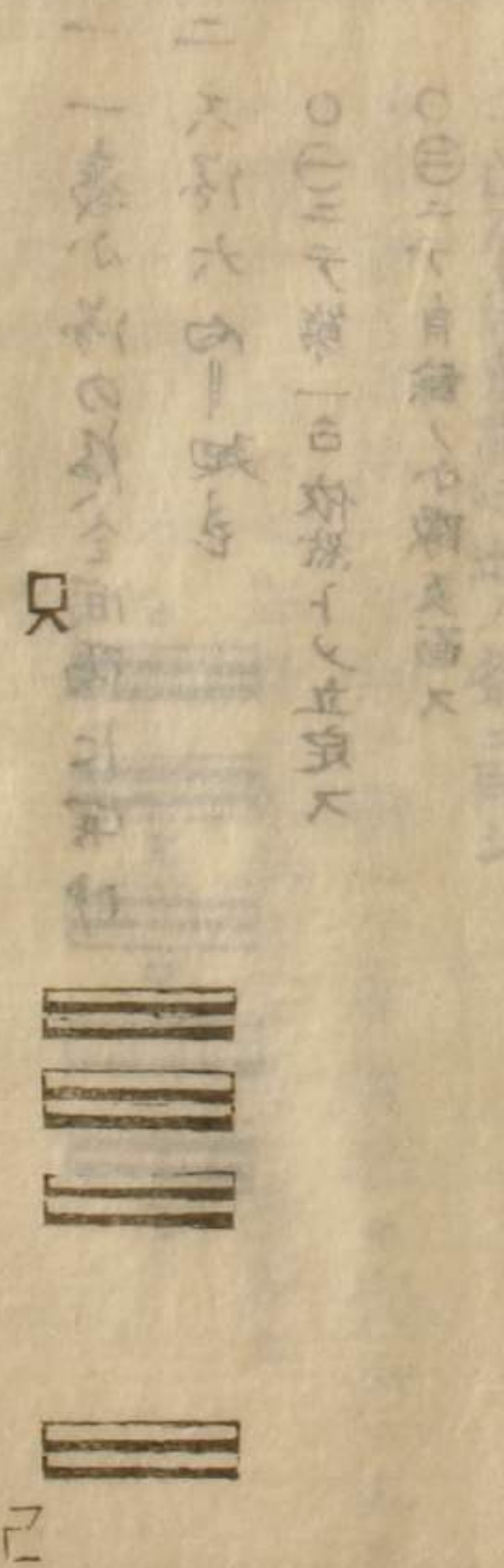
○閉合重隊距離展開  
先へ全隊隊形に併合



○最後部ヲ除ク外各  
位ニ同令ヲ下ス

○最後小隊展開  
八處小隊の先へ全同隊に併合

○此令ニテ前条ト同シ運動ヲナス啓開適度ヲ得  
レハ尋常ノ法ヲ以テ戦隊ヲ編制ス



○此令ニテ前条ト同シ運動ヲナス啓開適度ヲ得  
レハ尋常ノ法ヲ以テ戦隊ヲ編制ス



○準先頭距離展開

- 一 一連小隊の後、全同陽に突け
- 二 六隊六向に廻る

○一にて第一台依然トノ立定ス

○二にて自餘ノ小隊及面ス

○第ハ古左令ヲ下ス

一 小隊前へ

二 二隊前へ

三 三隊前へ

○其地古之準シ運動ス

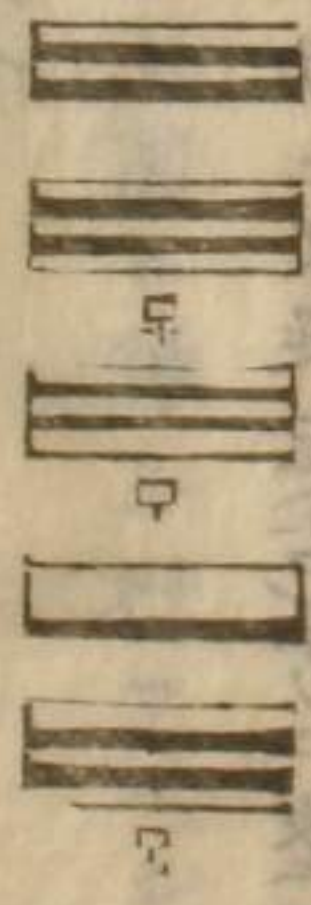
○第二小隊全間ヲ得ルノ后

一 六隊止む

二 六隊右向に廻る

○而右本章ノ法ニ從テ左方戦隊ニ排開ス

○首及只重隊行進ノ条ニ同シ



○其地古之準シ運動ス

四十二



○重隊距離閉合

一字隊右側に引上げ

二早足ニ進め

○第一小隊ハ此運動ニ不従左(右)方ニ整頓ス

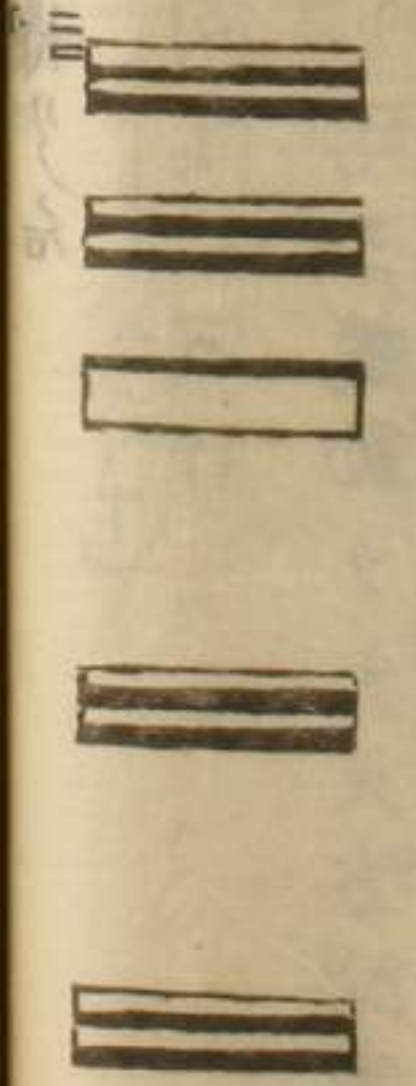
○自餘ノ小隊ハ間幅ヲ得ルヤ否其隊ヲ停止シ上ニ

準ニ整頓ス

○而シテ...

一六隊...

一六隊...



○同行進間

一字隊右側に引上げ

二早足ニ進め

○第一小隊左令ヲ下ス

一小隊ニ止む

二左(右)ニ準ヘ...

三進め

○其他ノ小隊ハ上圖ニ準シ行フヘシ

○最后ニ準シ閉合

一八隊小隊に半隊同様に引上げ





二大隊右向ニ進出

三大隊左向ニ進出

四々隊云々

五早退ニ定め

○第八言依然トノ不初位地ニ整頓又  
○其他ノ者ハ及面ノ閉合シ間隔ヲ得テ正復整頓又  
々々方角ニ正色



○中央ニ準シ閉合

一四番小隊半隊右向に引上歩

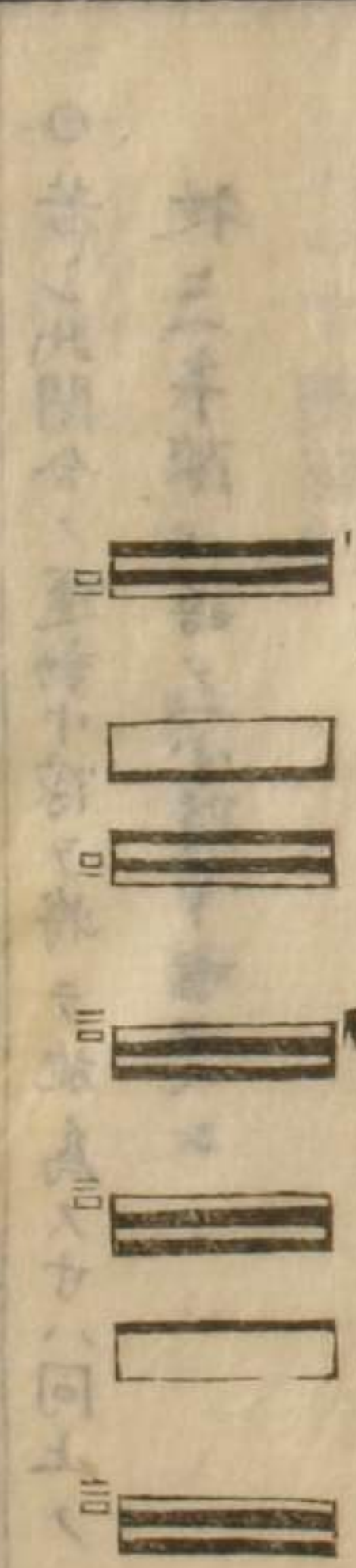
二番三小隊右向きニ進出

三大隊歩へ

四々隊云々

五早退ニ進出

○半閉合直對峙





○若シ此閉合ノ運動中隊ヲ將テ施爲ス寸ハ同上ノ紀律ニ  
從ヒ(半隊)ノ語ヲ(小隊)ト唱フヘシ

○半隊間隔直線變易

○此運動ハ全間隔ト異ナルナシ唯嚮導不在ノ方ニ  
旋轉スル寸樞軸ノ兵士三掌ノ歩ヲ以テス

○重隊密接

一 早足ルをめ

○上章半間隔、同紀律ヲ用テ隊間三步並密接ス

二 押伍列ハ一步ノ地ニ立ス

○此運動先後兩翼或ハ中央隊ニ準シ行フヘシ令

詞止ニ準ス

○中隊編制

○右翼先頭ノ閉合重隊停止セシモノ

一 中隊佐也



一 偶數小隊左ニ向

三 早退ニ進め

○ 奇數小隊兩智導ハ各隊ノ前面ニ出フ

○ 偶數兵士ヲ通過セシメ

一小隊止也

二 正面ハ一歩、此ニ立テ

○ 奇數隊ノ左翼ニ位シ、其ノ間ニ是ニ立テ

三 右ハ早退ニ

四 直進

○ 既ニ中隊結制シテ右ニ向テ進ムルハ、左ノ奇數小隊ハ、右ノ奇數小隊ノ間ヲ通過ス

○ 奇數小隊言ハ出

一 位間ヲ通過ス

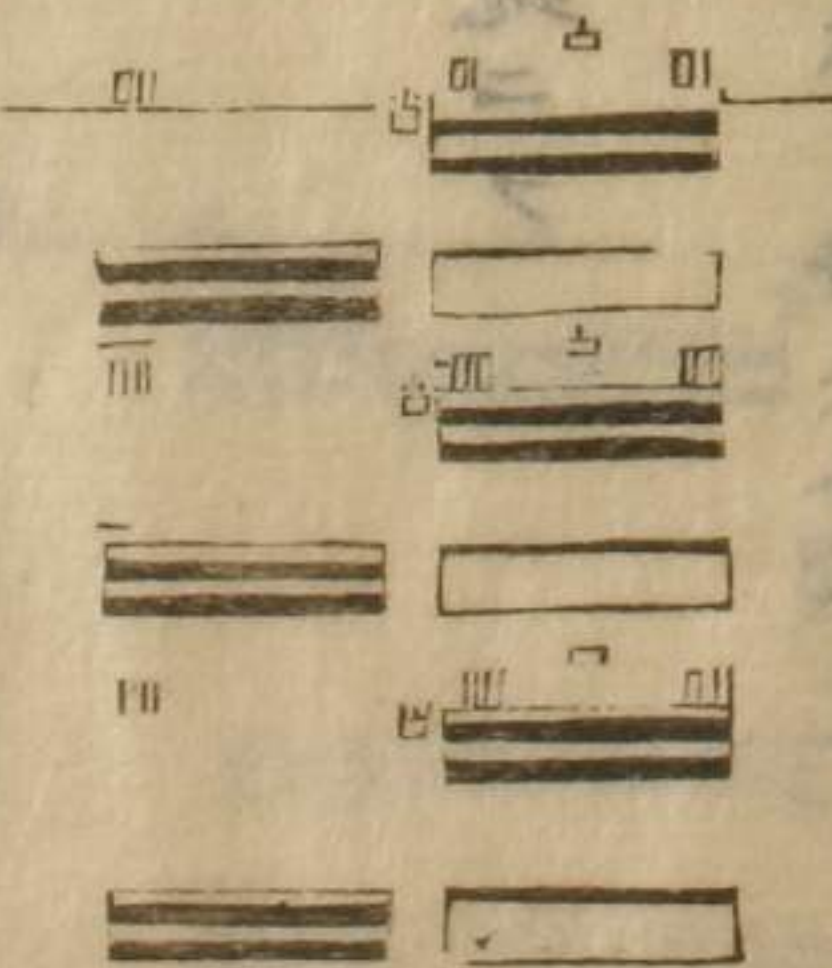
○ 占ハ中隊ノ前面ニ

位ス

○ 左首先頭ノ寸ハ之ニ及ス、偶數隊ノ口言ハ左方

ニ面シ立ツ、智導ニ改メ、令ニテ占及ヒ占ハ中

隊ノ正中ニ入整シ占ハ中隊前面ニ出ツ



四 直進



○同上全開隔ヲ編制

古ノ令上ニ同シ

○当正面向令スル右隊ノ前至ニ到リ

一小隊若ヘ

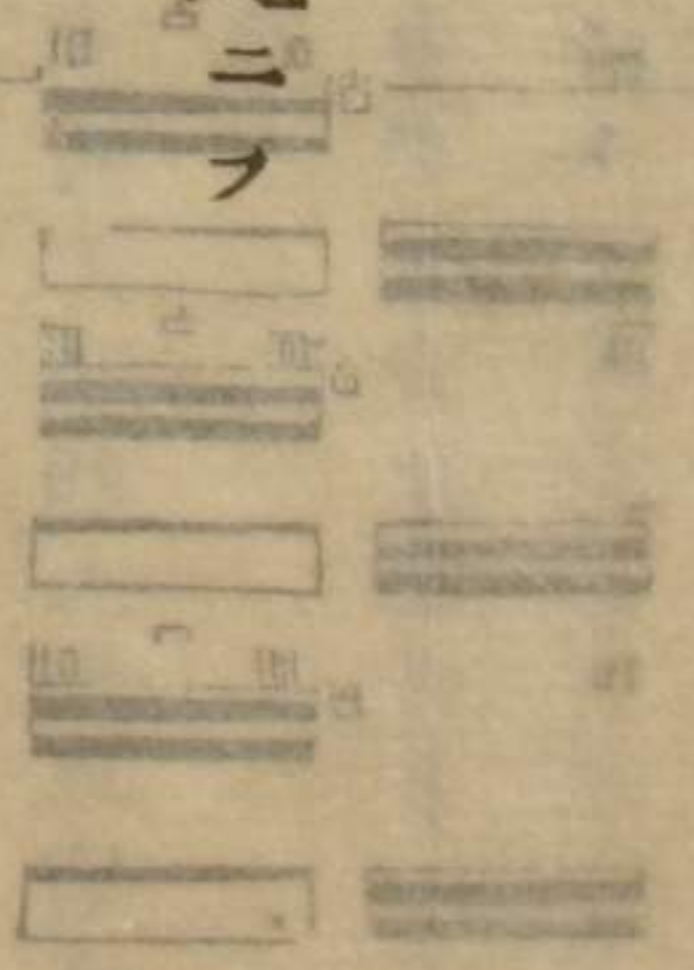
二々乃若ヘ

三年又リ進め

○奇數階ヨリ二歩ノ地ニテ

一小隊止む

二右ヘル進ヘ



○此一令ヲ三ノ口及三ノ口ニ圍ノ如キ景況ヲナス

○練熟ノ大隊ニ在テハ側面ニ進出スルヤ否

(止レノ令ヲ下サス左ノ如ク令ス

一右左側面

二進め

三々若由右





○閉合重隊第二中隊ニ準シ能開

二番中隊ヲ定メ

二大隊右左ニ向ケ

三早足ニ進メ

○第一占右轉ヲ示ス

○第二占依然トシ立定ス

○第三及第四占左轉ヲ示ス

一各隊中隊ニ止セ

二各隊ハ

一令ニ聞クヤ否一及ヒニ

一四占速ニ戦列線ニ到ル

○第一占六隊ノ前ニ到リ去ル

一守隊ヲ示ス

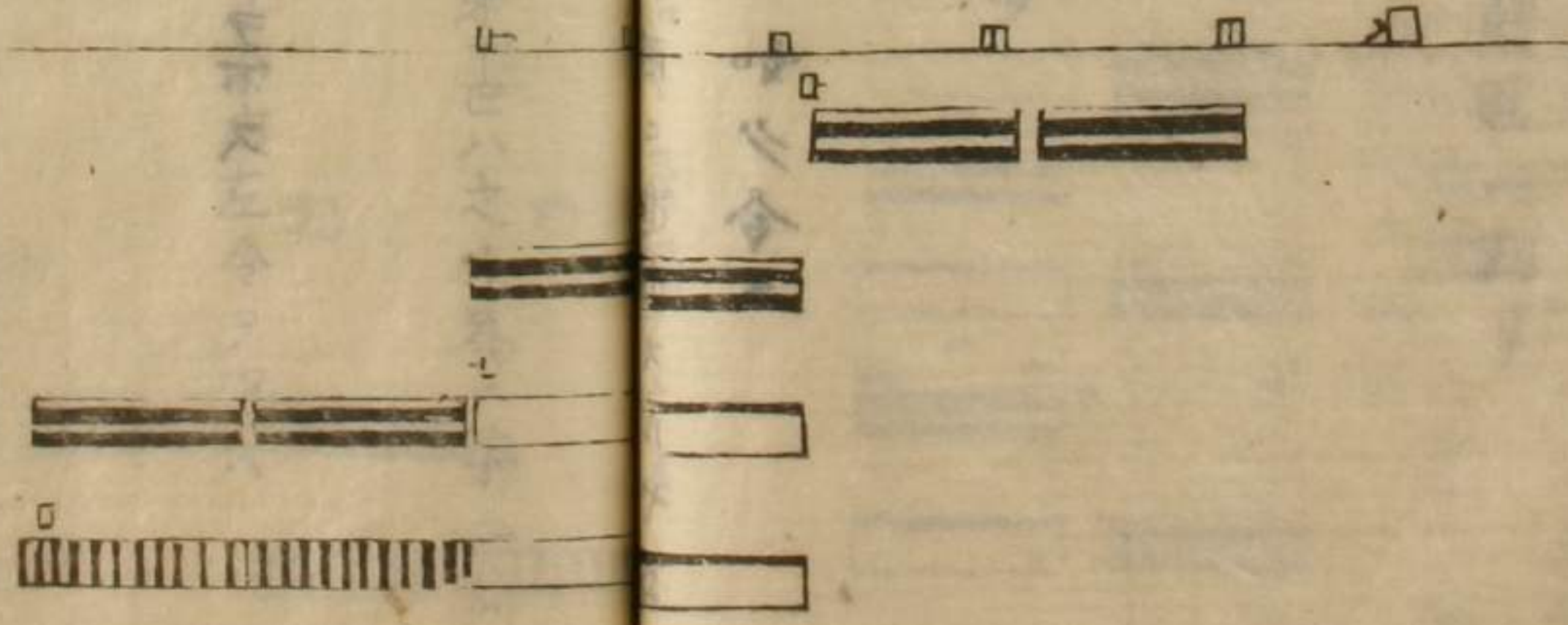
二各隊先

三早足ニ進メ

四中隊ニ止セ

○占線上ニ由ル占能ク整列スヨハ押在列ニ入ル此占速ニ

左翼ニ到リ





五九へり準へ

○此隊ノ白及ヒ白ハ整頓ノ右直シノ令ヲ下ス

○二[中]整頓ヘル寸ハ直シノ令ヲ待ス二團ノ白其左翼ニ

到リ

九へり準へ

○二團ト同法ヲ行フヘシ

○一[中]ト同時ニ三團ノ白左ノ令ヲ下ス

一[中]得テハ

二々等々

三軍ヲ八月名め

四[中]格ニ此也

此白ハ二團ノ左翼ニ到ル第ニ白ハ之カ為ニ第二列ニ

退ク

九及ヒ大[中]言ノ速ニ線上ニ到ル而白左ノ令ヲ下ス

九へり準へ

二此白及ヒ白(直シ)ノ令ヲ下ス

四[中]占ハ第三口下(直シ)ノ令ヲ轉テ此兵士ヲ通過シ而右停

止セテ且ツ此地整頓ハ直ニ記載ノ法ニ因リ

○破開既ニテ後

六[中]守リ故ハ



○最前一準シ排開

一 表軍の陣形

二 大隊の陣形

三 兵隊の進め

○一三四五上章記載ノ

法二四

○白ニテ二四ノ当線上ニ刻ル

○左翼ニ準シ排開

一 四軍の陣形

二 大隊の陣形

三 兵隊の進め

○行進間排開

○此運動ハ先ニ古ヨニ命シ線上ニ位ノ標兵ヲ置

三キ左ノ令ヲ下ス

一 二表軍中隊ノ陣形

二 大隊の陣形

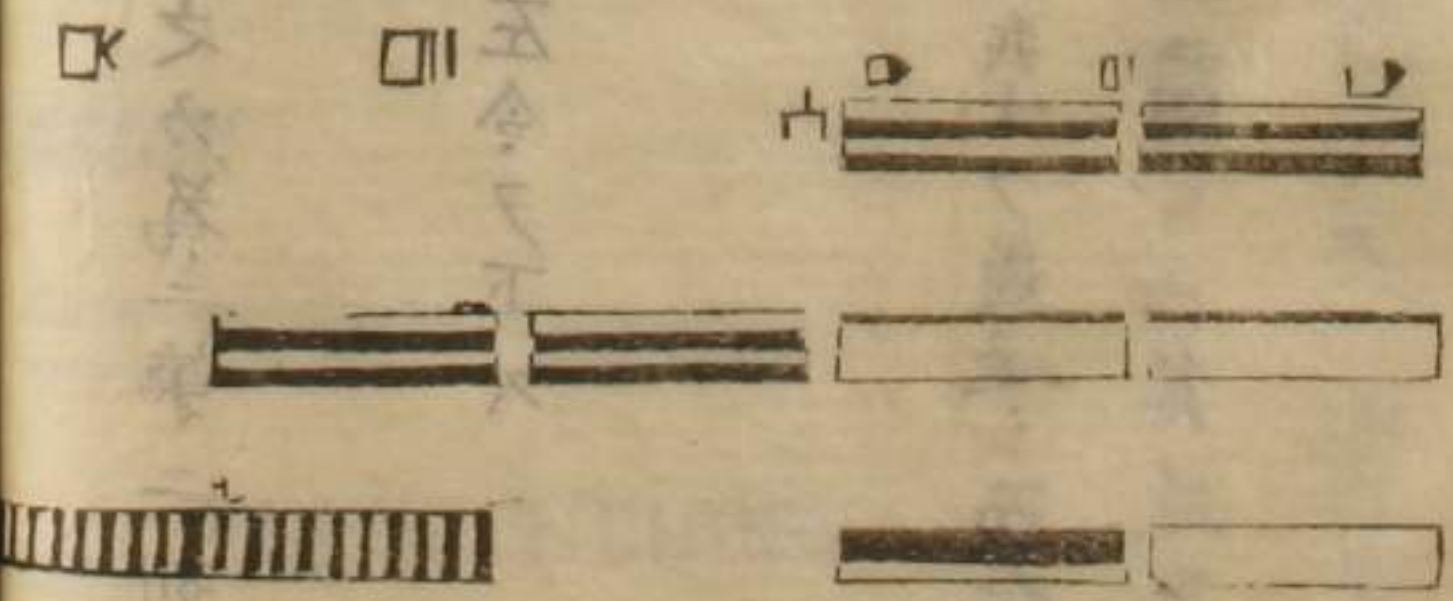
三 進め

○一三及ヒ四團占ハ其隊ニ右或左轉スベキヲ了會

シメ其嚮導ニ接ス

○第二占左ノ令ヲ下ス

足跡





○戦列線ヲ距ル一小队間隔ニテ三令ヲ下ス

○第一第三占ハ停止メ其隊ヲ通過ス

○第二占ハ隊前全ク障リナキニ到テ前進ノ整頓

スヘシ

○第一占其隊身前ヲ通過シ終寸左ノ令ヲ下ス

一一番中隊左平面

二進め

三々隊左令

○第三占ハ隊前全ク障リナキニ到テ前進ノ整頓

一三番中隊左平面

二進め

三々隊左令

○第三占ノ進メノ令ニテ第四占停止シ其隊ヲ通

過シ直上ノ令詞ヲ下ス

○練熟ノ大隊ニ在テハ停止重隊ヲ排開ニモ此法ヲ

用ユ

○披開ノ間ニ點放ヲナスハ最前部整頓シ(直上)ノ

令ヲ下セハ直上ニ列點放ヲ始ム

○後次部隊モ之ニ準シ令スヘシ

○點放ノ令ヲ聽テ口嚮導兵ニ退去ス



舎せり  
下中央  
到テ整候

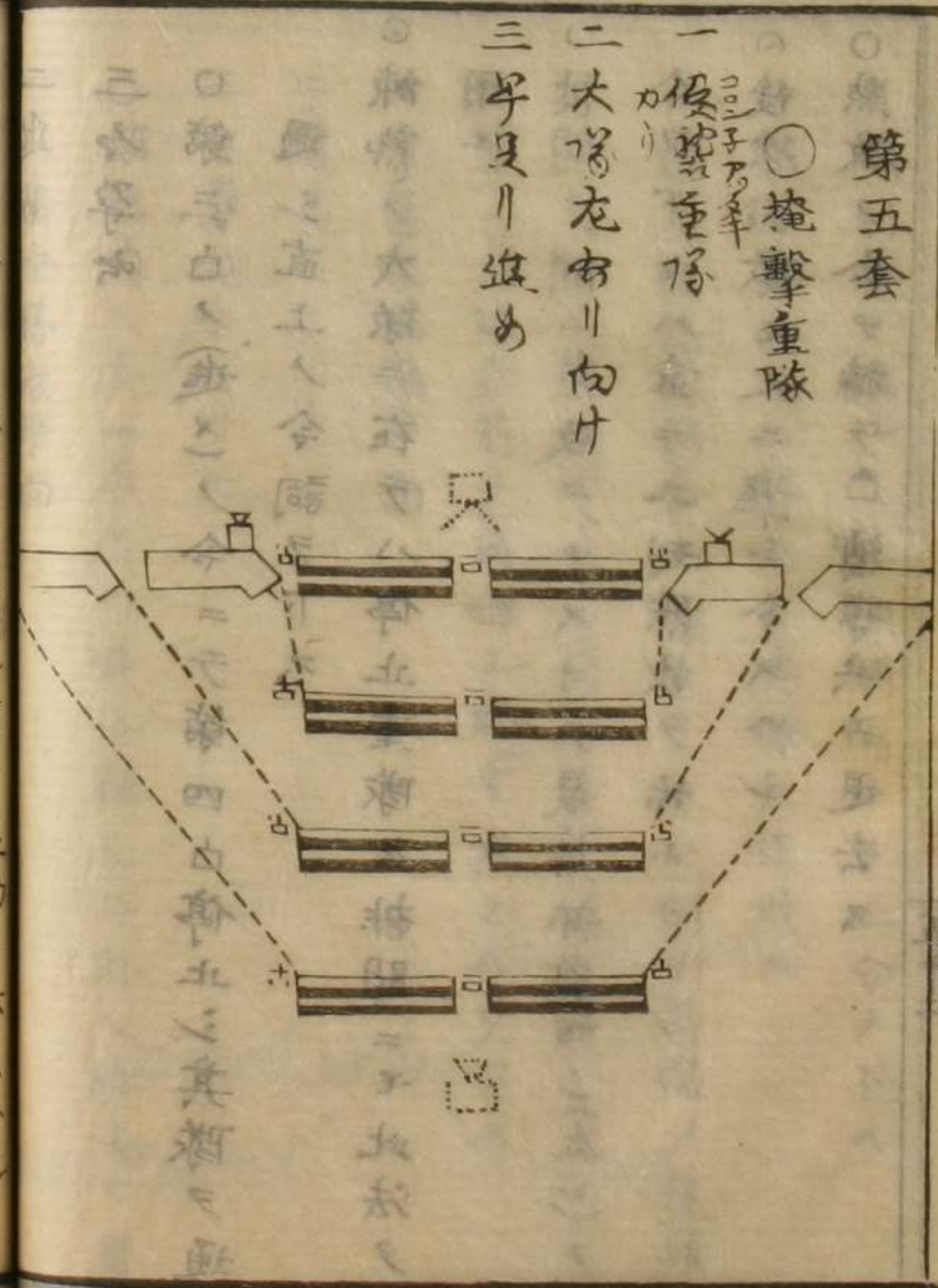
第五套

○掩撃重隊

一 優重隊

二 大隊右方リ向付

三 半足リ止め



○ニテ各位各隊前ニ進出シ預メ運動ヲ示スヘシ

○進メノ令ニテ第四五ハ右翼第五六ハ左翼ニ位スヘシ

○其他ノ各部隊ヲ誘導シ来リ最前部ヨリ半隊間

隔テ保チ左右半大隊相連合シ左ノ令ヲ下ス

一 小隊止む

一 正面へ

三 左(右)半へ

四 直む

○ニテ左方小隊ノ口ハ首ノ線ニ位置ス

○左右ノ占其部下ノ外翼ニ轉位ス左方固ノ口ハ



○古ノ後面ニ位ス  
○鼓手ハ重隊ノ背後ニ位ス

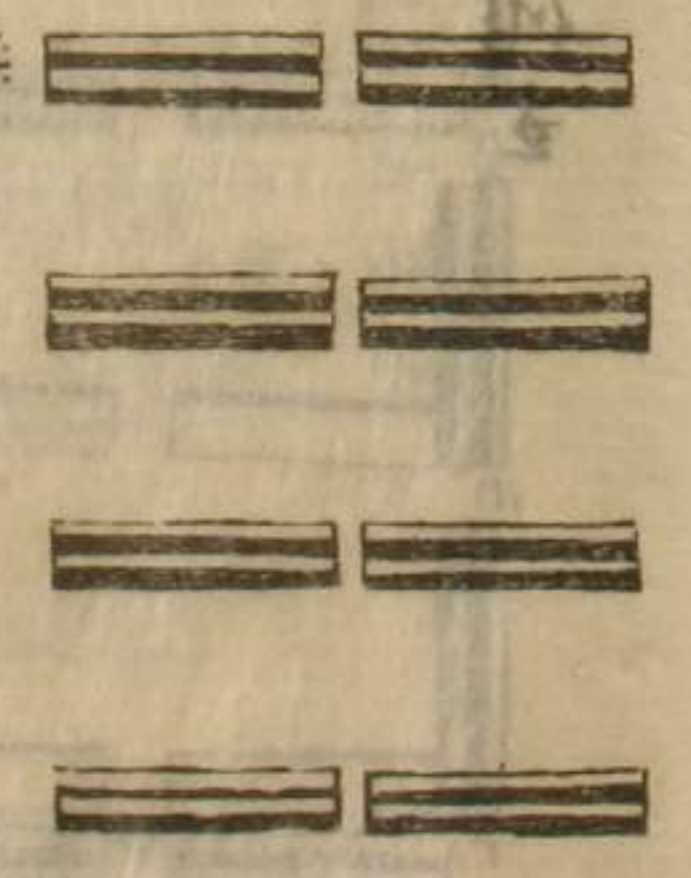
○同行進

一 大隊歩ヘ

二 々々守中央

三 早更進め

○ニテ百前百六歩ノ地ニ位ス



○此重隊行進中直線變易ハ閉合重隊ニ同シ但シ旋  
轉翼ノ嚮導ヲ稱呼スヘシ再々前方ニ進マ使ルニハ

一 号ヘリ進め  
二 々々守中央

○ニテ百八正中前面ニ進ミ百ノ身前ニ到ル速ニ新直線ニ位ス



○方陣編制

○戰隊ヨリ此運動ヲナスニハ

一 小隊ヲ強侵襲セシム

二 大隊尤モ向付

三 早足ニ急め

○上侵襲重隊編制

ト同シ唯古重隊

内ニ位ス

一 小隊尤モ向付

二 早足ニ急め

○ニテ第四及ヒ第五

古ノ外ハ隊ノ前面ニ到リ

古方古ハ右旋左方古

ハ左旋ヲ示シ最右ニ位古

左ノ令ヲ下ス

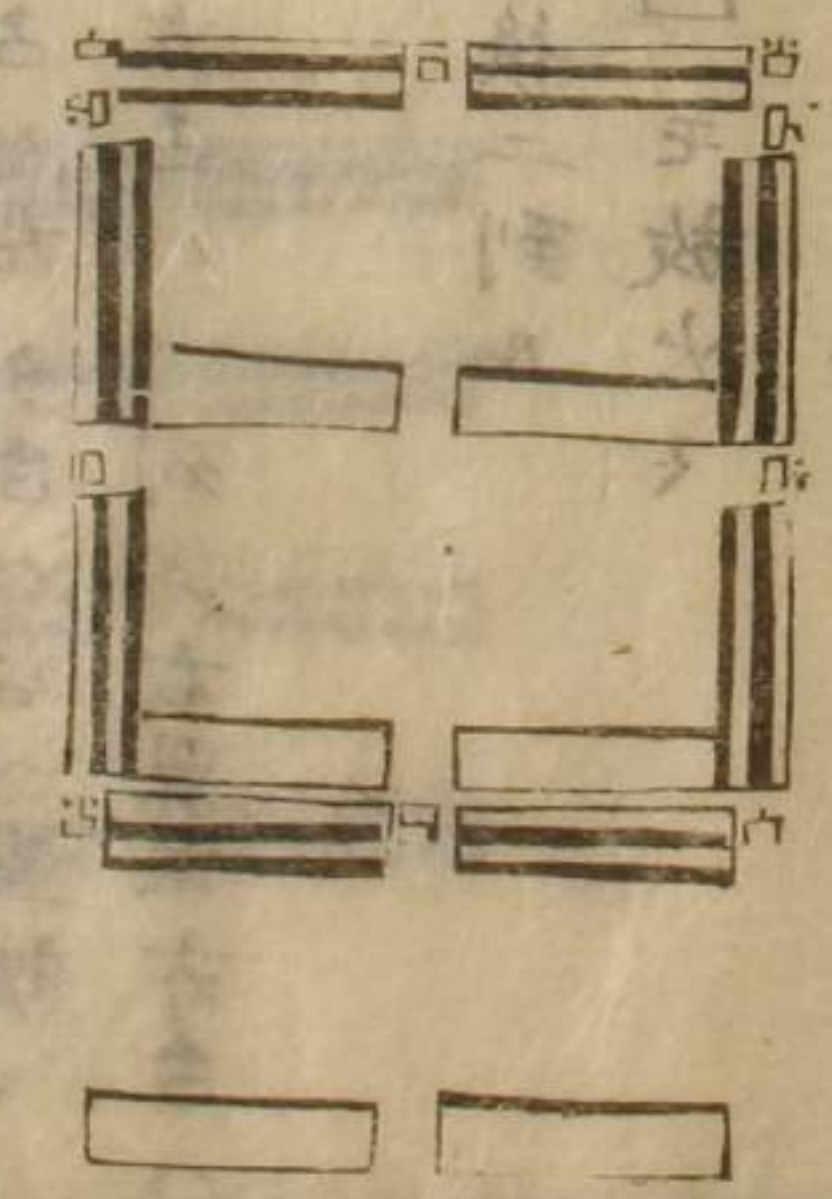
一 小隊ヲ向付

二 小隊尤モ向付

○進メノ令ニテ四及ヒ五團ハ立定シ最後ニ隊ノ

外ハ左右ニ旋轉シ最後隊ハ前進シ適度ニノ停

止及面ヲ命ス背後点放ト同ノ令ヲ下ス





○日ハ其伍ト相對向ノ押伍列ニ位シ第二列ノ伍長之ニ代リ又口之ヲ充塞ス

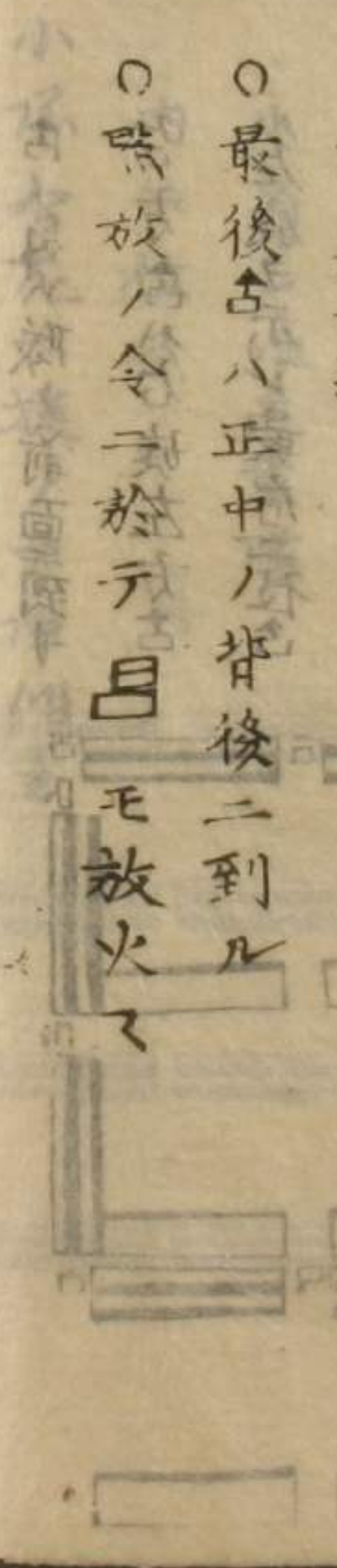
○鼓手樂手ハ旋轉ノ片方陣内ニ進入ス

○旋轉完備スル后右古ハ左々古ハ右々整頓ス

○直レノ令ヲ下レ右方古ハ一列ノ右翼左方古ハ左翼ニ到ル

○最後古ハ正中ノ背後ニ到ル

○號放ノ令ニ於テ呂モ放火マ



重隊田後

（此ノ下トコニ早  
一重隊ト後セ

二小隊後ヲ右左ヘハ二陣ヘ

○一及ヒ三陣ノ右翼

兵ハ左轉六又ヒ

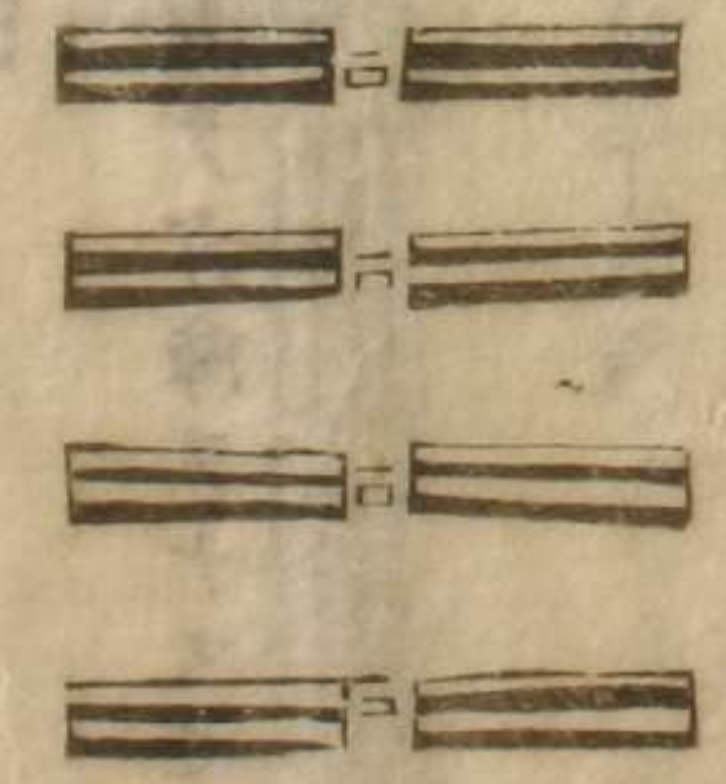
七陣ノ左翼兵ハ

右轉ヲナス

○第六第七百ハ速

ニ第二第三百ノ

方向内ニ傍ス各





位古直ニ整頓ヲ命ス

○最後小隊ハ背後ニ進ミ小隊間隔ニテ停止正百

ヲトシ中央ニ整頓ス

○小隊間隔ノ下隊重隊ヲ以テ方陣ヲナスモ又回復  
スルモ同紀律アリ

○同上重隊排開

古先ツ最前兩小隊ノ前面ニ二位ノ標兵ヲ置ク

一重隊ヲ置ケ

二次隊右左ニ向ケ

○諸官置ノ如ク轉位又鼓手ハ我屬スル中隊ノ口列  
鼓長ハ前位中隊口列ニ位ス

○方陣編制

○掩擊重隊ヨリ編制ニ異ナルヲナシ

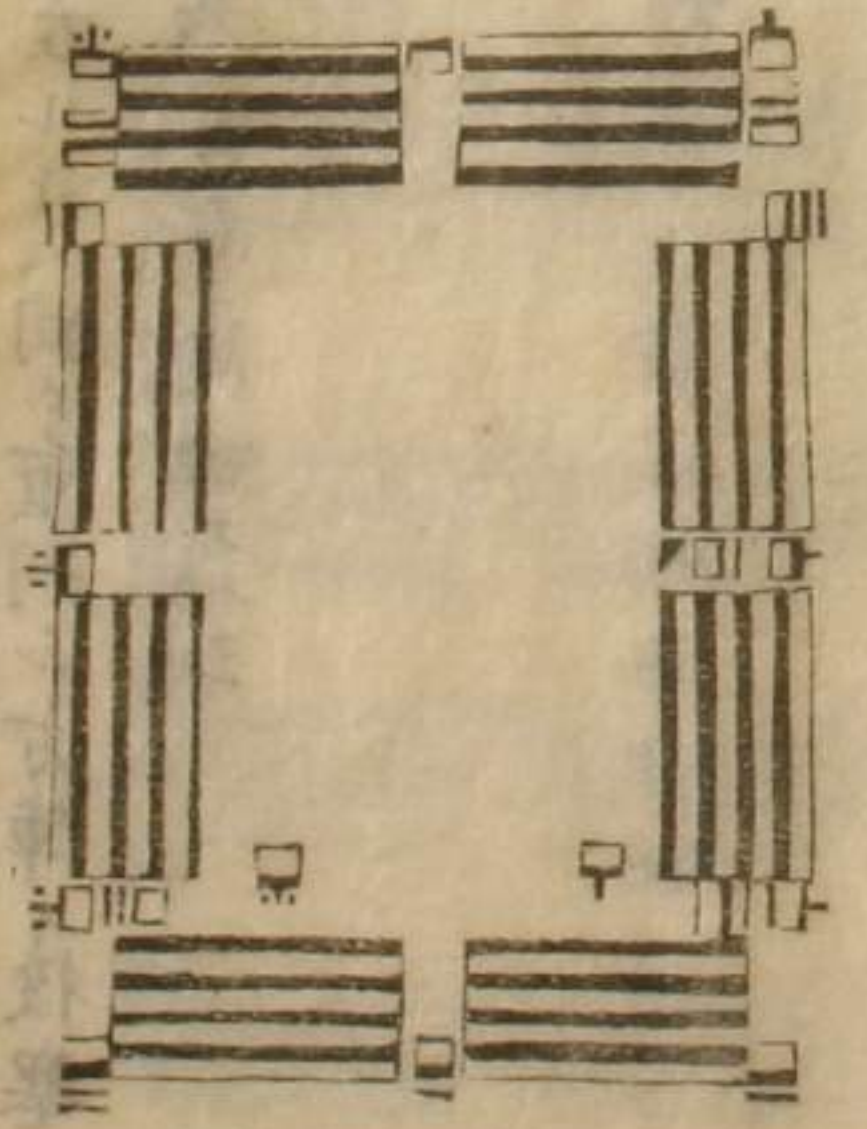
一重隊左右旋リ方陣  
化セ

二子豆ニ進メ

同上回復

一重隊子復レ

二重隊後乃左右ニ進ム



又又出カ



○五箇(散兵隊)以傍ラニ在ルハ同ク重列シ方陣ノ後塞ト  
為スシ然ルハ四箇モ共ニ左右ニ旋回スベシ

### 中隊回復

- 一 中隊に復れ
- 二 外方半隊左方ニ向け
- 三 半隊ニ進め

○外方半隊適宜ノ地ニ到レハ古之ヲ停止且正面

ヲ命シ尔后中隊ヲ左方ニ整頓スベシ

○左首先頭モ之ノ規律ニ係ル

○掩撃重隊ニ拾テモ此法則ニ從フベシ

### 第六卷

### ○騎兵對向四列重隊

○右首全距中隊重隊ナルモノ

一 騎兵右向重隊半隊距離ヲ五々

二 是免(半隊)ニ進め

一 箇ト箇ノ距離ノミ半隊ノ幅ニ四歩延伸ス

一 半隊ヲ進め

二 外方半隊左方ニ向け

○外方半隊左右向ヲナシ前伍ヲ後方ニ外出



三子足川進め

。口列各一步退す

。外方半隊舎ハ隊ヲ

ノ通過セシメ而メ

一隊係止れ

二正面

三衣方へ川進め

止れ

。若シ半隊ノ人員不同アルハ伍ヲ轉位ニ或ハ口列ヲ以テ代

三早足川進め

○㊦ニテ五箇口線

止ニ出以

○㊧ニテ閉合重隊

行進排開ト同

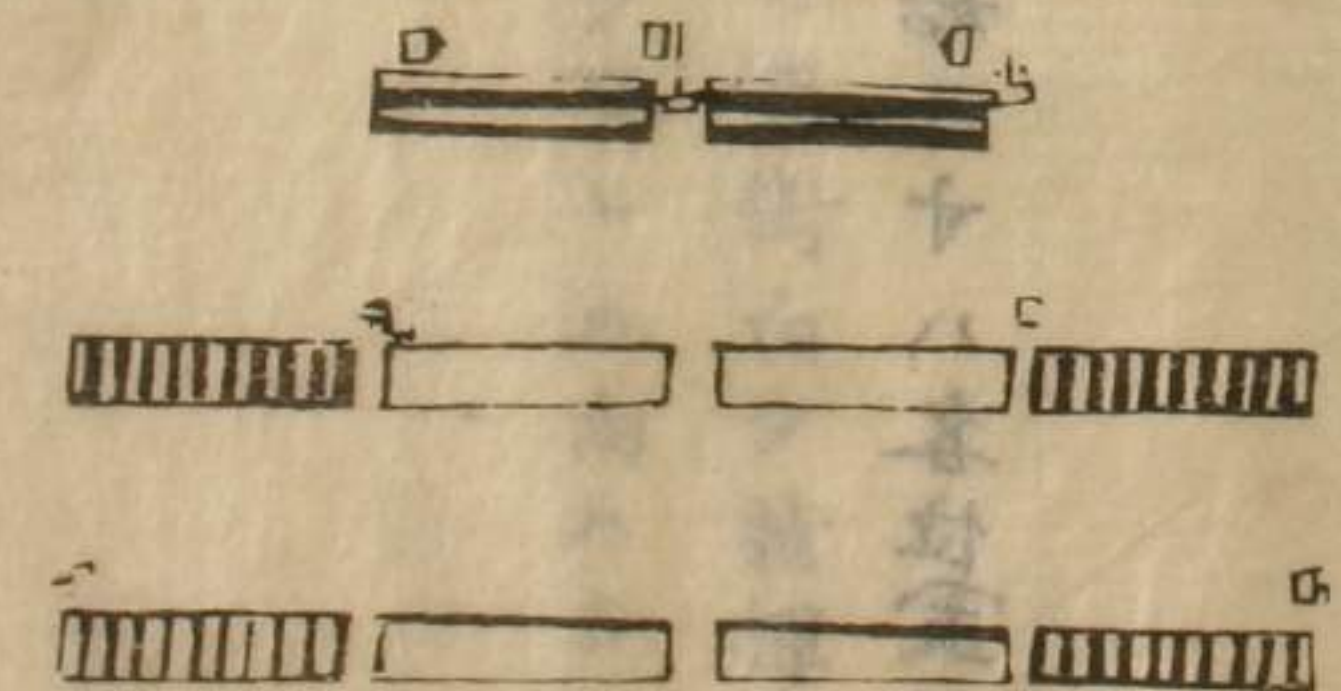
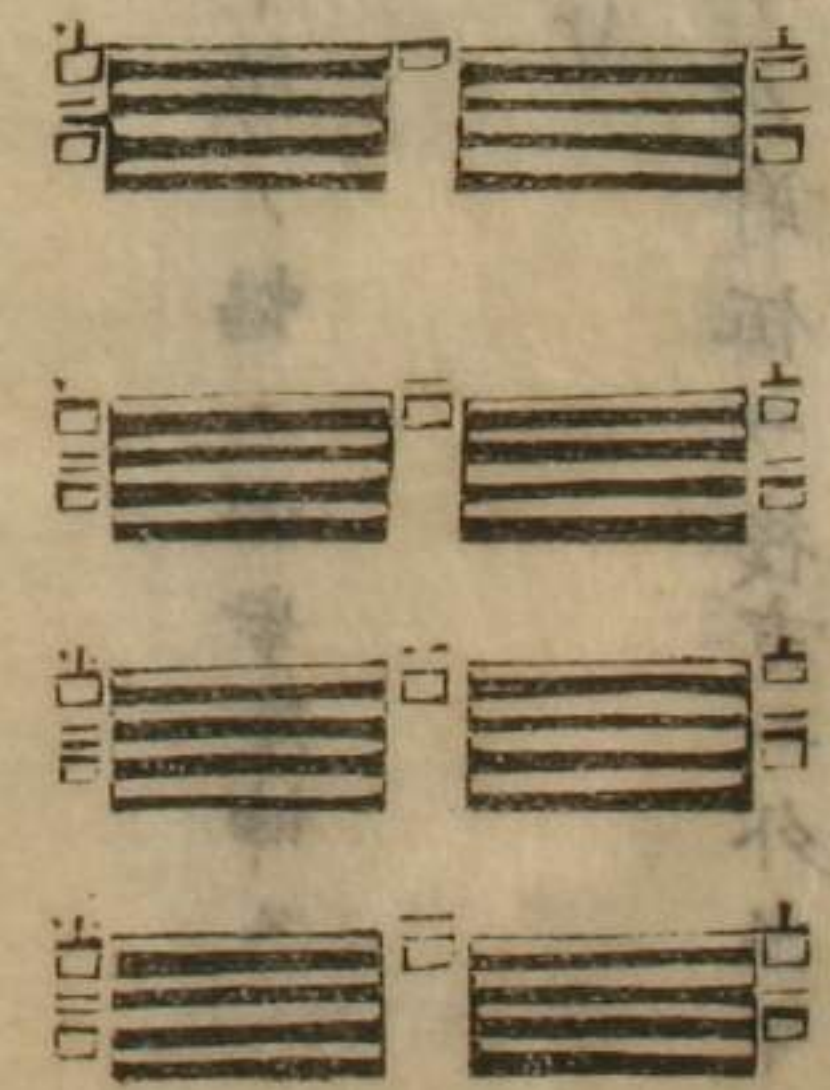
規則ヲ用ユ

第五占其部下

右方第三占ハ

其部下左方ニ

到共整頓ヲ命ス





四古ハ三列ニ退ク  
ハ守ル故

○同行進間

一重隊ヲ付

二大隊左右側面

三度め

○若シ排開ノ間點火ヲ始ル寸ハ各位直レテハ、ニ  
次テ點放ヲ命スヘシ

○○

第五卷

第一套

○戰隊前面行進

古中央後面四十歩ノ地ニ立ツ

古中央前面同歩ノ地ニ立ツ古對向ノ指揮ス

古又二十歩退テ二名ノ白ヲ已レニ向ハシメ左ノ令

ヲ下ス

一大隊ヲ付

二軍是リ進め

○日前列及ヒ日六歩前進ス

五十八







此有八五  
四ノ古或  
言ヲ用エ

古一名ノ有司ニ命シ此色ノ指揮ヲナサシム

古曰ノ後面二十歩ノ地ニ移ル

曰直線ヲ誤ル寸ハ

同密女(元)へ

此令ニテ呂曰ノ前面二三十歩ノ地ニ出ツ

呂若シ古ノ不整ヲ覽察スル寸ハ

何妻小隊目々士直線ハ

各隊歩法乱ル寸ハ

差ミ揚ヘ

○及面行進

一 一面後と

二 大隊若向北上と

三 白ハ今第一列トナル列内ニ移ル

四 白呂共ニ第一列トナレル方位ニ移ル

古曰ノ後面四十歩ノ地ニ立チ直線ヲ日定シ左ノ

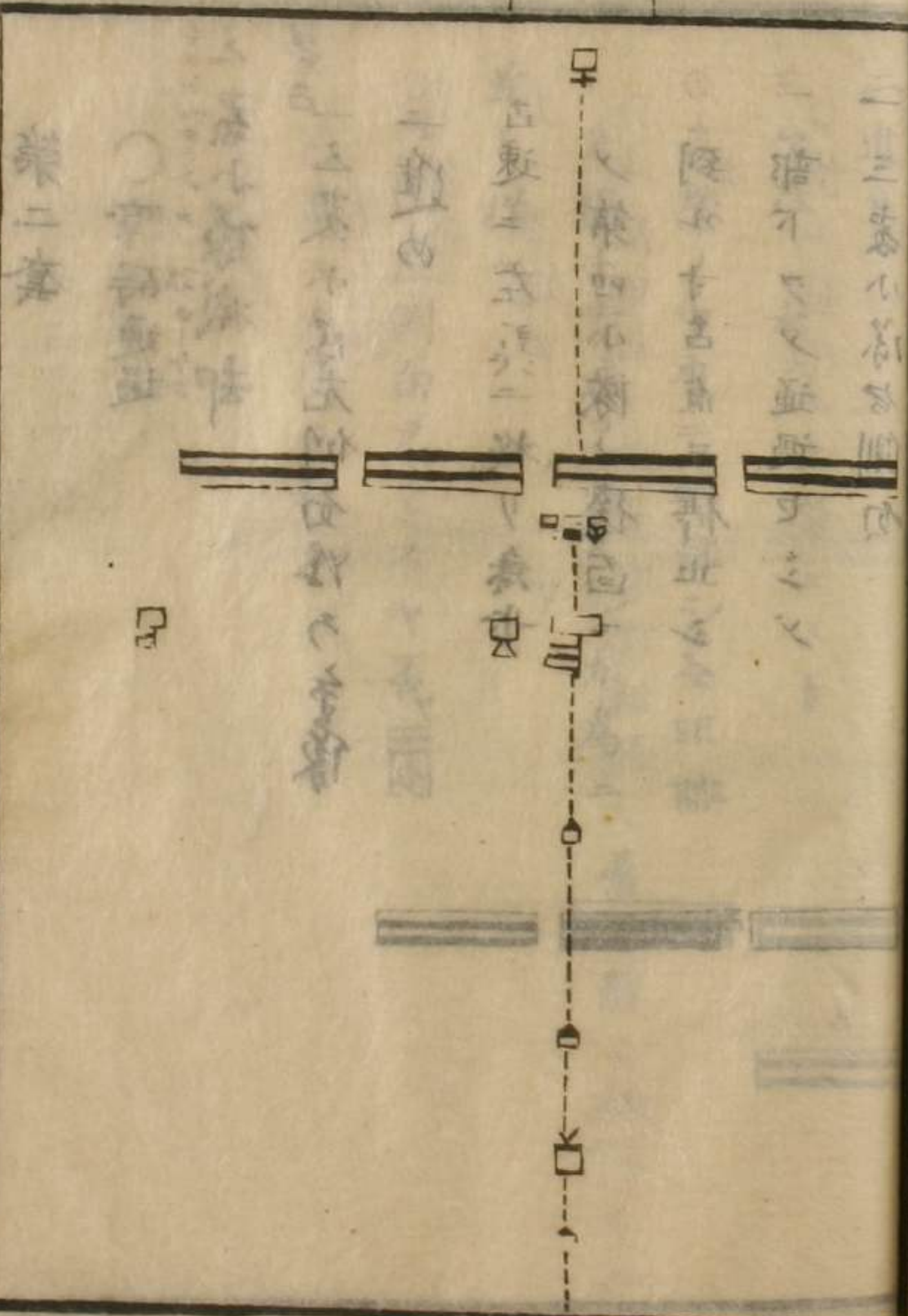
令ヲ下ス

三大隊歩へ

四早更ハ進め

○白呂前進スルヲ八歩





第二卷

六十一

○中央隊ノロハトノ  
 後ニ列シ口列ノ龜  
 入鑑タルヘシ  
 ○此行進ヲ停止シ原  
 向ニ復サ使ルニハ  
 一 四面に復セ  
 二 大隊右向ニ出立  
 三 各位信地ニ入整シ月八第一列ニ入整ス



第二套

○障碍通過

之表小隊減却

第一 之表小隊左側面沿り直進

二進め

占速ニ左側ニ移リ急歩

ノ第四小隊ノ後面ニ

到ル寸占直ニ停止シ

部下ヲ通過セシメ

一 三表小隊右側面

二進め

三々奪 女

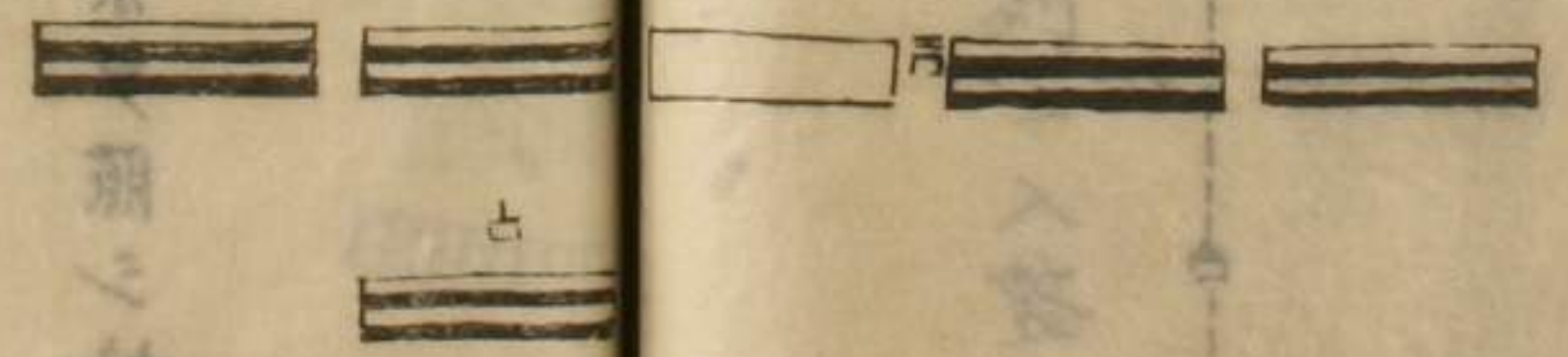
○占隊ノ中央ニ轉位シ全距離

ヲ保チ歩法ヲ整ヘシカ爲ニ

左ニ移ヘ

○三小 左側面ヲナスヤ否ニ

言直ニ左側ニ移ル



新編歩兵操典



○ 障碍通過整復  
ガレキハコトニホルケルケルオノブルセシ  
 三友小隊ガヘ向ヒ

一々孕丸

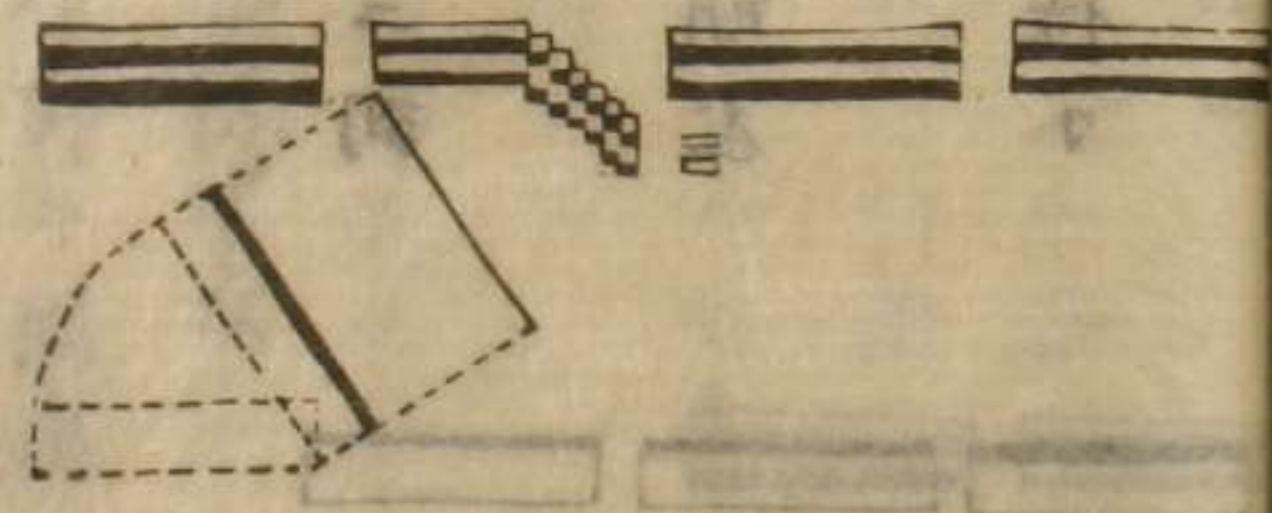
二小隊半の友

三をめ

ガヘハ進め

○ 此紀律部テ前面戰隊編制ノ条ヲ照シ施行スヘシ

○ 既ニ戰隊ニ入整スル寸



○ 亦古三戰隊對峙



○右方三位陸得通過

一右三小隊滅却

二右側面後乃軍隊

二進め

③ニテ右隊ノ前面ニ到  
リ預令スヘシ

④稱擧ノ隊行進間左  
轉マ、シ

○都テ紀律上一位ノ  
隊滅却ニ准テ

○既ニ通過シタルコ

ト及テ故位ニ復サシ

ムルニテ未テ然レテ

一右之隊前へ向ヒ

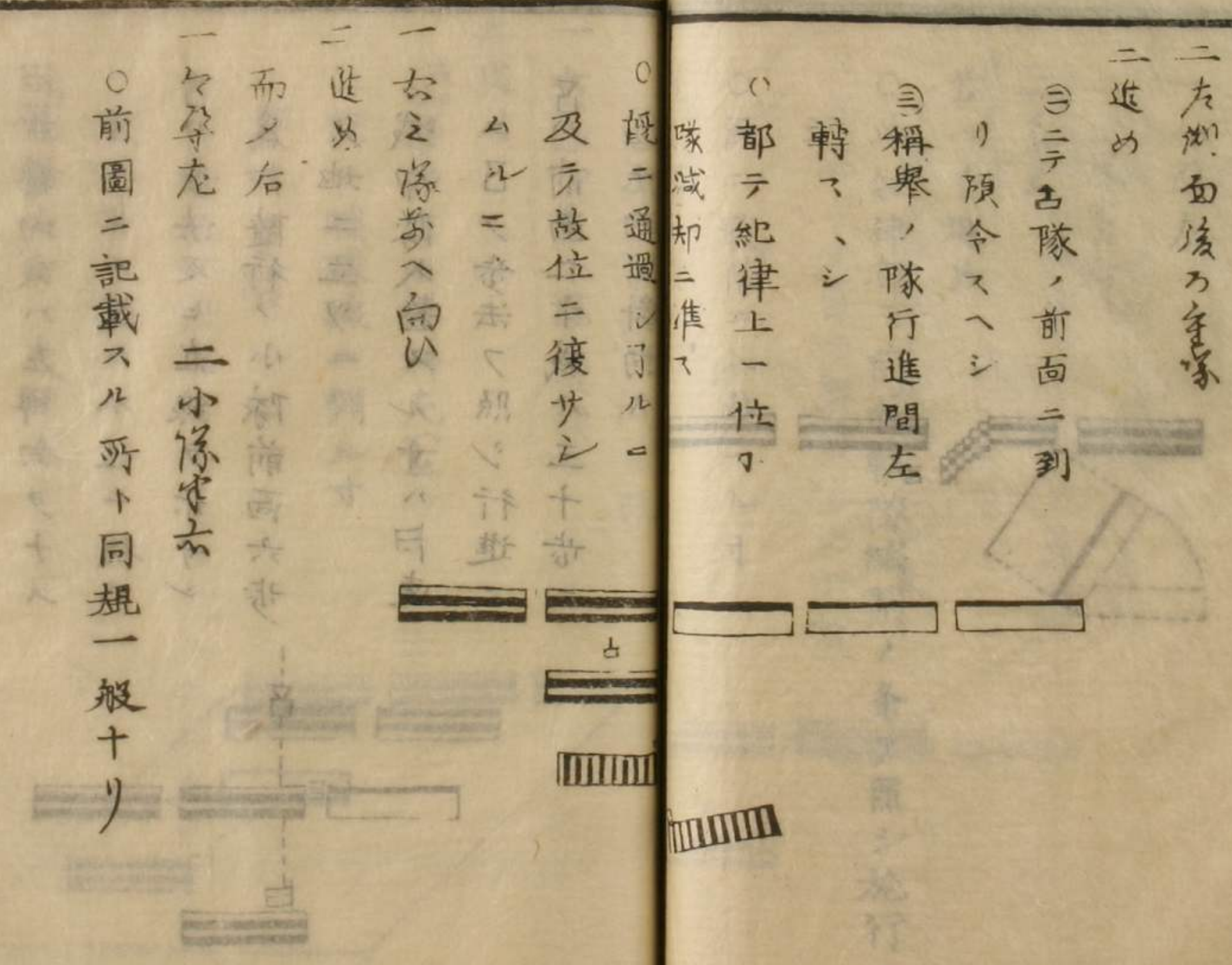
二進め

而シテ右側面ノ小隊

一々等左ニテ二小隊

○前圖ニ記載スル所ト同規一般ナリ

○中央隊





○中央減却

目右轉向或ハ左轉向ヲナス

寸ハ目ハ速ニ本位ニ復ス

目ハ歩法及ヒ直線ヲ示サシ

爲目隨行ノ小隊前面六歩

ノ地ニ立ツ

減却隊入整スル寸ハ目速

ニ目ヲ歩法ヲ照シ行進

目ハ前面二十或ハ三十歩ニ

立チ目ニ對向ス

○旋師關隊進

一六(左)何者小隊局ハ

二此め

減却隊小隊斜九(左)

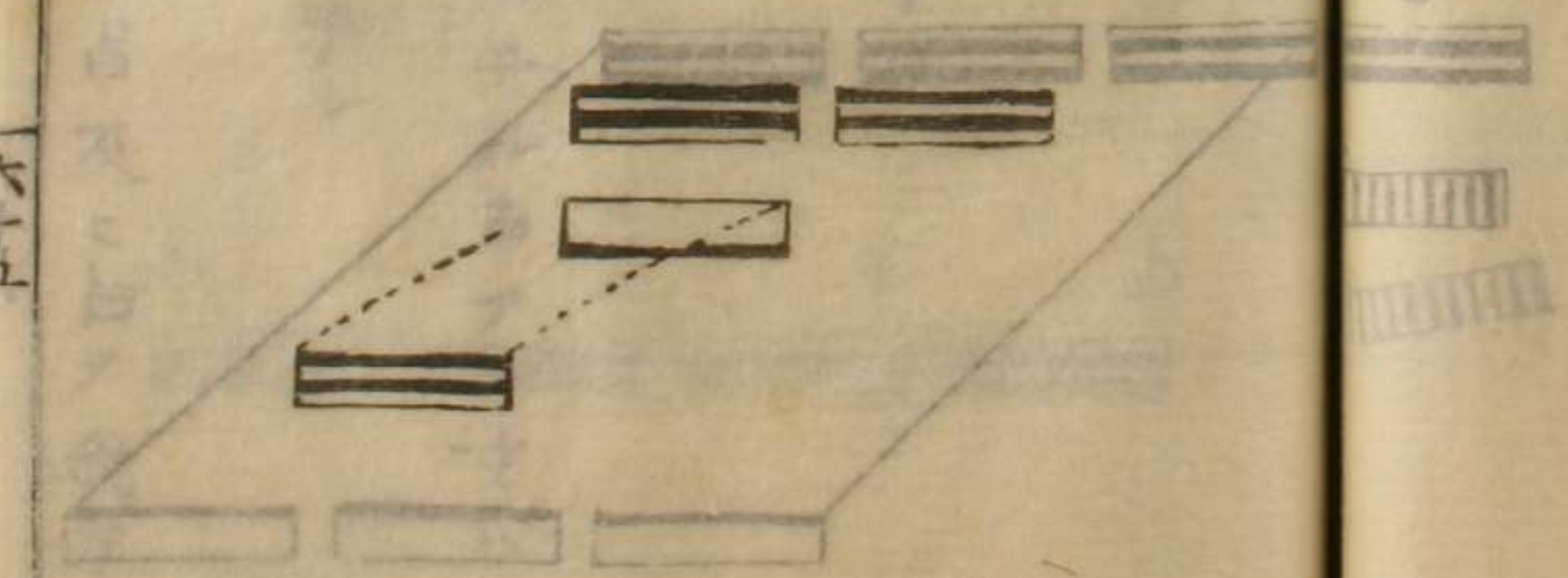
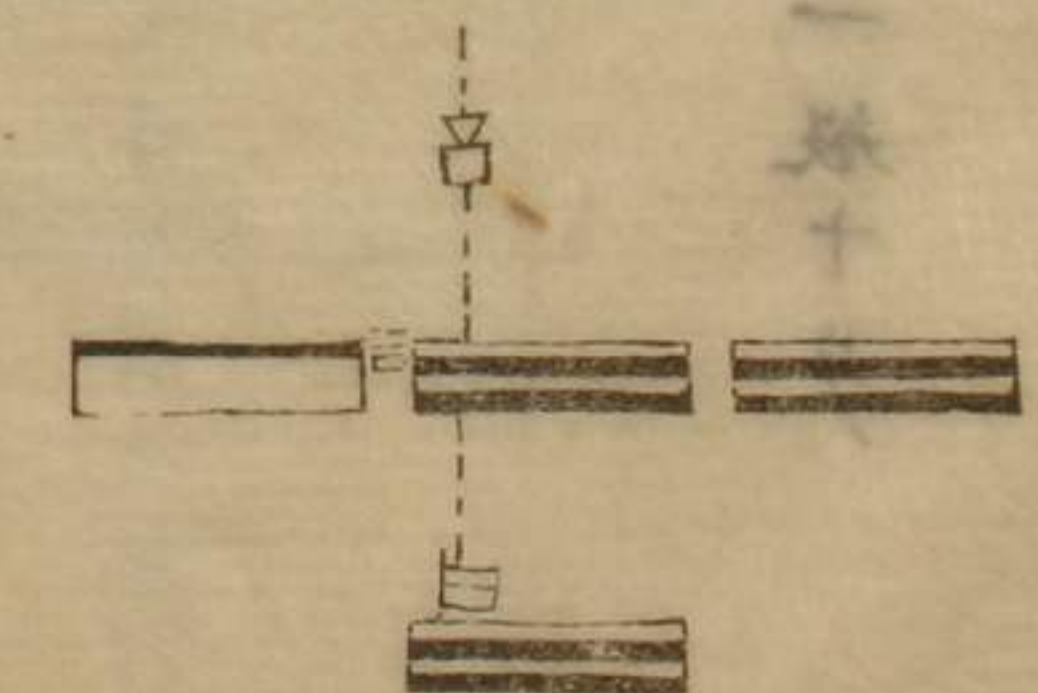
既ニ戰隊線ニ到ル寸

一歩ハ直線

二此め

○戰隊ニ入整

並指ハ





○戦隊斜行

スコイ スレック (ヘンダス)

一 斜に右方

二 直ニ日對向ノ地

ニ到ル

○再ヒ正面向ニ轉ヌヤ

ル寸ハ

歩ヘリをめ

一 迅速ニ日ノ前面相照ル

一 三十歩ノ地ニ到

○戦隊停止位地整頓

大隊非止也  
ハニテリアニキオラニ  
テイルイニキオラニ  
テイルイニキオラニ

直線ヲ補正セント欲スル寸ハ

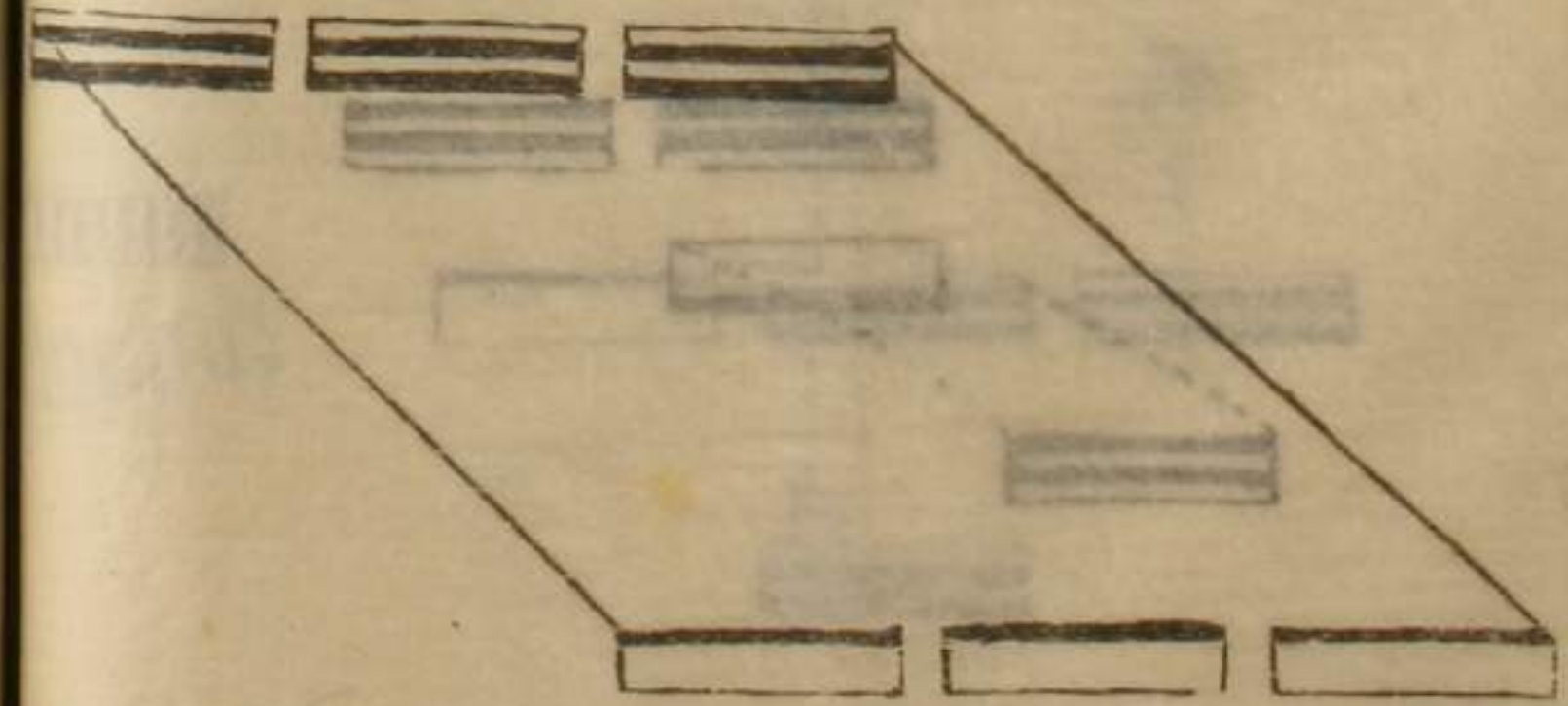
小隊司令士列正セ

古準繩ヲ照シ整頓ス

古尚配慮ノ若シ方向備正到キ  
カナル古アル寸ハ左

令ヲ下ス  
カテ下トハ  
カテ下トハ  
カテ下トハ

古新ニ方向ヲ與シテ欲スル寸ハ  
古及ヒ日ヲ我方位



戦隊  
戦隊  
戦隊



古若手隊  
古全隊  
ノ御草  
住草ス

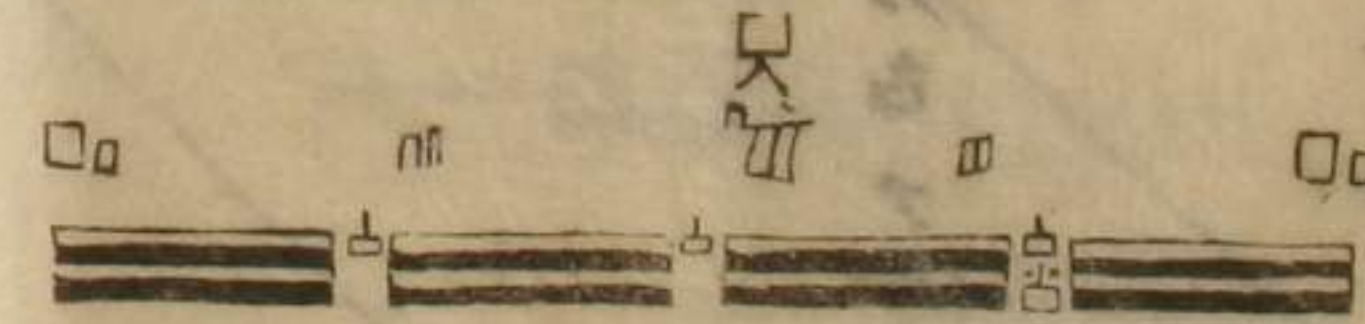
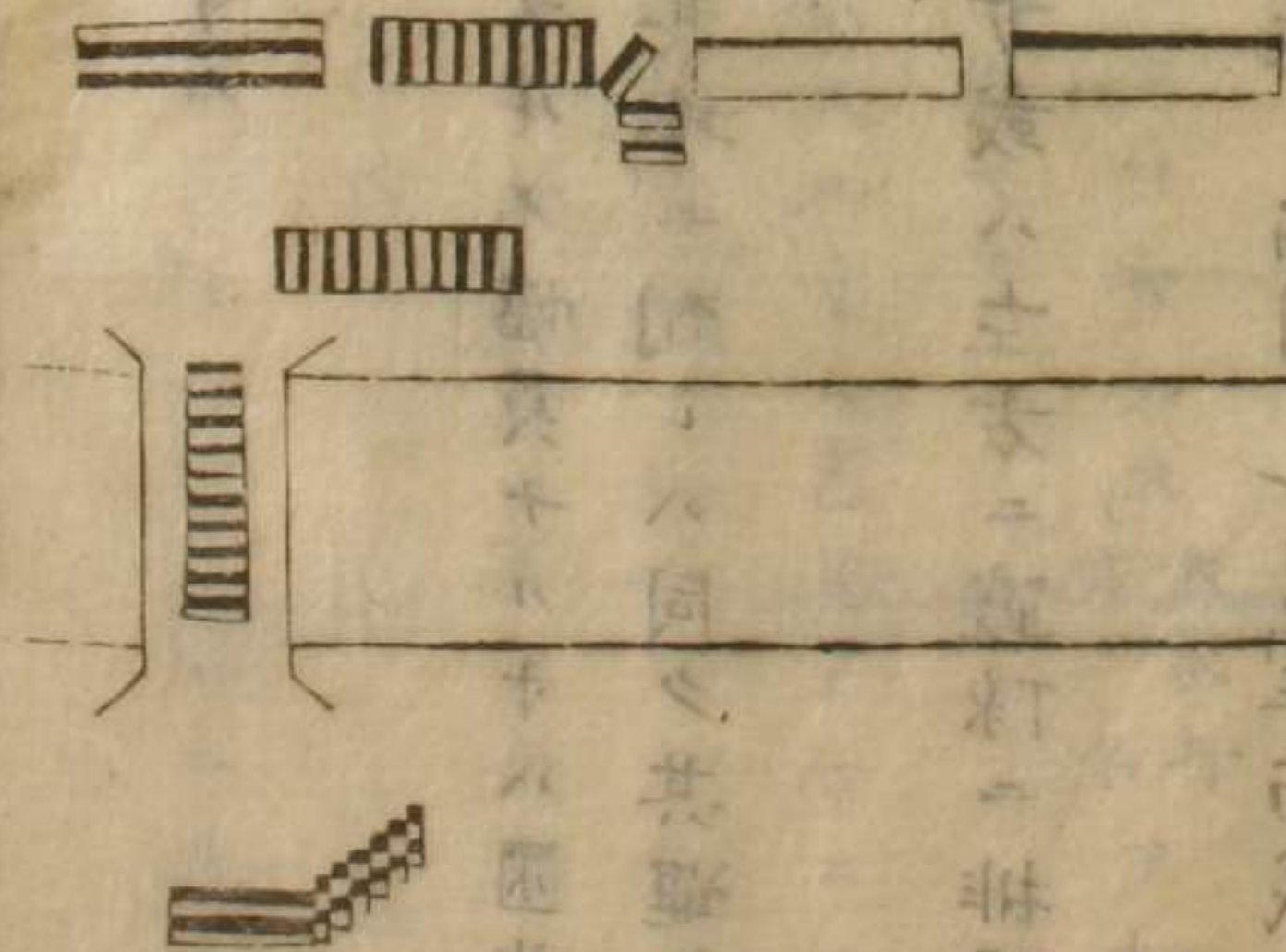
一 向ハセ既ニ整列スルノ後  
一々守ル方角線ハ  
二 中央へハ準へ

○此此線ニ到リ古ニ對向スル  
古戦二名ノ杖長速ニ戦隊内ノ  
小隊本位ニ退ク  
○整列了後右サメノ始メハ  
三 旗々守ル極へ  
六〇若シ古共ニ前面ニ在ラサル

第五卷

○退軍中凹路通過  
○左翼後面ニ凹路有

ルトハ  
一 一書小隊右ニ向  
二 二組右へ  
三 三軍直ニ進め  
○四 先頭二箇古ト齊  
頭面ニ到ルハ二箇古直ニ





右側面ノ令ヲ下ス  
○若シ凹路上ニ交スル寸ハ  
右翼少シ後ノ隘道と迎

○四路若シ半隊ヲ編制スルノ幅員ナリ寸ハ四共  
運動ヲナスヘシ後統其地ニ列レハ同ク其運動  
ヲナス  
○既ニ通過スル、後右方或ハ左方ニ戰隊ニ排開  
スヘシ

○若シ此廣路ヲ得ス側面戰隊ヲ編制スルニハ「正面或ハ  
右側戰隊」令ヲ運動ヲ施行スヘシ

第六套

○離散集合

○大隊ヲ離散セ使ルニハ古「ア」マ「ル」ニ大鼓ヲ打  
タシム各隊ノ小隊區々離散ス  
○既ニ右整列セ使ント欲スル寸ハ古其方向ニ二  
名ノ「白」ヲ配置ス其幅小隊間隔ニメ相對向シ立ッ  
目之ニ次テ二「白」ノ中間ニ右向ノ立ッ古尔右直ニ  
ハ「ト」トルマルスヲ打タシム  
○白部下、遠ニ此線後ニ「白」ヲ距ルニ六歩ノ地ニ集着  
セシム



○古陣隊ヲ此△ニ收接

セシム自餘ノ小隊上

整頓ノ方法ノ如ク此

直線ニ整頓ス

大隊略解終

步操袖珍第四編

允例

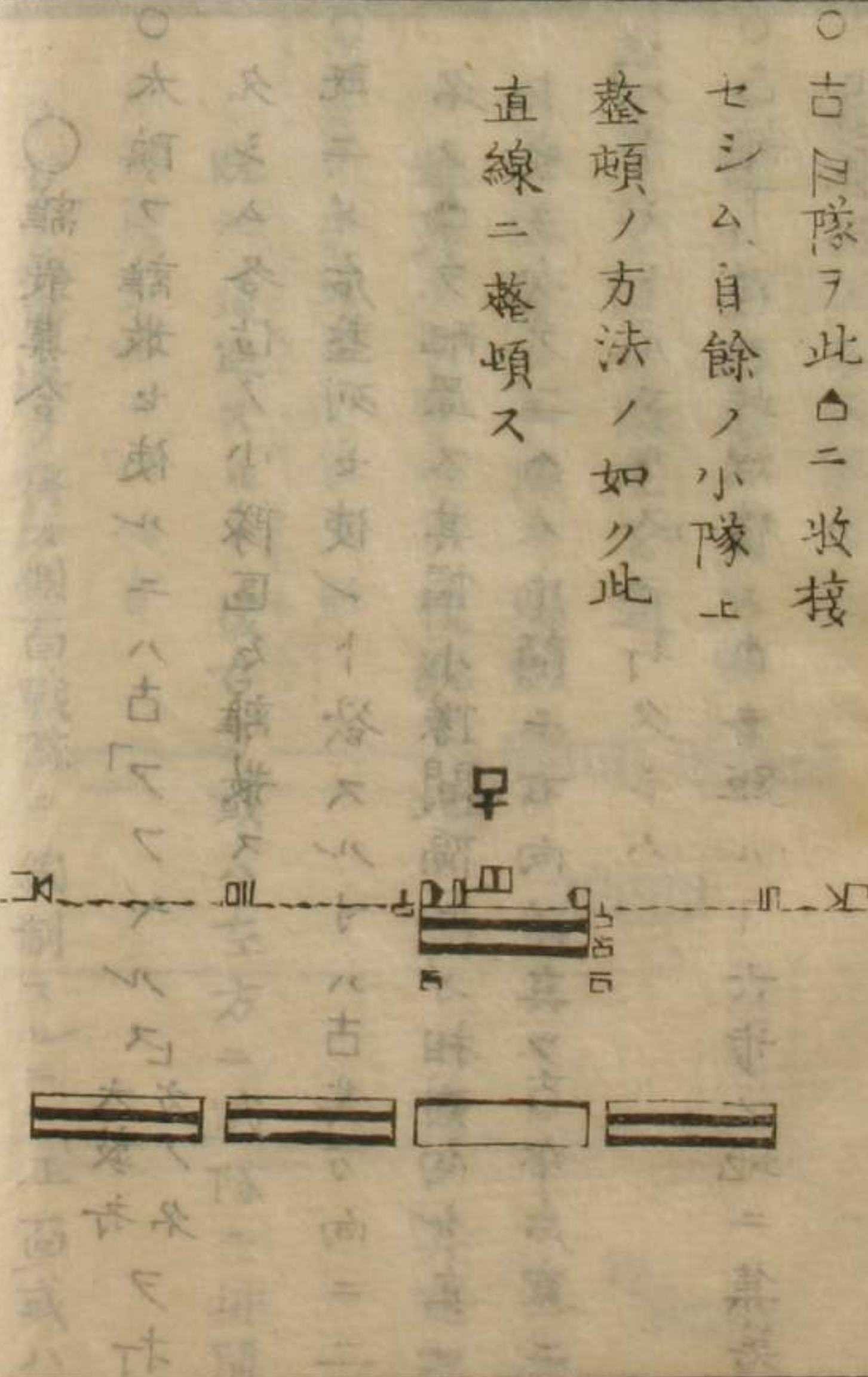
六國舎主人登

○此篇ハ散兵初學ノ教操ヨリ大隊從屬ノ運動ヲ略解シ以テ袖珍ノ四編トス

○篇中指寫スル處勢テ原圖ヲ模シ或ハ蘭客崎陽ニ傳フル口説ニ係ル然ルニ書外

ノ傳聞方必詳明ナラス唯其略ヲ記載シテ以テ參考ノ一助ニ供ス希ハ者君裁

正セラレヨ





○傳習ノ説ニ係テ圖解スル者ハ◎ノ符ヲ  
 目シ本文ニ混セサラシム  
 ○諸官ノ符号大隊篇ノ者ニ同シ唯創見ノ  
 符ヲ示ス

田 散兵隊

目 預備隊

X 鼓手

亡 咀以手

▲ 散兵

● 預備兵

萬延元年庚申春

元岡舎主人述

例言

散兵略解

第一 部生兵教則

○小隊編制

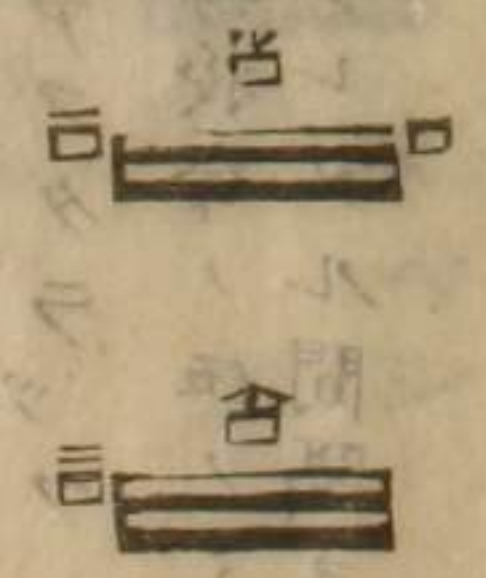
古位地ノ定ノス通視スヘキ地ニ台一名ヲ屬シテ立ツ

目ハ信地休憩ノ姿勢ヲ

ナシ運動スルニ至テハ

提銃スベシ

散兵ノ歩度一今時間百十二歩トス





生兵ニハ号令ヲ用ク勢スニ及テ合図ヲ用ユ

○散開

オノミハスラルスフレテン

○散開

○正中或ハ両翼ニ於テ直線投命ノ伍ノミ直行シ  
其左右伍ハ斜行シ命セラレタル間隔ヲ保チ進  
ムベシ

○右列ハ前兵ヲ過ルルニ三歩ニテ佇止シ而左方ニ

○一ニ歩轉位ス

○佇止

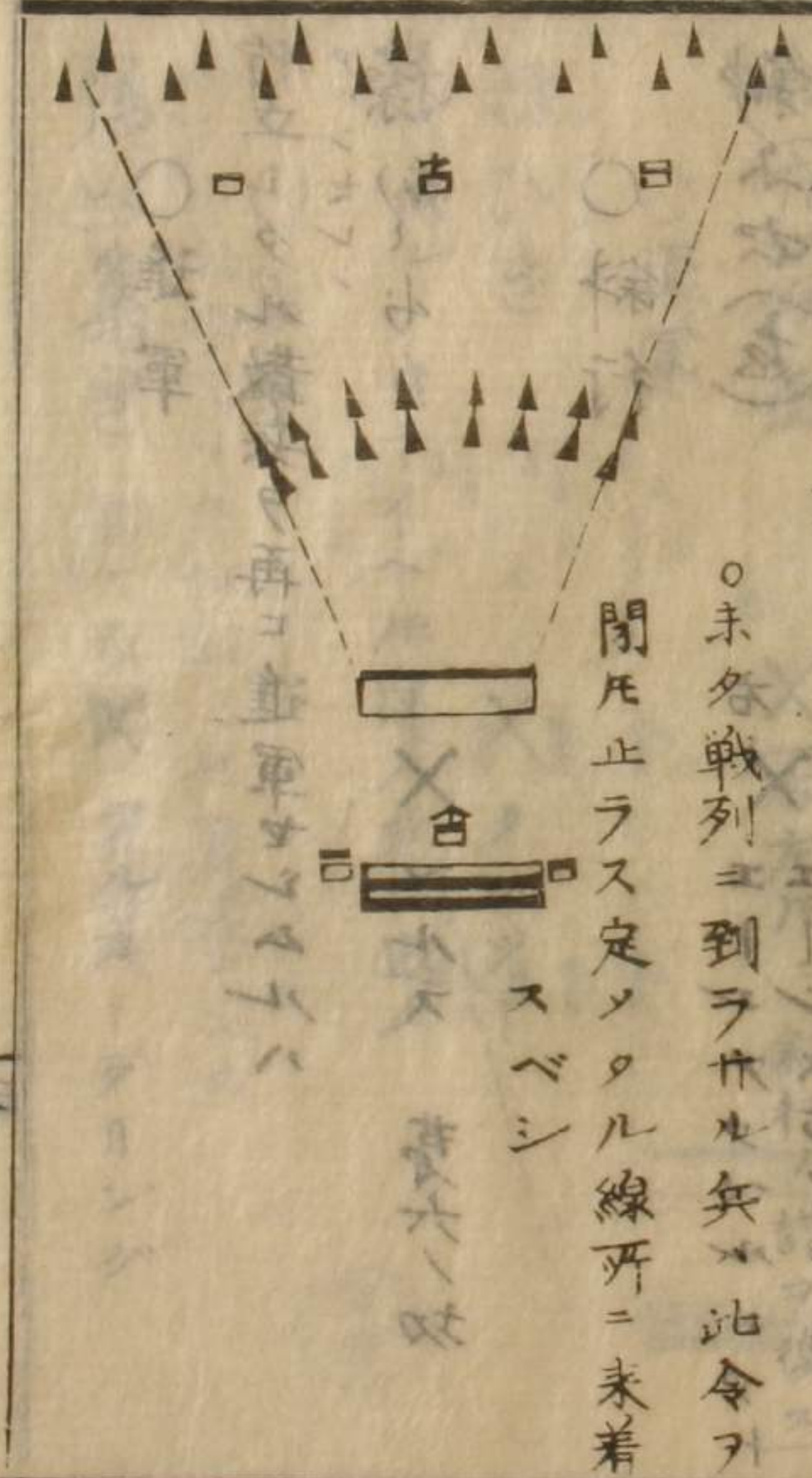
ハルト  
止

○何レヲ向ヒ進ムキト雖モ止テハ必敵ニ對向ス

○未名戦列ニ到ラハル兵ハ此令ヲ

閉ル止ラス定メタル線所ニ来着

スベシ





○進軍

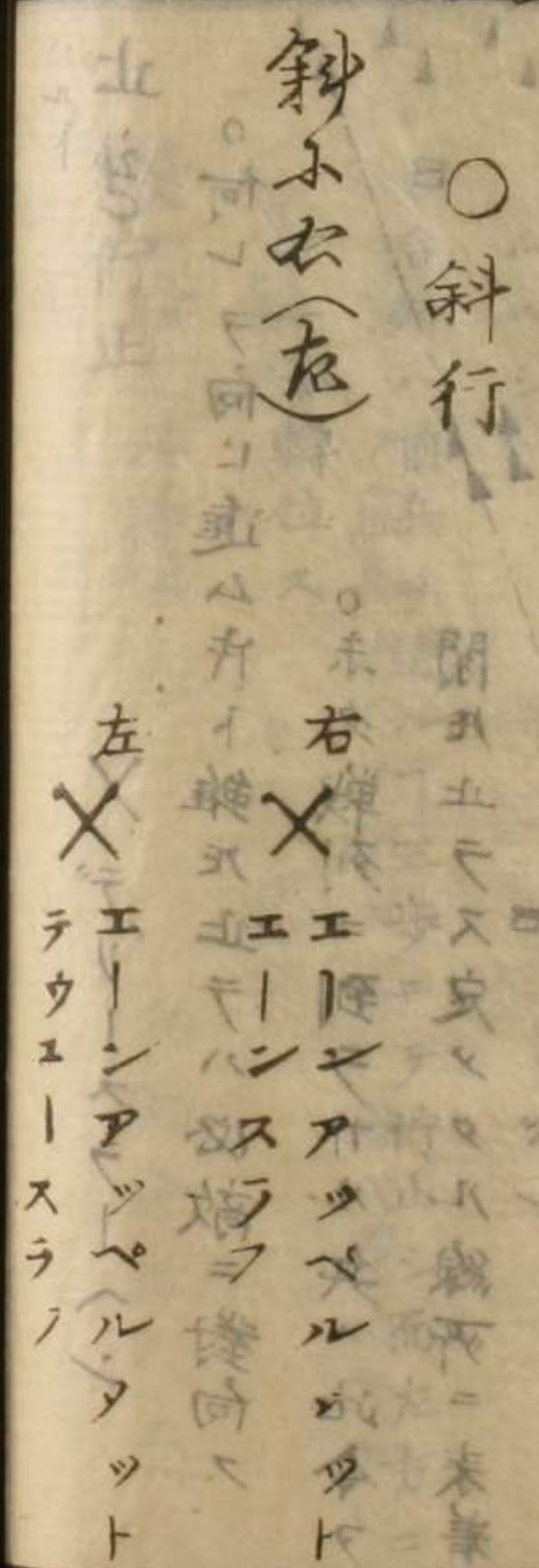
竹立シタル散兵ヲ再ニ進軍セシムルハ

探カシキ

マルス 第六ノ切

○斜行

斜小右(左)



○側面行

右(左)側面

X(右左)ニ斜行ノ譜ヲ復ス

○退軍

探ヒキ

Xタフツト

何レノ片トイヘル国ノ方ニ退ク

○集合

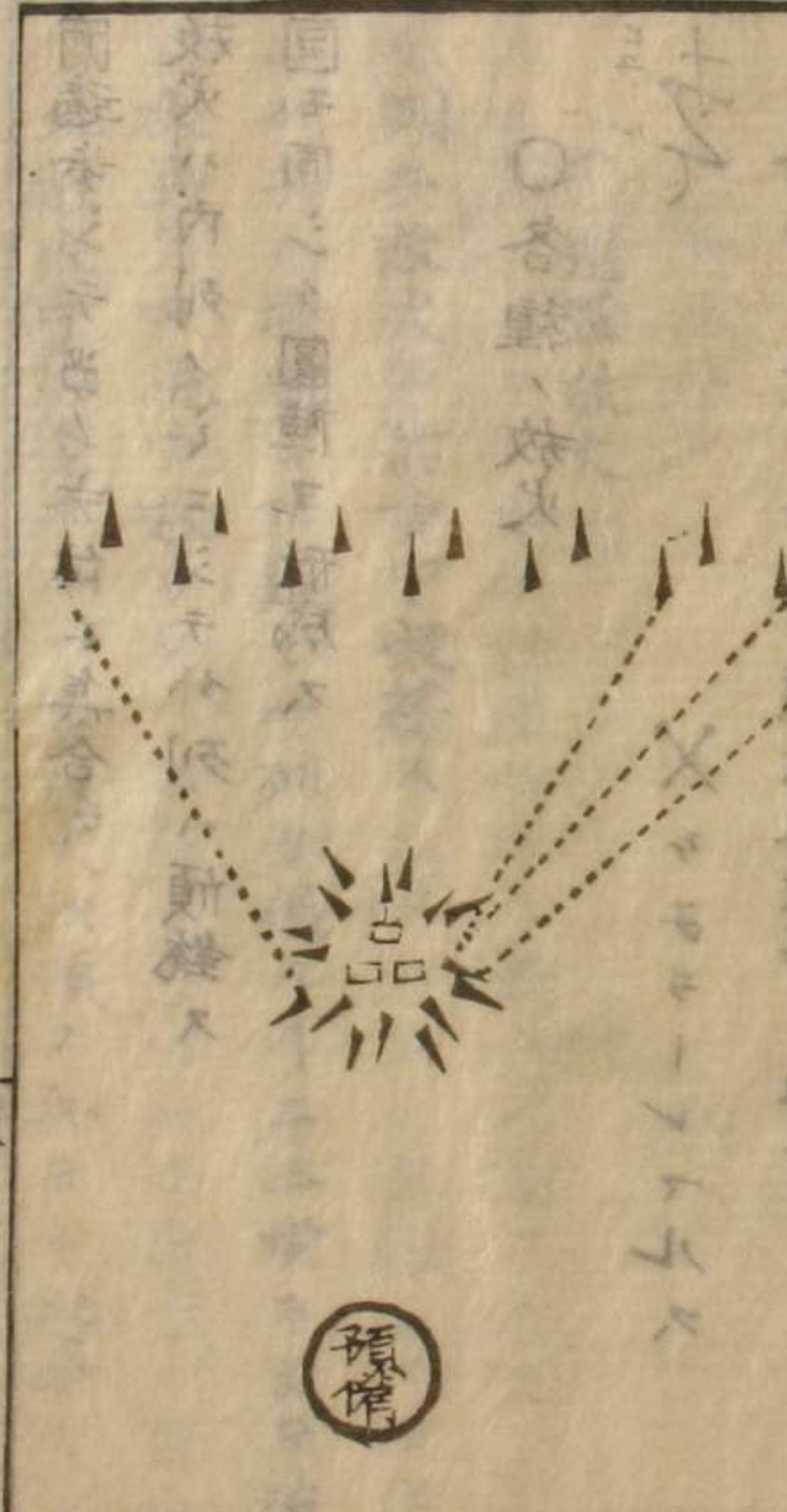
後へ集ルニ同ノ方ニフルカテリング



陣ハ捷徑ヲ取リ陣ノ右面ニ集合ス  
 放火中此令アレハ止砲シ且裝束ヲ止ム



○圓陣編制  
 急陣化也





陣端歩シテ出ノ方位ニ集合ス  
 放火ハ内列ノミニシテ外列ハ傾銃ス  
 同モ同シク圓陣ヲ形成ス

○各種ノ放火

ビユル  
 ちて

- 命中ヲ專ラトシテ順放放等ヲ要ヒス
- 當ニホントスル片鶏頭ヲ起張ス
- 放シニハ必停止スベシ

Xケ子ラレマルス

○信地放火

總テ放火ノ準備ヲナシ先一列放火シ而裝薬且準備ス  
 ルニ至テ二列兵放火ス

○進軍放火

陣列兵放火ヲ行步中裝薬スルニ放火ニ對シテハ  
 二列兵ハ傾銃シテ進ミ一列ヲ過ルヲ二三歩ニシテ彼  
 カ裝薬了ラ見テ放ツルハ古辭又固シ而シテ裝薬ニ對シ  
 位地放火中此令ヲレバ其放火次順ノ兵ヨリ起歩ス



○退軍放火

位地放火中此令在ル片ハ右轉又回シ而今裝茶シ在ル  
兵二三歩前進シ次頃ノ兵ハ提銃シテ敵ニ注目シ時々  
顧視ス前兵裝茶シ了ハ速ニ止テ放火シ提銃シテ又前  
兵ヲ過ル一二歩而行進シツ、銃ニ改裝スベシ

○側面放火

一列ハ一二歩側面ニ移リ放火シ二列ノ右面ニ列ノ裝  
茶ス已一前ニ進ス

○正面變易

右(右)變易ヲ採ル

口ハ袖ノ外翼ニアツテ  
運動ヲ指揮ス



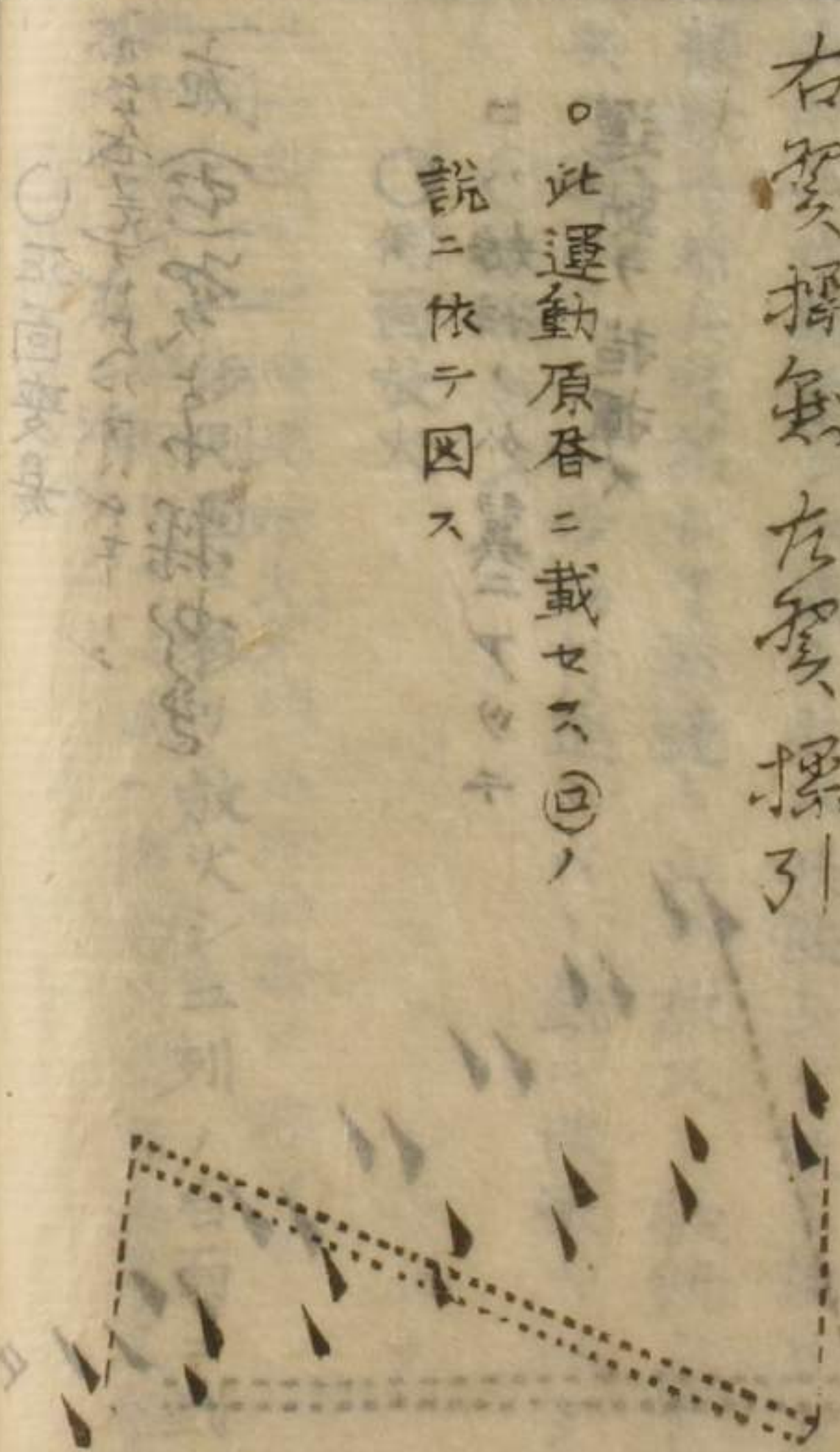
○中文要略



○中央変易

右変標を左変標引

○此運動原卷ニ載セス(四ノ  
説ニ依テ因ス

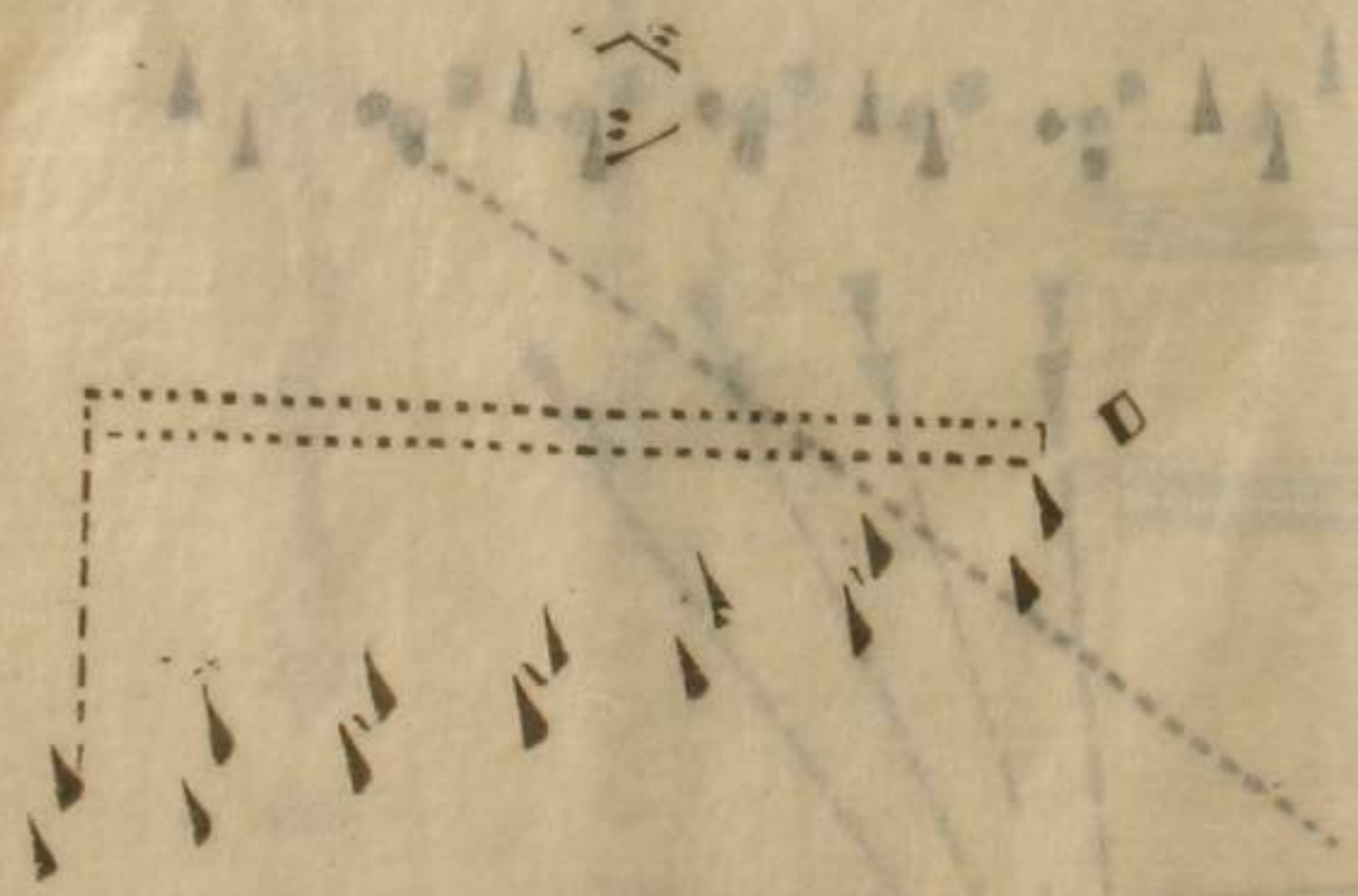


○後面変易

九(五)變より標引

○右轉廻ヲシテ標引スベシ

○此運動原卷ニ載セス(四ノ  
説ニ依テ因ス





○散兵加増

古ハ目ニ令シテ散開

セシム伍シ少ニ四名

ヲ残シテ目トス△△

レヲ司ル

左右ニ延伸スルニ  
其翼ニ散開ス

○散兵自衛

○全交代并戒却

交代減却氏ニ古其各伍ニ

預令ス

意開ス

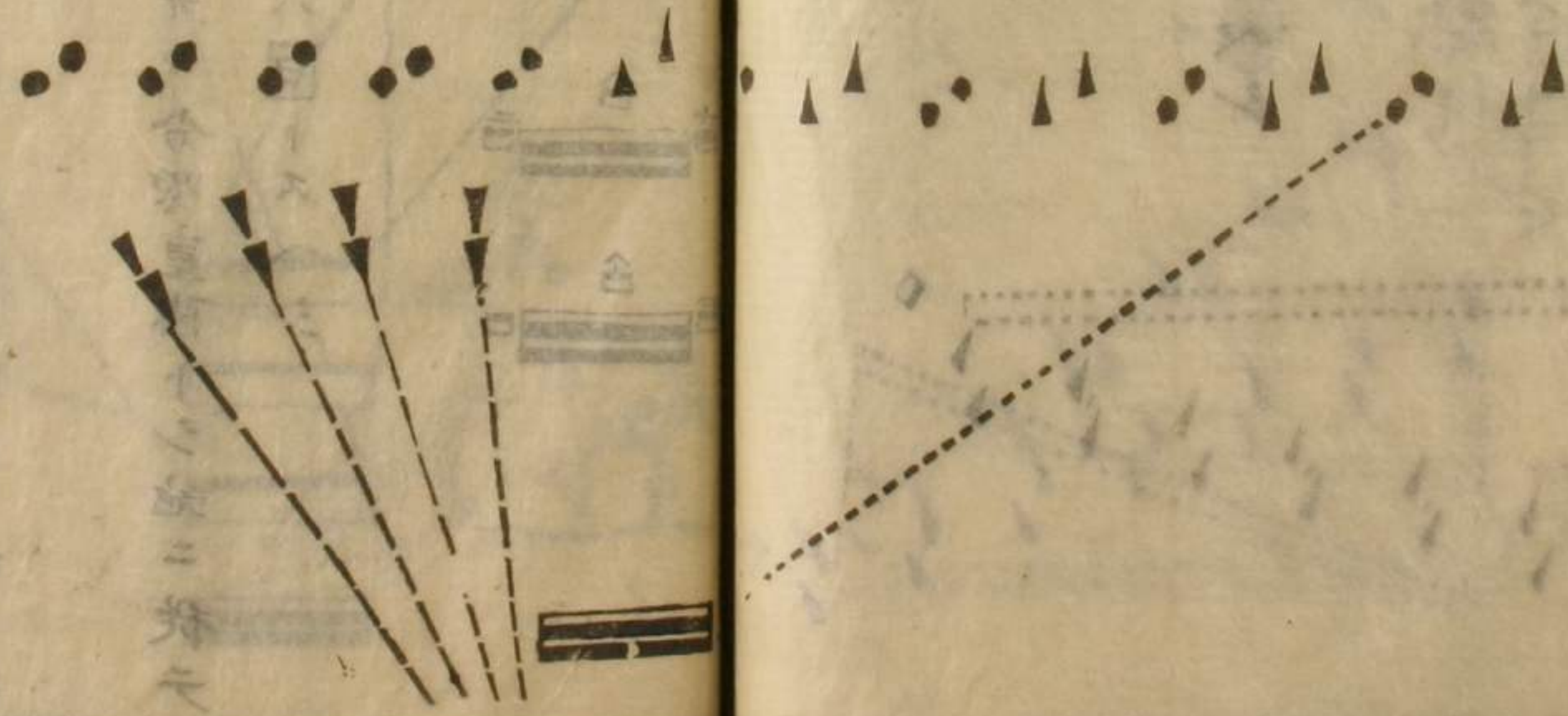
一團ハ

ヲ兼テ

ニ

ニ

ニ

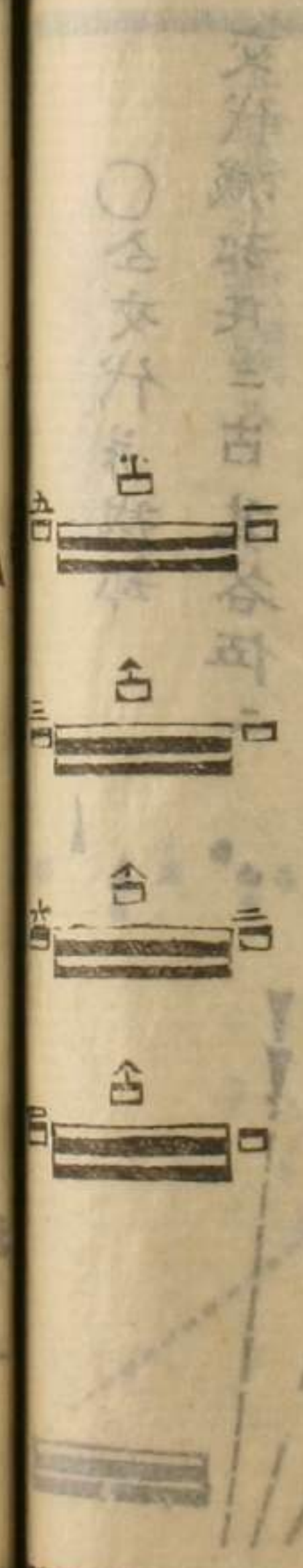




第二部

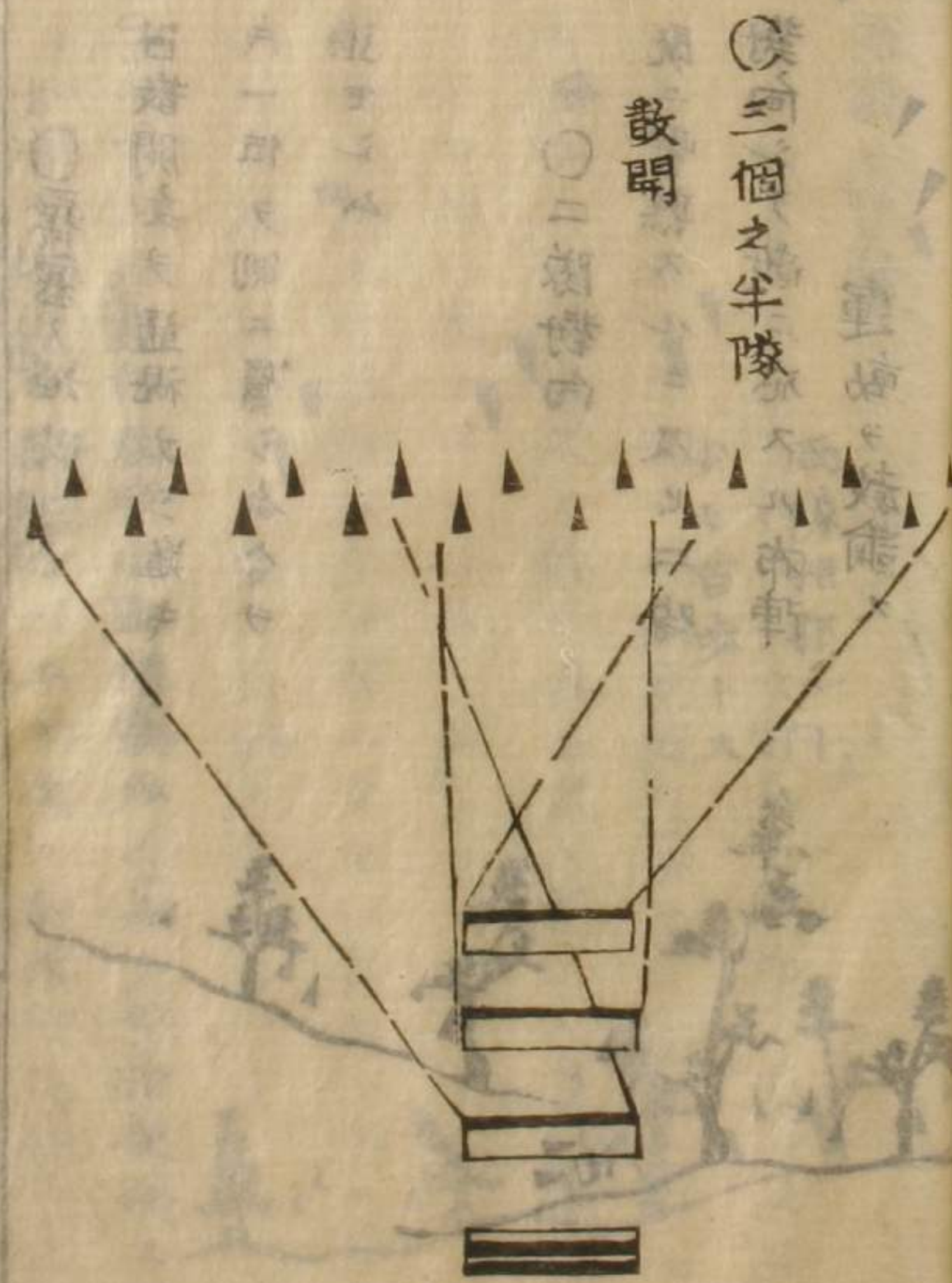
發練散兵

上等一部ノ教戒ニ整ス兵ハ務メテ不平覆塞、地ヲ撰  
ミ施行セシムヘシ  
一個ノ陣ヲ以テスルニハ先ツ分隊重隊トシ地ニ從テ  
散開ス然レモ必モ一半隊ハ固トスヘシ  
古ハ固ノ白ラ倍ニ屬ス



○三個之半隊

散開





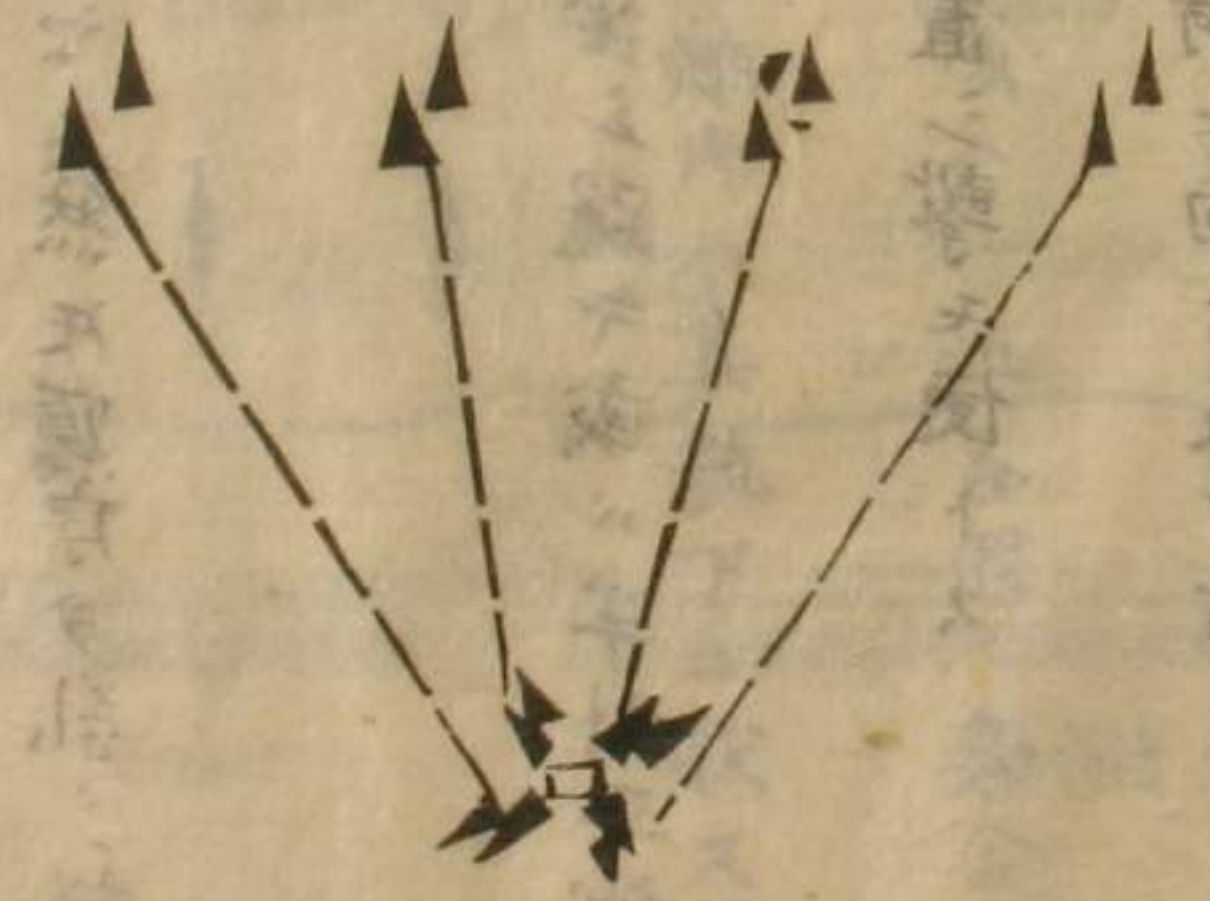




教練ノ前項ノ損闕ノ兵ヲ定置キ時至テ其兵奔倒ス  
 ルニ及バ速ニ勝陣ノ二兵銃ヲ両肩ニ擔ヒ敗兵ヲシ  
 テ其銃ニ駕セシメ而シテ陣ニ運送スベシ  
 戦争遠ク介抱難為ノ取勢ニ在テハ其兵ノ銃ニ致損  
 シテ用ニ適セザラシム  
 假令ハ一兵右ヨリ損一兵左ヨリ傷ルノ災ハ密附抱  
 合シテ亦ヲ示部ニ起他援助ヲ受ケズ退去スベシ  
 其余許多ノ景況ニ於ル宜ク便宜ヲ考究シ実地活用ノ  
 預備ヲ習練セシムベシ

○敵急迫シテ一個ニ

命ヲ集合ナシ難キヲ圍陣ニ  
 古ハ都テ通視復用ノ地ニ  
 陣  
 圓陣ノ片ハ古各地ニ位シ  
 他隊ト互ニ援助ス  
 急道ノ片ハ各自ニ結合ス  
 國ハ敵九ノ遠マサル地ニ在テ散兵ノ救助ヲ專ラトス





指揮不便。地ニハ占ヤク小笛ヲ用ユ武士是ニ注目スベシ

冊ハ都テ行步整正ヲ固守セス然レ順序ヲ乱シ説話ヲ  
ナス等ハ禁ス

地祓ニ因テ或ハ卧シ或ハ坐シ跪キ或ハ半卧平伏等ノ  
放火ヲナス

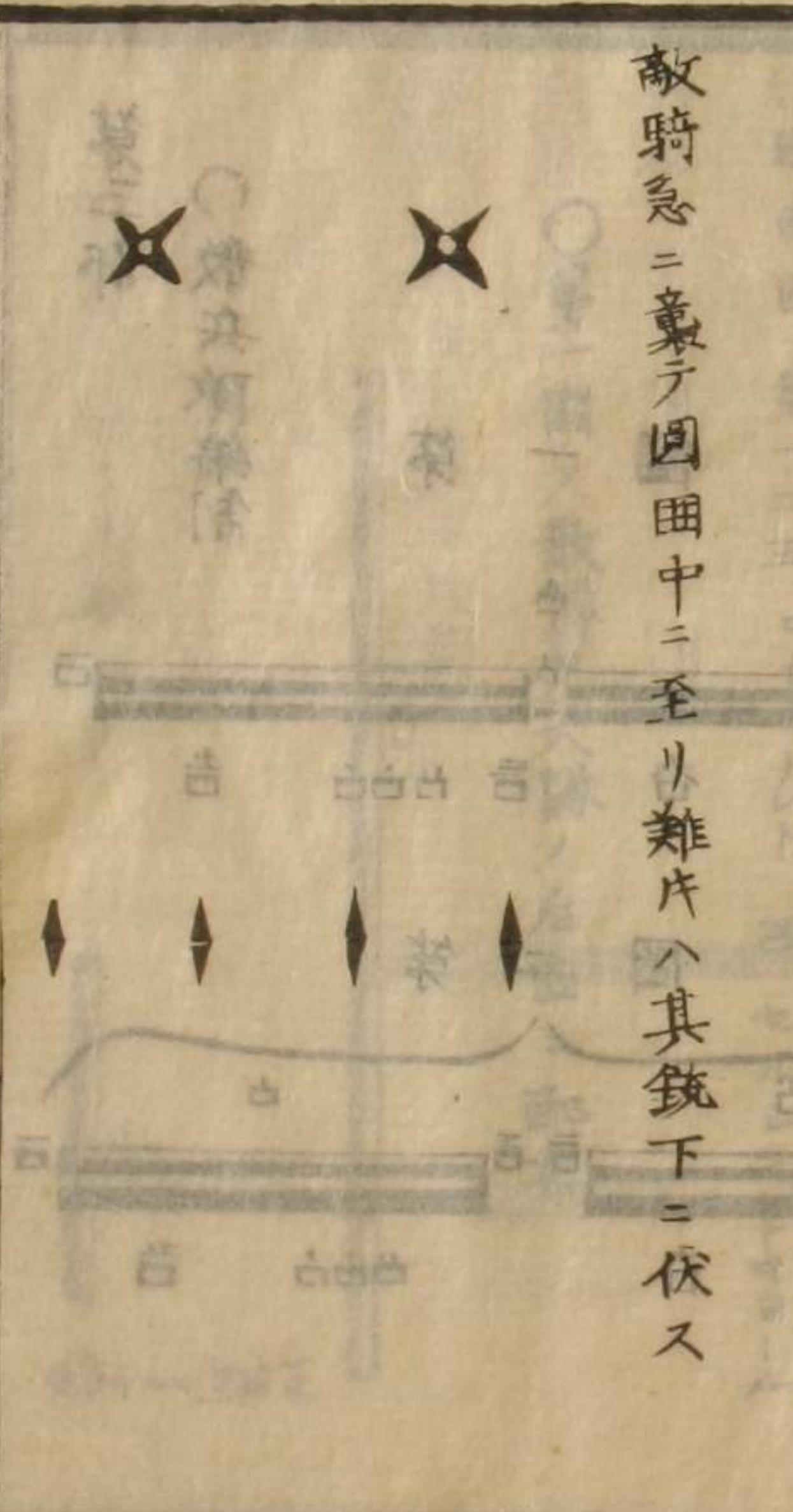
命中ノ為ニ樹枝椽杭ニ托置シ撃モ便トス

刀騎ニ對ハ彼方左ヨリ槍騎ニ向ハ彼方右ヲリスベシ

都テ銃槍ヲ敵馬ノ真先ニ對シ或ハ脇腹ニ突込ムベシ

急ニ馳逐セラルハ二伍或ハ一伍各個ニ集合ス

敵騎急ニ襲テ圓陣中ニ至リ難片ハ其銃下ニ伏ス










○身二四ノ散隊布列

整列ニ在テハ ヲ大隊ノ  
 左翼ニ配ス而シテハ大隊ノ  
 右翼ニ配スノ后面ニ一列ニ  
 位ス

由式ノ...

路上行歩ニハ古時且ニ從  
 テ全隊或ハ兩分シテ大隊  
 ノ前或ハ最後ニ進マシム

操練ノ片ハ戦隊ノ位地ニ  
 在テ大隊ノ運動ニ從フ但  
 多クハ伍ヲ重複シテ進ム

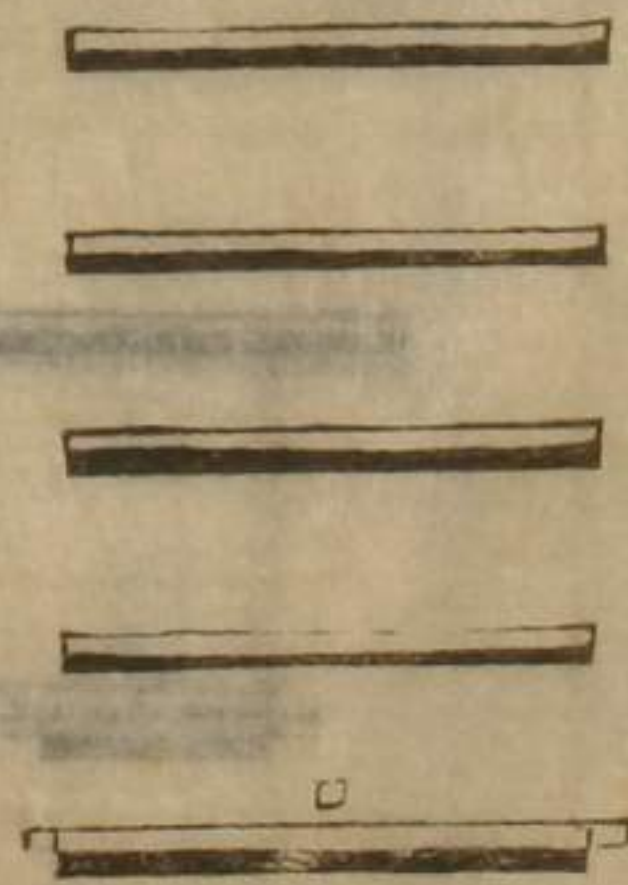
○調合...



子五



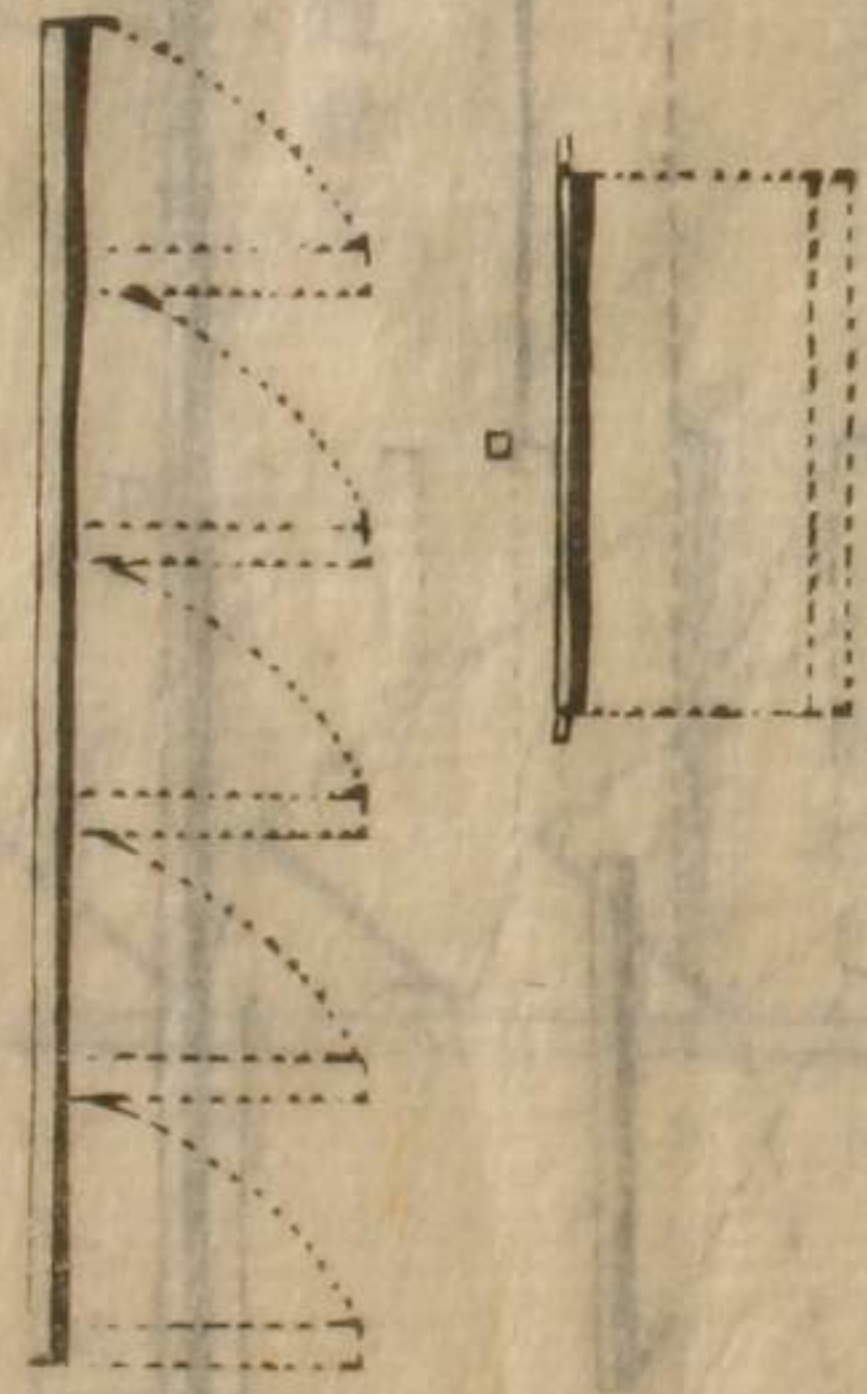
○関合重隊 諸官ノ畧ヲ記スル者即チ  
 故隊ナリ已下推知スベシ



関合ノ代ハ最後ニ在テ第五中隊了解スベシ而メ最  
 右部ノ言ヨリ四歩ノ距離ヲ取ル

○右首重隊左方戦隊

開ハ大隊ノ妨害アラサル様ニ捷徑ヲ取り定位ニツク









○大隊開列

四ハ戦隊ノ定位ニ在テハ古ノ別命ニ非レバ列間ヲ扱カス但大隊併列ニ配布マル兵ハ共ニ展開ス

○全銃技及装填放火

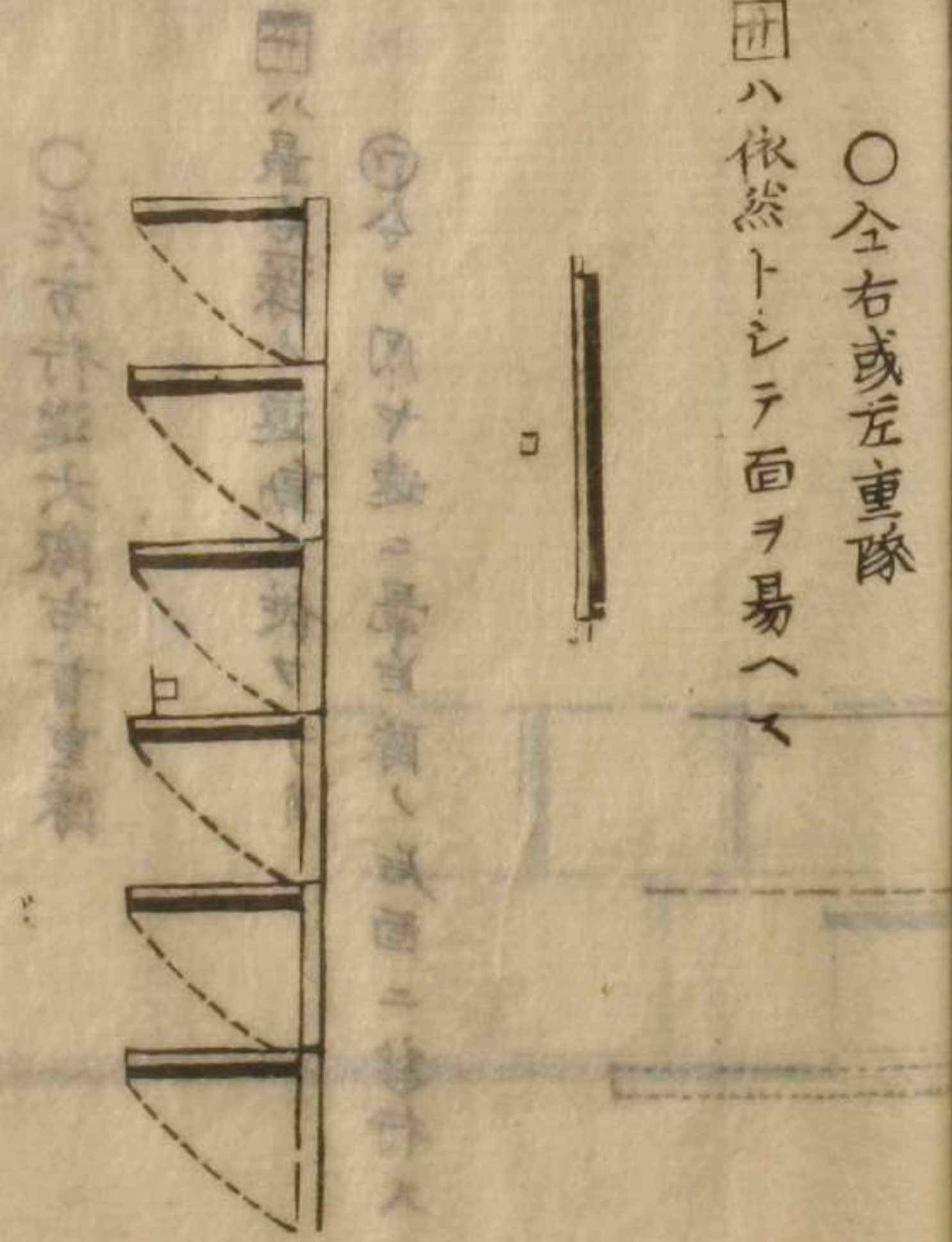
是等ヲ行フ際ハ建銃シアルベシ但整列ニハ共ニ施行シ「急キ」込方ノ令ニ於テ戦隊ノ本位ニ倣ス

○全後面放火

第一令ヲ閉テ近キ翼ニ沿テ其反位ニ到ル

○全右或左重隊

四ハ依然トシテ面ヲ易ヘス



○式テ作ル大隊並ニ重隊



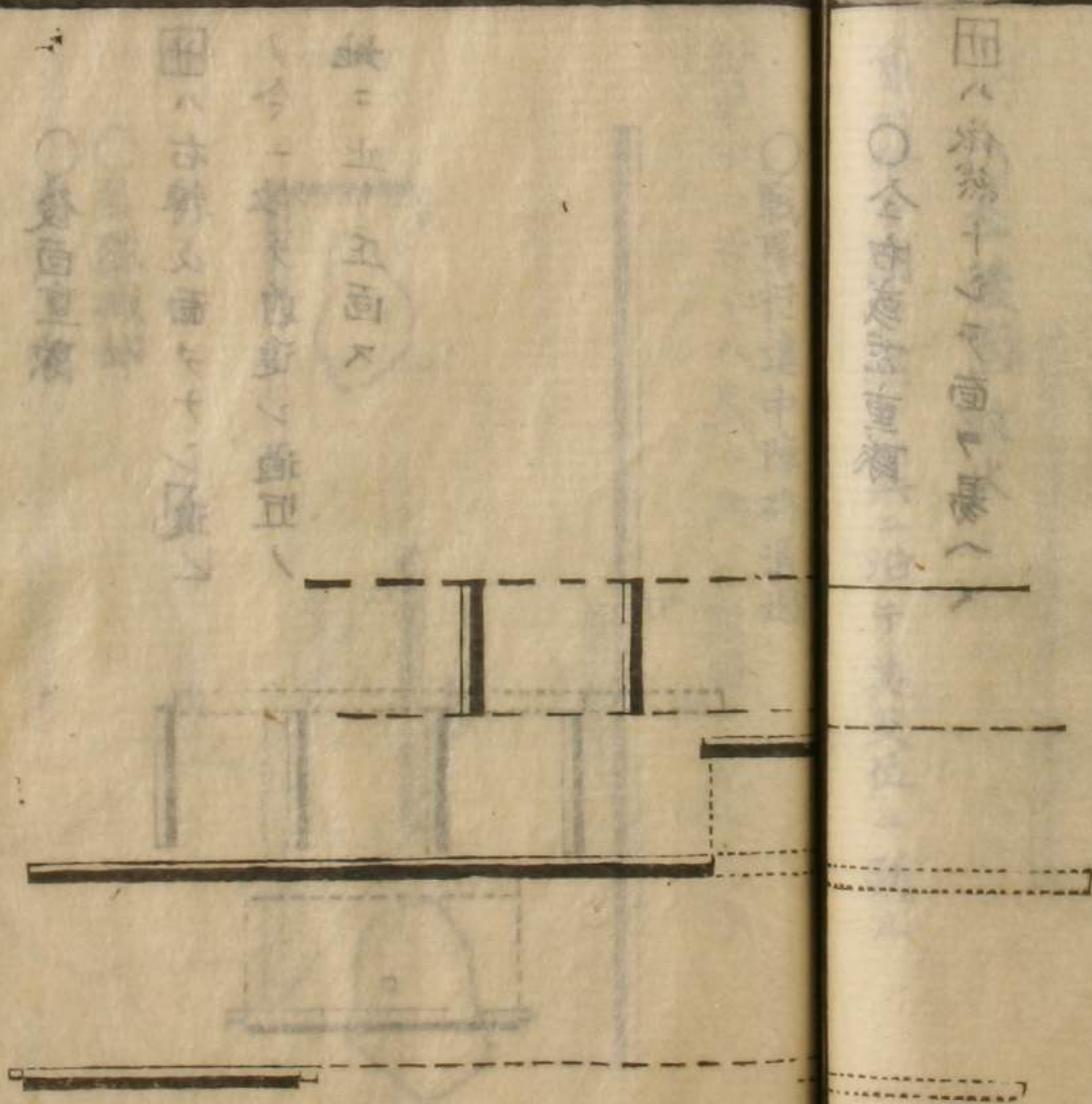
○左方行進大隊右首重隊

④八最后隊ノ運動ニ從フナリ

⑤令ヲ聞ヤ速ニ最后隊ノ后面ニ移行ス

④八前隊ノ位置ニ面テ候

○全副武器重積



④八前隊ノ位置ニ面テ候

○全副武器重積

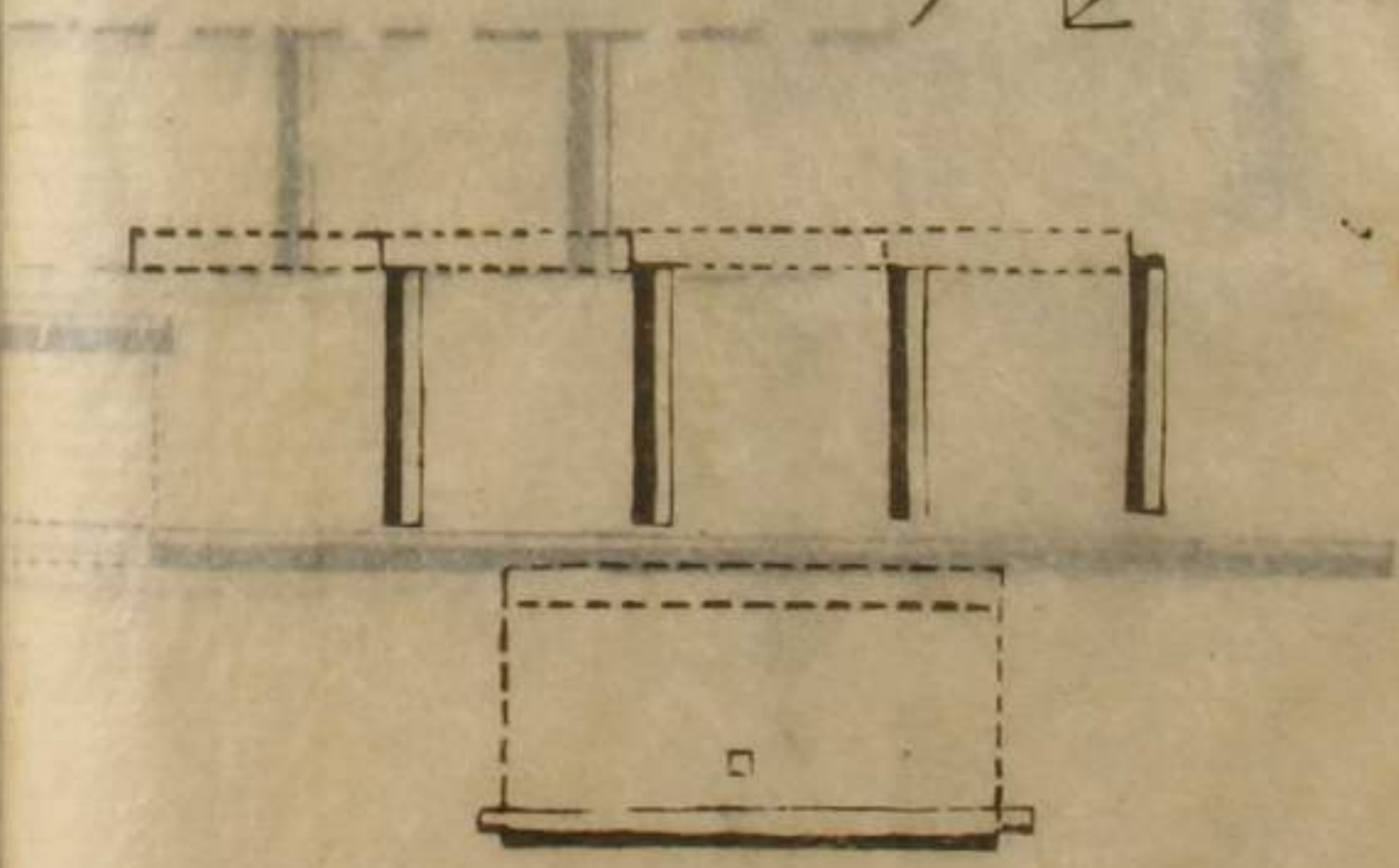
④八前隊ノ位置ニ面テ候

○全副武器重積



○後百重隊

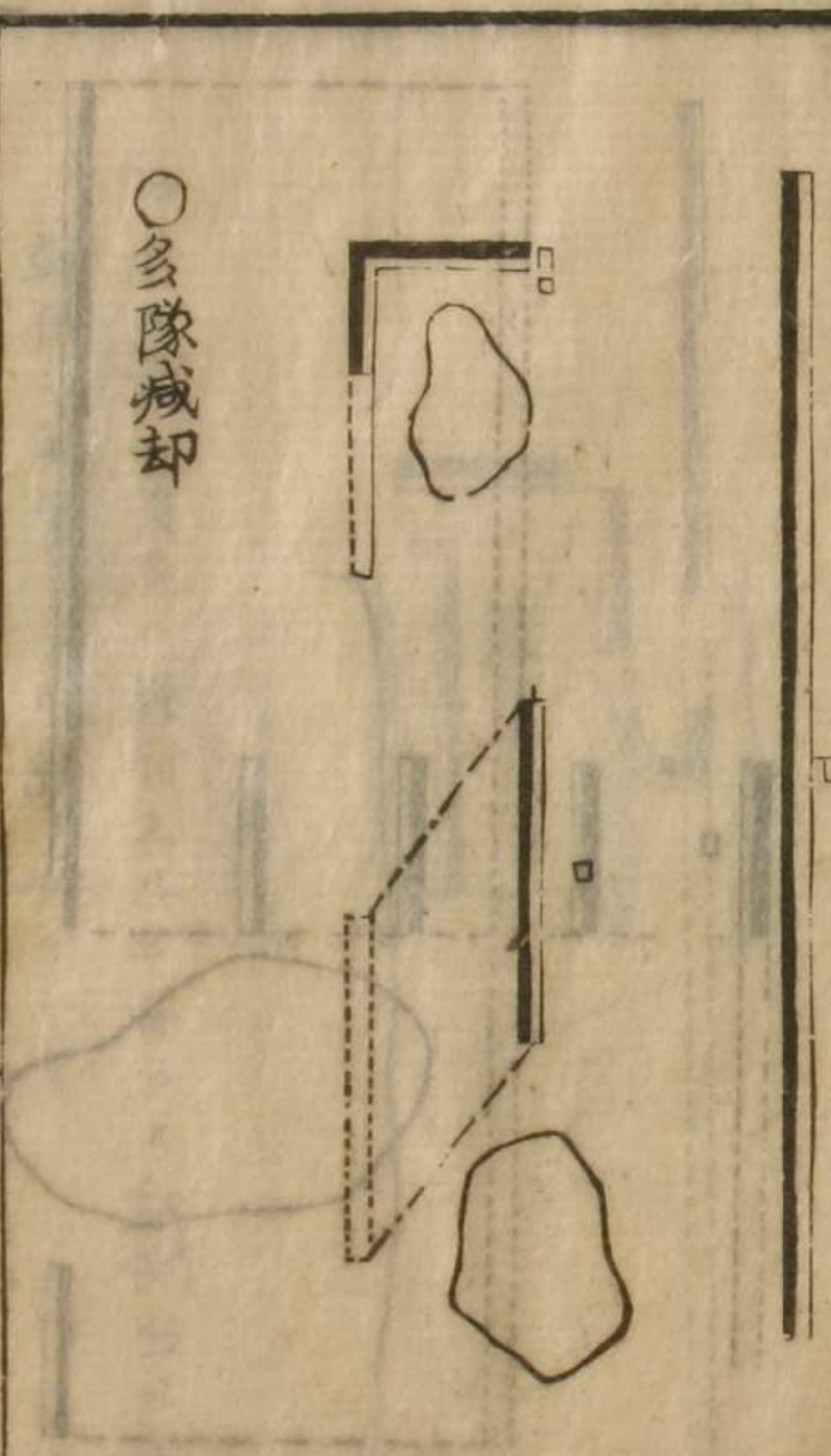
田ハ右轉及面ヲナレ進  
ノ令ニ依テ前進シ過近ノ  
地ニ止リ正面ス



○戰隊行進中障碍通過

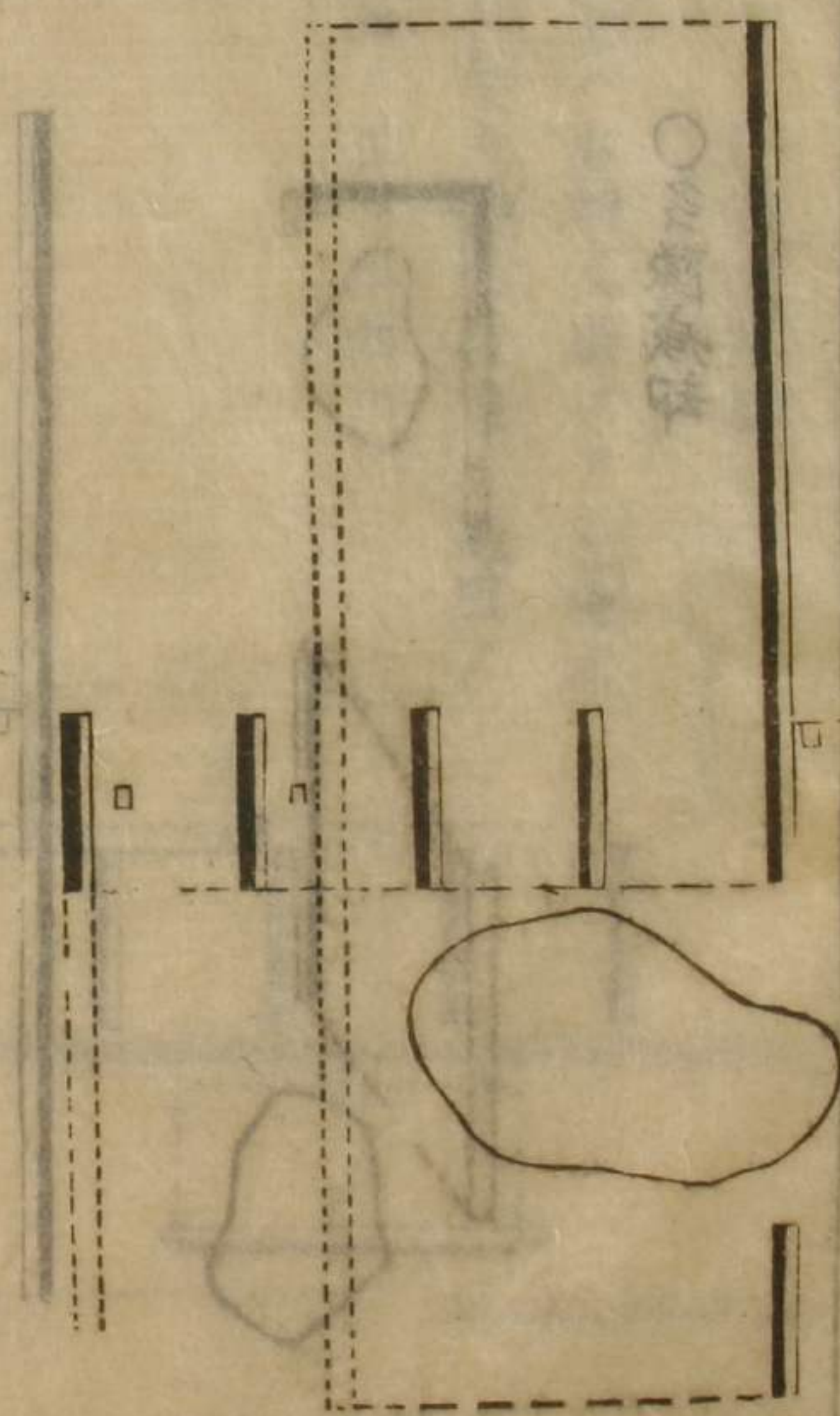
戰隊中ニ障碍ハ長ニテ  
隊面ニ對シテ

○多隊減却



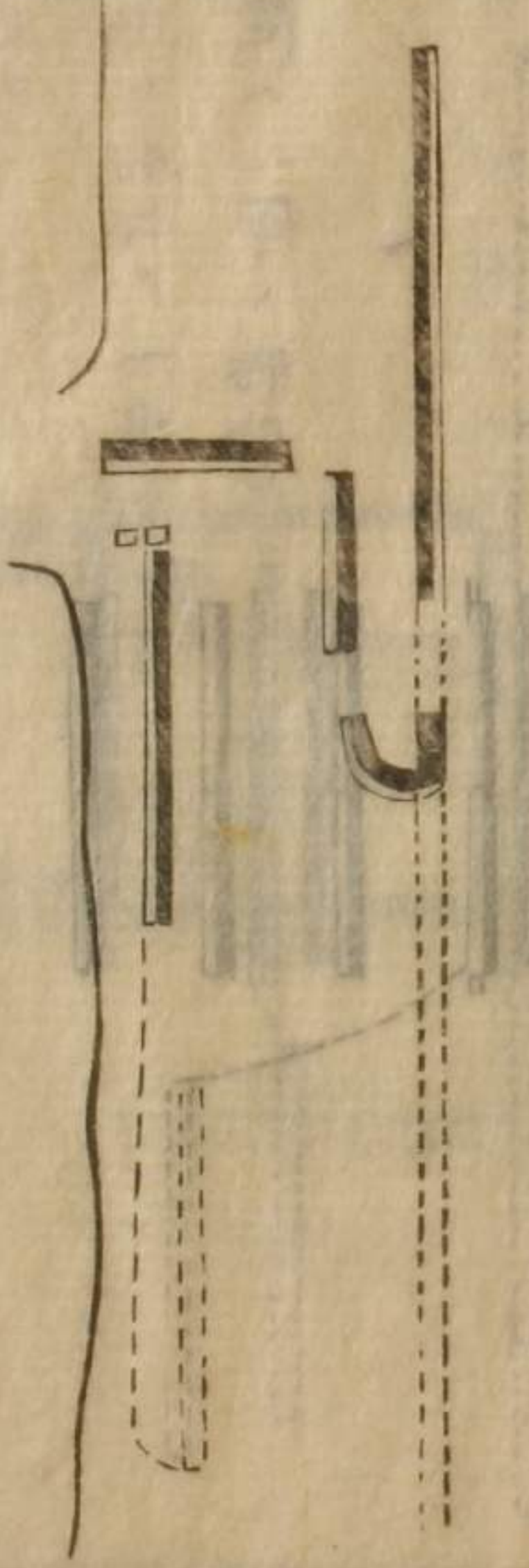


退軍中ニ在テハ是ニ及ン前面ニ進ムノミ



○退軍中凹路通過

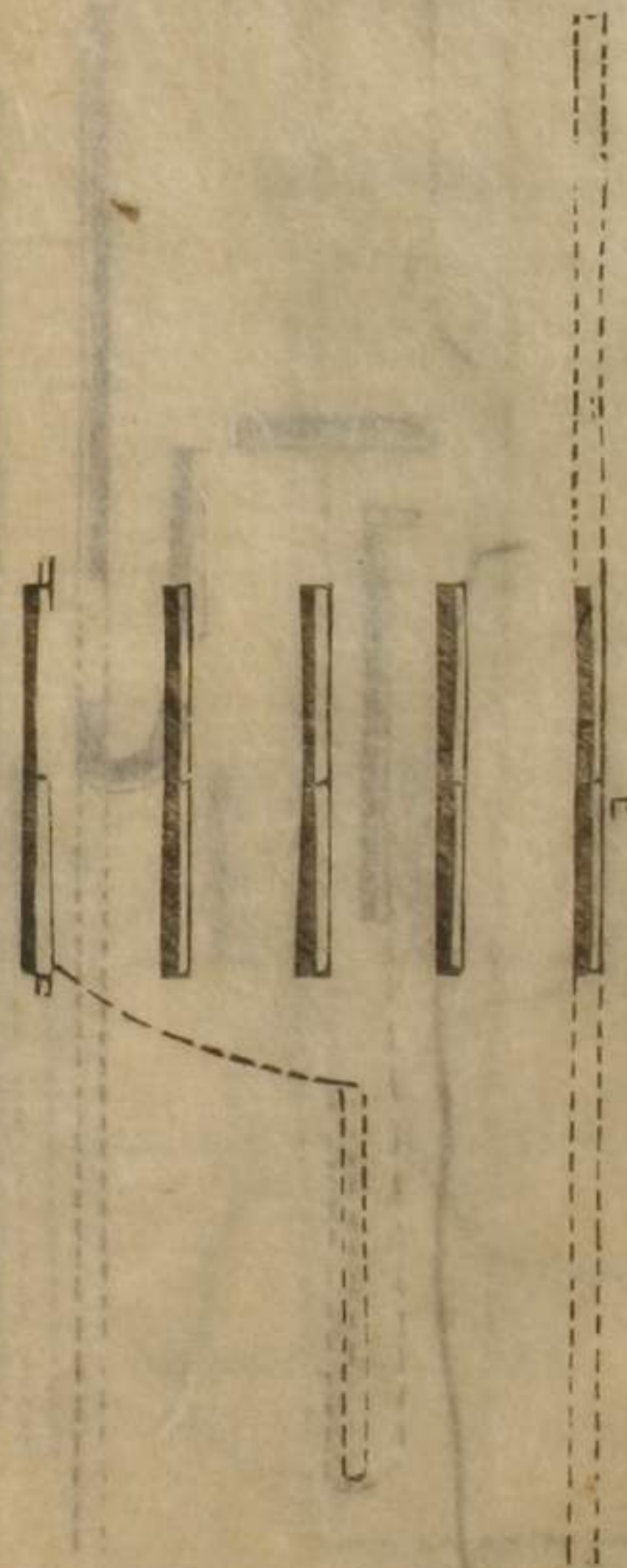
此ノ別命ニ報レバ常ニ大隊ノ最后部ニ從ノ



○前頭或ハ後尾ニ從行スルニ係ラス右側面ヨリ  
轉位シテ歩シテ暇期ヲ待ツヘシ



○半隊間隔掩蔽車隊

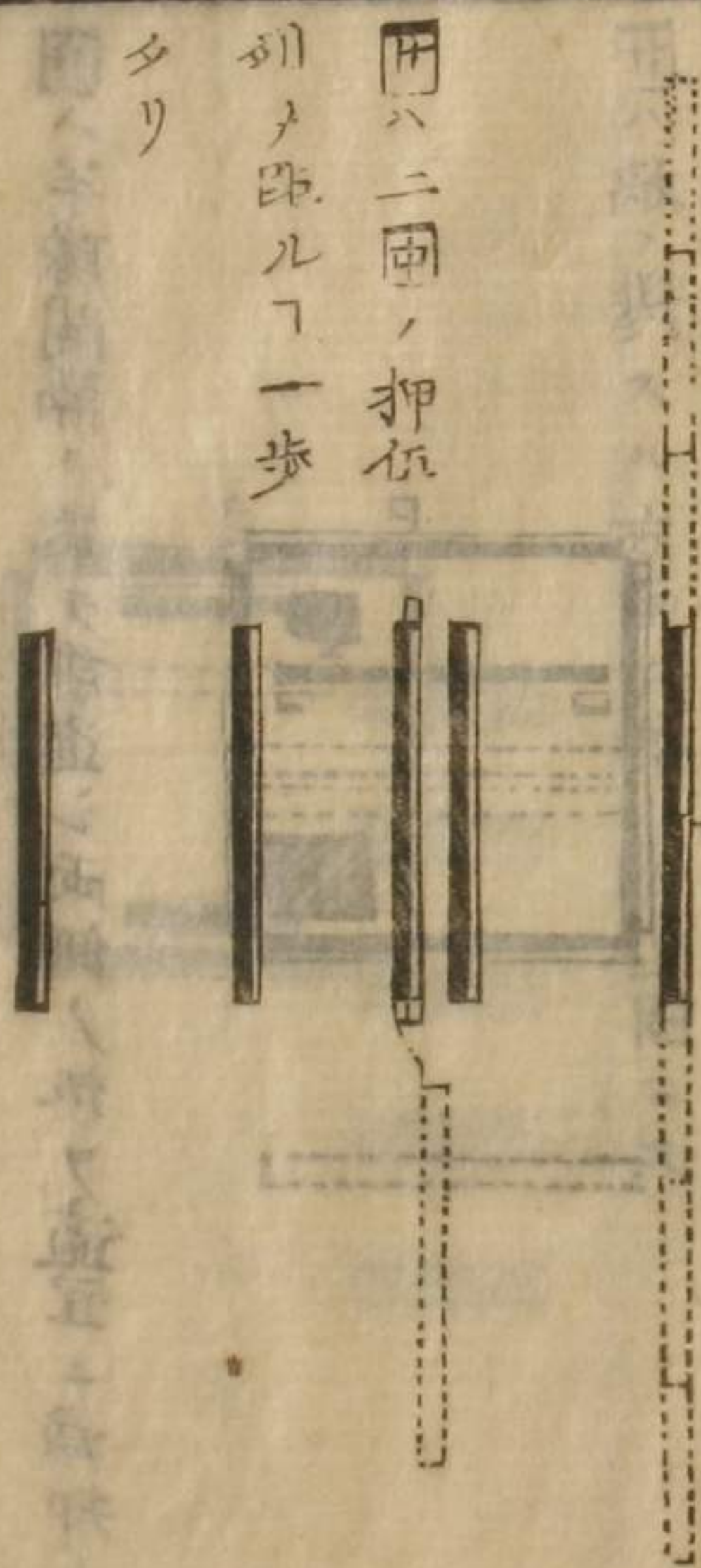


○大隊ノ最后部ニ從行ス

○駐軍中四角面照

前圖 ○今小隊間隔ニ移計ス

○重砲面照



○四ハ二團ノ押込

○列ヲ距ル一歩

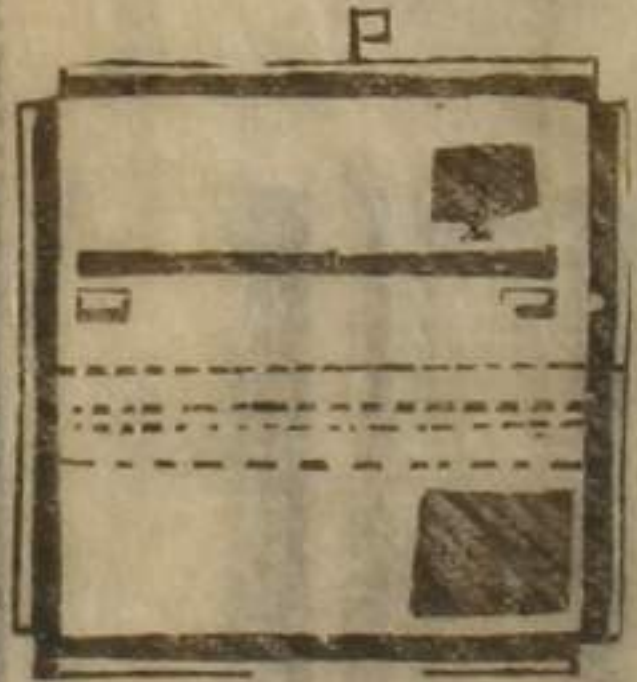
○多リ

○重砲面照



○方陣編制

陣ハ半隊間隔ニ取テ前進シ兩側ノ伍ヲ適宜ニ戒却ス



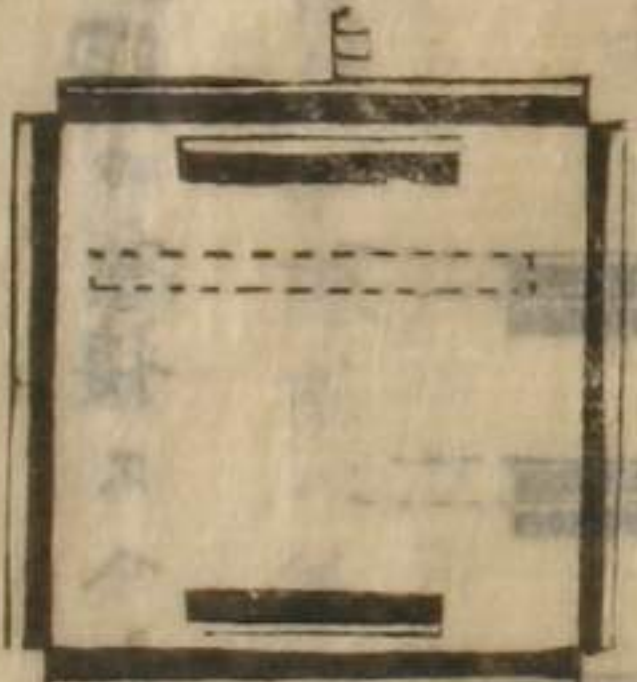
○重隊回復

前圖ノ如ク陣ノ後ニ移行ス

○騎兵突撃防禦

支軒隊陣ニ於テハ四圍ニ密ニテ射撃面ヲ保テス

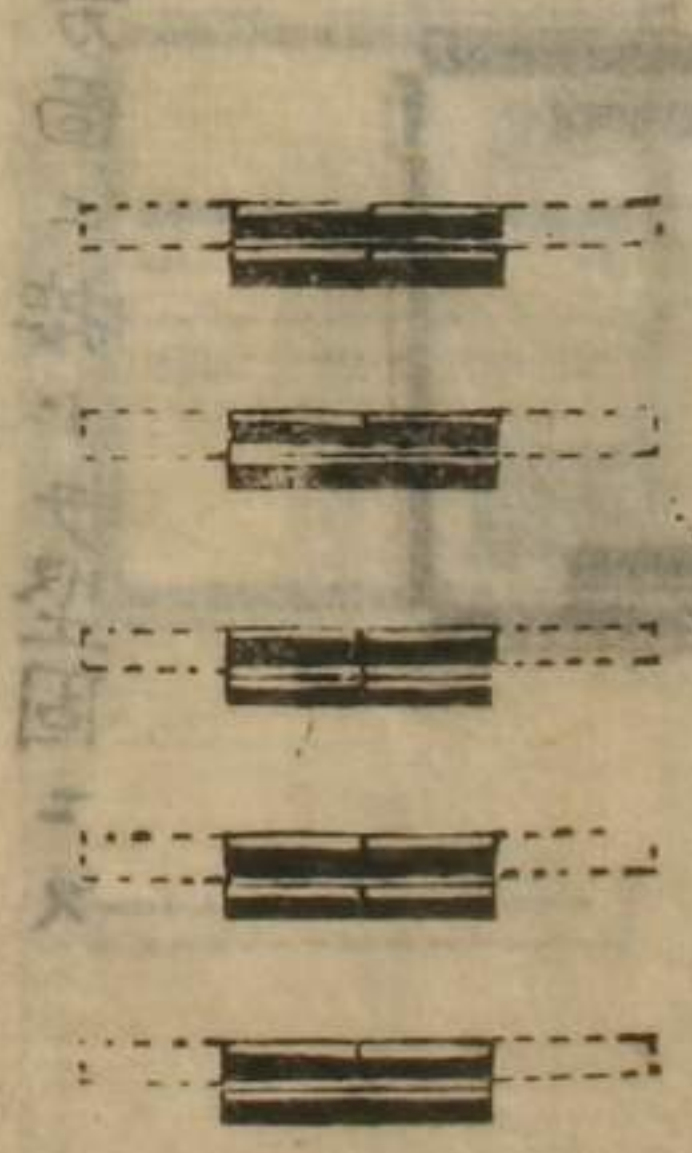
陣ハ敵ノ對スル方面ニ接シテ堅固ニス





○騎兵對向四列重隊

田八大隊ニ從ニ圍ヲ重複スヘシ



方陣編制ニ於テハ四圍ニ密収シテ後側面ト為スヘシ

○散兵戰隊併列駐布



古今スルニハ散兵中隊或ハ第一(第二)散兵小隊ト呼  
其隊ノ占及占伸止ヲ命スルニハ散兵止ルヲ令ス

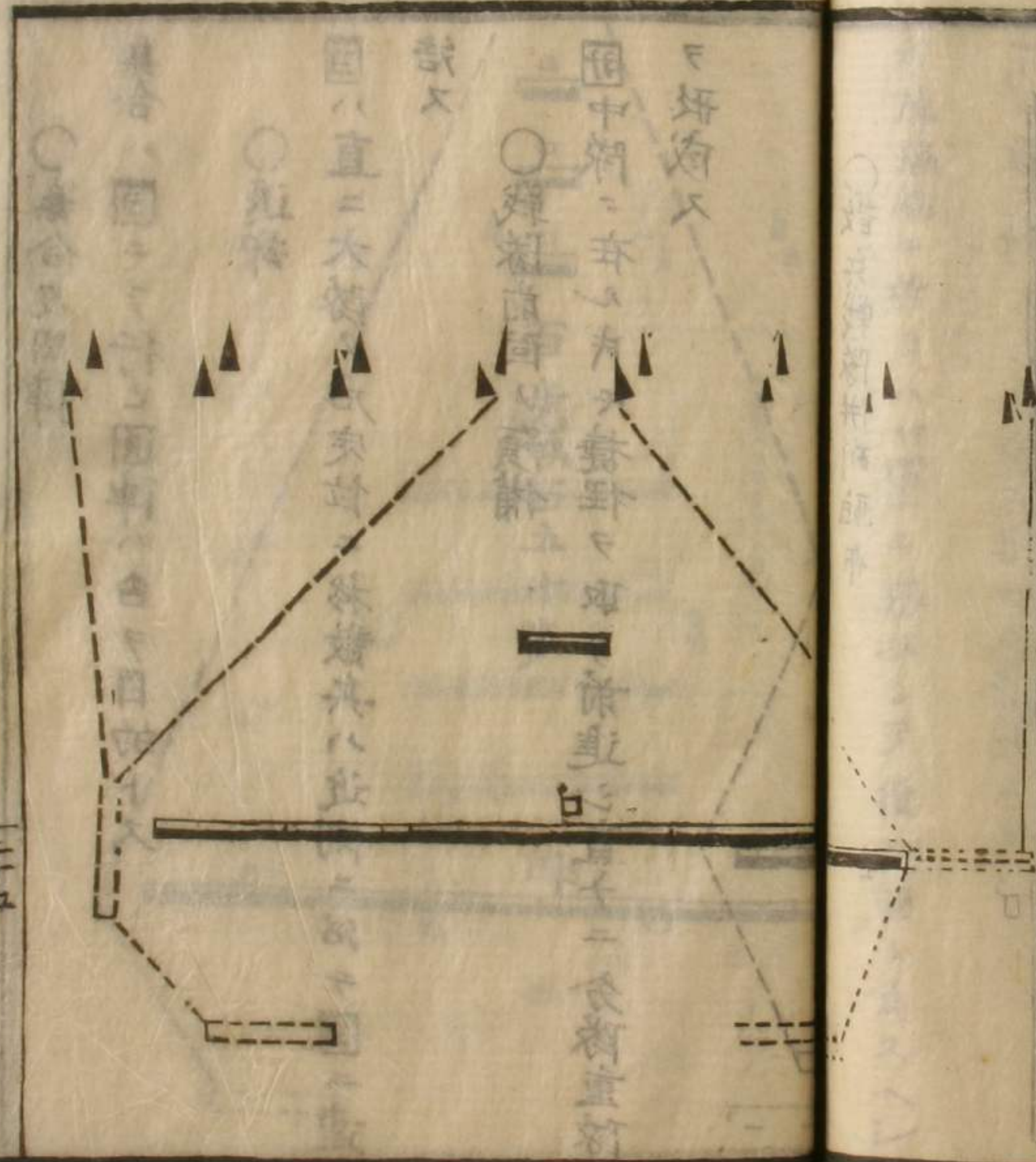


第四部

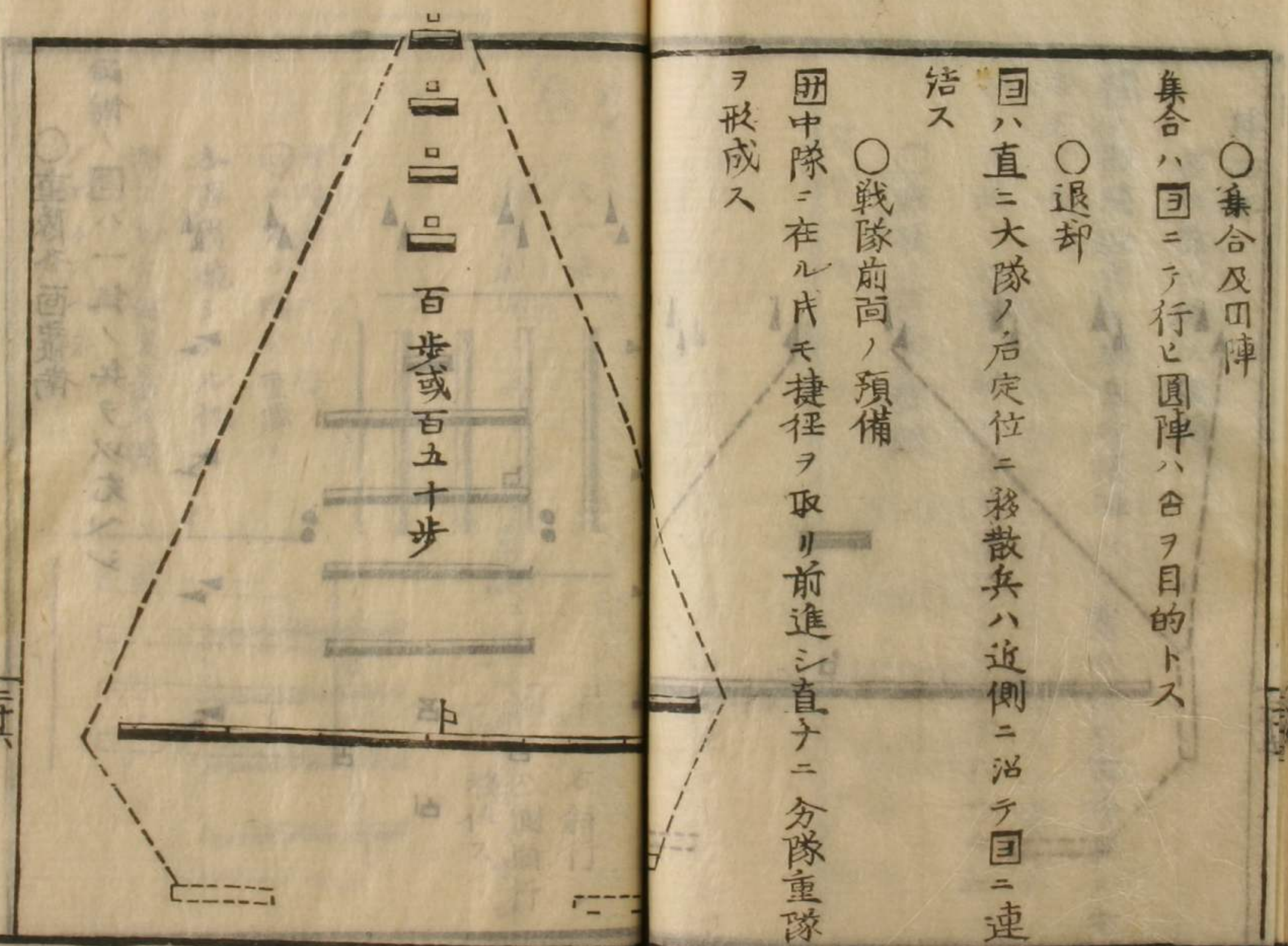
密収隊ニ從フ散開

田ノ散開放火止砲集合複陣ニ常ニ古及惣督ヨリ命令ヲ下ス然レ地、形勢ニ從ヒ占及占ヲリ令ヲ下スヘキ也

○戦隊ノ前高ニ散開







○集合及陣

集合ハ固ニテ行ヒ陣ハ合ヲ目的トス

○退却

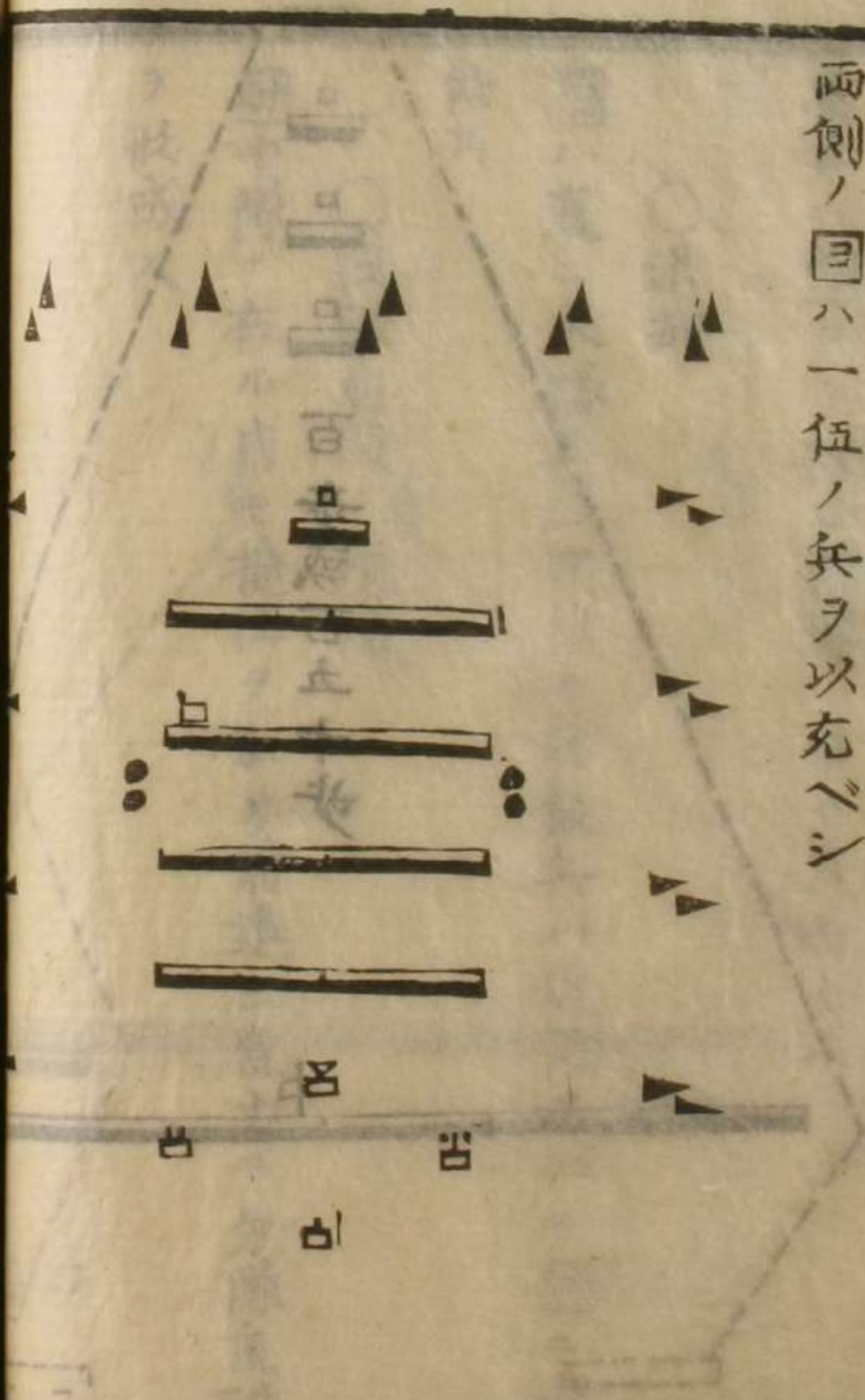
固ハ直ニ大隊ノ后定位ニ移散兵ハ近側ニ沿テ固ニ連結ス

○戦隊前面ノ預備

固中隊ニ在ル片モ捷徑ヲ取り前進シ直チニ分隊重隊ヲ形成ス

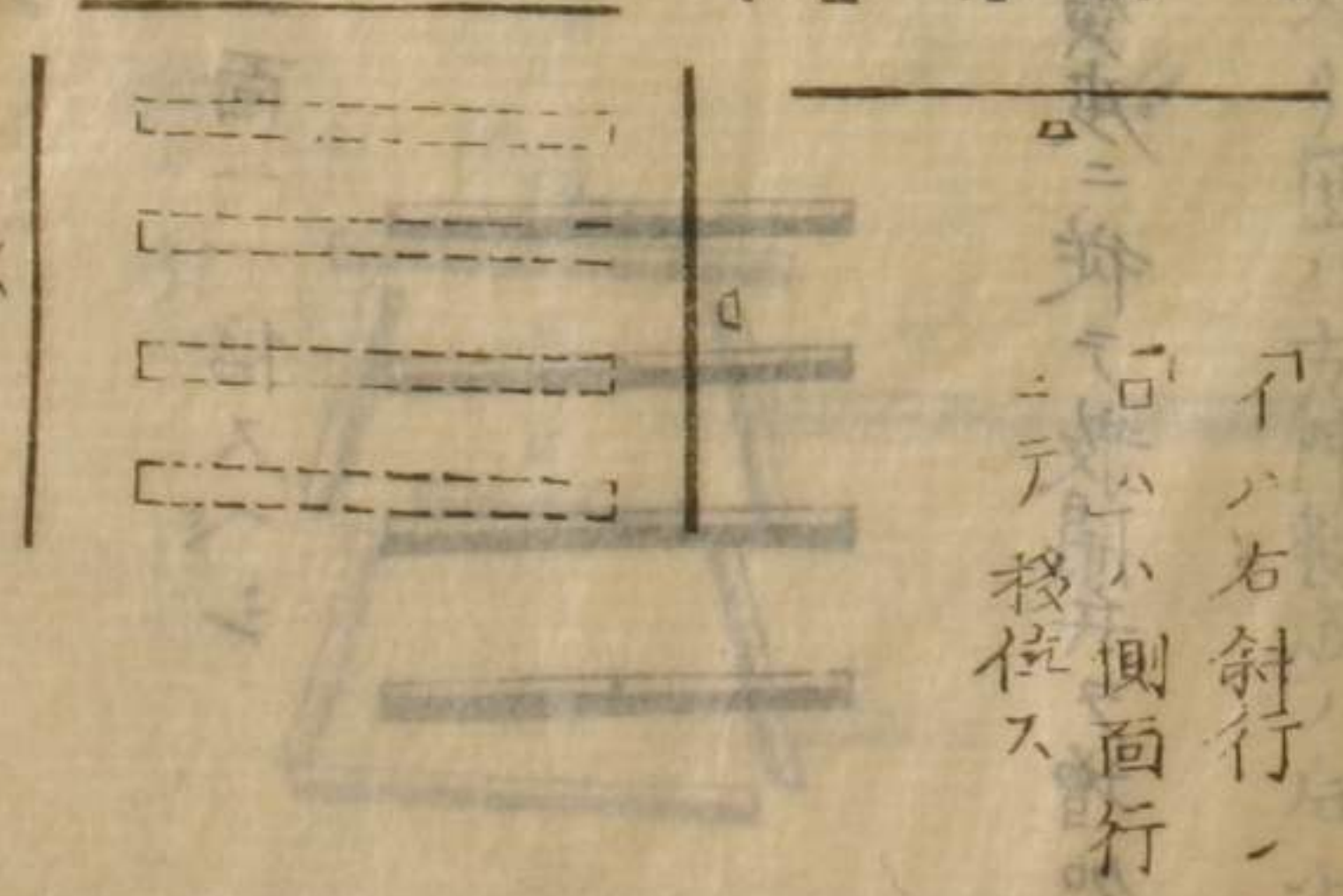


○重隊各面覆衛  
 両側ノ目ハ一伍ノ兵ヲ以充ベシ



イハ右斜行  
 〇ハ側面行  
 ニテ移位ス

○ニ去ク關合重隊ノ  
 各面周繞シタル終右  
 側ヨリ方向變易ハ因  
 ノ如クスヘシ



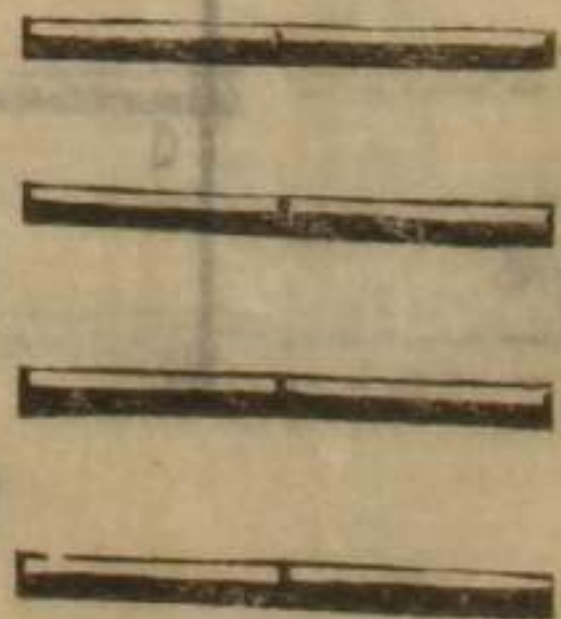


○重蒙前面覆衛

散開ノ幅少モ重隊ノ正百ニ一倍スベシ

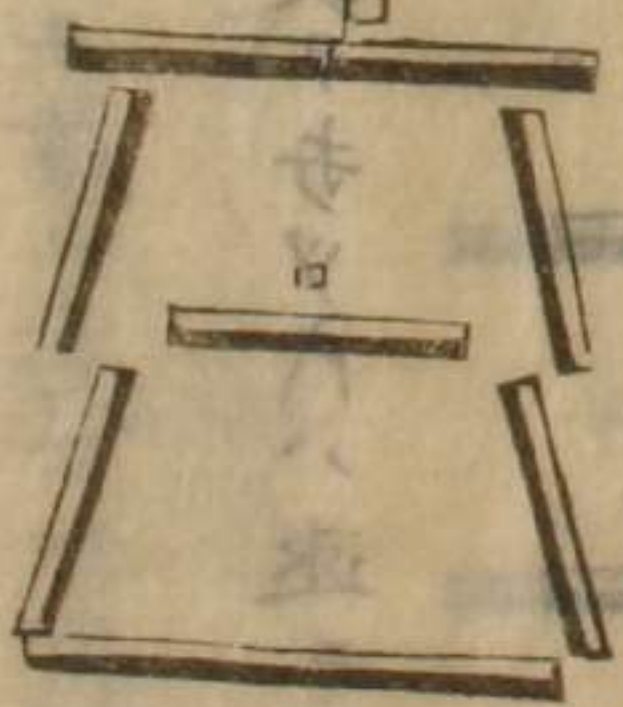
百歩或百五十歩

戦隊編制ニ在テハ其廣度ニ從テ散開兵ヲ増加スヘシ



方陣編制ニハ回ハ三回ノ后ニ入り陣ハ方陣整成ノ后テ  
四回ノ側ヨリ方陣中ニ入ル

急迫シテ方陣中ニ入ル  
入整シ難キ片ハ各三六  
一団ノ前面銃下ニ  
伏スベシ



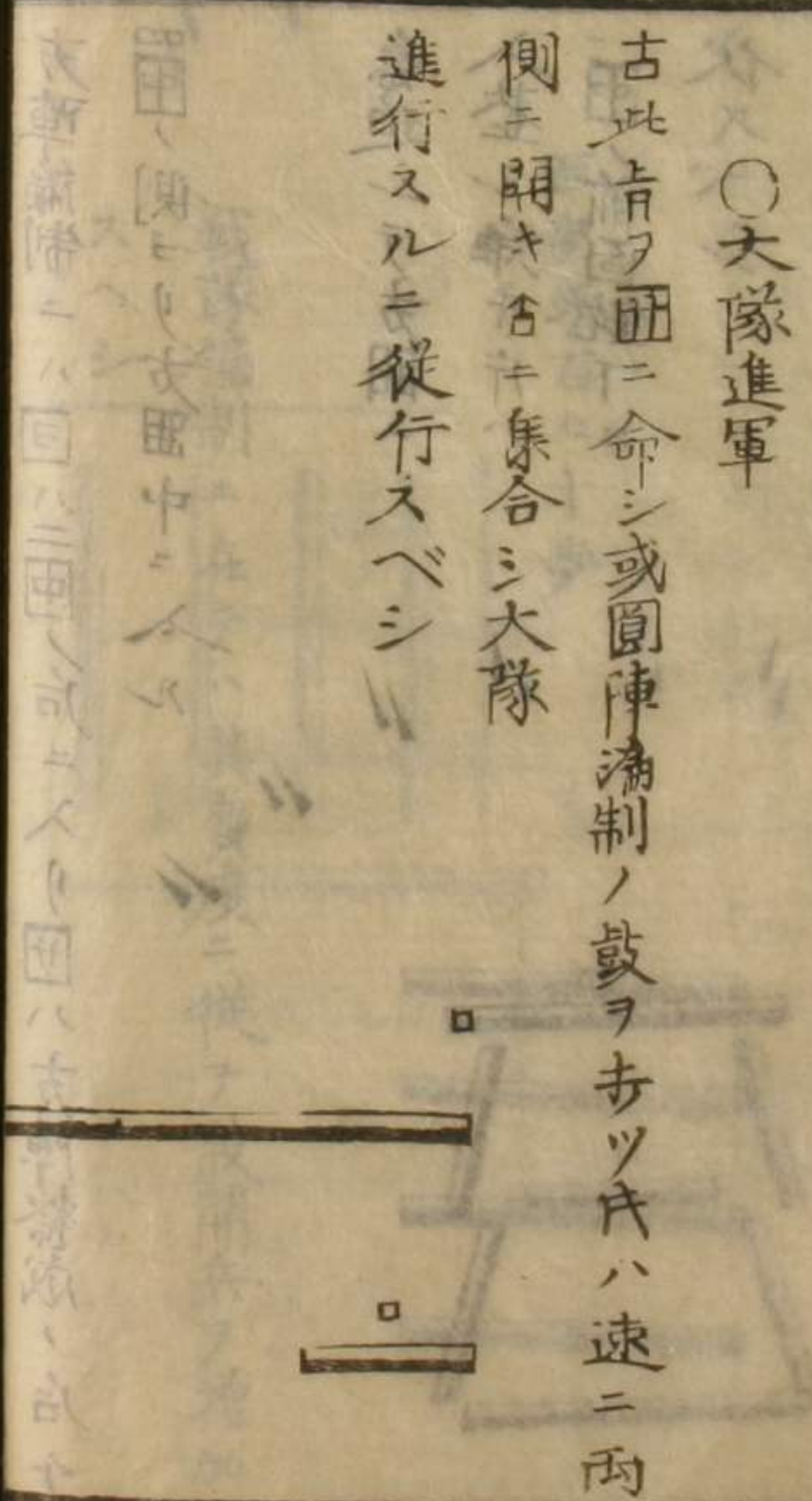


○散開中凹路通過

凹路ニ近クニ從テ密にシテニ場ニ臨テ一ニ集合ス

○大隊進軍

古此青ヲ田ニ命シ或圓陣濶制ノ鼓ヲチツクハ速ニ兩側ニ開キ各ニ集合シ大隊進行スルニ從行スベシ



重隊ヲ以侵襲スルニハ

后部ニ從テ行進スベシ

一四ノ制ニテハ其ノ名ニ從テ



許多ノ大隊ニ在テハ總督ノ命ニ從フ

都テ散開ノ方法隨機活用スベシ茲ニ載ル者皆唯慣習

教訓ノ手段トスルノミ



第五部

分隊重隊戰隊ヨリ編制

ホルツールトランバクニエスコロニチ  
一分隊ニ至隊化也

司令士身二回ノ如ク遷位ス

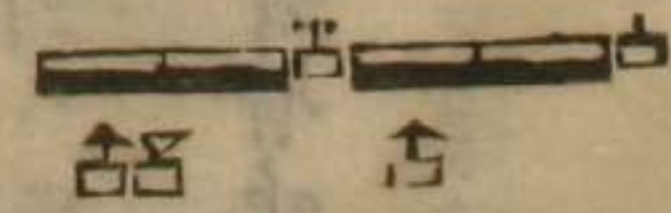
二大隊六〇〇名

一團ヲ除ク外右轉シ右右翼

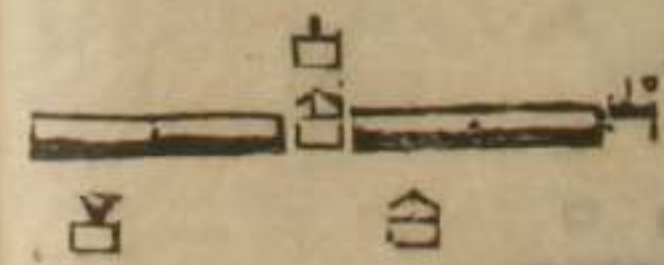
或時伍ヲ後面ニ向ハシム其他

三團ノ如ク遷位ス

第一圖



第二圖



三隊〇二〇〇名

第四圖ノ如クス

遷位ス

第三圖



諸台整頓ノ后

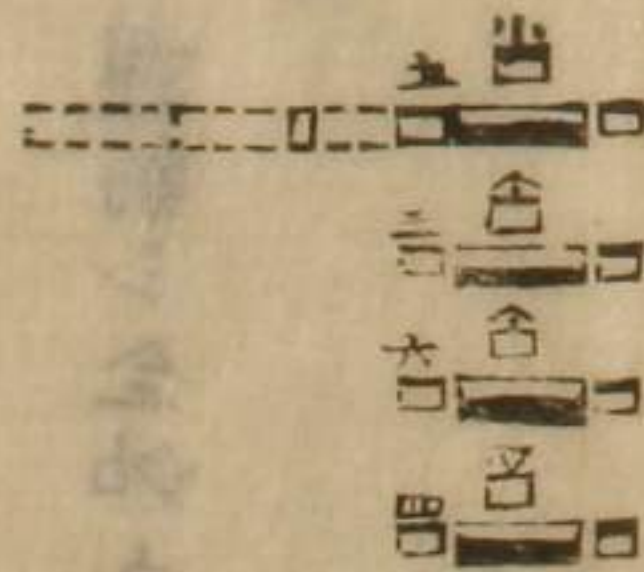
合 處也

此令ニテ右側ニ到ル

白及Xハ身一隊四團ノ

右口ニ位ス

第四圖





右の五隊

各位前図ノ如ク運動シ全此五  
図ノ如ク形成ス



五 身 図

冊ハ及面シテ選位シ目規ニ形  
成ス



○全一個或他ノ中隊ヲ以テ編制

ソハルステハヒレインホルムルトコニハクニスコロニチ  
何處中隊分隊ニ至隊作也

其出隊前ニ出テ  
亦隊云々ニ向ケ

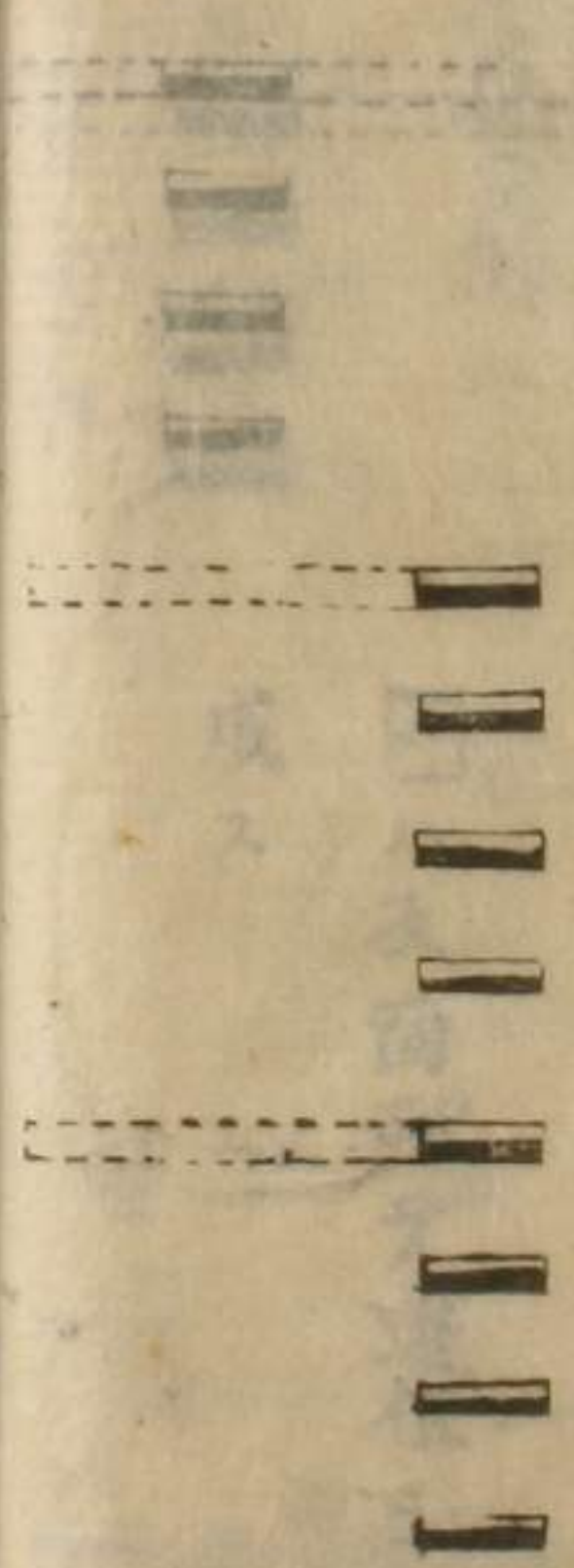


早送りを始め

連動ノ方法前ニ同シ

(一) 中隊全間隔重隊ヨリ編制

上章記載ノ方法ニ従フ



(二) 半隊重隊ヨリ編制

一分隊重隊ハ

二丁ヨリ始め

。官員位地ヲ換替ス

各位左首重隊ノ片ハ最后圍ノ右ニ集疊ス

(三) 閉合重隊ヨリ編制

先全間隔トナシ而運動スベシ○一個ノ圍ヲノミ編制  
 スルニ後令ハ圍ナレハ前進シテ作、其他ノ隊ハ方角  
 線ト反スル隊外ニ出テ割スヘシ



○側面行ヨリ編制

一分隊を隊尾に

一 半隊重隊ニ作り而右占位地ヲ移ス

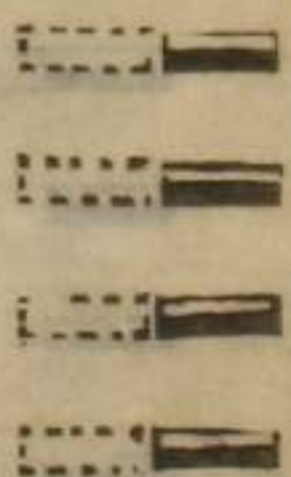


○重隊開布

○半隊重隊ニ作り而右占位地ヲ移ス

一 何處ニ重隊の在るハ、半隊

ヲ隔り居け



○機命ニ用ノ左右ニアル

○左令ヲ下ス

○中隊右を起リ向付

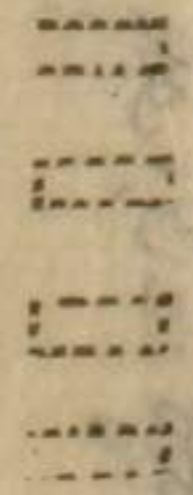
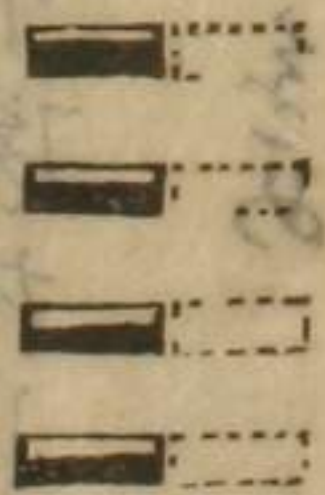
一 半隊ヨリを起

○左右ノ重隊歩ヲ起

過宜ニシテ占

重隊ヨリ出

向付





○右首重隊ヨリ 開布

オシラノカニ一ツエビニ一カツク、ハスホー九口ルツイカ多イレ

一 二番中隊並足弓陽前敵隊

一ノ占

中隊六ノ向

二ノ占

中隊五ノ向

三及四ノ占

中隊九ノ向

二早足ニをぬ



○各位其地ニ列停止正面ス  
○左首先頭モ之ニ準ス



○前向行進

一 甲 中隊ノ陣

授命ノ占

中隊ノあり

守守在

其左右占

中隊あり守守在

二 甲 是 其 占

呂ハ授命隊ノ言ニ向ヒ方角ヲ示ス  
方角重隊ハ高道ヲ右方ニスルニ

○方陣編制

右首先頭ノモ  
一 方陣を以て

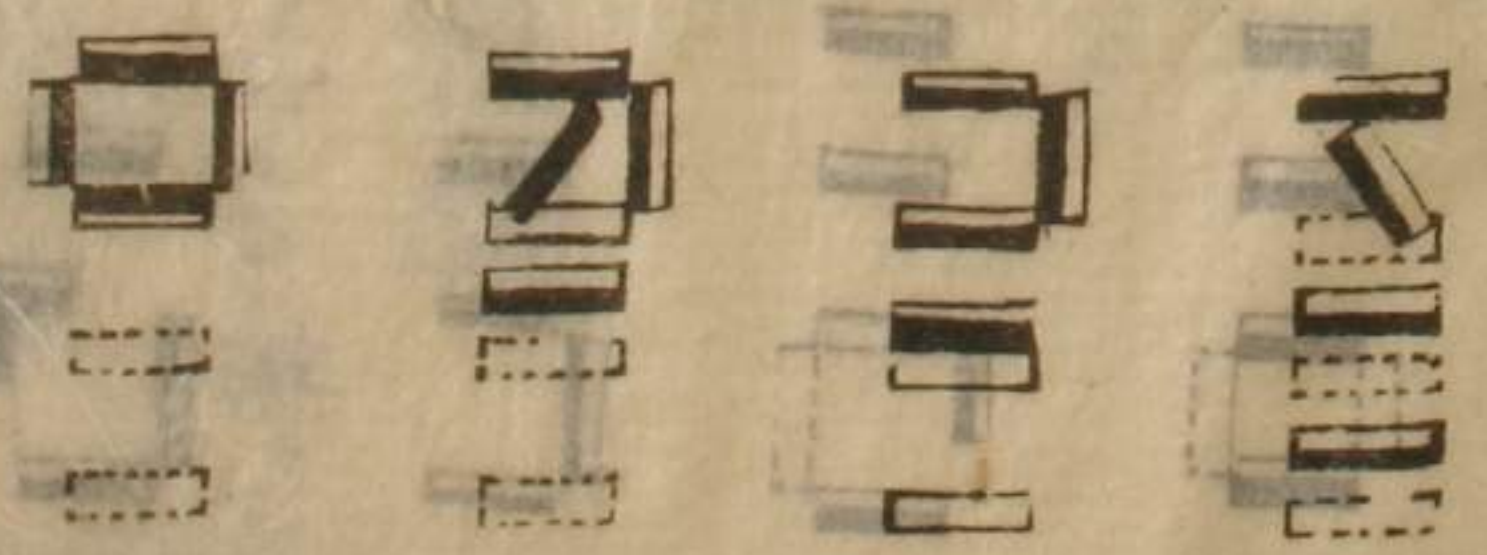
二 甲 是 其 占

占ハ隊片ニ歩ヲ隔テ位ス

二及三圍ノ言ハ二列ニ位

一及四圍ノ言ハ一列ニ位

ス





○重隊改接

一重隊ノ後せ

日コ故位ニ後スニ位ノ合隊前ニ出

占 半隊前ニハ守左

一三占

中隊左(左)ニ向

四占

半隊右(右)ニ向

二半隊右(右)ニ向

一占ハ前進ニ三占

細く左(左)ニ向

六(左)側右(右)ニ向

四占

半隊前(前)ニ向

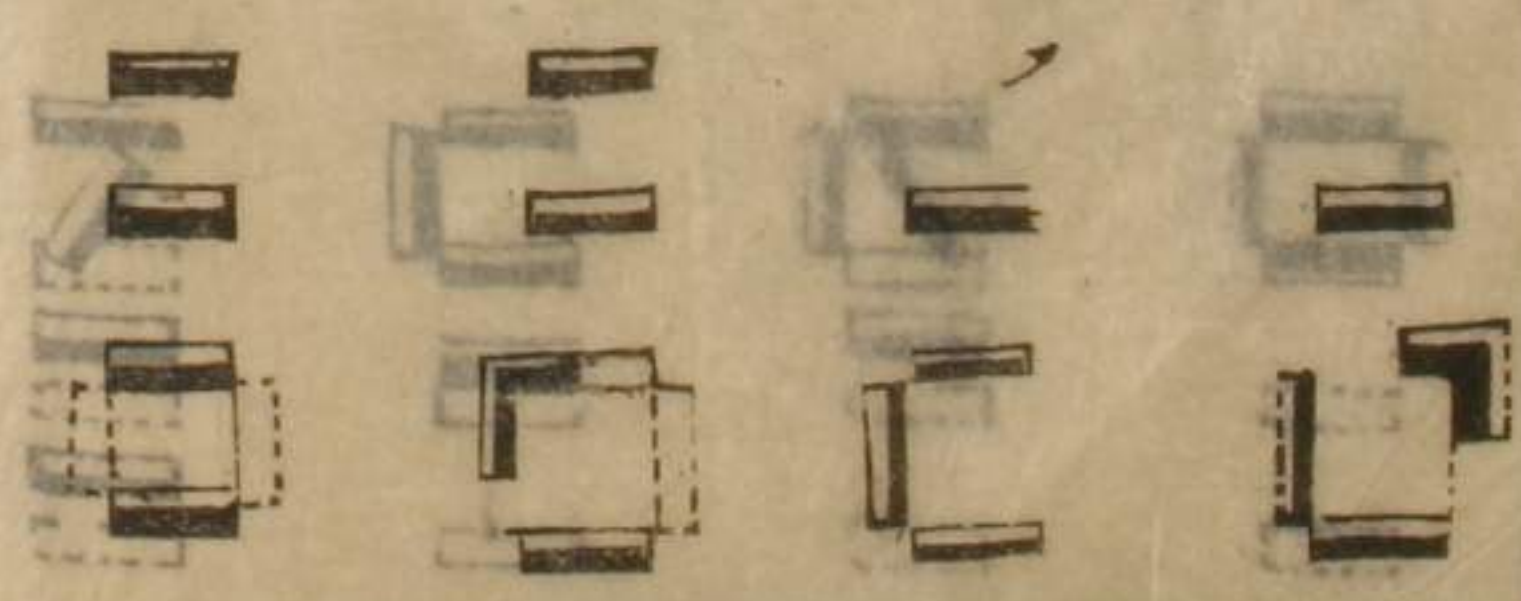
左首重隊モ之ニ同シ

○集合

古重隊ノ一部ニ就テ入ケワーベンドマツ。ルヲ散セシム各隊速ニ夫テ定位ヲ占ム

散兵略解了

三十一





軍隊列行

規則

手塚茂翁版

歩操補珍第三編

操典 諸令抄

十八百三十七年式

生兵教練

第一部

① 生兵姿勢

○ 頭首運動

一 隊を || 右五

二 直レ

廿八俵 || 休メ

之字を考ケ || 小隊

大隊教練

第一教

② 閱列疎開

一 後列あ之

二 開ケ

直レ

③ 技藝及四節装填



二 左右向及右轉及面

小隊右(左)向

一 小隊

二 右向き 廻レ

三 常歩直行

一 小隊向き

二 進メ

小隊 止レ

四 斜行進

斜 右

二 ス、

一 小隊 止レ

二 正面へ

○ 同行進間

一 斜右(左)

二 ス、

斜へ ス、

第二部

一 執銃法

二 十二節裝填

撃ゲ 筒

肩へ 筒

達へ 筒

肩へ 筒

膝下 筒

膝へ 筒

膝下 筒

肩へ 筒

肩へ 筒

肩へ 筒

四 及 以 分

込 二 三 四

三 開列密收

一 後列つめ

二 ス、

四 急遠裝填

急き 以 分

込メ

○ 半大隊齊放

一 半大隊齊放



十二段公牙

三込ノ

二券へ 〓 赤カ子

三爰 〓 附イ

四下世 〓 赤カ子

五角 〓 左

六採 〓 早合

七披 〓 早合

八早合 〓 込メ

九抽け 〓 込メ

十突き 〓 諸ヶ

十一取め 〓 込メ

十二肩へ 〓 筒

十三一取(二取) 〓 構へ

十四担へ 〓 筒

十五寺テ

十六込メ

十七担を 〓 待テ

十八肩へ 〓 筒

十九撃へ 〓 筒

三發動

二方(五) 〓 大隊 〓 構へ

三担へ

四打テ

五込メ

〇 大隊齊放

一大隊 〓 方

二大隊 〓 構へ

三担へ

四打テ

五込メ

〇 各列齊放

一各列 〓 方

\*三 〓 二大隊 〓 構へ

三二番(一取) 〓 担へ

四打テ

五込メ

〇 二列放火

一二列 〓 方

二大隊 〓 構へ

三打カレ



肩へ 筒

二、

○後面放火

遠へ 筒

\*三、

一後ろ手方

甘俵 筒

二大隊六向 廻レ

名をつけ 小隊

○正四面復

○銃技點檢

一向手復也

改め 筒

一、

二大隊六向 廻レ

剣 附へ

一、

○整列ヲ要スルニハ桶鼓

込矢 筒

一、

ヲ打シメ而后

肩 筒

二、

大隊

撥 筒

\*五、

○銃ヲ交又セシ寸ハ

撥 筒

三、

第二教

肩 筒

\*三、

○小隊左右重隊

剣 筒

\*五、

一、小隊右(左)重隊

肩 筒

\*三、

二、子母 筒

掩 筒

\*三、

○一、小隊止

肩 筒

\*三、

二、九(五) 筒

剣 附イ

\*五、

三、直レ

肩 筒

\*三、

○同直ニ行進

搦 筒

二、

一、小隊六(五)重隊



廣へ 筒  
 二ノノ  
 三ノノ  
 四ノノ  
 五ノノ

二ノノ  
 三ノノ  
 四ノノ  
 五ノノ

二子足 筒  
 三大隊 筒  
 四進メ  
 五符守 筒  
 ○左右行進互位重隊  
 左邊 右邊 右邊 左邊  
 一 小隊 筒  
 二 小隊 筒  
 三 小隊 筒  
 四 小隊 筒  
 五 小隊 筒

○小隊齊放  
 一 小隊 筒  
 二 小隊 筒  
 三 小隊 筒  
 四 小隊 筒  
 五 小隊 筒

○各列齊放  
 一 各列 筒  
 二 各列 筒  
 三 各列 筒  
 四 各列 筒  
 五 各列 筒

○重隊行進  
 一 大隊 筒  
 二 大隊 筒  
 三 大隊 筒  
 四 大隊 筒  
 五 大隊 筒  
 ○直線變易  
 一 直線 筒  
 二 直線 筒  
 三 直線 筒  
 四 直線 筒  
 五 直線 筒



三二五二五〇〇 粗へ

四打テ

込メ

○二列放火

一二列方

二小隊一構へ

三打カレ

打方止メ

○歩法撃敵

一呈踏

一ス、ソ

一ス、ソ

○歩法変易

一ス、ソ

二ス、メ

○却行

一小隊後と

二下カレ

一小隊

○小隊区分及回復

一小隊分け

半  
呈カメ

二ス、ソ

斜六〇〇ス、メ

斜六〇〇ス、メ

○半隊命令

二ス、メ

呈カメ

呈〇〇ス、ソ

三〇左翼先頭ハ之ニ反ス

○往還双行

一呈カメ

二大隊中を〇〇向ケ

三呈カメ左を〇〇

四呈カメ〇〇ス、メ

一〇〇小隊〇〇止レ

二正面

三右を〇〇準へ

直レ

○同行進間



二止レ

○手銃交又

一紐め

二筒

一隊を二並け

二小隊

第三部

①位地整頓

右進(二並)

直レ

後右進(二並)

直レ

②正面行及急歩

一隊を二並

一隊を二並

二進メ

一子足

二ス、メ

一光里

二ス、メ

一進(二並)

二大隊右進(二並)

三ス、メ

一大隊右進(二並)

二ス、メ

三々隊右進

④行路重隊

一子足

二進メ

三進(二並)

行路狭キ寸ハ

一隊を二並

二進

△斜右進(二並)

△斜(二並)

△又狭キ寸ハ

△又狭キ寸ハ

一ス、メ

△斜右進(二並)

△斜(二並)

尚狭キ寸ハ



○側面行進

一 小隊右を向へ || 向ヶ

二 小隊向く

三 進め

○ 停止正面行

一 小隊 || 止レ

二 正面へ

○ 各伍直線変易

一 組々右を向

二 ス、メ

○ 行進間平面或側面

一 小隊右を向 側面

二 ス、メ

○ 同右轉背面向

一 小隊右を向とせ

二 ス、メ

三 寫字を向

○ 側面行進間同法

一 小隊右を向とせ

二 ス、メ

一 後列つめ

二 ス、メ

一 出を向とせ

二 ス、メ

○ 尚秋隘ナル寸ハ

一 大隊出を向側面行進

二 ス、メ

○ 狭路隘極ツリ

一 列々作を向

二 列々作を向

三 ス、メ

○ 二列ヲ通スベキ地ニ到

二 列々作を向

一 列々作を向

二 ス、メ

○ 重隊停止

大隊 || 止レ

○ 左右戦隊

寫字を向 || 準

九 出 || ナラハ

△ 如左小隊の如く

内へ



④ 信地旋回

一 小隊右旋回

二 大ノ

一 小隊

二 止レ

一 大退 || 止ス

二 直レ

○ 同行進開

一 大(五)旋回

二 ス、ノ

一 大(五)旋回

二 ス、ノ

一 大(五)旋回

二 ス、ノ

一 大(五)旋回

一 子退 || 進

一 小隊 || 止

二 大退 || 止

直レ

○ 同行進開

獨専退 || 進

一 大(五)旋回

一 ス、ノ

一 小隊 || 止

二 大退 || 止

直レ

獨専 || 故

第三教

○ 後方重隊

一 小隊大退 || 後方重隊

二 大隊大退 || 向ケ

三 子退 || ス、ノ

一 小隊 || 止

二 正ノ

三 大退 || 止

生兵令詞了

小隊編



小隊教練

第一教

○ 閉列疎開

一 隊首を右にハ 小隊

二 右へハ 筒

△ 押仕なり

三 後列をハ

四 開ク

直レ

○ 開列整頓前面

四直レ

○ 同直二行進

一 小隊右をハ 後ろを重隊

二 大隊右をハ 向ケ

三 右をハ スハ

四 大隊右をハ 後面

二 進メ

三 隊首を右に

○ 前面戦隊

一 小隊を

二 右を

三 右をハ スハ

四 小隊をハ 止レ

五 右をハ ナハ

直レ

一 隊首を右に

二 大隊右を

三 小隊右を

四 右をハ スハ

五 隊首を

六 右をハ 進メ

七 小隊をハ 止レ

○ 同後向

直レ

右をハ 準ハ

△ 押仕なり

△ 隊首を右に

△ 大隊右を

△ 小隊右を

△ 右をハ 止レ

△ 隊首を

△ 右をハ スハ

△ 隊首を

△ 右をハ 進メ

△ 小隊をハ 止レ



後六龍(一)準(一)

直(一)

○同斜線

△勢ト(一)ツ

左射(一)合士左

△右(一)合士右

△左(一)合士左

△右(一)合士右

△左(一)合士左

△右(一)合士右

△左(一)合士左

△右(一)合士右

③技藝

右(一)準(一)

直(一)

△司令士(一)と

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

右(一)筒

一六龍(一)準(一)

直(一)

○途中障研在ル寸ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

○同行進間

○後面戦隊

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ

一六龍(一)準(一)ハ



の教師時アツテ左ノ技ヲ令  
掛分 || 筒

○十二節装填

十二段公方

込メ

拳け || 打ガ子

寝 || 附ケ

おろせ || 打ガ子

筒 || 左

撥 || 早合

掛分 || 早合

子合 || 込メ

拙け || 込メ

寝 || 著ケ

収め || 込メ

肩 || 筒

○開列密収

一後列つめ

二スノ

○閉列整頓前面

一 後列 || スノ

二 正ノ

三 太刀 || ナラヘ

四 ナカレ

郷存 || 故ヘ

○同行進間

一 後列戦隊

二 大隊右五極面

三 スノ

○二運動戦隊

一 左戦隊

二 後列 || 戦隊

一 後守カ

二 後守カ

三 子合 || スノ

一 三 || 止レ

二 六 || ナラヘ

三 ナカレ

七 || スノ

八 || スノ







込メ 二 三 四

○ 急速装填

名手以寸

込メ

○ 小隊齊放

一 小隊方寸

二 小隊 || 構へ

三 狙へ

四 打テ

五 込メ

粗を || 待テ

一 打方正ノニ

二 放へ

○ 各列齊放

一 各列方寸

二 小隊 || 構へ

三 二方ニ狙へ

四 打テ

込メ

○ 二列放火

二 方守右  
一 方守左  
二 小隊方寸

○ 射へ || ス

一 小隊 || 止レ

二 右へ || ヌ

三 右へ || ヌ

四 右へ || ヌ

五 右へ || ヌ

六 右へ || ヌ

七 右へ || ヌ

八 右へ || ヌ

九 右へ || ヌ

十 右へ || ヌ

十一 右へ || ヌ

十二 右へ || ヌ

十三 右へ || ヌ

十四 右へ || ヌ

十五 右へ || ヌ

十六 右へ || ヌ

十七 右へ || ヌ

十八 右へ || ヌ

十九 右へ || ヌ

二十 右へ || ヌ

二十一 右へ || ヌ

二十二 右へ || ヌ

二十三 右へ || ヌ

二十四 右へ || ヌ

二十五 右へ || ヌ

二十六 右へ || ヌ



一 二列 右方  
二 小隊 構へ

三 折方レ

⑤ 背後放火同回復

一 後乃右方

二 小隊右向き 廻レ

一 向後 廻レ

二 小隊右向き 廻レ

第三教

① 戦隊行進

一 少隊 右

二 スレ

三 歩隊

② 同停止

一 小隊

二 止レ

③ 戦隊斜行

一 斜め右

二 スレ

一 歩

二 大隊 嚮右

一 小隊 右

二 スレ

一 小隊 止

二 右 止

三 止

④ 側面行進

一 大隊 右 向

二 大隊 右 向

三 大隊 右 向

⑤ 同直線 容易

一 大隊 右 向

二 スレ

⑥ 同小隊或半隊進入及回

復

一 小隊 半隊 向

二 進

一 大隊 右 向 向 右 向

二 スレ



二ス、ソ

④ 諸種歩法

一 足歩み

二ス、ソ

一 歩

二ス、ソ

一 子足

二ス、ソ

一 歩

二ス、ソ

一 小隊あり

三下ガレ

⑤ 戦隊背面行

一 小隊

二 右向き || 廻レ

一 小隊あり

二ス、ソ

○ 同行進間右轉反面

一 小隊あり || 廻レ

二ス、メ

一 大隊 || 止レ

⑤ 各伍左右側戦隊

一 伍 || 右向き || 伍戦隊

二ス、ソ

一 伍 || 故

⑥ 陣先頭及最後前方正面

一 変革 || 陣先頭

二ス、ソ

一 伍 || 陣先頭

二ス、ソ

一 伍 || 陣先頭

二ス、ソ

一 伍 || 陣先頭

二 小隊 || 右向き

三 子足 || ス、ソ

四 歩 || ス、ソ

五 歩 || 右向き

一 小隊 || 右向き || ス、ソ

二 小隊 || 止レ

三 小隊 || ナス

四 直レ



第四教

(一) 側面行進

一 小隊右進 || 向ヶ

二 小隊左進

三 ス、メ

(二) 両伍連綴側面行進

一 紐、合セ

二 小隊右進 || 向ヶ

三 小隊左進

四 ス、メ

(三) 同行進間道綴及回復

紐、合セ

二 ス、メ

一 紐、合セ

二 ス、メ

(四) 同直線変易

一 紐、右五

二 ス、メ

(五) 停止正面

一 小隊 || 止

獨身 || 故

(一) 同後方正面変革

一 小隊右向 || 廻

二 左進 || 進

三 小隊 || 止

四 小隊左向 || マル

五 大隊 || ナス

一 第一等 小隊右向 || 止

二 大隊右向 || 廻

三 小隊右向 || 進

四 子 || 進

五 大 || ス、メ

六 獨身右向 || 止

一 小隊右向 || ス、メ

二 小隊右向 || 廻

三 大 || ナス

四 直

獨身 || 故



二正百一

右左 準

直レ

四 各伍左右戦隊

一 伍々右左 伍戦隊

ニス、メ

五 側百行進間小隊編制

一小隊右

ニス、メ

右左

同半隊編制

一小隊右

ニス、メ

右左

○ 重隊行進間側面回復

一小隊右左 側面復

ニス、メ

半隊重隊ニ令詞上ニ同シ

第五教

○ 停止間重隊編制

○ 準中央小隊演習

五 小隊右左進

直レ

右左

四 小隊右左進

直レ

右左

三 小隊右左進

直レ

右左

を返

二 小隊右左進

直レ

右左

一 小隊右左進

直レ

右左

三 小隊右左進

直レ

右左

直レ



二進  
一隊止

一隊止  
二隊止  
三隊止

二直隊行進

一小隊止

二隊止

三隊止

三同直線變易

二回九  
三  
四

四同停止

一小隊

二止

五左右戰隊

左  
右

直

一隊止  
二隊止  
三隊止

第四教

一中央小隊二層

一小隊

二隊

三隊

四隊

二  
三  
四

一  
二  
三  
四

一第一小隊二層

一小隊

二隊

三隊



左(四)戦隊

三進

一 半隊 七レ

二 半隊 七レ

縛守 一 故

第六 敵

(一) 小隊 五分

一 小隊 五分

二 小隊 五分

三 小隊 五分

四(五) 戦隊 進

一 半隊 七レ

二 半隊 七レ

三 半隊 七レ

縛守 一 故

第八 小隊 二層重

一 小隊 五分

二 第八 小隊 の後と

三 大隊 九レ 向

○ 半隊 併合

一 半隊 併合

二 半隊 併合

三 半隊 併合

(二) 閉合 直隊 行進

一 直隊 行進 令 討 三 同シ

○ 同 左右 側 直隊 變易

一 本 五 隊 向 右 向 左 向 右

二 大隊 七 五 向 左



一 進

二 東伍減却又増進

一 大退

二 退

三 退

一 大退

二 退

一 大退

二 退

一 大退

二 退

三 停止間縱歩

一 小隊

二 隊

三 隊

四 ス、メ

五 携

○ 同行進間

一 隊

三 隊

一 隊

二 隊

三 隊

四 直

一 隊

二 隊

三 隊

一 隊

三 同往還雙行

一 隊

二 隊

三 隊

四 隊

一 隊

二 隊

三 隊

四 隊

一 隊

○ 同行進間

一 隊

二 隊

三 隊

四 隊

一 隊

二 隊

三 隊

四 隊



二ス、メ

三擧へ 高

○車隊縦歩直線変易

○同行進間小隊區分

△小隊分け

△斜去

△斜去 進

○同半隊區分

△小隊分け

△斜去

△斜去 進

△斜去

△斜去

○同併合

一各隊分け

二進メ

△斜め

△斜め

△斜め

西進 左方へ

直三行進セシムルニハ

左右偲面

二進メ

三擧げ 交互

四 閉合 車隊 啓開

△小隊分け

△斜去 進

△斜去 進

小令上 同シ

大隊 止

左へ 進

一 第一小隊 左へ 進

二 第二小隊 左へ 進

三 第三小隊 左へ 進

四 第四小隊 左へ 進

大隊 止

大隊 左へ 進

左へ 進



△多路

○縦歩開列密收

一 後列つめ

ニ ス、メ

④ 往還變行

一 往還變行

二 小隊右左 || 向テ

三 列々右左へ

四 ス、メ

一 小隊 || 止レ

二 正メシ

⑤ 右左側戦隊

一 大隊戦隊

二 留守大

一 列々右

ニ ス、メ

一 半隊 || 止

ニ ス、メ

一 半隊 || 止

二 列々 || 止

○半間隔閉合

一 半間隔閉合

二 半間 || 進メ

一 大 || ナラズ

ニ ナオレ

一 小隊 || 止

ニ 大 || ナラズ

○同準最後及中央閉合

一 第八小隊半距離にあり

二 大隊右 || 廻レ

三 大隊右

四 留守大

五 半隊 || 進メ

一 大 || ナラズ

ニ 小隊 || 止

三 大 || ナラズ

四 直レ

留守大 || 廻レ

一 第八小隊半距離にあり

二 第九小隊右 || 廻レ

三十三







街道放火

○進軍操撃

一 小隊を操撃す

イ フト 一 小隊并へ筒

二 打カ、レ

ロ かけ足ス、ン

ハ 小隊

ニ 止レ

ホ カマヘ

ト 打ラ

三十四

三 子足 || 進ノ

一 小隊 || 告

二 正面

三 右 || ナク

四 才レ

響存 || 故

。全王間隔ナル片ハ各占  
正面へノ令ヲ下ス右

一 小隊を

二 左半女老

三 子足 || ス、ン

一 小隊 || 止

二 右半 || ナク

三十一

。速ニ小隊ヲ編制スルニハ

一 中隊作

二 侶男小隊

三 左 || 向ケ

四 子足 || 進ノ

一 女侶和

二 ス、ン

三 左半女

一 小隊 || 止

二 右 || ナク

三 才レ

三十五

○退軍操撃

一 小隊を操撃す

イ フト 一 小隊

十 前へ向

リ 女(老)向テ

又 往く(老)向テ

ル 進ノ

整頓ス

女侶和

二 才レ

イ 後へ向

ロ かけ足進ノ

。北他ノ令ニ同シ



二打カケイ

ハ、空、白、止レ

ニ、マ、ハ

ト、有、一、間

ナ、四、五、向、ケ

又、折、一、寄

ル、カ、日、星、進、ム

イ、小、隊

ハ、女、色、廻、レ

ニ、カ、マ、ハ

○其、他、士、三、津、シ、号、令、ス、シ

街道放火令訂了

總、導、一、故、ハ

○閉、合、重、隊、開、布

○同、津、第、二、中、隊

一、第、二、中、隊、に、戻、ケ

二、大、隊、九、右、ハ、向、ケ

三、子、星、ハ、ス、ン

一、中、隊、亦、ハ、止、レ

二、三、中、隊

三、三、中、隊

四、一、中、隊、亦、ハ、止、レ

五、二、中、隊

六、三、中、隊

七、四、中、隊

八、五、中、隊

九、六、中、隊

十、七、中、隊

十一、八、中、隊

十二、九、中、隊

三十七



散兵教練

○散開

隊呈る場にかゝる

X アフタラシ

○停止

とほり

X デリースレーベン

○進軍

操かきり

X マルス第六

響存一隊

○同準第一中隊

一隊一中隊に併け

二大隊左へ向ケ

三子呈 || ス、メ

二正メ、カ隊 || 止レ

一右へ || ナス

二直レ

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

○斜行

知に六(左)

右 X エー、ン、ア、フ、ヘル、ソ、ツ、ト、エー、ン、ス、ラ、フ

左 X エー、ン、ア、フ、ヘル、ソ、ツ、ト、エー、ン、ス、ラ、フ

○側面行

本(左)侶(右)

X 右左に斜行し譜ヲ復

○退軍

操ひき

X ム、ツ、フ、ツ、ー

響存一隊

三子呈 || ス、メ

二直レ

一右へ || ナス

響存一隊

○同準第四中隊

一隊四中隊に併け

二大隊左へ向ケ

三子呈 || ス、メ

二直レ

一右へ || ナス

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百



○集合

後(左)方

○Xフルカーデリニテ

○圓陣編制

各陣作之

○X集合ノ譜ヲ二面後撃

○各種放火

ナテ

Xゲ子ノレマルス

△放火ノ別

位地放火

進軍放火

退軍放火

側面放火

○正面發射

△前面

左(右)變ヲ操ル

△後面

左(右)變ヲ採リ

中隊||止

一左||止

二直レ

三直レ

中隊||止

一左||止

二直レ

三直レ

伊勢守||故

○同行進間

一第二中隊に隊ケ

二大隊に隊ケ

三進メ

一第一中隊に隊ケ

二第一中隊に隊ケ

三第一中隊に隊ケ

一第一中隊に隊ケ

二第一中隊に隊ケ

三第一中隊に隊ケ



散兵加増

同交代

同撤却

三作ノ諸運動並知スルノ  
後ノ別次ノ隊部ニ移ス

第二部

◎ 急練散開

此散部ニ於テハ中隊ヲ以  
テ練練ス其掘目次ニ示シ  
三個ノ半隊散開

森林覆垂ノ地散開

兩隊對向運動

四伍集合

各種ノ射法

屈曲 跪踞 坐着

半臥

若クハ樹技概執ニ措置

シ命中ヲ要スベシ

兩伍結集

一伍背合

二子呈 || スン

三子呈 || 右

一隊 || 止

直レ

一子呈 || 止

二子呈 || ナニ

三子呈 || ナニ

一子呈 || ナニ

二子呈 || ナニ

野隊 || 故

◎ 侵襲軍隊

一 加中守隊

二 大隊友隊 || 向ケ

三 子呈 || 進メ

一 少隊 || 止

二 正メニ

三 子呈 || ナニ

四 直レ

一 大隊友

二 獨身隊

◎ 同行進



第三部

此散部ハ大隊ノ運動ニ從テトモニ轉位行進スルノ訓操ナルカ故ニ教目令詞ヲ別載セス

第四部

此部ハ大隊ニ從テ各々ニ散開スル方法ナルカ故ニ其教目ヲ左ニ示ス

戰隊ノ前面ニ散開

一或ハ兩側散開

集合及圓陣

散開中退却

戰隊前面ノ預備

同後面ニ配列

重隊側面覆衛

同前面散開

方陣編制ノ散開

散開中凹路通過

三 正面 || ス、メ

直線ヲ變易スルニハ

(左) 退、進、止、進、退

二 側面 || ス、メ

三 ス、メ

一 前方 || ス、メ

二 側面 || ス、メ

三 方陣編制

二 大隊ヲ大ニ || 向テ

三 正面 || ス、メ

一 小隊 || 止

二 正面 || ス、メ

四 直

一 小隊ヲ變メテ方陣作

二 正面 || 進

三 正面 || 止

四 正面 || 進

五 正面 || 止

六 正面 || 進



敵開中大隊進軍  
同重隊三疊進出

第五部

○敵隊ヨリ分隊重隊編制  
一 大隊左ヨリ向ケ  
二 大隊右ヨリ向ケ  
三 大隊直進  
四 大隊左ヨリ向ケ  
五 大隊右ヨリ向ケ  
六 大隊直進

敵止  
直  
一 大隊左ヨリ向ケ  
二 大隊右ヨリ向ケ  
三 大隊直進  
四 大隊左ヨリ向ケ  
五 大隊右ヨリ向ケ  
六 大隊直進

○同一個或他ノ中隊ヲ以

○重隊回復

テ編制  
一 大隊左ヨリ向ケ  
二 大隊右ヨリ向ケ  
三 大隊直進  
四 大隊左ヨリ向ケ  
五 大隊右ヨリ向ケ  
六 大隊直進

○中隊全距離重隊ヨリ編

制  
令詞上ニ準ス  
○半隊重隊ヨリ編制  
一 大隊左ヨリ向ケ  
二 大隊右ヨリ向ケ  
三 大隊直進  
四 大隊左ヨリ向ケ  
五 大隊右ヨリ向ケ  
六 大隊直進

一 大隊左ヨリ向ケ  
二 大隊右ヨリ向ケ  
三 大隊直進  
四 大隊左ヨリ向ケ  
五 大隊右ヨリ向ケ  
六 大隊直進



一 子足 || ス、ソ

○ 半隊ハ左カ直キ

○ 閉合重隊ヨリ編制

全距離ニ展開シ而シテ編制スヘシ

一個ノ中隊ノシテ編制スル

二 八 前部ノ隊ハ前進シ其

他ハ方線及位ノ隊外ニ赴カシム

令詞ヒニ準ス

○ 側面行ヨリ編制

一 子足 || 進ノ

○ 重隊開布

中隊重隊ノ左方ニ進出

距離子足ハ

長命左右 中隊重隊 || 向ケ

二 子足 || 進ノ

○ 同開布

一 重隊ヨリ

二 大隊右方ニ向ケ

三 子足 || ス、ソ

正面

小隊左方

子足 || ス、ソ

小隊 || 止

獨導 || 故

○ 同行進間

一 重隊左方ニ向ケ

二 大隊右方ニ向ケ

三 子足 || ス、ソ

直レ

中隊重隊右方ニ向ケ

獨導右方ニ向ケ



渡命外中 止レ

正メシ

○右首重隊ヲ開布

二右中隊隊尾是距離隊

面我隊

一中 中隊直ニ向ケ

二中 中隊直ニ向ケ

三中 中隊直ニ向ケ

二子足ニ進メ

中隊直ニ止

小隊直ニ止レ

直レ

○騎兵對同重隊

一騎兵對向距離隊

二進メ(子足ニ進メ)

一隊隊尾是

二外方は隊直ニ向ケ

三早足ニス

外方直ニ止

三中 正西

二中 左ハナニ

三中 右ハナニ

直レ

○同前面行進

伊表直ニ向ケ

振命中

中隊直ニ

直ニ向ケ

二正西

二中 左ハナニ

直レ

○同行進

一便直隊ニ令詞三同シ

○方隊編制

二早足ニス

二中 大直ニス

直ニ止レ

直ニ止レ

三十三



其在中  
中隊を以て守る

二ツの口 || 進ノ

○方陣編制

一寸陣作り

一ツの口 || 進ノ



○重隊回復

重隊を回復

一ツの口 || 進ノ

二ツの口 || 進ノ

三ツの口 || 進ノ

二ツの口 || 進ノ

三ツの口 || 進ノ

四ツの口 || 進ノ

敵兵令詞

有司

敵兵令詞

一ツの口 || 進ノ

二ツの口 || 進ノ

三ツの口 || 進ノ

四ツの口 || 進ノ

五ツの口 || 進ノ

○重隊回復

重隊を回復

二ツの口 || 進ノ

三ツの口 || 進ノ

四ツの口 || 進ノ

五ツの口 || 進ノ

六ツの口 || 進ノ

七ツの口 || 進ノ

○中隊重隊回復

中隊を回復

有司







附録

臨陣 必用 遠近速知表

此表ハ内眼ノ速度ヲ以テ  
 速カニ敵ノ遠近ヲ概知ス  
 ルノ良法也ト推斤人々眼  
 力等シカラズ且風雨晦明  
 郊野山谷ニ試験ンテ自得  
 スルニ非レバ実地活用ナ  
 シ難シ

二大隊必用 延シ

二 障碍通過

第一小队かけ

一 第一小队は右側を  
 二 ス、ソ  
 三 第二小队は左側を  
 四 ス、ソ  
 五 並行  
 六 既ニ通過シテ  
 七 第一小队は右側を  
 八 ス、ソ

人馬の首	三町	三	三	三	三
白閃色	六	四	十	三	三
手足指の	間	五	間	四	尺
類ナド	一	五	間	四	尺
分明身	尺	五	寸	五	寸

一 第一小队は右側を  
 二 ス、ソ  
 三 第二小队は左側を  
 四 ス、ソ  
 五 並行  
 六 既ニ通過シテ  
 七 第一小队は右側を  
 八 ス、ソ



人馬の飾甲	五町四町三町
胃の毛色楯	九間七間十八
刀且手の楯	二尺三尺間
關の楯	二尺三尺間
分明あり	二五
人の行歩	六町五町四町
と見馬の毛	五十三廿八
色衣腹色	二間
合ワリ赤	二間
色の如頭	三

二小队半八右  
三ス、ノ  
進ノ  
退軍中開隊ヲ進入スルハ  
二五(退)即ち小队勿ハ  
二ス、ノ  
一ス、ノ  
二ス、ノ  
三ス、ノ  
采持

人馬分頭	八丁六丁五丁
馬の毛色	廿五五十三
人の首足	間三二間
張りの	尺七五三尺
騎馬の	十丁八丁六丁
運動見	十八十五世間
人の首足	間四間五尺
略分る	尺五、二五

三 戦隊斜行  
一 斜行  
二 ス、ノ  
三 ス、ノ  
四 大隊停止整頓  
五 大隊止  
六 大隊止  
七 大隊止  
八 大隊止  
九 大隊止  
十 大隊止  
十一 大隊止  
十二 大隊止  
十三 大隊止  
十四 大隊止  
十五 大隊止  
十六 大隊止  
十七 大隊止  
十八 大隊止  
十九 大隊止  
二十 大隊止  
二十一 大隊止  
二十二 大隊止  
二十三 大隊止  
二十四 大隊止  
二十五 大隊止  
二十六 大隊止  
二十七 大隊止  
二十八 大隊止  
二十九 大隊止  
三十 大隊止  
三十一 大隊止  
三十二 大隊止  
三十三 大隊止  
三十四 大隊止  
三十五 大隊止  
三十六 大隊止  
三十七 大隊止  
三十八 大隊止  
三十九 大隊止  
四十 大隊止  
四十一 大隊止  
四十二 大隊止  
四十三 大隊止  
四十四 大隊止  
四十五 大隊止  
四十六 大隊止  
四十七 大隊止  
四十八 大隊止  
四十九 大隊止  
五十 大隊止  
五十一 大隊止  
五十二 大隊止  
五十三 大隊止  
五十四 大隊止  
五十五 大隊止  
五十六 大隊止  
五十七 大隊止  
五十八 大隊止  
五十九 大隊止  
六十 大隊止  
六十一 大隊止  
六十二 大隊止  
六十三 大隊止  
六十四 大隊止  
六十五 大隊止  
六十六 大隊止  
六十七 大隊止  
六十八 大隊止  
六十九 大隊止  
七十 大隊止  
七十一 大隊止  
七十二 大隊止  
七十三 大隊止  
七十四 大隊止  
七十五 大隊止  
七十六 大隊止  
七十七 大隊止  
七十八 大隊止  
七十九 大隊止  
八十 大隊止  
八十一 大隊止  
八十二 大隊止  
八十三 大隊止  
八十四 大隊止  
八十五 大隊止  
八十六 大隊止  
八十七 大隊止  
八十八 大隊止  
八十九 大隊止  
九十 大隊止  
九十一 大隊止  
九十二 大隊止  
九十三 大隊止  
九十四 大隊止  
九十五 大隊止  
九十六 大隊止  
九十七 大隊止  
九十八 大隊止  
九十九 大隊止  
一百 大隊止















